

東京港港湾計画資料（その 1）

— 改 訂 —

平成 26 年 11 月

東京港港湾管理者
東 京 都

総 目 次

I 港湾計画の方針に関する資料	I-1
1. 港湾の沿革、現況.....	I-1
1-1 港湾の位置	I-1
1-2 港湾の沿革	I-3
1-3 港湾の性格及び役割.....	I-8
2. 港湾への要請	I-19
2-1 首都圏の産業と生活を支える東京港	I-19
2-2 臨海地域の持つ魅力と潜在能力.....	I-20
2-3 都市環境の変化と東京港の環境整備	I-21
2-4 「スポーツ都市東京」に寄与する臨海地区	I-22
2-5 東京港の防災対策	I-22
2-6 東京港の目指すべき姿	I-23
2-7 目標年次	I-24
3. 港湾計画の範囲及び港湾空間の利用	I-25
3-1 港湾計画の範囲	I-25
3-2 東京港のゾーニング	I-26
II 港湾の能力に関する資料	II-1
1. 取扱貨物量.....	II-1
1-1 取扱貨物量の推移	II-1
1-2 取扱貨物量の設定	II-28
2. 入港最大標準船型.....	II-54
2-1 入港最大標準船型	II-54
2-2 船舶の利用状況	II-55
2-3 入港船舶隻数の推計	II-57
3. 港湾利用者数.....	II-60
3-1 港湾利用者数の設定の方針.....	II-60
3-2 港湾利用者数の設定	II-61
III 港湾施設の規模及び配置.....	III-1
1. 公共埠頭計画	III-1
1-1 公共埠頭計画	III-1
1-2 外内貿コンテナ埠頭計画	III-15
1-3 内貿ユニットロード埠頭計画	III-34

1-4 外貿埠頭計画.....	III-37
1-5 内貿埠頭計画.....	III-41
2. 旅客船埠頭計画	III-44
2-1 旅客船埠頭の現況	III-44
2-2 旅客船埠頭計画の必要性	III-45
2-3 旅客船埠頭の規模及び配置.....	III-46
3. 旅客船埠頭（小型栈橋）計画	III-48
3-1 旅客船埠頭（小型栈橋）の現況.....	III-48
3-2 旅客船埠頭（小型栈橋等）計画の必要性.....	III-50
3-3 旅客船埠頭（小型栈橋等）の規模及び配置	III-51
4. 木材取扱施設計画.....	III-52
4-1 木材取扱施設の現況.....	III-52
4-2 木材取扱施設計画の必要性.....	III-52
4-3 木材取扱施設の規模及び配置	III-52
5. 専用埠頭計画.....	III-55
5-1 専用埠頭の現況	III-55
5-2 専用埠頭計画の必要性	III-56
5-3 専用埠頭の規模及び配置	III-56
6. 水域施設計画.....	III-58
6-1 航路計画.....	III-58
6-2 泊地計画.....	III-60
6-3 南部地区及び東部地区における水域施設計画の考え方（参考）	III-63
6-4 操船例図.....	III-64
7. 外郭施設計画.....	III-79
7-1 防波堤計画	III-79
8. 小型船だまり計画.....	III-85
8-1 小型船だまりの現況.....	III-85
8-2 小型船だまり計画の必要性.....	III-86
8-3 今回計画する小型船だまりの規模及び配置	III-86
8-4 静穏度検討	III-89
9. 臨港交通施設計画.....	III-93
9-1 主要な臨港道路の現況	III-93
9-2 臨港道路計画の必要性	III-93
9-3 交通対策.....	III-93
10. マリーナ計画.....	III-95
10-1 マリーナの現況	III-95

10-2 マリーナ計画.....	III-97
IV 港湾の環境の整備及び保全	IV-1
1. 自然的環境を整備又は保全する区域	IV-1
1-1 良好な景観を形成する区域.....	IV-1
2. 廃棄物処理計画	IV-3
2-1 港湾における廃棄物処理場の現況.....	IV-3
2-2 港湾における廃棄物処理の必要性.....	IV-4
2-3 海面処分用地・海面処分活用用地の規模及び配置	IV-6
3. 港湾環境整備施設計画	IV-8
3-1 緑地の現況	IV-8
3-2 緑地・海浜計画の必要性	IV-9
3-3 各地区ごとの緑地・海浜の確保の考え方	IV-11
3-4 今回計画する緑地・海浜の規模及び配置.....	IV-15
3-5 緑地計画.....	IV-18
V 土地造成及び土地利用計画.....	V-1
1. 土地造成計画	V-1
1-1 土地造成の必要性	V-1
1-2 土地造成に係る土地利用計画	V-2
2. 土地利用計画.....	V-4
2-1 土地利用計画の変更必要性.....	V-4
2-2 土地利用計画の変更内容	V-4
3. 海浜計画	V-13
VI 港湾の効率的な運営に関する事項	VI-1
1. 港湾の効率的な運営に関する事項	VI-1
VII その他重要事項.....	VII-1
1. 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設.....	VII-1
2. 港湾及び港湾に隣接する地域の保全	VII-2
2-1 海岸保全施設等	VII-2
2-2 東京港海岸保全施設整備計画（平成 24 年 12 月）	VII-4
3. 大規模地震対策施設	VII-6
3-1 耐震強化岸壁整備の基本的な考え方	VII-6
3-2 緊急物資輸送対応施設	VII-6
3-3 幹線貨物輸送対応施設計画.....	VII-11
4. 港湾施設の利用	VII-13

4-1 物資補給等のための施設	VII-13
5. その他港湾の開発、利用及び保全に関する事項	VII-14
5-1 橋梁の桁下空間の確保	VII-14
5-2 放置等禁止区域	VII-17
5-3 将来構想	VII-21
VIII その他	VIII-1
1. 港湾区域の範囲	VIII-1
2. 港湾の周辺条件	VIII-3
2-1 経済的・社会的条件	VIII-3
2-2 自然条件	VIII-6
3. 港湾の沿革	VIII-22
4. 港湾施設の現況	VIII-28
4-1 水域施設	VIII-28
4-2 外郭施設	VIII-28
4-3 係留施設	VIII-29
4-4 荷捌施設	VIII-31
4-5 保管施設	VIII-32
4-6 旅客施設	VIII-32
4-7 マリーナ施設	VIII-33
4-8 その他の施設	VIII-33
5. 過去の計画一覧	VIII-34
6. 東京都港湾審議会委員名簿	VIII-51
7. パース図	VIII-52

I 港湾計画の方針に関する資料

目 次

I 港湾計画の方針に関する資料	I-1
1. 港湾の沿革、現況	I-1
1-1 港湾の位置	I-1
1-2 港湾の沿革	I-3
1-3 港湾の性格及び役割	I-8
2. 港湾への要請	I-19
2-1 首都圏の産業と生活を支える東京港.....	I-19
2-2 臨海地域の持つ魅力と潜在能力.....	I-20
2-3 都市環境の変化と東京港の環境整備.....	I-21
2-4 「スポーツ都市東京」に寄与する臨海地区.....	I-22
2-5 東京港の防災対策	I-22
2-6 東京港の目指すべき姿	I-23
2-7 目標年次	I-24
3. 港湾計画の範囲及び港湾空間の利用	I-25
3-1 港湾計画の範囲	I-25
3-2 東京港のゾーニング	I-26

I 港湾計画の方針に関する資料

1. 港湾の沿革、現況

1-1 港湾の位置

東京港は、東京湾最奥部に位置し、東側は千葉港に、南側は川崎港及び横浜港に近接しており、国際貿易港及び国内拠点港として、首都圏の生活と産業を支える重要な役割を担っている。本港と各港との海上距離は次のとおりである。

表 I - 1-1 東京港の地区別現況

■国内港湾

港名	国名	海上距離(海里)	港名	国名	海上距離(海里)
苫小牧	日本	562	大阪	日本	371
八戸	〃	448	神戸	〃	365
塩釜	〃	300	広島	〃	483
横浜	〃	24	岩国	〃	477
川崎	〃	22	博多	〃	818
清水	〃	133	北九州	〃	849
名古屋	〃	223	志布志	〃	534
四日市	〃	221	那覇	〃	878

※1海里=1.852km

資料:World Shipping Encyclopedia(2013,4)より作成

■海外港湾

港名	国名	海上距離(海里)	港名	国名	海上距離(海里)
釜山	韓国	850	ドバイ	アラブ首長国連邦	6,364
上海	中国	1,052	ジェッダ	サウジアラビア	7,230
厦門	〃	1,354	ロサンゼルス	アメリカ	4,868
塩田	〃	1,597	ニューヨーク	〃	9,718
香港	〃	1,601	バンクーバー	カナダ	4,197
高雄	台湾	1,359	マンザニーロ	メキシコ	5,987
マニラ	フィリピン	1,776	カヤオ	ペルー	8,430
ポートケラン	マレーシア	3,116	バルパライソ	チリ	9,296
タンジュンペラパス	〃	2,932	ジョイアタウロ	イタリア	8,884
シンガポール	シンガポール	2,909	ロッテルダム	オランダ	11,250
ナバシェバ	インド	5,341	メルボルン	オーストラリア	4,907
コロンボ	スリランカ	4,485	ダーバン	南アフリカ	7,767

※1海里=1.852km

資料:World Shipping Encyclopedia(2013,4)より作成

1-2 港湾の沿革

東京港は、15 世紀半ば、太田道灌が江戸城築城（1457 年）の頃、隅田川河口付近が江戸湊として利用されたときが始まりといわれている。

慶長 8 年（1603 年）、徳川幕府が江戸に開かれ、江戸の市街地の造成と江戸湊の拡張、整備が進められ、江戸の繁栄とともに、江戸湊は海上から運び込まれる物資の集積、流通の要地として栄えた。

明治元年（1868 年）、江戸は東京と改められ、日本の首都として政治、経済、文化の各分野で大いに発展してきたが、海運の面では隣接する横浜港が開港して活況をみせたのに対し、東京港は明治末頃に至るまで江戸湊のままでしたる発展はみられなかった。

港湾としての東京港は、明治 13 年、東京府が築港調査したときに始まり、本格的な工事は、明治 39 年、隅田川口改良工事からである。以来港の整備が行われてきたが、その規模は隅田川河口を利用する小型船（400～500 トン級）を対象としたものであった。このため、大正 12 年（1923 年）の関東大震災によって、東京が甚大な被害を受けた際には、陸上輸送が途絶したため、国内各地、諸外国からの救援物資は海上輸送によらざるを得なかったにもかかわらず、当時の東京港の施設が貧弱であったため、救援船の入港と荷役は困難を極めた。

関東大震災を契機として、東京港の港湾整備の必要性が痛感され、大正 14 年、日の出栈橋が完成、続いて昭和 7 年、芝浦岸壁、同 9 年、竹芝栈橋がそれぞれ完成、3,000～6,000 トン級船舶が接岸できるようになった。

その後、東京港は、東京の産業の進展とともに物資の海上輸送基地として重要性を増し、昭和 16 年 5 月 20 日（1941 年）アジア地域に限定されて開港することになり、外国貿易港としての第一歩を踏み出した。

しかし、まもなく太平洋戦争が始まり、港の発展は大きく阻まれ、終戦後は主要港湾施設が駐留軍に接収され、港湾機能はほとんど停止状態になった。

戦後、東京の復興とともに東京港は修築の必要に迫られ、昭和 24 年、東京港修築 5 年計画により、大型船が接岸できる豊洲・晴海・品川ふ頭等の建設に着手した。また、昭和 26 年には港湾法に基づき東京港は京浜港として特定重要港湾に指定され、東京都が東京港の港湾管理者となった。

昭和 30 年代に至り、日本経済の復興とともに、東京に人口・産業が集中し、東京港は、首都東京の消費、生産活動に必要な物資の海上流通基地として重要な役割を担うこととなり、昭和 31 年の東京港港湾計画、昭和 36 年の東京港改訂港湾計画に基づき港湾施設の整備拡充を図った。

さらに、昭和 41 年には東京港第二次改訂港湾計画を策定し、輸送革新のコンテナ船就航に対応して、昭和 42 年、品川ふ頭に外貿コンテナ埠頭を、昭和 43 年には、13 号地に建材専門埠頭、10 号地に内貿雑貨埠頭を整備し、昭和 46 年には 10 号地東岸壁と大井ふ頭コンテナバースの一部が完成した。昭和 47 年にはフェリー埠頭が 10 号地に整備され、また昭和 49 年には、水産物専門埠頭が大井ふ頭に、木材専門埠頭が 15 号地に建設された。

東京港は、物流拠点として大きく発展しつづけ、その時々を経済状況や都民ニーズの変化等を反映しながら整備が進められてきたが、昭和48年のオイルショックにより従来の高度経済成長が期待できなくなったことをうけ、昭和51年に社会・経済的諸情勢の変化をふまえた東京港第三次改訂港湾計画を策定した。

昭和56年には、港湾機能と都市機能との調整、大都市問題あるいは都民のレクリエーションに対応するため、東京港第四次改訂港湾計画を策定し、物流基地として、港湾機能の充実と、ふ頭背後地も含めた港湾施設の整備とともに、都民の憩いの場としての海上公園整備も併せて進めた。

昭和60年には青海コンテナふ頭の一部が、昭和61年にはふ頭再開発事業による竹芝・芝浦ふ頭の一部が供用を開始するなど、港湾施設の整備・近代化が進められ、同時に埠頭背後地の開発も推進してきた。また、港湾区域と造成された埋立地には、既成市街地の再開発等に伴う事業所等の受入、海上公園の整備及び産業・レクリエーション施設を含めた広域的な施設・機能の整備など総合的な港湾空間の形成を図ってきた。加えて台場・青海・有明地区を、東京の都市構造を一点集中型から多心型に転換するとともに国際化や情報化の進展に対応する副都心を建設することになった。こうした情勢に対応するため、昭和63年5月、平成7年を目標年次とする東京港第五次改訂港湾計画を新たに策定した。

東京港が国際貿易港として広く世界の主要港と交流を図っていくため、昭和55年に米国のニューヨーク・ニュージャージー港と姉妹港、昭和56年に中国の天津港と友好港、昭和62年に米国のロサンゼルス港と姉妹港、平成元年4月にはオランダ国のロッテルダム港と姉妹港の提携を行い、相互の交流を深めてきた。国内有数の港に成長した東京港は、平成3年5月20日に開港50周年を迎えたが、この間入港船舶数は、24.3倍、取扱貨物量は11.4倍となった。

また、同年には、外航クルーズの玄関口としての晴海客船ターミナルや、同じく内航の伊豆諸島への玄関口である竹芝客船ターミナルが装いを新にして供用開始となった。

平成5年8月には、東京港の物流の円滑化に大きな役割を果たす、レインボーブリッジが東京港を横断する形で完成、平成6年5月に青海コンテナふ頭第三バース、また同8年5月に同第四バースが供用開始、平成7年11月には東京臨海新交通臨海線「ゆりかもめ」（新橋～有明）が、平成8年3月には東京臨海高速鉄道臨海副都心線（新木場～東京テレポート）が開通し、都民に一層親しまれる港として変貌をとげている。

平成6年10月には、対中国海上貨物の東京港集貨拡大と、中国航路の東京港誘致を目指し「東京港中国会」が発足し、12月には新たに上海定期航路が開設された。

平成9年には、東京港港湾審議会の最終答申に基づき、また、その後の阪神・淡路大震災の教訓も踏まえ、平成17年を目標年次とする東京港第六次改訂港湾計画を策定し、平成9年4月告示された。その後、臨海副都心及び豊洲・晴海地域の開発整備計画の見直しに対応し、平成10年4月、計画の一部を変更した。

また、平成 9 年 7 月には、国際競争力をもった使いやすい東京港を実現するため、港湾管理者、関係官公庁、団体・事業者などの関係者が一体となって、東京港が抱える諸課題を検討する「東京港振興促進協議会」を設立し、平成 10 年 9 月に「全体のまとめ」を提言し、平成 11 年 4 月にこれを実現するための「アクションプラン」を策定した。その後、平成 16 年 3 月には、同プラン策定以降東京港をはじめとする我が国港湾を取り巻く状況の変化を踏まえ、直面する東京港の新たな課題の解決に向けた取組の目標を明らかにした「新アクションプラン」を策定した。

平成 14 年 4 月には、東京港の物流機能の沖合展開に向け、東京港臨海道路（大田区城南島～中央防波堤外側地区～江東区若洲）のうち第一工区部分である東京臨海トンネル（大田区城南島～中央防波堤外側地区）が供用開始され、東京港の物流効率化に大きく貢献している。

また、同年には、東京港の国際競争力を強化する取組として、国際港湾特区の申請及びスーパー中枢港湾への立候補を行った。

港湾に関する規制緩和を推進させ、港湾サービスの向上、コスト低減を図るために、構造改革特別区域法に基づき、東京港を国際港湾特区とし、税関及び検疫の執務時間延長及び手数料軽減等の提案を行った。

さらに、国のスーパー中枢港湾への取組に対し、東京都は、東京港におけるコスト低減、スピードアップ、サービス向上を図るとともに、年間取扱量の目標を 340 万～360 万 TEU として、東京港をスーパー中枢港湾候補として応募した。そして、平成 16 年 7 月、東京港と横浜港からなる京浜港が、伊勢湾（名古屋港・四日市港）及び阪神港（神戸港・大阪港）とともにスーパー中枢港湾に指定された。

平成 16 年 7 月には、改正 SOLAS 条約の発効に伴う「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律」が施行され、東京港の外貿コンテナ埠頭、外航客船埠頭及びその他の外貿埠頭においてフェンスや監視カメラの設置等の保安対策を講じ、立入制限区域における管理と監視を強化している。

平成 18 年には、首都圏 4,000 万人の生活と産業を支え、経済活力の向上に貢献する物流拠点としての役割を果たすとともに、憩いと賑わいのある空間を創出し、環境に優しく災害に強い安全なみなとを実現することを目指して、東京港第 7 次改訂港湾計画を策定した。

同年 10 月には、「特定外貿埠頭の管理運営に関する法律」が施行された。これを受け、東京港における物流効率化を促進し、国際競争力の強化と利用者サービスの向上を図るため財団法人東京港埠頭公社を民営化し、平成 20 年 4 月、東京港埠頭株式会社として業務を開始した。

平成 20 年 3 月、東京都、川崎市、横浜市は、アジア諸港の躍進により、日本港湾の国際的地位が低下していく中、積極的な対策を講じなければ、京浜三港が世界の基幹航路から外れ、我が国経済に与える影響は極めて深刻であるとの危機感を共有し、東京湾の国際競争力を強化するため、一層の連携を推進することとし、基本合意書を締結し、コンテナ船入港料の一元化や三港共同セミナ

一など、様々な取組を実施した。

同年 7 月、東京都港湾審議会は、第 7 次改訂港湾計画策定後の東京港を取り巻く状況の変化を踏まえ、港湾物流を中心に、東京港の今後の経営戦略の方向性を明らかにし、港湾計画を策定するための指針となるよう、既存埠頭を含めたコンテナ埠頭等の充実・強化、臨海部全体の交通ネットワークの充実・強化、今後の港湾経営戦略の展開についての提言を「東京港の今後の港湾経営戦略」として答申した。この答申を受け、海事関係者や関係行政機関と調整を図り、「東京港港湾計画の一部変更（案）」をとりまとめ、東京都港湾審議会の議を経て、平成 21 年 8 月、公示を行った。

平成 21 年 2 月、東京港振興促進協議会は、国際物流動向の変化やコンテナ船の大型化、京浜三港における広域連携の推進、地球温暖化問題への対応など、東京港を取り巻く状況の著しい変化を踏まえ、東京港の振興を促進していくため、今後の取組目標を明らかにし、その実現に向けた関係者の努力を引き出していく指針となる「第 3 次アクションプラン」を策定した。

また、同年 12 月には、京浜三港の連携体制を強化するため、三つの地方自治体の議会の議決を経た上で、地方自治法に定める協議会である「京浜港連携協議会」を設立するとともに、東京港埠頭株式会社と横浜港埠頭公社の連携により、ユーザーサービスの向上と経営の効率化を図るため、「京浜港事業提携委員会」を設置した。京浜港連携協議会において、今後の京浜港が進むべき方向性について検討を進め、平成 22 年 2 月に「京浜港共同ビジョン」を策定した。

平成 22 年 2 月、国土交通省は、日本のコンテナ港湾が釜山港等アジア諸国の港湾との国際的な競争がますます激化するなか、更なる「選択」と「集中」により国際競争力を強化するため、「国際コンテナ戦略港湾」としての選定を希望する港湾を募集した。同年 3 月、東京都は、川崎市、横浜市、東京港埠頭株式会社、財団法人横浜港埠頭公社と連名で京浜港として「国際コンテナ戦略港湾」に応募し、同年 8 月に選定を受けた。

平成 23 年 3 月、東北地方太平洋沖地震が発生し、4 月から 9 月まで、被災地支援の一環として救援物資等の搬出入のため東京港と被災地の港湾との間を航行する船舶に対し、東京港における入港料及び係留施設使用料の免除を実施した。また、震災による東京港と被災地を結ぶ内航フィーダー航路の休止に伴い、船舶輸送から陸上輸送に変更を余儀なくされた荷主に対し、陸上輸送にかかる費用の一部補助も実施した。さらに、内航フィーダー航路再開後の航路運航事業者に対し、航路の早期再開・運航の安定化を図るため、輸送に係る費用の一部補助を行った。一方、震災による福島第一原子力発電所の事故に伴う東京港に対する風評被害対策として、4 月から東京港の各コンテナ埠頭の大気中の放射線量と東京港の海水中の放射能の測定を開始した。さらに、5 月から各コンテナ埠頭のゲート付近でコンテナ表面の放射線量のサンプリング調査も開始した。

同年 4 月、国は我が国の港湾の国際競争力の強化を図ることを目的に港湾法を改正し、港格の見直しを行った。従来の特定重要港湾を廃止し、国際戦略港湾と国際拠点港湾が新たに設定され、東京港は京浜港として国際戦略港湾に規

定された。

同年 9 月、京浜三港は「京浜港共同ビジョン」を具体化するとともに、今後、三港がそれぞれ策定する港湾計画の基本となる「京浜港の総合的な計画」を策定した。

平成 24 年 2 月、東京港の物流円滑化を図るとともに、東京港周辺道路の混雑緩和を目的とした東京ゲートブリッジを含む臨港道路（中央防波堤外側埋立地～江東区若洲）が供用開始された。

同年 3 月、クルーズ客船の大型化に伴うクルーズ人口の増加を背景にクルーズ客船の東京港寄港促進を図ることを目的に、クルーズ客船運航事業者や旅行会社などの業界関係者を対象に「東京港クルーズセミナー」を初めて開催し、新たなインセンティブ制度の周知や東京港周辺及び伊豆・小笠原諸島の最新の観光情報などを提供するとともに、東京港に対する要望などのヒアリングを行った。

平成 25 年 9 月、2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会が東京で行われることが決定した。

同年 11 月、高さ 60m を超える大型旅客船が就航（平成 25 年 4 月）したことから、レインボーブリッジの外側の臨海副都心に大型クルーズ客船対応の新客船埠頭を港湾計画に位置づけた。

※レインボーブリッジの桁下：N.H.H.W.L+52.0m

1-3 港湾の性格及び役割

国際戦略港湾・京浜港の一翼を担う東京港は、首都圏 4,000 万人の人口を背後に擁し、国内最多の外貿コンテナ取扱個数を誇る我が国屈指の国際貿易港である。

東京港から輸出される貨物は、産業機械や自動車部品・電気機械等の高付加価値製品が過半を占めるなど、東京港は、我が国の産業活動を支える重要なインフラである。また、食料品、衣類、日用雑貨など、首都圏に住む人々が消費する生活関連物資を迅速、安全かつ確実に調達しており、首都圏の日常生活を支える港としても、極めて重要な役割を担っている。

1-3-1 取扱貨物の現状

- ・ 平成 24 年に東京港で取り扱った貨物量は、外貿貨物 4,740 万トン(全体の 57%)、内貿貨物 3,539 万トン (43%)、合計 8,279 万トンとなっている。
- ・ 外貿貨物の約 96%は、外貿コンテナ貨物となっている。
- ・ 外貿コンテナ貨物の輸出入比率は、約 3 対 7 で輸入超過となっている。

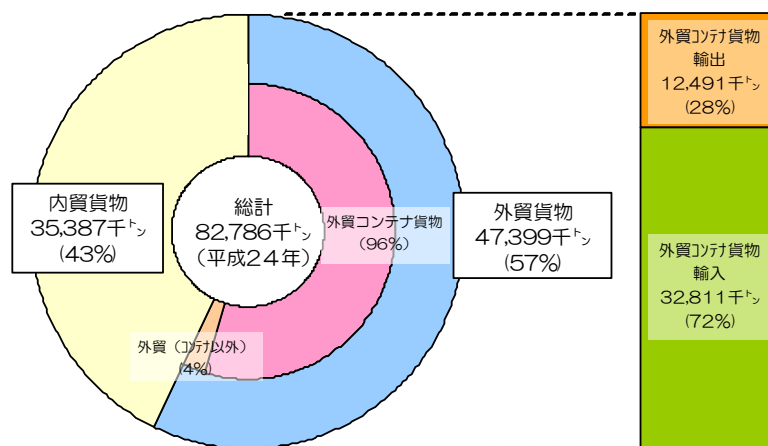


図 I - 1-2 (1) 東京港取扱貨物量の構成 (平成 24 年)

(1) 世界と結ばれた東京港

- ・ 世界の主要港とコンテナ定期航路のネットワークによって結ばれ、首都圏の生活と、日本の産業を支える重要な国際物流拠点となっている。
- ・ コンテナ貨物取扱量の約 73%がアジア貨物であり、アジア貨物の約 75%が輸入となっている。

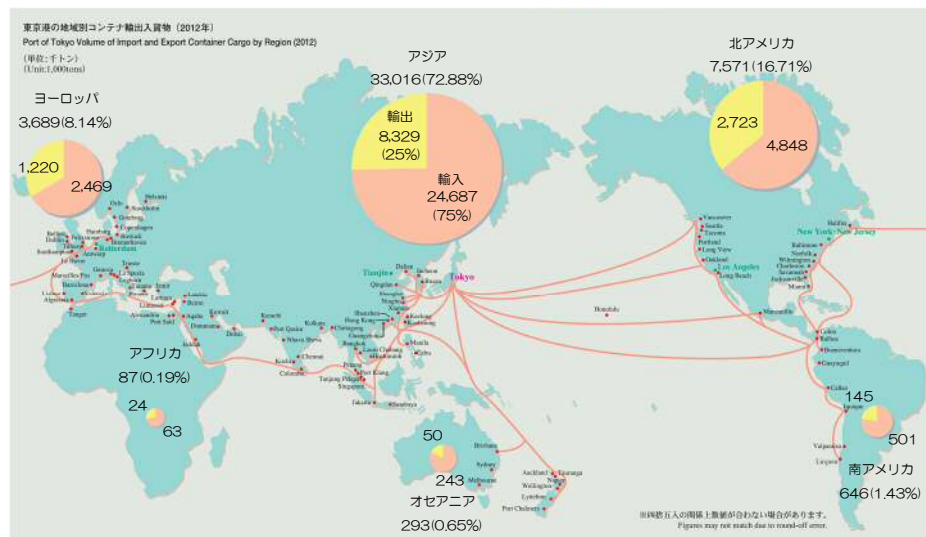


図 I - 1-2 (2) 世界とつながる東京港

(2) 外貿コンテナ貨物の現状

- ・ 外貿コンテナ貨物取扱個数は、424 万 TEU で、全国取扱個数の 20%を超え、15 年連続日本一となっている。

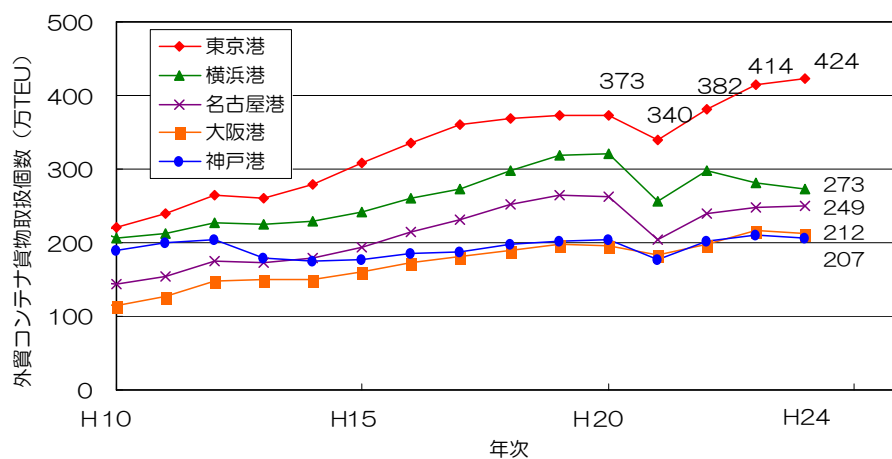


図 I - 1-2 (3) 外貿コンテナ貨物取扱個数の推移

(3) 外貿貨物の品種構成

- ・ 輸出を品種別で見ると、「再利用資材」3,215千トン（109.9%）、「金属くず」686（151.6%）などが増加し、「産業機械」1,768千トン（92.5%）、「その他化学工業品」1,377千トン（90.8%）などが減少している。
- ・ 輸入を品種別で見ると、「衣服・見廻品・はきもの」4,040千トン（103.9%）、「野菜・果物」1,708千トン（104.1%）などが増加し、「電気機械」2,886千トン（91.8%）などが減少している。

※（）内前年比
単位：千トン

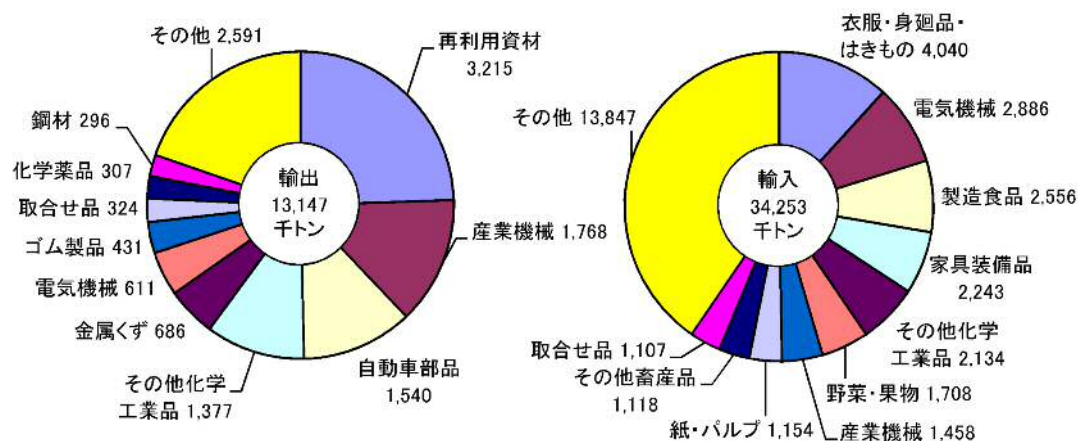


図 I - 1-2 (4) 外貿貨物の品種構成 (平成 24 年)

(4) 内貿貨物の品種構成

- ・ 移出を品種別で見ると、「紙・パルプ」236千トン（114.3%）などが増加し、「完成自動車」5,826千トン（89.9%）、「再利用資材」217千トン（94.8%）などが減少している。
- ・ 移入を品種別で見ると、「石油製品」3,192千トン（108.0%）などが増加し、「完成自動車」4,554千トン（85.8%）、「砂利・砂」4,087千トン（97.0%）などが減少している。

※（）内前年比

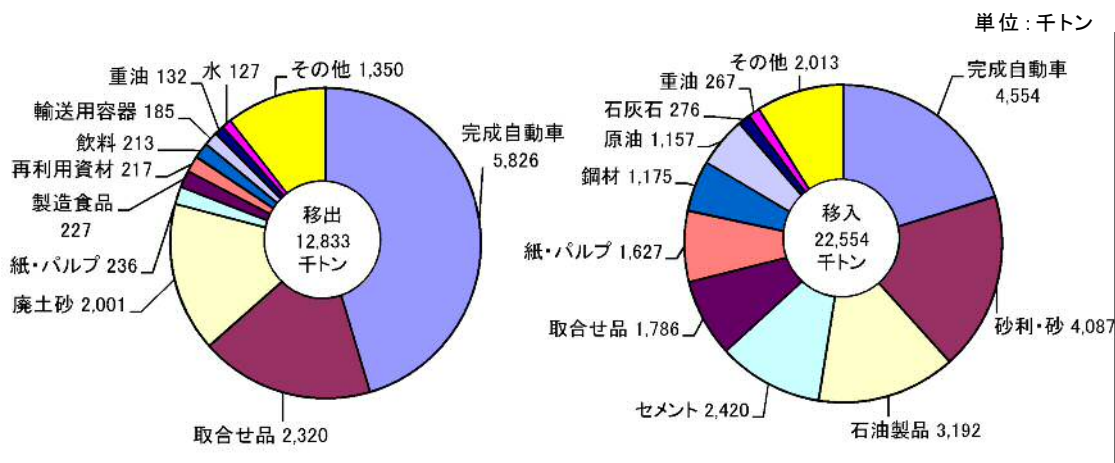


図 I - 1-2 (5) 内貿貨物の品種構成 (平成 24 年)

1-3-2 各地区の現状

東京港の地区別の現況を表 I - 1-2 に示す。

表 I - 1-2 (1) 東京港の地区別現況

地区名		施設現況及び取扱主要品目	主な利用状況
内港地区	芝浦ふ頭	○主要施設(公共埠頭) -5.5~-7.5m×7B、-2.7m ○主要取扱貨物 紙、パルプ、セメント、食料工業品	・都心に近い内貿雑貨。 ・小笠原諸島との定期船の、 貨物荷役を行うため利用 している。
	日の出 ふ頭	○主要施設(公共埠頭) -6.7m×6B ○主要取扱貨物 化学薬品、食料工業品	・東京港で最も古い埠頭。 ・主に海上バス等の発着施設 として利用されている。
	竹芝ふ頭	○主要施設(公共埠頭) -7.5m×3B ○主要取扱貨物 野菜、果物、雑貨	・伊豆七島、小笠原諸島航路 の発着地として利用され ている。
	品川ふ頭	○主要施設(公共埠頭) -8.5m×5B、-10m×2B (専用埠頭)-4.5~-8m×4B、 -7.5m×1B ○主要取扱貨物 外貿コンテナ、紙、パルプ、車 両、食料品、雑貨	・日本で最初のコンテナ埠頭で、 主にアジア域内を中心とす るコンテナ船が寄港する。 ・北海道などの定期航路に利 用されており、主に巻取紙 などが扱われている。
	晴海ふ頭	○主要施設(公共埠頭) -9~-10m×2B、-8m×3B、 -10m×2B (専用埠頭)-10m ○主要取扱貨物 外貿雑貨	・晴海ふ頭は、職住近接の都 市づくりに向けて、再開発 が進められている。 ・晴海ふ頭は、東京の海の玄 関口として客船ターミナルが整 備され、国内外の大型クル ーズ客船が寄港している。 ・月島ふ頭は、漁業基地があ り、水産物を専門に取り扱 っている。
	朝潮・ 月島ふ頭	○主要施設(公共埠頭) -3~-4.5m、-7.5m×2B、-5m ○主要取扱貨物 再利用資材、金属製品、 水産品、その他窯業品、 鉄鋼	
	豊洲ふ頭	○主要施設(公共埠頭) -4m	

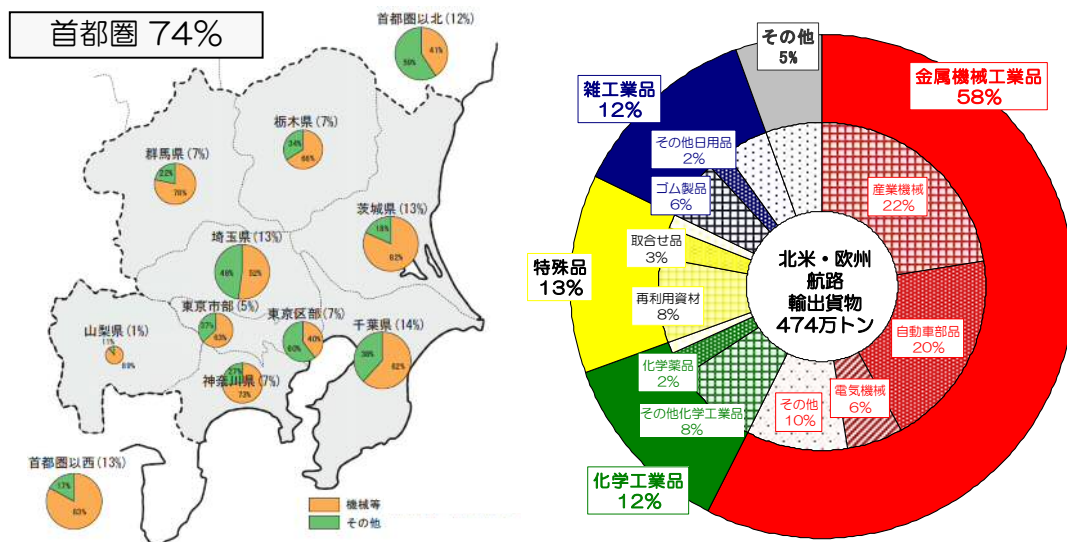
表 I - 1-2 (2) 東京港の地区別現況

地区名		施設現況及び取扱主要品目	主な利用状況
南部地区	大井ふ頭 その 1	○主要施設(公共埠頭) -15m×7B、-12m×2B、 -12m×1B、-11m×2B (専用埠頭)-8.5m×1B ○主要取扱貨物 産業機械、その他化学工業品、取合せ品 水産品、麦、野菜、果物	・首都圏における国際物流の中核基地の役割を担う日本屈指の高規格コンテナミナル。外貿コンテナ貨物の日本最大級の集積・荷さばきセンターとして発展。 ・水産物埠頭では、冷凍魚介類などの水産物を扱っている。 ・食品埠頭では、穀物などの輸入食品を扱っている。
	大井ふ頭 その 2	○主要施設(公共埠頭) -5m×4B、-7.5m×1B (専用埠頭)-5m×3B ○主要取扱貨物 砂利・砂、石灰石	・国内の砂・砂利などの建材を専門に扱っている。
中部地区	10 号地	○主要施設(公共埠頭) -7.5m×11B、-5m×13B、 -7.5～-8.5m×4B (専用埠頭)-7.5m×11B、 -8m×1B ○主要取扱貨物 紙、取合せ品、完成自動車	・東京港の主要な内貿埠頭で、RORO 船などによる内航定期航路のほか、フェリー航路が就航している。
	13 号地 (青海 ふ頭)	○主要施設(公共埠頭) -13～-15m×5B、-10m×9B、 -5m×10B ○主要取扱貨物 衣類はきものの類、金属くず、紙・パルプ	・東京港で最も新しいコンテナミナル。背後に流通センターを擁し、東京港を代表する国際複合一貫輸送基地である。 ・外貿在来埠頭では多種多様の外貿貨物を扱っている。
東部地区	12 号地	○主要施設(公共埠頭) -5m×13B ○主要取扱貨物 内貿雑貨、鉄鋼	・内貿雑貨埠頭として、鉄鋼などを扱っている。 ・離島向けの雑貨などを扱っている。
	15 号地	○主要施設(公共埠頭) -9m×2B、-12m×3B、 -5.5m×4B (専用埠頭)-5m×2B、-4～ -12m×5B、-4.5m×2B ○主要取扱貨物 砂利・砂、製材、内貿コンテナ	・建材埠頭では国内の砂・砂利などの建設資材及び製材を扱っており、木材ふ頭では輸入製材を扱っている。 ・暫定的に内貿コンテナ貨物等を扱っている。
中央防波堤地区	中央防波堤 内側	○主要施設(公共埠頭) -12m×1B、-9m×1B、 -7.5m×1B (専用埠頭)-10m×1B ○主要取扱貨物 石炭、廃土砂	・主に石炭などの貨物を扱うばら物埠頭。 ・専用埠頭では主として外貿コンテナ貨物を取り扱っている。

1-3-3 東京港の役割

(1) 首都圏の産業を支える国際貿易港

- ・ 東京港から輸出されるコンテナ貨物の74%は首都圏で生産されている。
(その他、首都圏以北では、宮城 4.7%、福島 3.4%、青森 1.3%、首都圏以西では、
静岡 6.2%、長野 3.0%、新潟 1.5%)
- ・ 輸出貨物は、産業機械や自動車部品・電気機械など、首都圏の経済を牽引する
高付加価値製品が過半を占めている。
- ・ 特に、基幹航路が就航する欧米への輸出貨物のうち、金属機械工業品・化学工
業品が70%をしめており、東京港は、首都圏の経済を支える国際貿易港として
重要な役割を果たしている。



※「機械等」とは港湾統計分類の

「金属機械工業品(自動車、電気機械等)」「化学工業品(合成樹脂、ガラス類等)」を示す。

図 I - 1-3 (1) 東京港の輸出コンテナ貨物の生産地と主要品目 (平成 20 年)

図 I - 1-3 (2) 外貿コンテナ貨物
<北米・欧州航路輸出貨物の品目分類>
(平成24年)

(2) 首都圏の旺盛な消費を支える生活関連物資の調達港

- ・ 東京港から輸入されるコンテナ貨物の 92%が首都圏で消費されている。
(その他、首都圏以北では、福島 2.2%、宮城 1.3%、首都圏以西では、新潟 1.0%、静岡 0.9%)
- ・ 輸入貨物の約 75%を占める東南アジア航路や中国航路などの近海航路では、衣類、家具装飾品・食品など、首都圏に住む人々が消費する生活関連物資を調達することにより日常生活を支える港として極めて重要な役割を担っている。

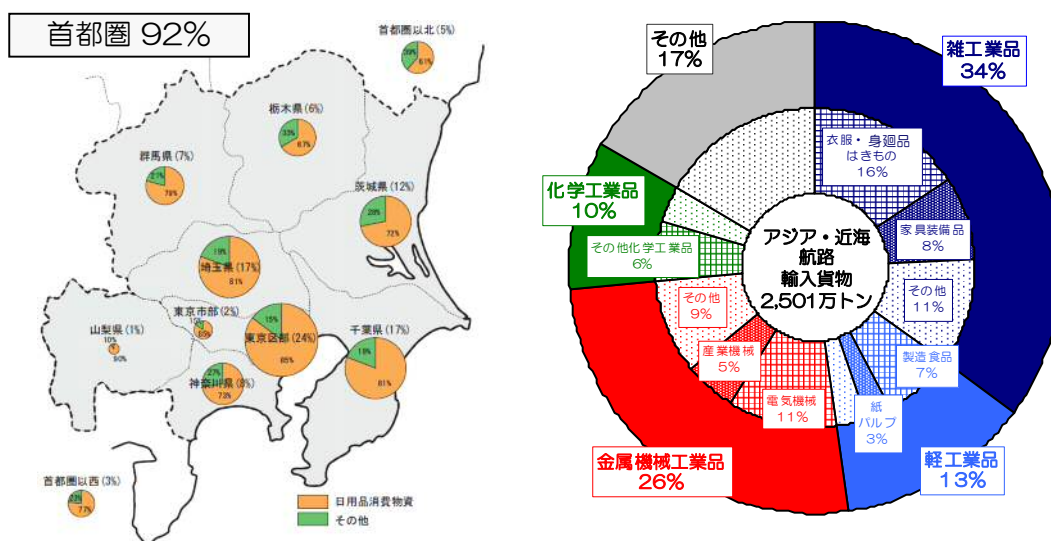


図 I - 1-3 (4) 東京港の輸入
コンテナ貨物 (平成20年)

図 I - 1-3 (3) 外貿コンテナ貨物
< 東南アジア・韓国・中国航路輸入貨物
の品目分類 > (平成24年)

(3) 京浜港における東京港の担う機能等

- ・ 既存の基幹航路ネットワーク受入対応施設を活用しながら、今後も基幹航路と近海航路等の拠点機能を担う。
- ・ 世界的な大消費地である首都圏へ生活関連物資等の流通を支える商業港として、質・量ともに高い港湾物流機能を担う。
- ・ 豊富な道路ネットワークにより、主に東北・北関東方面に対する商業港としての機能を受け持つ。
- ・ 臨海部に集積した倉庫群を活用し、航空貨物のニーズも視野に入れた高機能な物流拠点としての機能を担う。
- ・ 完成自動車の国内輸送拠点の一翼を担う。

1-3-4 港湾周辺の交通網

(1) 幹線道路網

東京臨海部の道路網は、臨海部に沿って東西方向に埋立地を横断する東京湾岸道路を軸として放射道路や環状道路と接続されており、広域的な交通に対応している。



資料：東京港ハンドブック2014

図 I - 1-4 (1) 東京港周辺の幹線道路網

(2) 臨海部の道路交通網

東京臨海部には、臨港道路を含む一般道が埠頭相互を密接に結ぶとともに、高速道路網と合わせて東京港と背後圏各地域とを連絡している。

平成24年2月には、東京港臨港道路（大田区城南島～江東区若洲を結ぶ全長8kmの臨港道路）が全線開通した。さらに、南北道路軸の強化を目的として10号地その2埋立地と中央防波堤内側埋立地を結ぶ臨港道路南北線の整備が計画されており、都市交通及び港湾関連交通の更なる円滑化、効率化が図られている。



凡 例	
—	首都高速道路（既存）
—	一般道路（既存）
●●●●	首都高速道路（工事中または構想）
—	一般道路（工事中または計画）

図 I - 1-4 (2) 東京臨海部の道路交通網

(3) 臨海部の鉄軌道系輸送網

東京臨海部では、東京臨海新交通臨海線（ゆりかもめ）、東京臨海高速鉄道りんかい線、都営地下鉄大江戸線、東京メトロ有楽町線、東京モノレール、JR京葉線等の鉄道が開業しており、東京港の内港地区及び中部地区の埠頭相互及び背後地域とを結ぶ旅客輸送機関として重要な役割を果たしている。



図 I - 1-4 (3) 東京臨海部の鉄軌道系輸送網

1-3-5 背後地域の状況

(1) 背後圏

- ・ 首都圏のうち1都7県（東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県）を、東京港の主な背後圏として想定する。

(2) 人口動向

- ・ 背後圏の人口は、平成13（2001）年以降、全国の年平均伸び率（年0.1％）を上回る増加傾向（年0.5％）で推移し、平成22（2010）年時点で約4,300万人となり、全国人口に占める背後圏人口は、約33％となっている。
- ・ 東京港を擁する東京都の人口は、過去10年間（平成13年～平成22年）で9％程度増加しており、背後圏で最も増加傾向にある。

(3) 産業動向

①就業構造

- ・ 平成12年に2,050万人であった背後圏の就業人口は、その後減少傾向で推移し、平成22年時点では、1,990万人となっている。
- ・ 産業別に見ると、平成12年以降、第一次産業・第二次産業ともに年平均伸び率が約3％の減少傾向が続いている。
- ・ また、第三次産業は平成17年までは年平均0.5％の増加傾向にあり、就業人口は1,431万人、全就業者の71％を占めるに至っていたが、平成22年には約1,373万人に減少し、年平均伸び率も約1％の減少傾向に転じている。

②工業

- ・ 背後圏の製造品出荷額等は、平成13年以降、80～90兆円で推移していたものの、平成21年には、リーマンショックの影響もあり、70兆円程度まで減少している。その後は、回復基調にあり、平成22年には、80兆円弱まで増加している。
- ・ 都県別に見ると、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県では、リーマンショック前までは増加傾向で推移しており、特に千葉県では、平成13～平成20年までで40％程度増加している。
- ・ 東京都では、過去10年減少傾向、神奈川県では、概ね横ばい傾向での推移となっている。

2. 港湾への要請

2-1 首都圏の産業と生活を支える東京港

(1) コンテナターミナルの施設能力を超える貨物の集中

- ・ 首都圏の旺盛な消費需要により、コンテナターミナルの施設能力試算値（国総研モデル）を上回るコンテナ貨物を取り扱っており、コンテナ貨物の搬出入のピーク時には、一部のターミナル周辺に交通混雑が発生している。
- ・ これらの外部不経済を解消する抜本的な対策として、施設能力を拡充する必要がある。

(2) コンテナ船の大型化

- ・ コンテナ船の大型化が進展し、10万 DWT 級超（概ね 8,000TEU 以上）のコンテナ船が欧州航路において主流となる情勢であり、我が国に寄港する欧州航路や北米航路、南米航路、東南アジア航路においても船舶の大型化が予想され対応が求められている。

(3) ロジスティクス機能の強化

- ・ 東京港周辺エリアにおいては、バン・シャーシープール、車両待機場や、高度なロジスティクス機能を備えた物流拠点の形成が求められるなか、既存の老朽化した施設では、荷さばき転回スペースの確保等の現在の物流ニーズに対応できない状況も発生している。
- ・ 今後も増加する輸入貨物への対応として、大消費地を背後に控え、陸・海・空の物流結節点である東京臨海部において、高機能物流拠点の形成が必要である。

(4) 内航海運におけるユニット化の進展等

- ・ 貨物のユニット化などの進展及び RORO 船・フェリーの大型化（積載量 1.5 倍）等により、内貿ユニットロード内で扱う貨物が増加し、移出入貨物を取り扱うための荷捌き用地などが必要となっている。
- ・ また、船舶の大型化については、東京港を利用しているオーシャントランス社が、経営方針において船舶リプレースについて言及しており、フェリーを現状の 11,500GT から 16,000GT へ大型化する意向を示している。

※既定計画（10号地その2 V A2:水深 8.5m 延長 270m 工事中）

(5) 在来埠頭の利用低下

- ・ 貨物のコンテナ化、ユニット化の進展に伴い、木材や水産物等を取り扱う在来埠頭では係船利用が低下している。
- ・ 限られた空間を効果的・効率的に利用していくためには、利用の低下した在来埠頭の利用転換が必要となっている。

2-2 臨海地域の持つ魅力と潜在能力

2-2-1 臨海地域の魅力あるみなと・まちづくり

(1) 臨海副都心

- ・ 臨海副都心は、平成 24 年には年間 5 千万人を超える人々が訪れるなど、「職・住・学・遊の バランスの取れた複合的なまち」として発展を続けている。
- ・ 今後開発予定の青海地区北側を中心に、世界的にもトップレベルの M I C E ・国際観光機能を整備し、東京と日本の経済を牽引する国際戦略拠点となるよう開発を着実に進めていく必要がある。

※ MICE : Meeting、Incentive Travel、Convention、Event/Exhibition の総称

(2) 豊洲・晴海地区

- ・ 豊洲・晴海地区は、活力ある複合市街地の形成を目指し、「豊洲・晴海開発整備計画」に基づき、業務・商業、居住などの都市的な土地利用への転換の取組が進められている。
- ・ 豊洲地区では、市場とその賑わい施設を中心とした食の提供などにより、世界の人々や都民に開かれた文化と交流のまちを形成することが求められている。

(3) 美しいみなとの形成にむけて

- ・ 首都圏の玄関口である東京港の港口に位置する「中央防波堤地区」は、「東京港第 7 次改訂港湾計画」において、『良好な景観を形成する区域』として定められ、良好な港湾景観を形成していくことが求められている。

※既定計画（中央防波堤地区：東京港景観ガイドライン）

- ・ 東京ベイエリアの魅力を高めるため、ベイエリア内で主要なネットワークを形成する臨港道路についても電線類地中化などによる景観向上が必要となっている。

(4) 新たなクルーズ振興

- ・ 近年、世界のクルーズ市場では、船舶の大型化、クルーズの大衆化という大きな傾向がある。特に、晴海客船ふ頭手前のレインボーブリッジ（海面からの高さ 52m）の下を通過できず、同ふ頭を利用できない大型クルーズ客船が近年増加していることから、H25 年 11 月、臨海副都心に大型クルーズ客船に対応可能な新客船埠頭を計画に位置づけた。

※既定計画（13 号地 A P 1 : 水深 11.5m 延長 430m）

- ・ 東京港が「首都の玄関口」として、国内外からさらに多くの来訪者を呼び込み、大きな経済効果を取り込むとともに、臨海副都心の M I C E ・国際観光拠点化を推進するため、クルーズ客船の積極的な誘致施策が必要である。

2-2-2 海上交通ネットワーク

- ・ 海上バス等は、海上の公共交通機関として、平成 8 年 4 月 1 日から、都心に近い日の出頭を基点に、お台場海浜公園、東京ビッグサイト等を結んで海上交通のネットワークを形成している。
- ・ 観光と日常の足の両面から東京の魅力を高めるため、海上交通ネットワークの充実が必要である。

2-3 都市環境の変化と東京港の環境整備

2-3-1 都市環境の変化・生活と産業が近接した東京港

- ・ 港湾施設の沖合い展開に伴い、かつての主力埠頭でありその時代のニーズに合った生活や産業が営まれていた内港地区等では都市開発が進展し、昼間・夜間人口が急増。
- ・ このため、多様な人々が住み・働く、生活と産業が近接したエリアとして人とみなと、都市機能と港湾機能とが調和・結合したエリアマネジメントが求められている。

2-3-2 東京港の環境整備の状況

(1) 緑地の整備状況と今後の課題

- ・ 臨海部に存在する緑は都民・港湾利用者の憩いの場、また、自然環境を保全・再生し、様々な生物の生息環境の場として重要な環境資源となっている。
- ・ しかし、過去に整備された公園は「緑の量の確保」や「緩衝緑地」として位置づけられていた。
- ・ 時代のニーズに合わせた「緑の質の向上」が求められているため、立地エリアに応じた公園・緑地整備が必要となっている。

(2) 防護・環境・利用の調和の取れた海岸保全

- ・ 平成 11 年の海岸法一部改正により、これまでの「防護」に「環境」「利用」が加えられ、これら調和するように海岸の保全を推進することとなった。
- ・ 引き続き、防潮堤・内部護岸の整備・改修と併せて、より多くの都民や来訪者が水辺に親しめる魅力的な空間の形成が必要である。

(3) 都市環境問題への対応

- ・ 過密化した 23 区の内陸部に廃棄物処分場を確保することは困難であることから、東京の都市機能の維持・発展に不可欠な新海面処分場を着実に整備するとともに、現在の処分場を長期に渡って使用することが求められている。
- ・ 京都議定書、環境確保条例の CO2 排出量の削減義務への対応、水環境改善に向けた海域における環境対策の推進が求められている。

2-4 「スポーツ都市東京」に寄与する臨海地区

2-4-1 臨海地区におけるスポーツ環境

- ・ 臨海地区においては、有明コロシアムを中心とする有明テニスの森公園や東京辰巳国際水泳場、お台場ランニングコースなどのスポーツ施設が整備されている。
- ・ 今後も臨海副都心の発展に合わせてスポーツ施設を充実させることで、一大クラスターを形成し、「スポーツ都市東京」の実現に役立てていくことが求められている。

2-5 東京港の防災対策

2-5-1 港湾施設の地震対策

- ・ 災害発生時における被災者の避難や緊急救援物資の輸送を行う耐震強化岸壁を整備するとともに、災害時においても首都圏の経済活動を停滞させないように、コンテナ埠頭の耐震強化の推進が必要である。
- ・ 合わせて、緊急物資等の「保管・荷捌き」用として、各耐震強化岸壁の背後に、海上公園を基本としたオープンスペースの確保が必要である。

2-5-2 地震・津波・高潮対策

- ・ 東京港の防災対策は、伊勢湾台風による高潮被害や関東大震災等を教訓に、これまで、海岸保全施設の整備を着実に進め、近年においては、大きな被害が発生していない。
- ・ しかし、平成 23 年の東日本大震災を踏まえ、東京都防災会議が、これまでの被害想定を見直したことを受け、平成 24 年 12 月に見直しを行った、海岸保全施設の整備計画に基づき、耐震性のさらなる強化に取り組むことが必要である。

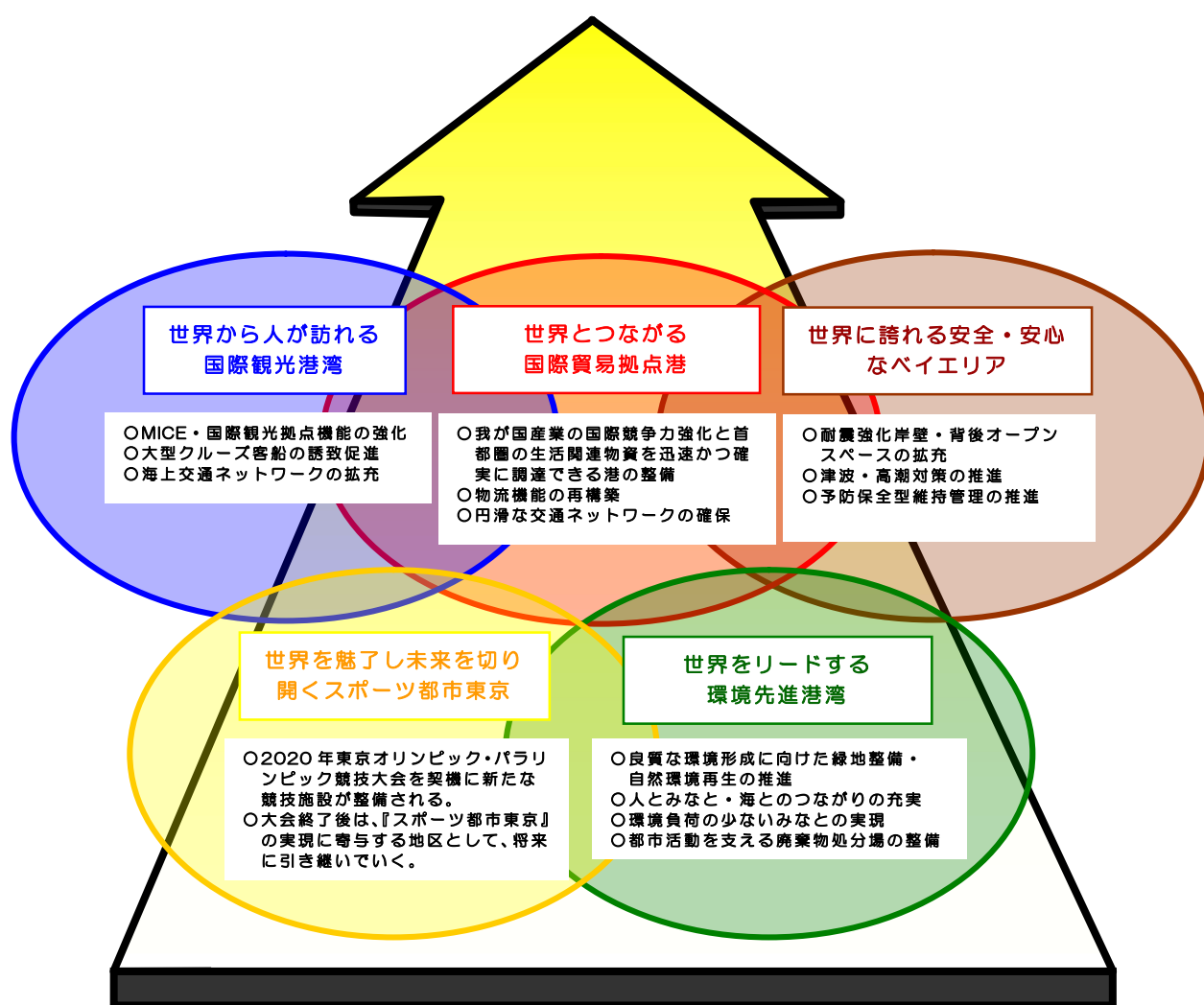
2-5-3 港湾施設の老朽化の現状

- ・ 東京港の港湾施設の多くが昭和 40 年代の高度経済成長期に整備されたため、施設の老朽化が進行している。引き続き、既存施設を適切に管理していくために、予防保全型維持管理を推進することが必要である。

2-6 東京港の目指すべき姿

東京港第8次改訂港湾計画では、東京港の港湾機能と都市機能を有機的に結合させ「世界に誇る都市型総合港湾・東京港」を創造し、魅力ある国際港湾として東京港を世界へ発信していく。

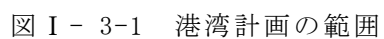
世界に誇る都市型総合港湾・東京港の創造



2-7 目標年次

- ・ 目標年次は、概ね10年後の平成30年代後半とする。

3-1 港湾計画の範囲



3-2 東京港のゾーニング

【物流機能ゾーン】

ガントリークレーンによる荷役作業など、港湾を象徴するダイナミックな活動エリアであり、港湾施設及び物流施設の利用に供するゾーン

【都市機能ゾーン】

臨海副都心や豊洲・晴海、内陸部の運河筋など、業務・商業・居住機能に加え、新たに観光・交流の機能を発信するゾーン

【環境機能ゾーン】

人や生物にやさしい環境整備を図るとともに、人とみなと・海とのつながりを再生するゾーン

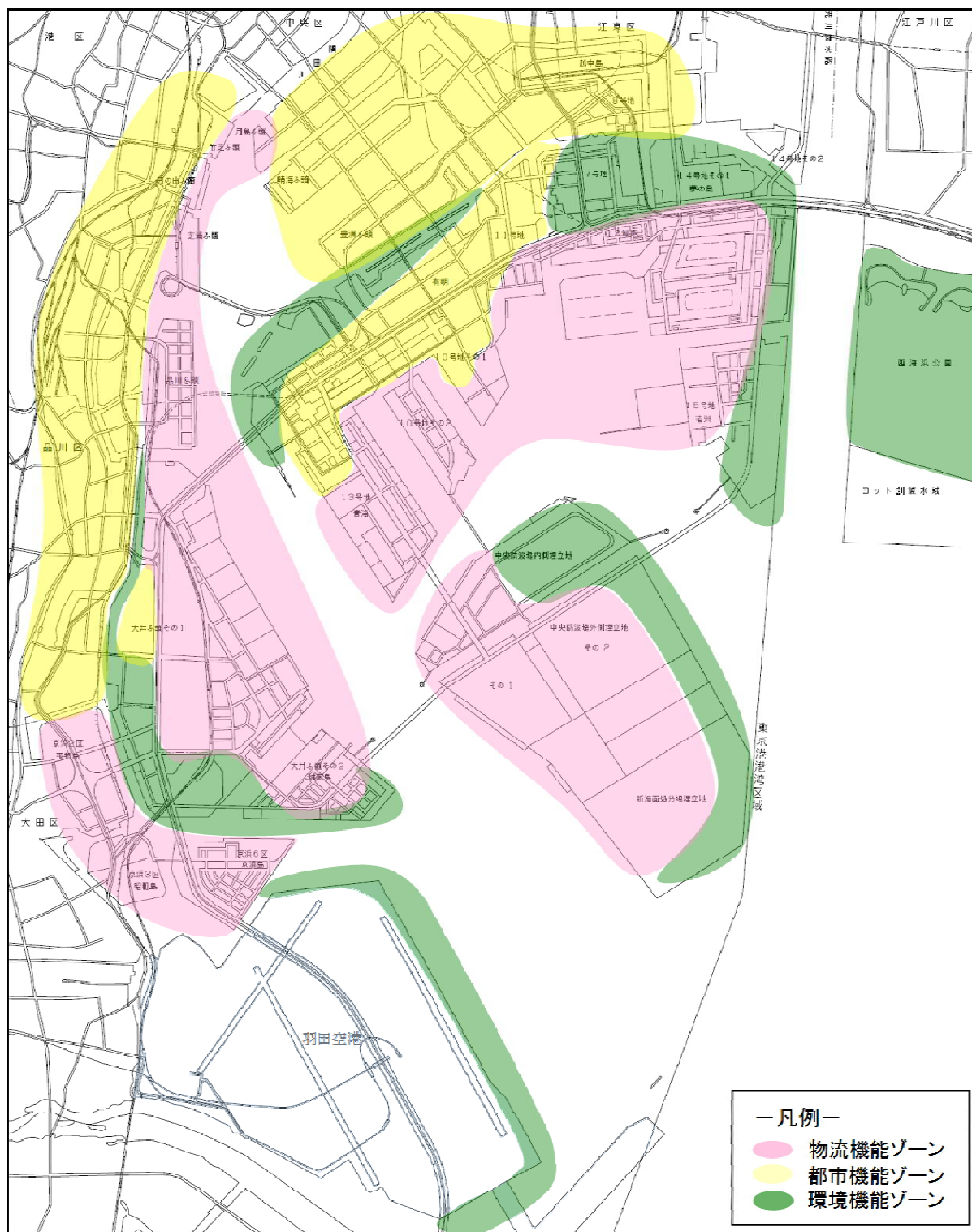


図 I - 3-2 東京港のゾーニング

II 港湾の能力に関する資料

目 次

II 港湾の能力に関する資料	II-1
1. 取扱貨物量	II-1
1-1 取扱貨物量の推移	II-1
1-2 取扱貨物量の設定	II-28
2. 入港最大標準船型	II-54
2-1 入港最大標準船型	II-54
2-2 船舶の利用状況	II-55
2-3 入港船舶隻数の推計	II-57
3. 港湾利用者数	II-60
3-1 港湾利用者数の設定の方針	II-60
3-2 港湾利用者数の設定	II-61

II 港湾の能力に関する資料

1. 取扱貨物量

港湾取扱貨物量実績の統計は平成 24 年まで整理されているが、目標年次における貨物取扱量の設定においては、各種統計データの揃う平成 22 年までの実績値を用いることとした。

1-1 取扱貨物量の推移

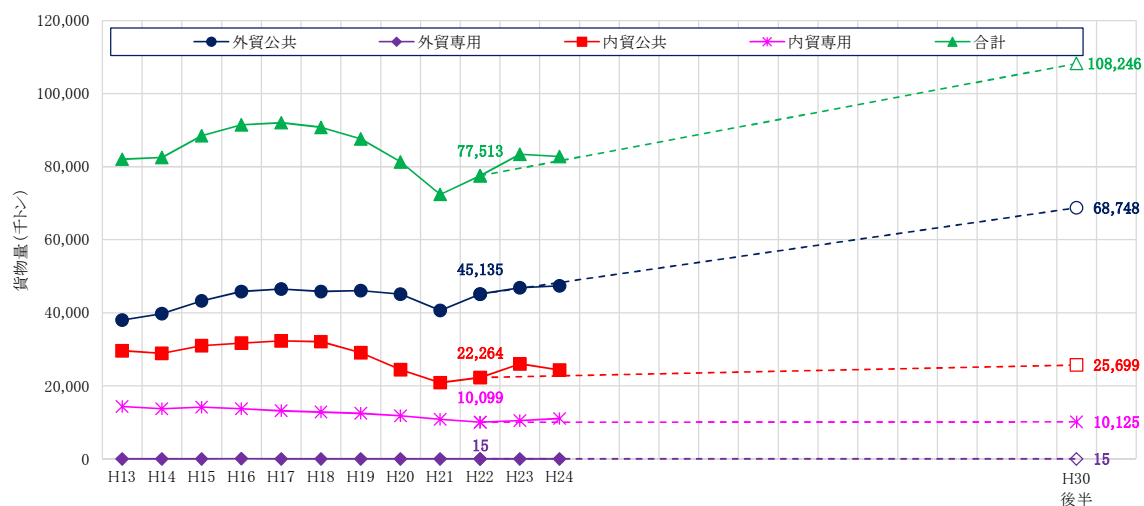
1-1-1 外内別・公専別取扱量の推移

外内別・公専別の取扱量の過去 10 年間の推移は、次のとおりである。
なお、推計値の算出方法は【1-2 取扱貨物量の設定】を参照

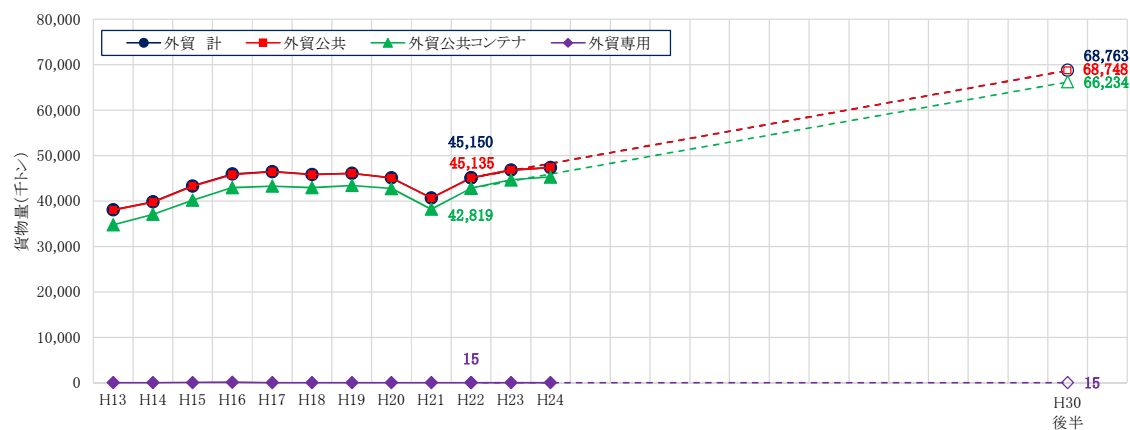
表 II - 1-1 外内別・公専別取扱量の推移

外内別	種別	実績値										実績値(参考)		推計値
		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H30代後半
外貿	公共	38,028	39,784	43,281	45,841	46,477	45,835	46,101	45,110	40,677	45,135	46,833	47,394	68,748
	コンテナ	34,746	37,111	40,189	42,972	43,281	42,987	43,421	42,782	38,228	42,819	44,695	45,302	66,234
	在来	3,282	2,673	3,092	2,869	3,197	2,848	2,680	2,328	2,449	2,316	2,138	2,091	2,513
	専用	36	26	48	113	32	23	10	9	7	15	8	6	15
内貿	公共	29,613	28,957	30,979	31,691	32,329	32,120	29,042	24,415	20,870	22,264	26,041	24,340	29,359
	ユニット	5,877	6,382	7,697	8,761	9,499	9,420	10,865	9,470	8,880	8,638	9,692	9,865	12,389
	在来	7,401	6,912	6,740	6,455	6,701	6,462	6,828	6,387	4,776	5,446	5,759	5,528	6,254
	国際フィーダー	435	468	477	576	448	538	715	1,187	983	1,123	1,100	1,168	3,659
	内航フェリー	15,900	15,195	16,066	15,899	15,681	15,699	10,634	7,370	6,231	7,057	9,491	7,779	7,057
合計	専用	14,358	13,753	14,161	13,770	13,190	12,833	12,475	11,820	10,859	10,099	10,512	11,047	10,125
	外貿	82,035	82,520	88,469	91,415	92,028	90,811	87,628	81,354	72,413	77,513	83,395	82,786	108,246
	内貿	38,064	39,810	43,329	45,954	46,509	45,858	46,112	45,119	40,684	45,150	46,841	47,399	68,763
		43,971	42,710	45,139	45,461	45,519	44,953	41,517	36,235	31,729	32,363	36,553	35,387	39,484

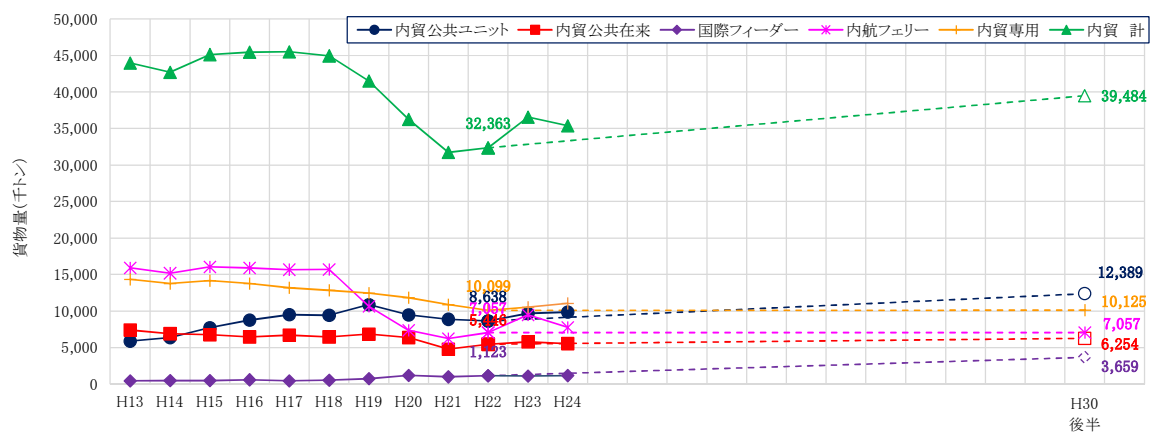
※後述する貨物量推計においては、内貿公共貨物量をユニット貨物と在来貨物の合計値として定義し、国際フィーダー貨物量と内航フェリー貨物量は別枠推計を行っている。



図Ⅱ- 1-1 取扱貨物量の推移



図Ⅱ- 1-2 取扱貨物量の推移（外貿）



図Ⅱ- 1-3 取扱貨物量の推移（内貿）

1-1-2 外貿貨物取扱量の推移

(1) 外貿貨物の品目別取扱量の推移

外貿貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

表Ⅱ- 1-2 外貿貨物の品目別取扱量の推移

品目		出入	実績値										実績値(参考)		推計値
			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	(H30代後半)
農水産品	米穀類	輸出	53	29	21	36	25	44	61	2	2	3	2	2	4
	輸入	815	727	1,215	1,343	1,131	821	955	517	493	454	414	386	476	
	計	867	756	1,236	1,379	1,156	866	1,016	520	495	458	416	388	480	
	野菜・果物	輸出	65	93	64	100	85	95	92	38	30	24	20	13	28
	輸入	1,181	1,232	1,573	1,651	1,714	1,547	1,603	1,484	1,522	1,570	1,641	1,708	1,685	
	計	1,246	1,324	1,636	1,751	1,799	1,642	1,696	1,521	1,552	1,595	1,662	1,721	1,713	
	水産品	輸出	164	508	554	486	367	391	335	147	158	146	130	152	166
	輸入	1,245	1,901	1,623	1,625	1,315	1,134	968	982	840	897	946	974	1,115	
	計	1,409	2,409	2,177	2,111	1,682	1,525	1,303	1,129	998	1,042	1,076	1,126	1,281	
	その他	輸出	123	251	180	287	233	221	227	52	59	51	40	46	67
輸入	1,657	1,446	1,724	1,785	1,802	1,465	1,313	1,177	1,014	1,178	1,277	1,335	1,379		
計	1,780	1,697	1,904	2,072	2,035	1,686	1,540	1,229	1,073	1,229	1,317	1,381	1,446		
林産品	原木	輸出	14	19	4	9	10	12	5	1	1	2	1	1	2
	輸入	253	463	166	196	258	213	159	61	10	7	8	6	8	
	計	266	483	170	205	268	225	163	63	12	8	9	7	9	
	製材	輸出	77	55	87	130	116	68	74	10	12	19	10	9	21
	輸入	1,229	1,039	1,567	1,836	1,221	1,209	1,005	855	719	794	908	877	944	
	計	1,306	1,094	1,654	1,966	1,337	1,277	1,079	865	731	812	918	886	964	
	その他	輸出	75	76	81	140	169	153	196	3	1	0	1	1	0
	輸入	174	94	158	188	245	234	273	144	123	145	132	121	164	
	計	249	169	239	329	414	387	468	146	124	145	133	122	164	
	石炭	輸出	0	0	1	1	3	1	1	3	0	0	0	0	0
輸入	78	52	78	133	93	67	131	118	134	132	127	100	139		
計	78	52	79	135	96	68	133	120	134	132	127	100	139		
鉱産品	砂利・砂	輸出	2	2	3	9	17	18	13	4	2	2	2	2	2
	輸入	18	30	133	145	206	172	178	133	122	126	125	128	151	
	計	20	32	137	154	223	190	191	137	123	128	126	130	153	
	原油	輸出	1	0	0	0	1	1	3	0	0				
	輸入	1		1	1	0	1	2	2	1	3	3	2	3	
	計	2	0	1	1	1	2	5	2	1	3	3	2	3	
	その他	輸出	32	9	4	5	3	6	4	7	7	8	8	9	9
	輸入	183	99	67	82	167	60	94	145	113	211	214	210	230	
	計	215	108	72	86	169	67	97	152	120	219	221	219	239	
	鉄鋼	輸出	90	74	69	74	67	92	102	220	213	297	287	316	867
輸入	195	99	75	84	158	170	179	234	183	200	241	218	265		
計	285	173	143	159	225	262	281	454	396	496	528	534	1,132		
金属機械	非鉄金属	輸出	196	194	193	208	222	368	419	387	331	366	385	360	437
	金属類	輸出	307	379	392	492	520	622	724	1,137	899	1,065	1,168	1,155	2,335
	計	504	573	585	700	742	990	1,143	1,524	1,230	1,431	1,553	1,515	2,772	
	輸送機械 (フェリー除)	輸出	1,647	1,734	2,235	2,141	2,164	1,978	1,940	1,995	1,335	1,755	1,727	1,778	4,042
	輸入	764	587	791	851	772	809	721	997	749	975	964	1,038	1,135	
	計	2,411	2,321	3,026	2,992	2,936	2,787	2,661	2,992	2,084	2,730	2,690	2,816	5,177	
	その他	輸出	5,285	3,112	3,366	3,658	3,845	3,808	3,575	3,307	2,043	2,680	2,799	2,620	3,762
	輸入	2,449	1,807	2,323	3,106	3,248	3,360	3,354	4,545	3,870	4,687	5,091	4,823	7,368	
	計	7,734	4,920	5,689	6,764	7,093	7,168	6,929	7,852	5,913	7,367	7,890	7,443	11,130	
	石油類	輸出	32	17	19	17	22	28	25	11	18	24	20	20	27
輸入	22	12	14	31	44	62	38	24	18	23	24	25	28		
計	54	29	33	48	66	90	62	35	36	47	44	45	55		
化学工業品	セメント	輸出	1	1	1	0	6	11	0	4	5	4	5	6	6
	輸入	1	2	2	2	0	2	2	9	5	5	7	7	10	
	計	1	3	3	2	6	14	2	13	11	10	12	13	16	
	その他	輸出	1,702	2,074	2,112	2,386	2,357	2,038	2,171	1,813	2,240	2,328	1,998	1,819	2,870
	輸入	1,454	1,188	1,439	1,862	2,082	2,193	2,326	3,022	2,514	2,974	3,361	3,338	4,705	
	計	3,156	3,262	3,551	4,247	4,438	4,231	4,497	4,835	4,754	5,303	5,359	5,157	7,575	
	紙・パルプ	輸出	566	613	734	721	841	713	592	274	165	197	136	177	312
	輸入	958	1,042	1,081	990	779	715	789	845	1,024	1,039	1,147	1,154	1,162	
	計	1,523	1,655	1,815	1,711	1,620	1,428	1,381	1,119	1,189	1,236	1,283	1,331	1,474	
	砂糖	輸出	4	2	1	4	2	2	10	1	1	1	2	1	1
輸入	254	98	83	98	92	63	84	45	40	41	38	41	52		
計	258	101	84	102	94	65	94	46	41	42	41	42	53		
雑工業品	その他	輸出	537	459	426	673	654	741	894	318	309	345	310	289	392
	輸入	2,185	1,826	1,942	2,169	2,541	3,059	2,915	3,625	3,302	3,639	4,043	4,163	5,481	
	計	2,722	2,285	2,367	2,841	3,195	3,800	3,809	3,943	3,611	3,983	4,353	4,452	5,872	
	輸出	2,368	2,191	2,429	2,674	2,851	2,939	3,250	1,303	1,020	1,227	1,265	1,104	1,528	
	輸入	4,752	4,165	4,767	4,678	4,948	5,932	6,505	8,469	8,454	8,772	9,216	9,463	13,665	
	計	7,120	6,357	7,197	7,353	7,798	8,871	9,756	9,773	9,474	9,999	10,481	10,567	15,193	
	金属くず	輸出	774	782	1,105	948	1,026	586	712	500	681	630	453	686	686
	輸入	113	59	55	49	26	36	43	65	34	43	43	38	74	
	計	887	841	1,160	997	1,052	622	755	565	715	673	495	725	759	
	廃棄物(廃土砂)	輸出	4	6	6	2	9	2	3						
輸入	4		0	0	0	0	0	0							
計	4	6	6	3	9	2	4								
特殊品	取合せ品	輸出	1,047	3,417	3,185	3,178	3,042	2,091	1,941	698	206	312	242	324	794
	輸入	2,476	5,129	4,585	3,835	3,969	3,850	3,473	1,154	941	1,108	1,109	1,107	1,313	
	計	3,522	8,546	7,770	7,014	7,011	5,941	5,415	1,852	1,147	1,420	1,351	1,430	2,107	
	輸出	198	290	318	494	583	1,085	990	2,583	3,296	3,154	3,112	3,410	6,132	
	輸入	247	324	279	340	461	572	641	1,650	1,423	1,488	1,642	1,835	2,723	
	計	444	615	597	834	1,044	1,657	1,631	4,233	4,719	4,642	4,754	5,246	8,855	
	分類不能のもの	輸出													
	輸入														
	計														
	合 計	輸出	15,055	16,009	17,198	18,382	18,717	17,492	17,636	13,679	12,135	13,575	12,954	13,147	22,156
輸入		23,009	23,801	26,131	27,572	27,792	28,366	28,476	31,440	28,550	31,575	33,888	34,253	46,607	
計		38,064	39,810	43,329	45,954	46,509	45,858	46,112	45,119	40,684	45,150	46,841	47,399	68,763	

(2) 外貿公共貨物の品目別取扱量の推移

外貿公共貨物の品目別取扱量の過去 10 年の推移は、次のとおりである。

なお、外貿公共貨物の推計値の算出については、1-2-2 (1) 外貿公共貨物取扱量の設定（Ⅱ-33～Ⅱ-35）参照。

表Ⅱ- 1-3 外貿公共貨物の品目別取扱量の推移

品目		出入	実績値										実績値(参考)		推計値		(単位:千トン)
			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	(H30代後半)		
農水産品	米穀類	輸出	53	29	21	36	25	44	61	2	2	3	2	2	4		
		輸入	815	727	1,215	1,343	1,131	821	955	517	493	454	414	386	476		
		計	867	756	1,236	1,379	1,156	866	1,016	520	495	458	416	388	480		
	野菜・果物	輸出	65	93	64	100	85	95	92	38	30	24	20	13	28		
		輸入	1,181	1,232	1,573	1,579	1,714	1,547	1,603	1,484	1,522	1,570	1,641	1,708	1,685		
		計	1,246	1,324	1,636	1,680	1,799	1,642	1,696	1,521	1,552	1,595	1,662	1,721	1,713		
	水産品	輸出	164	508	554	486	367	391	335	147	158	146	130	152	166		
		輸入	1,245	1,901	1,623	1,625	1,315	1,134	968	982	840	897	946	974	1,115		
		計	1,409	2,409	2,177	2,111	1,682	1,525	1,303	1,129	998	1,042	1,076	1,126	1,281		
	その他	輸出	123	251	180	287	233	221	227	52	59	51	40	46	67		
輸入		1,657	1,446	1,724	1,785	1,802	1,465	1,313	1,177	1,014	1,178	1,277	1,335	1,379			
計		1,780	1,697	1,904	2,072	2,035	1,686	1,540	1,229	1,073	1,229	1,317	1,381	1,446			
林産品	原木	輸出	14	19	4	9	10	12	5	1	1	2	1	1	2		
		輸入	253	463	166	196	258	213	159	61	10	7	8	6	8		
		計	266	483	170	205	268	225	163	63	12	8	9	7	9		
	製材	輸出	77	55	87	130	116	68	74	10	12	19	10	9	21		
		輸入	1,229	1,039	1,567	1,836	1,221	1,209	1,005	855	719	794	908	877	944		
		計	1,306	1,094	1,654	1,966	1,337	1,277	1,079	865	731	812	918	886	964		
	その他	輸出	75	76	81	140	169	153	196	3	1	0	1	1	0		
		輸入	174	94	158	188	245	234	273	144	123	145	132	121	164		
		計	249	169	239	329	414	387	468	146	124	145	133	122	164		
	鉱産品	石炭	輸出	0	0	1	1	3	1	1	3	0	0	0	0	0	
輸入			78	52	78	133	93	67	131	118	134	132	127	100	139		
計			78	52	79	135	96	68	133	120	134	132	127	100	139		
砂利・砂		輸出	2	2	3	9	17	18	13	4	2	2	2	2	2		
		輸入	18	30	133	145	206	172	178	133	122	126	125	128	151		
		計	20	32	137	154	223	190	191	137	123	128	126	130	153		
原油		輸出	1	0	0	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0		
		輸入	1		1	1	0	1	2	2	1	3	3	2	3		
		計	2	0	1	1	1	2	5	2	1	3	3	2	3		
その他		輸出	32	9	4	5	3	6	4	7	7	8	8	9	9		
	輸入	183	99	67	82	167	60	94	145	113	211	214	210	230			
	計	215	108	72	86	169	67	97	152	120	219	221	219	239			
金属機械	鉄鋼	輸出	89	74	69	74	67	92	102	220	213	293	287	316	863		
		輸入	170	97	56	59	131	154	175	234	183	189	234	212	255		
		計	259	171	124	133	198	246	277	454	396	483	521	528	1,118		
	非鉄金属 金属類	輸出	196	194	193	208	222	368	419	387	331	366	385	360	437		
		輸入	307	366	372	481	517	616	717	1,127	892	1,064	1,166	1,155	2,334		
		計	503	559	565	689	739	984	1,136	1,514	1,223	1,430	1,551	1,515	2,771		
	輸送機械 (フェリー除)	輸出	1,647	1,734	2,235	2,141	2,164	1,978	1,940	1,995	1,335	1,755	1,727	1,778	4,042		
		輸入	764	587	791	851	772	809	721	997	749	975	964	1,038	1,135		
		計	2,411	2,321	3,026	2,992	2,936	2,787	2,661	2,992	2,084	2,730	2,690	2,816	5,177		
	その他	輸出	5,285	3,112	3,366	3,658	3,845	3,808	3,575	3,307	2,043	2,680	2,799	2,620	3,762		
輸入		2,449	1,803	2,321	3,106	3,246	3,360	3,354	4,545	3,870	4,687	5,091	4,823	7,368			
計		7,734	4,916	5,687	6,764	7,092	7,168	6,929	7,852	5,913	7,367	7,890	7,443	11,130			
化学工業品	石油類	輸出	32	17	19	17	22	28	25	11	18	24	20	20	27		
		輸入	22	12	14	31	44	62	38	24	18	23	24	25	28		
		計	54	29	33	48	66	90	62	35	36	47	44	45	55		
	セメント	輸出	1	1	1	0	6	11	0	4	5	4	5	6	6		
		輸入	1	2	2	2	0	2	2	9	5	5	7	7	10		
		計	1	3	3	2	6	14	2	13	11	10	12	13	16		
	その他	輸出	1,702	2,074	2,112	2,386	2,357	2,038	2,171	1,813	2,240	2,328	1,998	1,819	2,870		
		輸入	1,454	1,188	1,439	1,862	2,082	2,193	2,326	3,022	2,514	2,974	3,361	3,338	4,705		
		計	3,156	3,262	3,551	4,247	4,438	4,231	4,497	4,835	4,754	5,303	5,359	5,157	7,575		
	軽工業品	紙・パルプ	輸出	566	613	734	721	841	713	592	274	165	197	136	177	312	
輸入			958	1,042	1,081	990	779	715	789	845	1,024	1,039	1,147	1,154	1,162		
計			1,523	1,655	1,815	1,711	1,620	1,428	1,381	1,119	1,189	1,236	1,283	1,331	1,474		
砂糖		輸出	4	2	1	4	2	2	10	1	1	1	2	1	1		
		輸入	254	98	83	98	92	63	84	45	40	41	38	41	52		
		計	258	101	84	102	94	65	94	46	41	42	41	42	53		
その他		輸出	537	459	426	673	654	741	894	318	309	345	310	289	392		
		輸入	2,185	1,826	1,942	2,169	2,541	3,059	2,915	3,625	3,302	3,639	4,043	4,163	5,481		
		計	2,722	2,285	2,367	2,841	3,195	3,800	3,809	3,943	3,611	3,983	4,353	4,452	5,873		
雑工業品		その他	輸出	2,368	2,191	2,429	2,674	2,851	2,939	3,250	1,303	1,020	1,227	1,265	1,104	1,528	
	輸入		4,752	4,165	4,767	4,678	4,948	5,932	6,505	8,469	8,454	8,772	9,216	9,463	13,665		
	計		7,120	6,357	7,197	7,353	7,798	8,871	9,756	9,773	9,474	9,999	10,481	10,567	15,193		
	金属くず	輸出	765	776	1,100	943	1,026	584	712	500	681	630	453	686	686		
		輸入	113	59	53	49	26	36	43	65	34	43	38	74	74		
		計	878	834	1,152	992	1,052	620	755	565	715	673	495	725	759		
	廃棄物(廃土砂)	輸出	4	6	6	2	9	2	3								
		輸入			0	0	0	0	0								
		計	4	6	6	2	9	2	4								
	取合せ品	輸出	1,047	3,417	3,185	3,178	3,042	2,091	1,941	698	206	312	242	324	794		
輸入		2,476	5,129	4,585	3,835	3,969	3,850	3,473	1,154	941	1,108	1,109	1,107	1,313			
計		3,522	8,546	7,770	7,014	7,011	5,941	5,415	1,852	1,147	1,420	1,351	1,430	2,107			
その他	輸出	198	290	318	494	583	1,085	990	2,583	3,296	3,154	3,112	3,410	6,132			
	輸入	247	324	279	340	461	572	641	1,650	1,423	1,488	1,642	1,835	2,723			
	計	444	615	597	834	1,044	1,657	1,631	4,233	4,719	4,642	4,754	5,246	8,855			
分類不能のもの		輸出															
		輸入															
合 計		輸出	15,044	16,002	17,192	18,377	18,717	17,490	17,636	13,679	12,135	13,572	12,954	13,147	22,152		
		輸入	22,983	23,782	26,089	27,464	27,760	28,345	28,465	31,431	28,543	31,563	33,880	34,247	46,595		
		計	38,028	39,784	43,281	45,841	46,477	45,835	46,101	45,110	40,677	45,135	46,833	47,394	68,748		

(3) 外貿公共コンテナ貨物の取扱量の推移

1) 品目別取扱量の推移

外貿公共コンテナ貨物の品目別取扱量の過去 10 年の推移は、次のとおりである。なお、外貿公共コンテナ貨物の推計値の算出については、1-2-2 (2) 外貿公共コンテナ貨物取扱量の設定 (Ⅱ-36～Ⅱ-40) 参照。

表Ⅱ- 1-4 外貿公共コンテナ貨物の品目別取扱量の推移

品目		出入	実績値												実績値(参考)		推計値
			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	(H30代後半)		
農水産品	米穀類	輸出	38	29	20	33	25	44	61	2	2	3	2	2	4		
		輸入	468	370	855	1,042	895	712	652	180	176	151	149	144	179		
		計	506	399	875	1,075	920	756	713	183	178	155	151	146	183		
	野菜・果物	輸出	64	92	64	100	85	95	92	38	30	24	20	13	28		
		輸入	904	916	1,241	1,223	1,030	924	993	765	744	910	1,009	1,081	944		
		計	967	1,008	1,304	1,323	1,116	1,019	1,085	803	774	935	1,029	1,094	971		
	水産品	輸出	159	507	554	486	367	391	335	147	158	146	130	152	166		
		輸入	1,162	1,830	1,568	1,584	1,280	1,100	948	966	818	881	925	972	1,096		
		計	1,321	2,337	2,123	2,070	1,647	1,491	1,282	1,113	976	1,027	1,055	1,124	1,261		
	その他	輸出	123	251	180	287	233	221	227	52	59	51	40	46	67		
輸入		1,629	1,432	1,721	1,784	1,789	1,465	1,313	1,176	1,014	1,178	1,277	1,335	1,379			
計		1,752	1,683	1,901	2,071	2,021	1,686	1,540	1,227	1,073	1,229	1,317	1,381	1,446			
林産品	原木	輸出	14	12	4	7	10	5	5	1	2	1	1	2			
		輸入	28	81	20	43	80	30	21	10	6	7	6	8			
		計	42	92	24	50	90	35	26	11	8	8	9	7	9		
	製材	輸出	28	53	87	130	106	65	74	9	11	13	10	7	18		
		輸入	803	856	1,154	1,379	799	808	690	613	529	594	652	681	729		
		計	831	909	1,242	1,509	904	873	764	622	539	607	662	688	747		
	その他	輸出	75	76	81	140	169	153	196	3	1	0	1	1	0		
		輸入	174	93	156	188	222	233	273	144	123	121	126	120	155		
		計	249	169	237	329	391	386	468	146	124	121	127	122	156		
	鉱産品	石炭	輸出	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	
輸入			15	9	16	12	8	6	11	29	37	34	39	37	40		
計			15	9	17	13	9	7	13	29	37	34	39	37	40		
砂利・砂		輸出	2	2	3	9	17	18	13	4	2	2	2	2	2		
		輸入	18	20	50	102	206	172	178	133	122	126	125	128	151		
		計	20	22	54	111	223	190	191	137	123	128	126	130	153		
原油		輸出	1	0	0	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0		
		輸入	1	0	1	1	0	1	2	2	1	3	3	2	3		
		計	2	0	1	1	1	2	5	2	1	3	3	2	3		
その他		輸出	30	9	4	5	3	6	4	7	7	8	8	9	9		
	輸入	81	64	56	45	58	43	48	119	78	101	119	141	159			
	計	111	73	61	50	61	49	52	126	85	109	127	150	169			
金属機械工業品	鉄鋼	輸出	31	56	46	56	50	64	95	209	213	281	280	316	840		
		輸入	47	80	23	21	56	35	43	136	101	147	185	172	170		
		計	78	135	70	77	106	100	138	344	314	429	465	488	1,010		
	非鉄金属 金属類	輸出	196	186	182	197	220	366	419	371	294	360	385	360	416		
		輸入	299	311	335	438	494	596	692	1,113	888	1,060	1,161	1,154	2,326		
		計	495	497	517	634	714	962	1,111	1,484	1,182	1,420	1,546	1,514	2,741		
	輸送機械 (フェリー除)	輸出	1,647	1,734	2,235	2,141	2,161	1,977	1,940	1,994	1,335	1,754	1,726	1,777	4,041		
		輸入	764	586	784	848	760	809	721	997	749	975	962	1,034	1,135		
		計	2,411	2,320	3,019	2,989	2,921	2,786	2,661	2,992	2,084	2,729	2,688	2,810	5,176		
	その他	輸出	5,285	3,111	3,366	3,655	3,845	3,799	3,563	3,287	2,035	2,669	2,785	2,619	3,746		
輸入		2,449	1,801	2,319	3,099	3,244	3,354	3,352	4,543	3,870	4,686	5,079	4,823	7,366			
計		7,733	4,911	5,685	6,755	7,089	7,153	6,915	7,830	5,905	7,354	7,864	7,443	11,113			
化学工業品	石油類	輸出	32	17	19	17	22	28	25	11	18	24	20	20	27		
		輸入	22	12	14	31	44	62	32	24	18	23	23	25	28		
		計	54	29	33	48	66	90	56	35	36	47	43	45	55		
	セメント	輸出	1	1	1	0	1	0	0	4	5	4	5	6	6		
		輸入	1	0	2	2	0	2	1	5	3	3	6	6	6		
		計	1	1	3	2	1	2	1	9	9	7	11	12	12		
	その他	輸出	1,655	2,074	2,112	2,385	2,357	2,038	2,171	1,813	2,240	2,328	1,998	1,819	2,870		
		輸入	1,434	1,153	1,403	1,825	2,055	2,127	2,264	2,971	2,443	2,919	3,271	3,275	4,617		
		計	3,089	3,226	3,515	4,210	4,412	4,165	4,435	4,784	4,683	5,247	5,268	5,094	7,487		
	軽工業品	紙・パルプ	輸出	375	595	734	721	786	713	592	274	165	197	136	177	312	
輸入			834	795	833	749	712	680	621	709	897	891	1,006	1,030	1,014		
計			1,209	1,391	1,567	1,470	1,498	1,393	1,213	983	1,062	1,089	1,142	1,208	1,326		
砂糖		輸出	4	2	1	2	2	1	2	1	1	2	1	1	1		
		輸入	29	43	81	98	92	63	84	45	37	41	38	41	52		
		計	33	46	82	102	94	65	94	46	37	42	41	42	53		
その他		輸出	537	459	426	673	654	741	891	318	309	345	310	289	392		
		輸入	2,179	1,820	1,936	2,163	2,481	2,836	2,902	3,625	3,291	3,636	4,039	4,162	5,477		
		計	2,716	2,279	2,361	2,836	3,135	3,577	3,793	3,943	3,600	3,981	4,349	4,451	5,869		
雑工業品		その他	輸出	2,365	2,191	2,429	2,674	2,838	2,937	3,250	1,303	1,020	1,227	1,265	1,102	1,528	
	輸入		4,672	4,151	4,708	4,658	4,917	5,839	6,497	8,462	8,443	8,767	9,205	9,463	13,659		
	計		7,037	6,342	7,138	7,332	7,755	8,776	9,748	9,765	9,463	9,994	10,470	10,564	15,187		
	金属くず	輸出	39	45	62	57	59	44	29	24	38	21	25	38	36		
		輸入	68	47	52	19	21	33	43	65	29	42	35	37	70		
		計	107	91	114	76	80	77	73	89	67	63	60	75	106		
	廃棄物(廃土砂)	輸出	4	6	6	2	9	2	3	0	0	0	0	0	0		
		輸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		計	4	6	6	2	9	2	4	0	0	0	0	0	0		
	取合せ品	輸出	1,046	3,412	3,072	3,178	3,042	2,085	1,941	698	206	312	242	324	794		
輸入		2,473	5,129	4,582	3,832	3,969	3,850	3,470	1,152	941	1,108	1,109	1,107	1,313			
計		3,520	8,542	7,654	7,010	7,011	5,936	5,412	1,850	1,147	1,420	1,351	1,430	2,107			
その他	輸出	198	269	308	488	546	849	988	2,577	3,296	3,154	3,112	3,410	6,132			
	輸入	245	324	278	338	460	561	641	1,650	1,423	1,487	1,641	1,835	2,722			
	計	443	593	586	826	1,007	1,410	1,629	4,227	4,719	4,642	4,753	5,246	8,854			
分類不能のもの		輸出															
		輸入															
合計	輸出	13,947	15,188	15,998	17,448	17,607	16,645	16,929	13,148	11,446	12,926	12,504	12,491	21,438			
	輸入	20,799	21,923	24,190	25,524	25,673	26,343	26,492	29,634	26,782	29,893	32,191	32,811	44,796			
	計	34,746	37,111	40,189	42,972	43,281	42,987	43,421	42,782	38,228	42,819	44,695	45,302	66,234			

2) コンテナ取扱個数等の推移

外貿公共コンテナ貨物取扱個数等の過去 10 年の推移は、次のとおりである。

表Ⅱ－1-5 外貿公共コンテナ貨物取扱個数等の推移

	区分	出入	実入・空別	実績値										実績値(参考)		推計値
				H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H30代
				2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	後半
外貿公共コンテナ貨物取扱個数等	実入コンテナトシ→TEU換算率(トン/TEU)	輸出	実入	19.0	18.0	17.9	17.1	16.4	15.1	15.3	12.9	13.1	13.3	13.3	13.3	13.1
		輸入	実入	14.9	14.5	14.4	14.3	13.6	13.5	13.6	15.1	14.7	14.5	14.5	14.4	14.8
		計	実入	16.3	15.8	15.6	15.3	14.6	14.1	14.2	14.4	14.2	14.1	14.2	14.1	
	空コンテナ比率(%)	輸出	空	38.6%	33.0%	35.5%	33.5%	35.3%	35.8%	35.6%	41.0%	43.9%	44.0%	50.8%	51.9%	38.3%
		輸入	空	1.3%	1.3%	0.8%	2.3%	2.4%	1.8%	2.5%	1.9%	0.9%	1.0%	0.8%	0.6%	1.3%
		計	空	18.3%	15.6%	16.4%	16.5%	17.6%	17.6%	17.8%	20.1%	20.6%	20.6%	23.9%	24.2%	18.5%
	コンテナ個数(千TEU)	輸出	実入	733	843	893	1,019	1,077	1,101	1,108	1,020	876	974	941	938	1,624
			空	461	415	492	513	587	615	612	709	684	765	971	1,010	894
			計	1,194	1,258	1,384	1,531	1,664	1,716	1,721	1,729	1,560	1,739	1,913	1,948	2,518
		輸入	実入	1,395	1,507	1,678	1,785	1,886	1,945	1,949	1,959	1,823	2,057	2,213	2,272	3,049
			空	18	19	13	41	47	35	50	39	16	20	18	15	34
			計	1,413	1,526	1,690	1,827	1,934	1,980	2,000	1,998	1,839	2,078	2,231	2,287	3,083
		計	実入	2,129	2,350	2,570	2,804	2,963	3,046	3,058	2,979	2,699	3,031	3,155	3,210	4,673
			空	478	435	505	554	635	650	663	748	701	785	989	1,025	928
			計	2,607	2,784	3,075	3,358	3,598	3,696	3,720	3,727	3,399	3,816	4,144	4,235	5,601
	滞留コンテナ	個数		219	268	306	295	270	264	279	269	279	339	319	339	363
		シェア		8.4%	9.6%	10.0%	8.8%	7.5%	7.2%	7.5%	7.2%	8.2%	8.9%	7.7%	8.0%	7.2%
	コンテナ貨物量(千トン)	輸出	実入	13,947	15,188	15,998	17,448	17,607	16,645	16,929	13,148	11,446	12,926	12,504	12,491	21,436
		輸入	実入	20,799	21,923	24,190	25,524	25,673	26,343	26,492	29,634	26,782	29,893	32,191	32,811	44,799
		計	実入	34,746	37,111	40,189	42,972	43,281	42,987	43,421	42,782	38,228	42,819	44,695	45,302	66,234

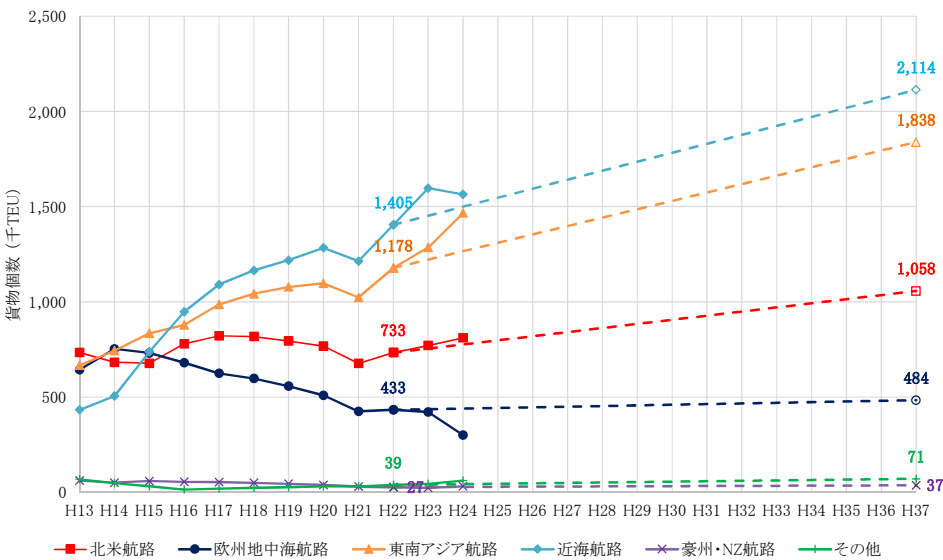
※(滞留コンテナ個数)＝(輸入実入)－(輸出実入)＋(輸入空コン)－(輸出空コン)

3) 航路方面別取扱量の推移

外貿公共コンテナ貨物の航路方面別取扱量の過去 10 年の推移は、次のとおりである。なお、推計値の算出については、1-2-5 航路別外貿コンテナ取扱個数（TEU）の設定（Ⅱ-53）参照。

表Ⅱ- 1-6 外貿公共コンテナ貨物の航路方面別取扱量の推移（TEU 単位）

品目	出入	実績値										実績値(参考)		推計値
		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H30代後半
主な長距離航路計	輸出	600	621	592	624	629	621	598	570	492	526	557	498	693
	輸入	778	816	818	837	819	794	754	708	610	640	636	614	848
	計	1,378	1,437	1,410	1,461	1,447	1,415	1,352	1,277	1,101	1,167	1,193	1,112	1,542
北米西岸航路	輸出	304	267	253	308	324	318	303	287	246	260	271	288	359
	輸入	340	328	326	399	407	393	371	347	297	310	306	330	440
	計	644	595	579	707	731	711	675	634	543	570	577	618	799
北米東岸航路	輸出	40	40	41	32	42	50	57	64	65	79	96	91	116
	輸入	50	48	58	40	49	57	63	69	69	84	97	103	143
	計	90	88	99	73	92	107	120	134	134	163	193	194	259
欧州・地中海航路	輸出	256	313	297	284	262	253	238	218	181	188	189	119	218
	輸入	387	441	435	397	362	344	319	291	243	246	233	181	266
	計	644	754	732	681	625	598	557	509	425	433	422	300	484
中・短距離その他の航路計	輸出	594	637	793	907	1,035	1,094	1,122	1,159	1,068	1,212	1,356	1,450	1,825
	輸入	636	711	872	990	1,115	1,186	1,246	1,291	1,230	1,437	1,595	1,673	2,234
	計	1,230	1,348	1,665	1,898	2,150	2,281	2,369	2,450	2,298	2,650	2,951	3,123	4,060
東南アジア航路	輸出	293	323	353	375	422	444	456	455	411	466	498	579	827
	輸入	373	422	482	505	564	599	622	643	613	712	787	887	1,012
	計	667	744	835	880	986	1,043	1,078	1,097	1,024	1,178	1,285	1,466	1,838
近海航路	輸出	242	274	402	504	582	619	635	675	632	718	828	826	950
	輸入	191	231	336	445	509	546	583	608	582	687	769	738	1,163
	計	433	505	738	948	1,091	1,164	1,219	1,284	1,213	1,405	1,597	1,564	2,114
豪州・NZ航路	輸出	28	22	27	24	24	22	20	18	14	13	13	19	17
	輸入	33	29	33	31	30	28	24	21	16	14	11	12	20
	計	61	51	60	55	54	50	44	38	30	27	24	31	37
その他航路	輸出	30	19	12	6	8	9	11	12	12	15	17	26	32
	輸入	38	29	21	9	12	14	17	19	19	24	28	36	39
	計	69	48	33	15	19	24	28	31	31	39	45	61	71
合計	輸出	1,194	1,258	1,384	1,531	1,664	1,716	1,721	1,729	1,560	1,739	1,913	1,948	2,519
	輸入	1,413	1,526	1,690	1,827	1,934	1,980	2,000	1,998	1,839	2,078	2,231	2,287	3,083
	計	2,607	2,784	3,075	3,358	3,598	3,696	3,720	3,727	3,399	3,816	4,144	4,235	5,601



図Ⅱ- 1-4 外貿公共コンテナ貨物の航路別取扱量の推移

(4) 外貿公共在来貨物の品目別取扱量の推移

外貿公共在来貨物の品目別取扱量の過去 10 年の推移は、次のとおりである。

(外貿公共在来貨物とは、外貿公共貨物から外貿公共コンテナ貨物を除いたものである。)

表Ⅱ－ 1-7 外貿公共在来貨物の品目別取扱量の推移

品目		出入	実績値										実績値(参考)		推計値
			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H30代後半
農水産品	米穀類	輸出	15		1	3									
		輸入	347	357	360	301	236	110	303	337	317	303	264	242	297
	計	362	357	361	304	236	110	303	337	317	303	264	242	297	
	野菜・果物	輸出	1	1											
		輸入	278	315	332	356	683	622	611	718	778	660	632	627	741
	計	279	316	332	356	683	622	611	718	778	660	632	627	741	
	水産品	輸出	5	1	0		0		0				0		
輸入		83	71	55	41	35	34	21	16	21	16	21	2	19	
計	88	72	55	41	35	34	21	16	21	16	22	2	19		
林産品	その他	輸出													
		輸入	28	14	3	1	13			1					
	計	28	14	3	1	13			1						
	原木	輸出		8		2		8							
		輸入	225	383	146	153	178	183	137	52	4				
	計	225	391	146	155	178	190	137	52	4					
	製材	輸出	49	2			10	2		1	6		2	3	
輸入		426	183	413	458	422	401	315	242	190	199	256	196		
計	474	185	413	458	433	404	315	243	191	205	256	198			
鉱産品	その他	輸出													
		輸入		0	2		23	1		0	24	6	0	8	
	計		0	2		23	1		0	24	6	0	8		
	石炭	輸出					2			3					
		輸入	63	43	62	121	85	61	120	89	97	98	88	63	
	計	63	43	62	121	87	61	120	91	97	98	88	63		
	砂利・砂	輸出													
輸入			10	83	42										
計		10	83	42											
金属機械工業品	原油	輸出													
		輸入													
	その他	輸出	2												
		輸入	102	35	11	36	109	17	46	26	35	110	94	69	
	計	104	35	11	36	109	17	46	26	35	110	94	69		
	鉄鋼	輸出	58	18	22	18	17	28	7	11		12	7	0	
		輸入	123	18	32	38	75	119	132	99	82	42	49	41	
計	180	36	55	56	92	146	139	110	82	54	57	41			
金属機械工業品	非鉄金属 金属類	輸出	8	8	11	11	2	2	16	37	7	0	22		
		輸入	8	55	37	43	22	20	25	15	4	5	1		
	計	8	63	48	54	25	22	25	30	41	11	5	1		
	輸送機械 (フェリー除)	輸出	0	0	0	0	3	1	0	0	1	1	2		
		輸入	0	1	7	3	12	0			0	2	5		
計	0	1	7	3	15	1	0	0	1	3	6				
化学工業品	その他	輸出	1	2	3	0	9	12	20	8	11	13	1		
		輸入	3	3	2	7	2	6	2	2	1	12	0		
	計	1	4	2	10	2	15	14	22	8	13	26			
	石油類	輸出													
		輸入							6			1			
化学工業品	セメント	輸出					5	11							
		輸入		2			5	11	1	4	2	1	1	4	
	計		2			5	11	1	4	2	2	1	1		
	その他	輸出	47		0	1		0							
輸入		20	36	35	37	26	66	62	51	71	55	90	63		
計	67	36	35	38	26	66	62	51	71	55	90	63			
軽工業品	紙・パルプ	輸出	191	18			55								
		輸入	123	247	248	241	68	35	168	136	127	147	141	124	
	計	314	264	248	241	122	35	168	136	127	147	141	124		
	砂糖	輸出													
		輸入	225	55	2						4				
計	225	55	2						4						
雑工業品	その他	輸出	6	6	6	6	60	222	14		2	4	1	3	
		輸入	6	6	6	6	60	222	17		11	2	4	1	
	雑工業品	輸出	3	0	0	0	13	3					3		
		輸入	80	14	59	21	31	92	8	8	11	4	11	6	
計	83	15	59	21	43	95	8	8	11	4	11	3			
特殊品	金属くず	輸出	726	731	1,038	886	967	540	682	475	643	608	428	649	
		輸入	45	12	1	30	4	2			5	1	8	1	
	計	772	743	1,038	916	971	543	682	475	648	609	436	650		
	廃棄物(廃土砂)	輸出													
輸入															
特殊品	取合せ品	輸出	0	5	113	0	0	6	0	0	0				
		輸入	2	0	3	3		0	3	1	0	0		0	
	計	2	5	115	4	0	6	3	1	0	0		0		
	その他	輸出	0	22	9	6	37	236	2	6					
輸入		1		1	2	1	10				1	2	1		
計	1	22	10	8	37	247	2	6		1	2				
分類不能のもの		輸出													
合 計		輸出	1,097	814	1,194	929	1,110	846	707	531	689	645	450	655	
		輸入	2,185	1,859	1,898	1,940	2,087	2,002	1,974	1,797	1,760	1,671	1,689	1,436	
		計	3,282	2,673	3,092	2,869	3,197	2,848	2,680	2,328	2,449	2,316	2,138	2,091	

(5) 外貿専用貨物の品目別取扱量の推移

外貿専用貨物の品目別取扱量の過去 10 年の推移は、次のとおりである。

なお、推計値の算出については、Ⅱ -42 参照。

表Ⅱ- 1-8 外貿専用貨物の品目別取扱量の推移

品目		実績値										実績値(参考)		推計値
		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H30代後半
農水産品	米穀類	輸出 輸入 計												
	野菜・果物	輸出 輸入 計				71 71								
	水産品	輸出 輸入 計												
	その他	輸出 輸入 計												
林産品	原木	輸出 輸入 計												
	製材	輸出 輸入 計												
	その他	輸出 輸入 計												
鉱産品	石炭	輸出 輸入 計												
	砂利・砂	輸出 輸入 計												
	原油	輸出 輸入 計												
	その他	輸出 輸入 計												
金属機械工業品	鉄鋼	輸出 輸入 計	1 25 27	2 2	19 19	26 26	27 27	16 16	4 4		3 10 14	6 6 6	6 6 6	3 10 14
	非鉄金属 金属類	輸出 輸入 計	1 1	13 13	20 20	11 11	3 3	6 6	7 7	9 9	7 7	1 2	2 2	1 1
	輸送機械 (フェリー除)	輸出 輸入 計												
	その他	輸出 輸入 計		4 4	2 2		1 1							
化学工業品	石油類	輸出 輸入 計				0 0								
	セメント	輸出 輸入 計												
	その他	輸出 輸入 計												
軽工業品	紙・パルプ	輸出 輸入 計												
	砂糖	輸出 輸入 計												
	その他	輸出 輸入 計												
雑工業品		輸出 輸入 計												
特殊品	金属くず	輸出 輸入 計	9 9	7 7	5 2 7	5 5	2 2							
	廃棄物(廃土砂)	輸出 輸入 計												
	取合せ品	輸出 輸入 計												
	その他	輸出 輸入 計												
合 計(ベース貨物)		輸出 輸入 計	10 26 36	7 19 26	5 43 48	5 108 113	2 32 32	2 21 23	10 10	9 9	7 7	3 11 15	8 8	6 6 15

1-1-3 内貿貨物取扱量の推移

(1) 内貿貨物の品目別取扱量の推移

内貿貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

なお、内貿貨物は、内貿公共貨物（内貿ユニット貨物、内貿在来貨物、国際フィーダー貨物、内貿フェリー貨物）と内貿専用貨物の合計である。

表Ⅱ- 1-9 内貿貨物の品目別取扱量の推移

															(単位:千トン)	
品目	出入	実績値										実績値(参考)		推計値 (H30代後半)		
		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24			
農水産品	米穀類	移出	42	39	39	90	94	57	57	46	44	36	49	43	41	
		移入	73	56	32	90	57	45	60	46	29	45	92	77	45	
		計	114	95	71	180	151	102	118	93	73	82	141	120	87	
	野菜・果物	移出	44	24	23	36	40	40	48	35	46	43	36	50	63	
		移入	31	39	41	66	54	64	62	56	51	48	50	44	77	
		計	75	63	63	103	94	104	110	91	97	91	86	94	140	
	水産品	移出	18	11	16	23	40	38	32	14	24	28	26	34	28	
		移入	22	7	14	22	30	44	33	37	30	38	33	33	57	
		計	40	18	30	45	70	82	66	51	54	66	59	67	84	
	その他	移出	53	39	29	37	20	8	12	42	32	41	27	36	114	
		移入	44	34	35	43	27	20	15	14	17	17	20	18	17	
		計	97	73	64	80	47	29	27	56	50	59	47	54	130	
林産品	原木	移出	0	3	1	1	1	0	0	5		0	0	0	0	
		移入	3	3	2	2	2	5	3	3	1	4	0	0	3	
		計	3	6	3	3	3	5	3	8	1	4	0	0	3	
	製材	移出	56	74	56	65	54	13	27	41	43	34	43	62	56	
		移入	5	4	6	10	15	14	14	16	11	14	21	13	15	
		計	61	79	62	75	69	28	41	57	54	47	63	75	71	
	その他	移出	10	24	20	18	14	11	15	15	16	16	18	18	17	
		移入	14	20	27	33	44	38	15	7	9	7	9	14	7	
		計	24	44	47	51	59	49	30	22	26	23	28	31	23	
	鉱産品	石炭	移出	0	0	0	1	0	1	0	3	1	0	3	2	2
			移入	1	3	4	5	6	4	3	3	1	1	5	0	2
			計	1	3	4	6	6	5	3	3	1	2	6	2	4
砂利・砂		移出	248	81	36	18	64	74	50	94	60	59	68	21	71	
		移入	6,640	6,209	6,158	6,335	6,373	6,200	5,909	5,107	5,109	4,577	4,561	4,365	5,389	
		計	6,888	6,290	6,194	6,354	6,438	6,274	5,959	5,201	5,169	4,637	4,629	4,385	5,460	
原油		移出	0					0	0	0	0	0	0	0	0	
		移入	847	731	1,012	881	950	860	1,050	993	560	435	720	1,157	435	
		計	847	731	1,012	881	950	860	1,050	993	560	435	720	1,157	435	
その他		移出	5	16	23	20	6	3	2	3	10	54	69	31	74	
		移入	31	76	173	73	82	35	82	96	69	63	20	92	69	
		計	37	92	196	93	88	38	84	99	78	117	89	123	143	
金属機械工業品	鉄鋼	移出	126	94	82	233	99	97	134	107	68	68	67	55	99	
		移入	1,580	1,360	1,405	1,262	1,240	1,283	1,361	1,421	895	1,113	1,175	1,193	1,175	
		計	1,706	1,454	1,487	1,494	1,339	1,379	1,495	1,528	963	1,181	1,242	1,247	1,274	
	非鉄金属 金属類	移出	32	22	30	26	31	78	88	98	56	62	53	56	92	
		移入	95	80	66	83	88	48	83	89	75	80	96	69	76	
		計	126	103	96	109	119	126	171	186	132	142	149	125	168	
	輸送機械 (フェリー除)	移出	1,260	1,371	1,819	1,950	1,921	2,124	2,164	1,937	1,961	1,868	1,762	1,978	2,585	
		移入	551	725	873	754	741	967	1,185	1,129	1,042	902	891	884	1,485	
		計	1,811	2,097	2,692	2,704	2,661	3,091	3,349	3,066	3,003	2,771	2,653	2,862	4,070	
	その他	移出	74	70	84	83	52	161	188	166	144	156	235	262	185	
		移入	60	64	97	85	34	110	90	107	88	80	107	118	116	
		計	133	134	181	168	86	270	278	273	231	235	341	380	301	
化学工業品	石油類	移出	380	408	404	406	386	381	276	230	204	162	170	173	170	
		移入	5,258	4,981	5,086	4,579	4,415	4,252	4,200	4,196	3,962	3,702	3,668	3,663	3,703	
		計	5,638	5,389	5,490	4,985	4,800	4,633	4,476	4,426	4,166	3,865	3,838	3,836	3,873	
	セメント	移出	35	32	16	39	74	53	23	54	53	51	51	51	45	
		移入	3,605	3,189	3,248	3,220	3,005	2,910	2,694	2,457	2,285	2,302	2,353	2,420	2,303	
		計	3,640	3,221	3,264	3,259	3,078	2,963	2,717	2,511	2,338	2,353	2,404	2,471	2,347	
	その他	移出	102	95	93	81	74	155	172	181	186	177	189	182	222	
		移入	130	97	101	86	117	401	150	184	180	199	211	198	303	
		計	233	191	194	167	191	556	323	365	366	376	399	380	526	
	紙・パルプ	移出	173	375	131	295	436	188	246	182	218	192	206	236	241	
		移入	1,866	1,785	1,910	1,943	2,161	1,618	1,904	1,852	1,691	1,790	1,756	1,627	2,164	
		計	2,039	2,160	2,041	2,238	2,597	1,806	2,150	2,034	1,909	1,982	1,963	1,863	2,405	
軽工業品	砂糖	移出	16	17	13	10	16	15	12	12	14	13	11	13	14	
		移入	82	57	50	75	74	68	52	48	48	72	56	59	109	
		計	98	74	63	85	90	83	64	60	62	84	67	72	123	
	その他	移出	401	479	492	496	525	588	651	673	634	619	573	603	933	
		移入	236	303	212	292	290	341	366	362	362	363	451	427	435	
		計	637	781	703	788	815	929	1,017	1,035	995	982	1,024	1,030	1,367	
	雑工業品	移出	164	186	251	276	231	306	264	227	209	248	228	224	403	
		移入	50	62	69	159	91	200	154	159	144	183	164	129	487	
		計	214	248	320	435	321	506	418	385	354	431	392	353	889	
	特殊品	金属くず	移出	167	221	140	70	26	20	27	8	16	24	7	3	25
			移入	12	7	12	13	19	36	26	22	18	25	29	25	25
			計	179	228	153	83	45	56	54	29	35	48	35	27	50
廃棄物(廃土砂)		移出	383	1,041	1,062	1,067	1,315	1,544	1,994	1,816	1,064	1,698	1,895	2,006	1,994	
		移入	6	3	4	60	9	10	7	10	74	6	5	4	21	
		計	389	1,044	1,066	1,126	1,324	1,554	2,000	1,826	1,138	1,704	1,900	2,010	2,015	
取合せ品		移出	1,661	1,604	1,831	2,030	2,191	1,826	2,296	2,131	1,741	1,771	2,294	2,320	2,960	
		移入	905	991	1,177	1,494	1,582	1,241	1,826	1,628	1,245	1,180	1,754	1,786	2,617	
		計	2,566	2,594	3,007	3,525	3,773	3,067	4,122	3,758	2,985	2,951	4,048	4,106	5,577	
その他		移出	369	204	502	451	445	486	534	503	440	408	434	438	627	
		移入	107	99	68	72	179	172	224	204	219	231	303	301	235	
		計	476	302	570	523	624	658	758	707	659	639	737	738	862	
分類不能のもの	フェリー	移出														
		移入	8,196	8,052	8,451	8,250	8,079	8,068	5,620	3,832	3,191	3,604	4,844	3,941	3,604	
		計	7,704	7,143	7,615	7,649	7,602	7,632	5,013	3,538	3,040	3,453	4,647	3,838	3,453	
	合計	移出	14,014	14,583	15,644	16,073	16,234	16,335	14,934	12,455	10,476	11,432	13,359	12,833	14,663	
		移入	29,956	28,127	29,496	29,388	29,286	28,618	26,583	23,780	21,254	20,931	23,194	22,554	24,821	
		計	43,971	42,710	45,139	45,461	45,519	44,953	41,517	36,235	31,729	32,363	36,553	35,387	39,484	
	合計(フェリー除く)	移出	5,818	6,531	7,193	7,823	8,154	8,267	9,313	8,623	7,285	7,828	8,515	8,892	11,059	
		移入	22,252	20,983	21,881	21,739	21,684	20,986	21,570	20,242	18,213	17,478	18,547	18,717	21,368	
		計	28,071	27,515	29,074	29,562	29,838	29,253	30,883	28,865	25,498	25,306	27,062	27,609	32,427	

(2) 内貿公共貨物の品目別取扱量の推移

内貿公共貨物の品目別取扱量の過去 10 年の推移は、次のとおりである。

なお、内貿公共貨物の推計値の算出については、1-2-3 (1) 内貿公共貨物量の設定（Ⅱ-43～Ⅱ-44）参照。

表Ⅱ－ 1-10 内貿公共貨物の品目別取扱量の推移

品目		出入	実績値										実績値(参考)		推計値	(単位: 千トン)
			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H30代後半	
農水産品	米穀類	移出	42	39	39	90	94	57	57	46	44	36	49	43	41	
		移入	68	56	32	90	57	45	60	46	29	45	92	77	45	
		計	109	95	71	180	151	102	118	93	73	82	141	120	87	
	野菜・果物	移出	44	24	23	36	40	40	48	35	46	43	36	50	63	
		移入	30	39	41	66	54	64	62	56	51	48	50	44	59	
		計	74	63	63	103	94	104	110	91	97	91	86	94	122	
	水産品	移出	18	11	16	23	40	38	32	14	24	28	26	34	28	
		移入	22	7	14	22	30	44	33	37	30	38	33	33	49	
		計	40	18	30	45	70	82	66	51	54	66	59	67	76	
	その他	移出	53	39	29	37	20	8	12	42	32	41	27	36	114	
		移入	44	34	35	43	27	20	15	14	17	17	20	18	17	
		計	97	73	64	80	47	29	27	56	50	59	47	54	130	
林産品	原木	移出	0	3	1	1	1	0	0	5	0	0	0	0	0	
		移入	3	3	2	2	2	5	3	3	1	4	0	3	3	
		計	3	6	3	3	3	5	3	8	1	4	0	0	3	
	製材	移出	56	74	56	65	54	13	27	41	43	34	43	62	56	
		移入	5	4	6	10	15	14	11	16	11	14	21	13	15	
		計	61	79	62	75	69	28	38	57	54	47	63	75	71	
	その他	移出	10	24	20	18	14	11	15	15	16	16	18	18	17	
		移入	12	20	27	33	44	38	15	7	9	7	9	14	7	
		計	22	44	47	51	59	49	30	22	26	23	28	31	23	
	石炭	移出	0	0	0	1	0	1	0	3	1	0	3	2	2	
		移入	1	3	4	5	6	4	3	3	1	1	5	0	2	
		計	1	3	4	6	6	5	3	3	1	2	8	2	4	
鉱産品	砂利・砂	移出	103	81	36	12	36	21	28	43	26	14	65	21	26	
		移入	1,574	1,746	1,956	1,836	2,238	2,108	2,212	1,748	1,371	1,426	1,286	1,070	2,238	
		計	1,678	1,827	1,992	1,848	2,274	2,130	2,241	1,791	1,397	1,441	1,351	1,091	2,264	
	原油	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		移入	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	移出	5	16	23	20	6	2	2	3	10	54	69	31	74	
		移入	31	76	173	73	81	35	82	96	69	63	20	92	69	
		計	37	92	196	93	87	37	84	99	78	117	89	123	143	
	金属機械工業品	鉄鋼	移出	56	79	82	232	94	93	127	106	67	60	67	55	91
			移入	366	274	311	368	348	354	334	412	298	275	368	373	337
			計	422	354	393	601	442	447	460	518	365	335	435	427	428
非鉄金属 金属類		移出	32	22	30	25	26	70	88	98	56	62	53	56	92	
		移入	94	80	66	83	83	48	83	88	75	80	94	69	76	
		計	126	103	96	108	109	118	171	186	132	142	148	125	168	
輸送機械 (フェリー除)		移出	1,260	1,371	1,819	1,950	1,921	2,124	2,164	1,937	1,961	1,868	1,762	1,978	2,585	
		移入	551	725	873	754	741	967	1,185	1,129	1,042	902	891	884	1,485	
		計	1,811	2,097	2,692	2,704	2,661	3,091	3,349	3,066	3,003	2,771	2,653	2,862	4,070	
その他		移出	74	70	84	83	52	161	188	166	144	155	235	262	185	
		移入	60	64	97	85	33	110	90	107	88	80	116	118	116	
		計	133	134	181	168	86	270	278	273	231	235	340	380	301	
化学工業品	石油類	移出	47	65	50	58	69	68	47	35	43	39	41	40	47	
		移入	8	12	9	5	2	2	3	1	1	1	5	6	1	
		計	55	77	59	62	71	69	50	36	44	40	46	46	48	
	セメント	移出	35	32	16	39	43	45	23	53	53	51	51	51	45	
		移入	2,349	1,195	966	778	724	743	629	593	588	601	588	586	601	
		計	2,384	1,227	982	818	767	788	651	646	641	651	639	637	646	
	その他	移出	102	95	93	81	74	155	172	181	186	177	189	182	222	
		移入	128	97	101	86	117	401	150	184	177	199	211	198	303	
		計	230	191	194	167	191	555	323	365	363	376	399	380	526	
	軽工業品	紙・パルプ	移出	173	375	131	295	436	188	246	182	218	192	206	236	241
			移入	1,866	1,785	1,910	1,943	2,161	1,618	1,904	1,852	1,691	1,790	1,756	1,627	2,164
			計	2,039	2,160	2,041	2,238	2,597	1,806	2,150	2,034	1,909	1,982	1,963	1,863	2,405
砂糖		移出	16	17	13	10	16	15	12	12	14	13	11	13	14	
		移入	82	57	50	75	74	68	52	48	48	72	56	59	109	
		計	98	74	63	85	90	83	64	60	62	84	67	72	123	
その他		移出	234	326	356	376	409	459	521	558	548	548	506	520	862	
		移入	236	303	212	292	290	341	366	362	362	363	451	427	435	
		計	469	629	568	668	699	800	887	920	910	910	957	947	1,296	
雑工業品		移出	164	186	251	276	231	306	264	227	209	248	228	224	403	
		移入	50	62	69	159	91	200	154	159	144	183	164	129	487	
		計	214	248	320	435	321	506	418	385	354	431	392	353	889	
特殊品	金属くず	移出	167	221	140	70	26	20	27	8	16	24	7	3	25	
		移入	12	7	12	12	14	34	26	21	18	24	28	24	24	
		計	179	228	153	82	40	54	53	29	34	48	34	27	49	
	廃棄物(廃土砂)	移出	383	1,041	1,058	1,066	1,315	1,544	1,994	1,816	1,064	1,698	1,895	2,006	1,994	
		移入	6	3	4	58	9	9	6	10	74	6	5	4	21	
		計	389	1,044	1,062	1,124	1,324	1,553	2,000	1,826	1,138	1,704	1,900	2,010	2,015	
	取合せ品	移出	1,661	1,604	1,831	2,030	2,191	1,823	2,296	2,131	1,741	1,770	2,294	2,320	2,959	
		移入	904	991	1,177	1,494	1,582	1,241	1,826	1,628	1,245	1,180	1,754	1,786	2,617	
		計	2,565	2,594	3,007	3,525	3,773	3,064	4,121	3,758	2,985	2,950	4,048	4,106	5,576	
	その他	移出	369	204	502	451	442	482	510	476	419	402	432	438	620	
		移入	107	99	68	72	175	161	203	196	218	214	225	232	218	
		計	476	302	570	523	617	644	713	672	638	616	657	669	838	
分類不能のもの		移出														
フェリー	移出	8,196	8,052	8,451	8,250	8,079	8,068	5,620	3,832	3,191	3,604	4,844	3,941	3,604		
	移入	7,704	7,143	7,615	7,649	7,602	7,632	5,013	3,538	3,040	3,453	4,647	3,838	3,453		
	計	15,900	15,195	16,066	15,899	15,681	15,699	10,634	7,370	6,231	7,057	9,491	7,779	7,057		
合計	移出	13,300	14,072	15,150	15,596	15,729	15,814	14,521	12,064	10,173	11,178	13,157	12,617	14,409		
	移入	16,313	14,885	15,829	16,095	16,600	16,306	14,521	12,351	10,697	11,086	12,884	11,723	14,950		
	計	29,613	28,957	30,979	31,691	32,329	32,120	29,042	24,415	20,870	22,264	26,041	24,340	29,359		
合計(フェリー除く)	移出	5,104	6,020	6,699	7,346	7,650	7,746	8,900	8,232	6,982	7,574	8,314	8,676	10,804		
	移入	8,608	7,742	8,214	8,446	8,998	8,674	9,508	8,813	7,657	7,633	8,237	7,885	11,497		
	計	13,712	13,762	14,913	15,792	16,648	16,420	18,408	17,044	14,639	15,207	16,550	16,561	22,301		

(3) 内貿公共貨物（国際フィーダー除く）の品目別取扱量の推移

内貿公共貨物（国際フィーダー除く）の品目別取扱量の過去 10 年の推移は、次のとおりである。

なお、内貿公共貨物（国際フィーダー除く）の推計値の算出については、1-2-3

(1) 内貿公共貨物量の設定（Ⅱ-43～Ⅱ-44）参照。

表Ⅱ- 1-11 内貿公共貨物（国際フィーダー除く）の品目別取扱量の推移

品目		出入	実績値										実績値(参考)		推計値
			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H30代後半
農水産品	米穀類	移出	40	38	39	88	93	55	55	46	41	34	41	40	34
		移入	68	56	32	90	57	45	60	46	29	45	91	77	45
		計	108	94	70	178	150	99	116	92	70	80	132	117	79
	野菜・果物	移出	42	24	22	33	27	24	30	28	31	32	29	31	29
		移入	30	39	41	57	43	47	50	52	46	45	46	41	48
		計	71	62	63	89	71	71	80	80	77	77	76	72	77
	水産品	移出	12	9	14	17	17	13	5	6	15	24	23	22	12
		移入	22	7	13	13	13	14	12	30	22	30	27	27	21
		計	34	15	26	30	30	27	17	36	36	53	49	49	34
	その他	移出	52	39	29	33	13	5	5	32	10	10	11	11	13
		移入	44	33	34	42	26	20	15	14	16	17	17	18	17
		計	96	72	63	75	38	25	20	46	27	28	28	28	29
林産品	原木	移出	0	1	0		0	0	0	1		0	0	0	0
		移入	3	3	2	2	2	5	3	3	1	4	0	3	
		計	3	4	3	2	2	5	3	4	1	4	0	0	3
	製材	移出	7	6	8	14	9	9	9	33	31	23	30	31	21
		移入	2	4	6	10	15	14	11	16	11	13	16	13	13
		計	9	10	13	23	24	24	21	49	42	36	46	44	34
その他	移出	8	24	20	18	14	11	14	15	16	16	18	18	16	
	計	20	44	47	51	59	49	29	21	26	23	28	31	23	
鉱産品	石炭	移出	0	0	0	1	0	1	0	3	1	0	2	0	1
		移入	1	3	4	5	6	4	3		1	5	0	0	2
		計	1	3	4	6	6	5	3	3	1	1	7	0	3
	砂利・砂	移出	103	81	36	12	36	21	28	42	25	14	65	20	26
		移入	1,574	1,746	1,956	1,836	2,238	2,108	2,212	1,748	1,371	1,426	1,286	1,070	2,238
		計	1,678	1,827	1,992	1,848	2,274	2,130	2,241	1,790	1,397	1,441	1,351	1,090	2,264
	原油	移出	0					0	0		0	0	0	0	0
		移入	2	1				0	0		0	0	0	0	0
		計	2	1				0	0		0	0	0	0	0
	その他	移出	5	16	23	20	6	2	2	1	0	45	68	24	45
		移入	31	76	173	73	81	35	82	96	69	63	19	92	69
		計	37	92	195	93	87	37	84	97	69	108	86	116	114
金属機械工業品	鉄鋼	移出	56	79	82	232	94	93	127	106	67	60	67	54	91
		移入	366	274	311	368	348	354	334	411	297	274	366	372	334
		計	422	354	393	601	442	447	460	516	364	334	434	426	424
	非鉄金属 金属類	移出	32	22	30	24	26	70	88	92	52	56	51	51	72
		移入	94	80	66	83	83	48	83	88	73	79	93	69	74
		計	126	102	96	108	109	118	171	180	125	135	144	120	146
	輸送機械 (フェリー除く)	移出	1,236	1,357	1,798	1,937	1,920	2,124	2,163	1,934	1,958	1,862	1,758	1,976	2,564
		移入	489	674	779	687	711	967	1,183	1,094	981	857	834	857	1,336
		計	1,724	2,031	2,578	2,624	2,631	3,091	3,346	3,028	2,939	2,719	2,592	2,833	3,900
	その他	移出	27	27	42	56	51	161	187	162	136	147	211	232	159
		移入	7	9	18	23	23	110	90	99	69	71	90	87	88
		計	34	36	60	80	74	270	277	260	205	219	301	319	246
化学工業品	石油類	移出	47	65	50	58	69	68	46	35	43	39	40	40	46
		移入	7	12	9	5	2	2	3	1	1	1	5	6	1
		計	54	77	59	62	71	69	50	35	43	40	45	46	48
	セメント	移出	35	32	16	39	43	45	23	53	53	51	51	51	45
		移入	2,349	1,195	966	778	724	743	629	593	588	601	588	586	601
		計	2,384	1,227	982	818	767	788	651	646	641	651	639	637	645
その他	移出	101	93	92	81	74	154	171	173	165	159	172	167	164	
	移入	127	97	101	86	117	401	150	163	141	169	167	167	205	
	計	228	190	193	167	191	555	321	336	306	328	339	334	369	
軽工業品	紙・パルプ	移出	171	374	130	292	434	187	246	181	207	180	193	214	200
		移入	1,865	1,785	1,910	1,943	2,161	1,618	1,904	1,852	1,691	1,789	1,755	1,625	2,161
		計	2,037	2,159	2,040	2,234	2,595	1,805	2,150	2,033	1,898	1,969	1,947	1,839	2,361
	砂糖	移出	16	17	13	10	16	15	12	12	14	12	11	12	13
		移入	82	57	50	75	74	68	52	48	46	54	44	48	54
		計	98	74	63	85	90	83	64	60	60	67	55	60	67
	その他	移出	205	281	320	359	406	451	516	552	527	511	478	475	741
		移入	223	256	162	268	290	341	366	361	348	337	428	416	350
		計	428	537	482	626	696	792	883	912	875	848	906	891	1,092
	雑工業品	移出	160	180	251	275	229	305	262	218	189	196	185	196	234
		移入	46	57	68	137	75	200	154	155	103	76	80	71	138
		計	207	236	319	412	303	506	416	373	292	273	265	266	372
特殊品	金属くず	移出	167	221	140	70	26	20	27	7	15	23	7	3	23
		移入	12	7	12	12	14	34	26	21	18	24	28	24	24
		計	179	228	153	82	40	54	53	28	33	47	34	27	47
	廃棄物(廃土砂)	移出	383	1,041	1,058	1,066	1,315	1,544	1,994	1,816	1,064	1,698	1,895	2,006	1,994
		移入	6	3	4	58	9	9	6	10	74	6	5	4	21
		計	389	1,044	1,062	1,124	1,324	1,553	2,000	1,826	1,138	1,704	1,900	2,010	2,015
	取合せ品	移出	1,588	1,541	1,774	1,904	2,063	1,646	2,081	1,723	1,546	1,501	2,016	2,008	2,081
		移入	853	935	1,138	1,371	1,450	995	1,449	1,019	857	822	1,402	1,394	1,450
		計	2,441	2,476	2,912	3,276	3,513	2,640	3,530	2,742	2,402	2,323	3,418	3,402	3,531
	その他	移出	363	198	501	449	437	476	506	467	398	367	409	402	506
		移入	107	99	68	72	175	161	203	196	191	212	221	232	212
		計	470	297	569	522	612	637	709	662	589	579	630	634	718
分類不能のもの		移出													
		移入													
		計													
フェリー	移出	8,196	8,052	8,451	8,250	8,079	8,068	5,620	3,832	3,191	3,604	4,844	3,941	3,604	
	移入	7,704	7,143	7,615	7,649	7,602	7,632	5,013	3,538	3,040	3,453	4,647	3,838	3,453	
	計	15,900	15,195	16,066	15,899	15,681	15,699	10,634	7,370	6,231	7,057	9,491	7,779	7,057	
合計(ベース貨物)		移出	13,054	13,818	14,939	15,337	15,499	15,570	14,219	11,568	9,796	10,665	12,674	12,024	12,735
		移入	16,124	14,671	15,564	15,777	16,382	16,012	14,109	11,659	10,092	10,477	12,267	11,148	12,964
		計	29,178	28,489	30,502	31,115	31,881	31,582	28,327	23,227	19,887	21,141	24,942	23,172	25,699
合計(同、フェリー除く)		移出	4,858	5,767	6,488	7,087	7,420	7,502	8,598	7,736	6,605	7,060	7,830	8,083	9,131
		移入	8,420	7,527	7,949	8,128	8,780	8,380	9,095	8,121	7,051	7,024	7,620	7,310	9,511
		計	13,278	13,294	14,436	15,216	16,200	15,882	17,694	15,857	13,656	14,084	15,451	15,393	18,643

1) 内貿公共ユニット貨物の品目別取扱量の推移

内貿公共ユニット貨物の品目別取扱量の過去 10 年の推移は、次のとおりである。なお、内貿公共ユニット貨物の推計値の算出については、Ⅱ-45～Ⅱ-47 参照。

表Ⅱ- 1-12 内貿公共ユニット貨物の品目別取扱量の推移

品目		出入	実績値										実績値(参考)				(単位:千トン)	
			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	推計値 H30代後半			
農水産品	米穀類	移出	32	24	22	60	50	49	55	45	39	32	39	36	33			
		移入	51	38	18	50	39	23	28	20	11	16	15	15	16			
		計	82	63	40	110	89	72	83	66	50	48	53	52	48			
	野菜・果物	移出	5	9	5	4	4	13	22	14	19	21	20	21	18			
		移入	15	23	23	29	26	39	44	45	40	39	41	36	41			
		計	20	32	29	34	31	52	66	59	60	61	61	58	59			
	水産品	移出	12	8	9	11	10	9	5	6	8	17	16	15	10			
		移入	5	2	3	4	3	3	4	6	4	9	6	9	5			
		計	17	10	12	15	13	13	9	12	12	26	22	24	15			
	その他	移出	19	7	6	5	4	5	5	3	4	3	4	4	7			
移入		20	13	8	9	8	15	15	14	16	17	17	18	17				
計		39	21	15	13	13	19	20	17	20	20	20	21	23				
林産品	原木	移出	0	1	0		0	0				0	0	0	0			
		移入	0	0	0	1	0			0	0	0	0	0	0			
		計	0	1	0	1	0	0		0	0	0	0	0	0			
	製材	移出	4	4	5	6	7	7	7	8	10	3	3	2	3			
		移入	2	4	6	9	13	14	11	14	9	9	11	9	9			
		計	5	8	11	16	20	21	19	22	18	12	14	11	12			
	その他	移出	5	23	17	18	14	10	11	11	13	14	16	16	13			
		移入	10	20	24	29	42	36	14	6	4	5	9	11	5			
		計	16	42	41	46	56	46	25	17	18	19	24	27	18			
	鉱産品	石炭	移出	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	1		
移入			0	0	0	0		1	0			0	0	0	0			
計			0	0	0	0	0	1	0		0	0	0	0	1			
砂利・砂		移出	4	4	5	7	9	6	6	6	5	7	7	7	12			
		移入	3	3	4	1	3	7	3	4	2	1	2	1	4			
		計	8	6	9	7	12	14	9	10	6	7	9	8	16			
原油		移出	0					0	0		0	0	0	0	0			
		移入	0					0	0		0	0	0	0	0			
		計	0					0	0		0	0	0	0	0			
その他		移出	3	1	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0			
	移入	1	1	2	2	1	9	7	6	6	8	12	15	8				
	計	4	2	2	2	2	10	8	7	6	8	13	16	9				
金属機械工業品	鉄鋼	移出	8	10	10	35	38	37	79	72	45	20	19	17	49			
		移入	3	4	8	12	22	24	42	53	44	20	15	29	36			
		計	10	14	18	47	59	62	120	125	89	39	34	46	85			
	非鉄金属 金属類	移出	25	17	15	15	17	38	33	32	29	30	27	32	34			
		移入	11	11	12	13	10	16	15	15	13	14	13	12	15			
		計	36	28	27	28	27	54	48	47	41	43	40	44	49			
	輸送機械 (フェリー除)	移出	1,033	1,189	1,622	1,762	1,779	2,048	2,075	1,830	1,879	1,808	1,696	1,907	2,490			
		移入	434	583	710	638	653	917	1,088	972	927	828	811	833	1,292			
		計	1,467	1,772	2,332	2,400	2,432	2,965	3,162	2,802	2,806	2,636	2,507	2,739	3,782			
	その他	移出	24	20	25	45	38	152	178	152	126	133	161	177	151			
移入		5	6	7	15	9	70	85	86	65	66	77	78	83				
計		30	26	32	59	47	222	263	238	191	199	238	256	234				
化学工業品	石油類	移出	19	18	16	28	41	45	25	25	20	20	22	21	27			
		移入	2	1	2	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1			
		計	21	19	18	29	42	46	26	25	20	21	23	22	27			
	セメント	移出	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1			
		移入	0	1	1	1	2	4	2	2	1	1	1	1	2			
		計	2	1	1	2	3	4	3	3	3	2	2	2	3			
	その他	移出	75	53	53	53	50	135	155	153	143	141	152	148	145			
		移入	36	32	31	24	33	250	80	73	67	78	105	105	128			
		計	111	85	84	77	83	386	234	225	211	219	256	253	273			
	軽工業品	紙・パルプ	移出	164	362	125	288	425	169	235	170	196	170	186	207	198		
移入			1,125	1,134	1,307	1,422	1,595	1,162	1,403	1,385	1,329	1,400	1,368	1,279	1,904			
計			1,288	1,497	1,432	1,710	2,020	1,331	1,638	1,554	1,525	1,571	1,555	1,487	2,101			
砂糖		移出	16	16	13	10	15	15	12	12	14	12	11	12	13			
		移入	50	42	47	72	71	67	51	48	46	54	44	48	54			
		計	66	58	60	82	87	82	63	60	60	67	55	60	67			
その他		移出	171	230	256	292	355	403	487	512	504	486	458	457	709			
		移入	72	93	94	116	142	216	254	247	239	224	270	249	322			
		計	243	323	350	408	497	619	740	759	743	711	728	707	1,031			
雑工業品		移出	133	143	186	222	163	236	185	170	149	160	152	164	191			
	移入		41	30	31	83	53	128	84	81	65	63	70	63	114			
	計		174	173	217	305	216	364	269	251	214	223	222	227	305			
	金属くず	移出	4	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2			
		移入	3	2	3	3	5	9	9	9	7	9	10	9	8			
		計	7	2	3	4	6	10	10	10	8	10	11	10	10			
	廃棄物(廃土砂)	移出	1	1	2	1	1	1	1	3	5	4	5	4	4			
		移入	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1			
		計	2	1	3	2	1	2	1	3	5	5	5	5	5			
	取合せ品	移出	1,148	1,169	1,446	1,598	1,784	1,501	1,966	1,578	1,426	1,386	1,877	1,865	2,081			
移入		669	779	1,023	1,290	1,405	958	1,420	977	816	780	1,356	1,351	1,450				
計		1,817	1,947	2,469	2,888	3,189	2,459	3,386	2,555	2,242	2,166	3,234	3,216	3,531				
その他	移出	321	173	445	430	417	444	490	458	383	350	390	391	497				
	移入	94	77	47	45	139	124	172	147	150	173	175	185	185				
	計	415	249	492	475	556	567	662	605	533	523	566	576	682				
分類不能のもの		移出																
移入																		
計																		
フェリー		移出																
移入																		
計																		
合計(ベース貨物)		移出	3,225	3,484	4,285	4,893	5,221	5,328	6,035	5,263	5,018	4,822	5,262	5,509	6,688			
		移入	2,652	2,898	3,412	3,868	4,278	4,093	4,830	4,207	3,862	3,815	4,429	4,356	5,701			
		計	5,877	6,382	7,697	8,761	9,499	9,420	10,865	9,470	8,880	8,638	9,692	9,865	12,389			

2) 内貿公共在来貨物の品目別取扱量の推移

内貿公共在来貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

(内貿公共在来貨物とは、内貿公共貨物から内貿公共ユニット貨物、国際フ
ィーダー貨物、内貿公共フェリー貨物を除いたものである。)

表Ⅱ- 1-13 内貿公共在来貨物の品目別取扱量の推移

品目		出入	実績値										実績値(参考)		推計値	
			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H30代後半	
農水産品	米穀類	移出	8	14	17	28	43	6	0	0	2	2	2	4	1	
		移入	17	17	14	40	19	21	33	26	18	30	77	62	30	
		計	25	31	31	68	61	27	33	26	20	32	79	66	31	
	野菜・果物	移出	36	15	17	28	23	11	8	14	12	11	9	10	11	
		移入	15	16	17	27	17	8	6	7	6	6	5	5	6	
		計	51	30	34	56	40	19	13	21	17	17	15	15	18	
	水産品	移出		1	4	6	7	3	0	0	7	7	7	7	3	
		移入	17	4	10	9	10	11	7	24	17	20	21	18	16	
		計	17	5	14	15	17	15	7	24	24	27	28	25	19	
	その他	移出	34	32	23	28	8	0	0	29	7	7	7	7	6	
		移入	24	20	26	34	17	5	0	0	0	0	0	0	0	
		計	57	51	48	62	26	6	0	29	7	7	7	7	6	
林産品	原木	移出	0	0	0		0	0	0	1						
		移入	2	3	2	1	2	5	3	3	1	4	0		3	
		計	3	3	2	1	2	5	3	4	1	4	0		3	
	製材	移出	4	2	2	7	3	2	2	24	21	20	27	28	18	
		移入	0	0	0	1	1	0	0	2	2	4	5	5	4	
		計	4	2	3	8	4	3	2	27	24	24	32	33	22	
	その他	移出	2	1	3	0	0	2	3	3	3	2	2	2	3	
		移入	1	1	3	4	3	2	1	5	2	1	2	1		
		計	4	1	5	4	3	4	4	8	3	3	4	4		
	鉱産品	石炭	移出			0	1	1	1	3	1		2			
			移入	1	3	4	5	6	3	3		1	5		1	
			計	1	3	4	6	6	4	3	3	1	6		1	
砂利・砂		移出	99	77	31	5	27	15	22	35	21	8	58	13	14	
		移入	1,571	1,744	1,952	1,835	2,235	2,101	2,209	1,744	1,370	1,426	1,284	1,069	2,234	
		計	1,670	1,821	1,983	1,840	2,262	2,116	2,231	1,780	1,390	1,433	1,342	1,083	2,248	
原油		移出														
		移入	2	1												
		計	2	1												
その他		移出	2	15	22	19	6	0	1	1	44	67	24	44		
		移入	31	75	171	71	79	27	76	90	63	56	6	77	61	
		計	32	90	193	91	86	27	76	91	63	100	74	101	105	
金属機械工業品	鉄鋼	移出	49	69	72	198	56	56	48	33	22	40	48	37	42	
		移入	363	270	302	356	326	330	292	358	253	255	351	343	298	
		計	412	340	375	554	382	386	340	392	275	295	400	380	339	
	非鉄金属 金属類	移出	6	5	15	9	9	32	56	61	23	26	24	20	38	
		移入	83	70	55	70	73	32	68	73	61	65	79	56	59	
		計	90	75	69	79	82	65	123	134	84	92	103	76	97	
	輸送機械 (フェリー除)	移出	203	168	176	175	142	76	89	104	79	54	62	69	74	
		移入	55	92	70	49	57	50	95	123	54	29	23	24	45	
		計	258	259	246	224	199	127	184	226	134	82	85	93	119	
	その他	移出	3	7	17	12	14	9	9	10	10	14	50	54	8	
		移入	1	3	11	9	14	40	5	13	4	6	13	9	5	
		計	5	10	28	20	27	48	14	22	14	20	62	63	12	
化学工業品	石油類	移出	28	46	34	29	27	23	22	10	23	18	18	18	19	
		移入	5	11	7	4	1	1	2	0	0	1	4	6	1	
		計	33	57	41	33	29	23	24	10	23	19	22	24	20	
	セメント	移出	34	31	15	38	42	44	22	52	51	50	50	50	44	
		移入	2,348	1,194	965	777	722	739	627	591	587	600	587	585	599	
		計	2,382	1,225	981	815	764	784	648	643	638	649	637	635	643	
	その他	移出	26	40	39	28	24	19	16	21	22	18	20	19	19	
		移入	91	64	70	62	84	150	70	91	74	91	62	63	77	
		計	117	105	109	90	108	169	87	111	95	109	82	81	96	
	軽工業品	紙・パルプ	移出	8	12	6	4	9	18	11	12	11	9	6	6	3
			移入	741	651	602	521	565	455	501	467	362	389	386	346	257
			計	748	663	608	524	574	474	512	479	373	398	393	352	260
砂糖		移出	0	1	0		0	0	0				0			
		移入	33	15	3	3	3	0	1	0						
		計	33	16	3	3	3	0	1	0			0			
その他		移出	35	51	64	67	52	48	29	40	23	24	20	17	32	
		移入	150	163	68	151	148	125	113	114	109	113	158	167	28	
		計	185	214	132	219	199	173	142	153	131	137	178	184	60	
雑工業品			移出	28	37	65	53	66	70	77	49	40	36	33	32	44
			移入	5	27	37	54	21	72	71	74	38	13	9	8	24
			計	33	64	101	107	87	142	147	122	78	50	43	39	67
	金属くず	移出	163	221	140	68	25	19	26	6	14	22	5	2	21	
		移入	9	5	10	10	9	26	17	12	11	15	18	15	16	
		計	172	226	149	78	35	44	43	18	25	37	23	16	37	
	廃棄物(廃土砂)	移出	382	1,041	1,056	1,065	1,315	1,543	1,993	1,813	1,060	1,694	1,890	2,001	1,990	
		移入	6	2	3	57	9	9	6	9	73	5	4	4	20	
		計	388	1,043	1,059	1,122	1,323	1,552	1,999	1,822	1,133	1,699	1,895	2,005	2,010	
	取合せ品	移出	440	373	329	306	279	144	115	144	120	115	139	143		
		移入	184	157	115	81	45	37	30	43	41	42	45	43		
		計	624	529	443	387	324	181	145	187	161	157	184	186		
特殊品	その他	移出	42	26	56	19	20	32	16	8	15	17	19	11	9	
		移入	13	22	21	28	36	38	31	49	41	39	46	46	27	
		計	56	48	77	46	56	70	47	57	56	56	65	58	36	
	分類不能のもの	移出														
		移入														
		計														
	フェリー	移出														
		移入														
		計														
	合計(ベース貨物)	移出	1,633	2,283	2,203	2,194	2,199	2,174	2,563	2,473	1,587	2,238	2,568	2,575	2,443	
		移入	5,768	4,629	4,537	4,260	4,503	4,288	4,265	3,914	3,190	3,209	3,191	2,954	3,810	
		計	7,401	6,912	6,740	6,455	6,701	6,462	6,828	6,387	4,776	5,446	5,759	5,528	6,254	
合計(同、フェリー除く)	移出	1,633	2,283	2,203	2,194	2,199	2,174	2,563	2,473	1,587	2,238	2,568	2,575	2,443		
	移入	5,768	4,629	4,537	4,260	4,503	4,288	4,265	3,914	3,190	3,209	3,191	2,954	3,810		
	計	7,401	6,912	6,740	6,455	6,701	6,462	6,828	6,387	4,776	5,446	5,759	5,528	6,254		

(4) 内貿フェリー貨物取扱量の推移

内貿フェリー貨物の取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。
なお、推計値の算出については、II-49 参照。

表 II - 1-14 内貿フェリー貨物量の推移

品目	出入	実績値										(単位:千トン)		
		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	実績値(参考)	推計値	
フェリー	移出	8,196	8,052	8,451	8,250	8,079	8,068	5,620	3,832	3,191	3,604	4,844	3,941	3,604
	移入	7,704	7,143	7,615	7,649	7,602	7,632	5,013	3,538	3,040	3,453	4,647	3,838	3,453
	計	15,900	15,195	16,066	15,899	15,681	15,699	10,634	7,370	6,231	7,057	9,491	7,779	7,057

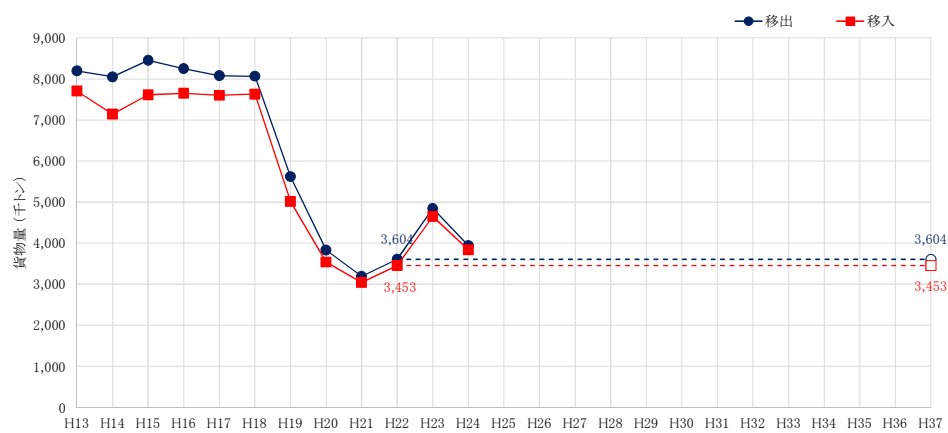


図 II - 1-5 内貿フェリー貨物取扱量の推移

(5) 国際フィーダー貨物（コンテナ）の品目別取扱量の推移

国際フィーダー貨物（コンテナ）の品目別取扱量の過去 10 年の推移は、次のとおりである。なお、推計値の算出については II-50～II-51 参照。

表 II-1-15 国際フィーダー貨物（コンテナ）の品目別取扱量の推移

品目		出入	実績値										実績値(参考)		推計値
			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	(H30代後半)
農水産品	米穀類	移出 移入 計	2 1 2	1 0 1	0 0 0	2 4 6	1 12 13	2 16 18	2 18 20	1 7 8	3 15 18	2 10 12	8 7 15	3 18 21	7 0 7
	野菜・果物	移出 移入 計	2 0 2	0 0 0	1 0 1	4 9 13	12 11 23	16 17 33	18 13 31	7 4 11	15 5 20	10 3 14	7 4 10	18 4 22	34 11 45
	水産品	移出 移入 計	6 0 6	3 0 3	2 1 3	6 10 16	23 18 40	25 30 55	27 22 49	8 7 15	10 8 18	5 8 13	3 6 9	11 6 17	15 27 42
	その他	移出 移入 計	1 1 2	0 1 1	0 1 1	4 1 5	8 1 9	4 1 5	7 1 8	10 10 20	22 1 23	31 0 31	17 3 20	25 0 25	101 0 101
	原木	移出 移入 計	0 0 0	2 2 4	1 1 2	1 1 2	1 1 2			4 4 8				0 0 0	
	製材	移出 移入 計	49 2 51	69 2 71	49 2 51	51 2 53	45 2 47	4 2 6	18 2 20	8 2 10	12 2 14	11 2 13	13 2 15	31 2 33	35 2 37
	その他	移出 移入 計	2 2 4					1 1 2	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0
	鉱産品	石炭	移出 移入 計								0 0 0	1 1 1	0 0 0	1 1 1	2 0 2
砂利・砂		移出 移入 計							2 0 2	0 1 1	0 1 1	0 1 1	0 2 2	0 1 1	0 2 2
原油		移出 移入 計								2 0 2	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	
その他		移出 移入 計			0 0 0	0 0 0			2 2 4	9 9 18	9 3 12	1 7 8	7 29 36		
鉄鋼		移出 移入 計							0 1 1	0 1 1	0 1 1	0 2 2	0 1 1	0 7 7	0 3 3
非鉄金属 金属類		移出 移入 計	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	5 1 6	5 2 7	6 1 7	2 2 4	4 1 5	20 2 22	
金属機械工業品	輸送機械 (フェリー除)	移出 移入 計	25 62 87	14 51 65	21 94 115	13 67 80	0 30 30	0 2 2	1 35 36	3 60 63	3 46 49	6 57 63	4 27 31	2 149 151	21 199 220
	その他	移出 移入 計	46 53 99	43 54 97	42 79 121	27 62 89	1 10 11	1 1 2	4 9 13	7 18 25	8 9 17	24 16 40	30 30 60	27 30 57	149 151 199
	石油類	移出 移入 計	1 1 2			0 0 0			0 0 0	1 0 1	0 0 0	0 0 0	1 0 1	1 0 1	1 0 1
	セメント	移出 移入 計										0 0 0	0 0 0		0 0 0
	その他	移出 移入 計	1 0 1	2 0 2	1 0 1	0 0 0	0 0 0	1 1 2	1 20 21	8 36 44	21 48 69	18 30 48	17 44 61	15 31 46	58 98 156
	紙・パルプ	移出 移入 計	2 1 3	1 1 2	0 0 0	4 0 4	2 0 2	1 0 1	0 0 0	1 0 1	11 2 12	12 1 13	14 2 16	22 2 24	41 3 44
軽工業品	砂糖	移出 移入 計							0 0 0	0 2 2	0 17 17	0 12 12	0 11 11	1 56 56	0 56 56
	その他	移出 移入 計	28 13 41	45 47 92	36 49 85	17 25 42	3 2 5	8 5 13	5 7 12	6 4 10	21 14 35	37 26 63	28 23 51	45 11 56	121 84 205
	雑工業品	移出 移入 計	4 4 7	6 6 12	0 1 1	1 22 23	2 16 18	0 0 0	2 4 6	8 41 49	25 107 132	52 84 136	43 59 102	28 59 87	168 349 517
	特殊品	金属くず	移出 移入 計				0 0 0			0 0 0	1 1 2	1 1 2	1 0 1	0 0 0	0 0 0
特殊品	廃棄物(廃土砂)	移出 移入 計													
	取合せ品	移出 移入 計	73 52 125	62 56 118	56 39 95	126 123 249	128 132 260	178 246 424	215 376 591	408 609 1,016	195 388 583	269 358 627	278 352 630	312 392 704	878 1,166 2,045
	その他	移出 移入 計	6 6 12	5 5 10	1 1 2	2 5 7	5 6 11	4 4 8	9 1 10	21 27 48	35 2 37	23 4 27	36 0 36	114 6 120	
	分類不能のもの	移出 移入 計													
合計	移出 移入 計	246 188 435	254 215 468	212 265 477	259 318 576	231 217 448	244 294 538	302 413 715	496 692 1,187	377 605 983	513 609 1,123	483 617 1,100	593 575 1,168	1,674 1,986 3,659	

(6) 内貿専用貨物の品目別取扱量の推移

内貿専用貨物の品目別取扱量の過去 10 年の推移は、次のとおりである。

なお、推計値の算出については、II-52 参照。

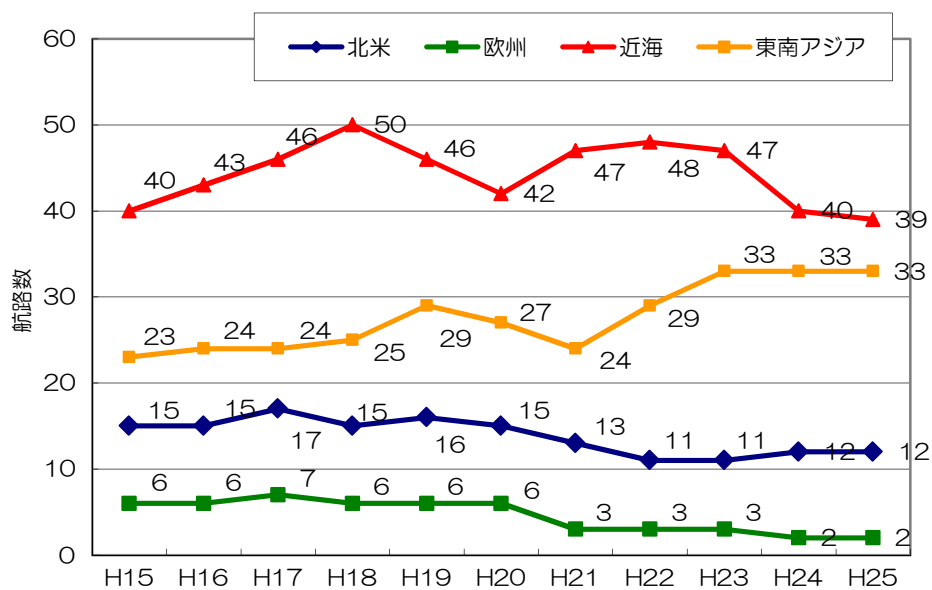
表 II - 1-16 内貿専用貨物の品目別取扱量の推移

品目		実績値										実績値(参考)		
		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	推計値 H30代後半
農水産品	米穀類	移出 5 移入 5												
	野菜・果物	移出 1 移入 1												18 18
	水産品	移出 移入												8 8
	その他	移出 移入										0 0		
林産品	原木	移出 移入												
	製材	移出 移入						3 3						
	その他	移出 2 移入 2												
鉱産品	石炭	移出 移入												
	砂利・砂	移出 144 移入 5,066 計 5,210	4,463 4,463	4,202 4,202	4,500 4,506	4,136 4,164	4,092 4,144	3,697 3,719	3,359 3,409	3,738 3,772	3,151 3,196	3,275 3,278	3,294 3,294	3,151 3,196
	原油	移出 845 移入 845	730 730	1,012 1,012	881 881	950 950	860 860	1,050 1,050	993 993	560 560	435 435	720 720	1,157 1,157	435 435
	その他	移出 移入				1 1	1 1							
金属機械工業品	鉄鋼	移出 69 移入 1,215 計 1,284	15 1,086 1,100	1,094 1,094	893 894	893 897	929 932	1,027 1,035	1,009 1,011	597 598	838 846	807 807	820 820	838 846
	非鉄金属 金属類	移出 移入	0 1		1 1	5 5	8 8		1 0	0 0		0 1	0 0	
	輸送機械 (フェリー除)	移出 移入												
	その他	移出 0 移入 0		0 0	0 0	0 0			0 0	0 0	0 0	0 1	0 0	
化学工業品	石油類	移出 333 移入 5,250 計 5,583	344 4,969 5,312	354 5,078 5,431	348 4,574 4,923	317 4,413 4,730	313 4,250 4,564	229 4,197 4,426	194 4,196 4,390	162 3,961 4,122	123 3,701 3,824	129 3,663 3,792	133 3,657 3,790	123 3,701 3,824
	セメント	移出 1,256 移入 1,256	1,995 1,995	2,282 2,282	2,442 2,442	2,281 2,311	2,167 2,175	2,066 2,066	1,864 1,865	1,697 1,697	1,702 1,702	1,765 1,765	1,833 1,833	1,702 1,702
	その他	移出 0 移入 2 計 3			0 0		1 1			3 3		0 0		
軽工業品	紙・パルプ	移出 移入												
	砂糖	移出 移入												
	その他	移出 168 移入 168	153 153	135 135	120 120	116 116	129 129	130 130	116 116	85 85	71 71	67 67	83 83	71 71
雑工業品		移出 移入												
特殊品	金属くず	移出 移入			0 0	4 4	2 2	1 1	1 1	1 1	0 0	1 1	0 0	0 0
	廃棄物(廃土砂)	移出 移入		4 4	1 2		0 0	0 0						
	取合せ品	移出 1 移入 1				0 0	3 3	0 0			1 1			1 1
	その他	移出 移入				3 7	3 14	24 21	27 8	21 0	6 17	2 77	0 69	6 17
分類不能のもの		移出 移入												
合計(ベース貨物)	移出 移入 計	714 13,644 14,358	511 13,242 13,753	493 13,667 14,161	477 13,293 13,770	504 12,686 13,190	521 12,312 12,833	413 12,062 12,475	391 11,430 11,820	303 10,557 10,859	254 9,845 10,099	202 10,310 10,512	216 10,832 11,047	254 9,871 10,125

1-1-4 定期航路の現況等

(1) 外貨コンテナ定期航路

外貨コンテナ定期航路の主要寄港地、寄港頻度等の現況は、次のとおりである。



図Ⅱ- 1-6 東京港の外貨コンテナ定期航路数の推移

※近海航路：中国、韓国、香港、台湾の港湾のみに寄港する航路

※東南アジア航路：近海航路を除くアジア諸国の港湾に寄港する航路

1) 北米航路

表Ⅱ- 1-17 (1) 外貿コンテナ定期航路（北米航路）の概要

●北米航路

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
APL Hyundai 商船三井	レムチャパン/カイメツプ/香港/塩田 /ロサンゼルス/オークランド/シアトル/バンクーバー/東京/神戸/塩田/香港/レムチャパン	8 隻 56 日ラウンド (火、ウィークリー)	MOL MANEUVER	6,724	79,423	大井 O3/4
			MOL MODERN	6,724	79,283	
			MOL MOTIVATOR	6,724	79,278	
			MOL MISSION	6,200	79,491	
			MOL MAGNIFICENCE	6,724	79,417	
			MOL MAJESTY	6,724	79,443	
			MOL MATRIX	6,724	79,312	
			MOL MARVEL	6,724	79,460	
APL Hyundai 商船三井	赤湾/香港/高雄/釜山/神戸/東京/バルボア/マンザニエロ デ パナマ/マイアミ/ジャクソンビル/サバンナ/チャールストン/ニューヨーク/アントワープ/フェリックスストウ/ブレマーハーフェン/ロッテルダム/ルアーブル/ニューヨーク/ノーフォーク/チャールストン/マンザニエロ デ パナマ/ロサンゼルス/オークランド/東京/神戸/赤湾	13 隻 91 日ラウンド (土、月、ウィークリー)	APL ARABIA	4,890	66,895	大井 O3/4
			APL EGYPT	4,890	66,922	
			APL MALAYSIA	4,890	66,910	
			APL JADE	4,729	66,647	
			MOL EFFICIENCY	4,646	63,160	
			MOL ENCORE	4,578	61,441	
			MOL ENDEAVOR	4,578	61,441	
			MOL ENDURANCE	4,578	61,441	
			MOL EXPEDITOR	4,646	63,098	
			MOL EXPRESS	4,646	63,046	
			APL GARNET	4,729	66,618	
			APL SARDONYX	4,729	65,598	
Evergreen [CSCL]	釜山/青島/上海/寧波/東京/CCT /チャールストン/ノーフォーク/ニューヨーク/CCT /ロサンゼルス/オークランド/東京/釜山	9 隻 63 日ラウンド (金、火、ウィークリー)	MOL ENDOWMENT	4,800	62,949	青海 A4
			EVER RACER	4,229	57,904	
			EVER REACH	4,229	57,904	
			EVER REFINE	4,229	58,912	
			EVER REWARD	4,229	58,912	
			SUN RIGHT	4,229	57,904	
			SUN ROUND	4,229	57,904	
			SUN ROAD	4,229	57,904	
Evergreen	地中海/タンジュンペラバス/高雄/香港/塩田/上海/寧波/タコマ/バンクーバー/東京/大阪/釜山/青島/上海/寧波/高雄/香港/塩田/タンジュンペラバス/地中海	14 隻 98 日ラウンド (水、ウィークリー)	EVER RESPECT	4,229	58,912	青海 A4
			EVER RADIANT	4,229	58,912	
			EVER UBERTY	5,652	63,216	
			EVER ULTRA	5,364	63,388	
			EVER UNIFIC	5,652	63,180	
			EVER UNISON	5,364	63,388	
			EVER UNITED	5,364	63,309	
			EVER URBAN	5,652	63,120	
			EVER USEFUL	5,652	63,197	
			EVER ETHIC	6,332	75,898	
			EVER EXCEL	6,332	75,898	
			EVER ULYSSES	5,652	63,045	
			EVER UNICORN	5,652	63,400	
			EVER UNITY	5,652	63,216	
			ITAL UNIVERSO	5,652	63,074	
			ITAL USODIMARE	5,652	63,388	
			A VESSEL			

出典：「東京港ハンドブック2014」より抜粋（平成25年7月1日時点）

表Ⅱ- 1-17 (2) 外貿コンテナ定期航路（北米航路）の概要

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
Hanjin [COSCO Evergreen 日本郵船]	高雄／塩田／上海／釜山／ロングビーチ ／オークランド／シアトル／東京／大阪 ／高雄	6 隻 42 日ラウンド (火、ウィーク リー)	HANJIN TURKEY	3,600	45,542	青海 A3
			HANJIN ARGENTINA	3,600	45,542	
			HANJIN INDONESIA	3,600	45,542	
			HANJIN MEXICO	3,600	45,542	
			HANJIN ALGECIRAS	3,398	44,144	
			A VESSEL			
Hanjin Hapag Lloyd 日本郵船 OOCL	神戸／名古屋／東京／仙台／ロサンゼルス ／オークランド／東京／名古屋／神戸	5 隻 35 日ラウンド (土、日、ウィーク リー)	SPRING R	3,586	46,230	大井 O6/7
			HANJIN CONSTANTZA	3,398	44,012	
			WILLIAM SHAKESPEARE	3,398	44,022	
			RIO DE JANEIRO EXPRESS	4,248	50,500	
			ADELHEID-S.	3,398	44,053	
Hapag Lloyd 日本郵船 OOCL	高雄／塩田／上海／神戸／名古屋／東京 ／タコマ／オークランド／ロサンゼルス ／マンザニロ デ パナマ／サバンナ ／ノーフォーク／ニューヨーク／ハリ ファックス／アントワープ／テムズボート ／ハンブルグ／ロッテルダム／ハリ ファックス／ニューヨーク／ノーフォーク ／サバンナ／マンザニロ デ パナマ ／ロサンゼルス／オークランド／横浜／神 戸／高雄	15 隻 107 日ラウンド (木、ウィーク リー)	DALLAS EXPRESS	4,890	67,145	大井 O6/7
			SEOUL EXPRESS	4,890	66,971	
			DRESDEN EXPRESS	4,639	67,618	
			DUESSELDORF EXPRESS	4,612	66,525	
			KIEL EXPRESS	4,639	67,686	
			HOECHST EXPRESS	4,639	67,684	
			KOBE EXPRESS	4,612	66,771	
			OAKLAND EXPRESS	4,873	66,781	
			LONDON EXPRESS	4,612	66,577	
			HALIFAX EXPRESS	4,843	66,818	
			PARIS EXPRESS	4,639	65,815	
			ROTTERDAM EXPRESS	4,890	66,975	
			STUTTGART EXPRESS	4,639	67,680	
			TOKYO EXPRESS	4,890	67,145	
			BOSTON EXPRESS	4,639	67,680	
Hapag Lloyd 日本郵船 OOCL Zim	寧波／上海（洋山）／青島／釜山／バン クーバー／タコマ／バンクーバー／東京 ／名古屋／神戸／釜山／寧波	6 隻 42 ラウンド (月 / 火、 ウィークリー)	VIENNA EXPRESS	8,749	103,648	大井 O6/7
			KYOTO EXPRESS	8,749	103,800	
			OSAKA EXPRESS	8,749	103,800	
			HANOVER EXPRESS	8,749	103,800	
			PRAGUE EXPRESS	8,749	104,015	
			SOFIA EXPRESS	8,749	104,007	
川崎汽船 商船三井 [COSCO Hanjin Hyundai Yang Ming]	高雄／厦門／香港／塩田／名古屋／東京 ／タコマ／バンクーバー／東京／名古屋 ／神戸／高雄	6 隻 42 日ラウンド (木 / 金、火 / 水、ウィーク リー)	AKINADO EBIDFJ	5,610	71,366	大井 O1/2
			CHICAGO BRIDGE	5,896	67,170	
			CHISWICK BRIDGE	5,610	71,362	
			GRANVILLE BRIDGE	5,642	71,326	
			GLEN CANYON BRIDGE	5,642	71,291	
			TSING MA BRIDGE	5,610	71,310	
川崎汽船 商船三井 [APL COSCO Evergreen Hanjin Hyundai Yang Ming]	神戸／名古屋／清水／東京／ロングビー チ／ロサンゼルス／オークランド／東京 ／神戸	5 隻 35 日ラウンド (土、月、ウィーク リー)	VERRAZANO BRIDGE	4,014	65,038	大井 O1/2
			VIRGINIA BRIDGE	4,014	64,990	
			MOL EXPLORER	4,803	62,958	大井 O3/4
			MOL EXPERIENCE	4,803	62,953	
			RHL CONSTANTIA	3,620	57,500	
川崎汽船 Yang Ming [COSCO Hanjin PIL Wan Hai]	香港／塩田／厦門／ロングビーチ／オー 克蘭ド／東京／名古屋／香港	7 隻 49 日ラウンド (日 / 月、 ウィークリー)	BAI CHAY BRIDGE	4,432	52,452	大井 O1/2
			BRUSSELS BRIDGE	4,434	52,452	
			BROOKLYN BRIDGE	4,432	52,055	
			BAY BRIDGE	4,432	52,118	
			BANGKOK BRIDGE	4,432	52,089	
			BALTIMORE BRIDGE	4,432	52,184	
WESTWOOD	大阪／名古屋／清水／東京／シアトル／ バンクーバー (a) ※ロングビュー／※シアトル／※ ポートランド／ひたちなか／清水／※横 浜／※東京／釜山／大阪 (b) ※シアトル／吉小牧／釜山／大阪 (a) (b) を交互に運航	7 隻 49 日ラウンド (木、ウィーク リー)	WESTWOOD CASCADE	2,169	30,135	青海公共
			WESTWOOD PACIFIC	2,169	30,007	
			WESTWOOD DISCOVERY	2,169	30,007	
			WESTWOOD COLUMBIA	2,048	44,851	
			WESTWOOD OLYMPIA	2,048	44,766	
			WESTWOOD RAINIER	2,048	44,759	
			WESTWOOD VICTORIA	2,048	44,851	

出典：「東京港ハンドブック2014」より抜粋（平成25年7月1日時点）

2) 欧州航路

表Ⅱ- 1-18 外貿コンテナ定期航路（欧州航路）の概要

●欧州航路

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
APL Hapag Lloyd Hyundai 商船三井 日本郵船 OOCL	神戸/名古屋/清水/東京/香港/カイ メップ/シンガポール/ジェッタ/ロッ テルダム/ハンブルク/サザンプトン/ ルアーブル/シンガポール/香港/神戸	11 隻 77 日ラウンド (水/金、 ウィークリー)	MOL COMFORT	8,600	90,613	大井 O3/4
			MOL CREATION	8,110	90,678	
			MOL CHARISMA	8,110	90,630	
			MOL COMPETENCE	8,110	90,613	大井 O6/7
			MOL COURAGE	8,600	90,634	
			NYK OCEANUS	9,120	99,563	
			NYK VEGA	9,012	103,310	
			NYK VESTA	9,012	103,260	
			NYK VENUS	9,012	103,207	
			NYK OLYMPUS	8,628	99,563	
Evergreen Hanjin [商船三井] Yang Ming	北米/東京/大阪/釜山/青島/上海/ 寧波/高雄/蛇口/塩田/タンジュンベ ラバス/コロンボ/アシュドット/アレ クサンドリア/ターラント/コベル/リ エカ/トリエステ/ターラント/コロン ボ/タンジュンベラバス/高雄/香港/ 塩田/上海/寧波/北米	14 隻 98 日ラウンド (水、ウィーク リー)	NYK ALTAIR	10,000	89,692	青海 A4
			EVER UBERTY	5,652	63,216	
			EVER ULTRA	5,364	63,388	
			EVER UNIFIC	5,652	63,180	
			EVER UNISON	5,364	63,388	
			EVER UNITED	5,364	63,309	
			EVER URBAN	5,652	63,120	
			EVER USEFUL	5,652	63,197	
			EVER ETHIC	6,332	75,898	
			EVER EXCEL	6,332	75,898	
			EVER ULYSSES	5,652	63,045	
			EVER UNICORN	5,652	63,400	
			ITAL UNIVERSO	5,652	63,074	
			ITAL USODIMARE	5,652	63,388	
			A VESSEL			

出典：「東京港ハンドブック2014」より抜粋（平成25年7月1日時点）

3) ニュージーランド航路

表Ⅱ- 1-19 外貿コンテナ定期航路（NZ 航路）の概要

●ニュージーランド航路

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
COSCO Hamburg Sud Hapag Lloyd 商船三井 日本郵船	東京/神戸/釜山/上海/塩田/香港/ ブリスベン/オークランド (NZ) /リッ テルトン/ネピア/タウランガ/東京	6 隻 42 日ラウンド (火/水、 ウィークリー)	NYK GALAXY	4,298	53,704	大井 O6/7
			AGLAIA	4,250	52,788	
			CAP CAMPBELL		51,599	青海 A4
			CAP MANUEL	3,534	42,045	
			JPO TUCANA	4,250	52,788	大井 O3/4
			MOL DELIGHT	4,250	50,800	

出典：「東京港ハンドブック2014」より抜粋（平成25年7月1日時点）

4) 南米西岸航路

表Ⅱ- 1-20 外貿コンテナ定期航路（南米西岸航路）の概要

●南米西岸航路

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
川崎汽船 商船三井 日本郵船 [Hapag Lloyd]	基隆/香港/大鵬湾/厦門/上海/寧波/ 釜山/マンザニエロ (メキシコ) /カ ラオ/イキケ/バルパライソ/リルケン /カラオ/マンザニエロ (メキシコ) / 東京/基隆	11 隻 77 日ラウンド (日/月、 ウィークリー)	SAN FRANCISCO BRIDGE	6,400	72,890	大井 O1/2
			SEATTLE BRIDGE	6,400	72,890	
			SAN DIEGO BRIDGE	6,400	72,912	
			MOL PACE	6,350	72,968	大井 O3/4
			MOL PROSPERITY	6,350	72,968	
			MOL PRECISION	6,350	73,063	
			NYK APHRODITE	6,492	81,171	大井 O6/7
			NYK AQUARIUS	6,492	81,171	
			NYK LODESTAR	6,178	77,900	
			NYK LYNX	6,178	77,950	
			NYK LYRA	6,178	77,950	

出典：「東京港ハンドブック2014」より抜粋（平成25年7月1日時点）

5) アジア航路

表Ⅱ- 1-21 (1) 外貿コンテナ定期航路 (アジア航路) の概要

●アジア航路

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
APL [Hanjin] [商船三井]	東京/横浜/名古屋/神戸/赤湾/香港/レムチャパン/ホーチミンシティ/高雄/東京	3 隻 21 日ラウンド (日/月、ウィークリー)	APL PUSAN	2,478	34,133	青海公共
			APL CAIRO	2,478	34,133	
			APL JEDDAH	2,478	34,183	
Cheng Lie Yang Ming [Evergreen]	東京/横浜/名古屋/神戸/大阪/基隆/高雄/香港/レムチャパン/バンコク/レムチャパン/ホーチミンシティ/香港/高雄/台中/基隆/東京	4 隻 28 日ラウンド (木/金、ウィークリー)	YM PEOPLE	1,620	22,052	青海公共
			YM IMPROVEMENT	1,549	22,072	
			MAERSK WELLINGTON	1,700	21,419	
			PELICAN	1,809	21,500	
Cheng Lie Yang Ming [Evergreen] [インターエイシアライン] [T.S.Lines]	東京/横浜/名古屋/大阪/神戸/基隆/台中/高雄/香港/レムチャパン/バンコク/レムチャパン/香港/高雄/基隆/東京	4 隻 28 日ラウンド (火、ウィークリー)	TZINI	1,756	24,122	品川公共
			KUO CHIA	1,295	18,622	
			KUO WEI	1,295	18,580	
			HANSA LUDWIGSBURG	1,740	23,305	
CSCL Gold Star	東京/横浜/名古屋/釜山/上海/香港/蛇口/レムチャパン/南砂/香港/蛇口/廈門/東京	4 隻 28 日ラウンド (水、ウィークリー)	CSCL CALLAO	2,546	34,194	青海公共
			CSCL MONTEVIDEO	2,546	34,194	
			CSCL SANTIAGO	2,546	33,725	
			CHINA STAR	3,352	47,230	青海 A4
Evergreen	東京/横浜/清水/名古屋/四日市/台中/高雄/香港/ホーチミンシティ/香港/蛇口/香港/東京	3 隻 21 日ラウンド (木/金、ウィークリー)	EVER PRIDE	1,618	19,309	青海 A4
			EVER PEACE	1,618	19,309	
			UNI-PRUDENT	1,618	19,309	
Evergreen [Yang Ming]	東京/横浜/名古屋/四日市/台北/台中/高雄/シンガポール/ポートケラン/ベナン/タンジュンペラバス/クアタタン/香港/高雄/台中/台北/東京	4 隻 28 日ラウンド (月/火、ウィークリー)	GLORY	2,080	30,447	青海 A4
			EVER POWER	1,618	19,309	
			UNI-PROSPER	1,618	19,309	
			VNL RUBY	1,794	25,795	
Evergreen Wan Hai [COSCO] [インターエイシアライン] [Yang Ming]	大阪/神戸/清水/横浜/東京/台北/台中/香港/蛇口/北マニラ/南マニラ/蛇口/廈門/大阪	3 隻 21 日ラウンド (土/日、ウィークリー)	WAN HAI 265	1,675	23,643	大井 O5
			WAN HAI 267	1,675	23,623	
			UNI-PACIFIC	1,618	19,309	青海 A4
Hyundai 日本郵船 SPIC [Evergreen]	神戸/大阪/名古屋/東京/横浜/レムチャパン/バンコク/レムチャパン/ホーチミンシティ/神戸	3 隻 21 日ラウンド (金/土、ウィークリー)	RATANA THIDA	1,228	18,196	大井 O6/7
			SATSUKI	1,177	17,705	
			SUZURAN	1,177	17,704	
インターエイシアライン Wan Hai [CMA CGM] [OOCL]	東京/横浜/上海/香港/ダナン/カトライ/香港/蛇口/廈門/東京	3 隻 21 日ラウンド (木/金、ウィークリー)	WAN HAI 232	1,660	21,008	大井 O5
			WAN HAI 263	1,675	23,635	
			WAN HAI 271	1,805	21,650	
インターエイシアライン Wan Hai [Evergreen] [Hamburg Sud]	東京/横浜/名古屋/香港/バンコク/レムチャパン/香港/蛇口/東京	3 隻 21 日ラウンド (月、ウィークリー)	HORAI BRIDGE	1,708	21,922	大井 O5
			WAN HAI 272	1,805	21,650	
			WAN HAI 275	1,549	21,650	
インターエイシアライン Wan Hai	東京/横浜/名古屋/神戸/香港/蛇口/ポートケラン/香港/東京	3 隻 21 日ラウンド (火/水、ウィークリー)	WAN HAI 313	2,646	32,937	大井 O5
			WAN HAI 311	2,646	32,937	
			WAN HAI 317	2,646	33,055	
川崎汽船 [SITC]	清水/東京/横浜/名古屋/大阪/神戸/レムチャパン/バンコク/レムチャパン/ホーチミンシティ/清水	3 隻 21 日ラウンド (水、ウィークリー)	AYUTTHAYA BRIDGE	1,708	21,992	大井 O1/2
			ANDERSON BRIDGE	1,708	21,972	
			JAKARTA BRIDGE	1,708	21,956	
川崎汽船 日本郵船 [Hanjin] [Samudera]	東京/川崎/横浜/清水/四日市/名古屋/神戸/マニラ/シンガポール/ポートケラン/ジャカルタ/シンガポール/香港/東京	4 隻 28 日ラウンド (水/木、ウィークリー)	CALICANTO BRIDGE	2,546	34,195	大井 O1/2
			NYK MARIA	2,664	34,558	
			ACX PEARL	2,858	39,580	大井 O6/7
			ACX CRYSTAL	2,846	39,565	

出典：「東京港ハンドブック2014」より抜粋（平成25年7月1日時点）

表Ⅱ-1-21(2) 外貿コンテナ定期航路(アジア航路)の概要

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
川崎汽船 日本郵船 [Hanjin Samudera]	大阪/名古屋/清水/東京/横浜/御前崎/シンガポール/ジャカルタ/シンガポール/マニラ/大阪	4隻 28日ラウンド (土/日、 ウィークリー)	NYK PAULA	2,664	34,532	大井 O6/7
			NYK DANIELLA	2,846	34,536	
			ARICA BRIDGE	2,450	32,997	大井 O1/2
			LOS ANDES BRIDGE	2,450	33,003	
川崎汽船 SITC	東京/横浜/ひたちなか/上海/寧波/ホーチミンシティ/バンコク/レムチャパン/北マニラ/南マニラ/上海/東京	4隻 28日ラウンド (月、ウィークリー)	CAPE FALCON	1,221	16,421	大井 O1/2
			ASIAN GYRO	1,098	18,069	
			CAPE FRASER	1,221	16,403	
			SITC HAKATA	1,098	18,069	
MCC Transport OOCL [Evergreen Gold Star]	東京/横浜/名古屋/高雄/香港/塩田/タンジュンペラバス/シンガポール/ジャカルタ/タンジュンペラバス/シンガポール/レムチャパン/香港/廈門/東京	5隻 35日ラウンド (水/木、 ウィークリー)	SFL TIGER	2,824	39,266	大井 O3/4
			HEIKE P	2,732	39,128	
			SATTHA BHUM	2,732	38,948	
			LIWIA P	2,732	39,128	
商船三井 Hapag Lloyd インターエイシアライン OOCL RCL Wan Hai	東京/横浜/名古屋/神戸/香港/シンガポール/ポートケラン/シンガポール/大釜湾/香港/東京	3隻 21日ラウンド (月/火、 ウィークリー)	SFL HAWK	2,824	39,418	
			MOL EMISSARY	5,041	67,000	大井 O3/4
			MOL EMPIRE	5,041	67,000	
			MOL EMERALD	5,041	67,518	
商船三井 [インターエイシアライン] Wan Hai	大阪/四日市/横浜/東京/香港/シンガポール/ポートケラン/ジャカルタ/ポートケラン/シンガポール/カメツブ/香港/大阪	4隻 28日ラウンド (木/金、 ウィークリー)	MOL DAWN	4,252	52,146	大井 O3/4
			MOL DAYLIGHT	4,252	52,146	
			MOL DEDICATION	4,250	50,596	
			MOL DOMINANCE	4,250	50,595	
商船三井 [Cheng Lie Evergreen Heung-A]	東京/横浜/清水/四日市/名古屋/釜山/レムチャパン/マニラ/東京	3隻 21日ラウンド (土/日、 ウィークリー)	MOL SPARKLE	2,553	33,541	大井 O3/4
			MOL SEABREEZE	2,483	33,508	
			MOL SUCCESS	2,483	33,543	
日本郵船 [SPIC]	東京/清水/名古屋/神戸/ホーチミンシティ/レムチャパン/ホーチミンシティ/東京	3隻 42日ラウンド (水、ウィークリー)	ACX MARGUERITE	1,613	24,386	大井 O6/7
			IGA	1,613	24,376	
			IMARI	1,613	24,376	
日本郵船 [Cheng Lie KL]	東京/横浜/清水/名古屋/神戸/釜山/光陽/基隆/高雄/ハイフォン/廈門/基隆/東京	3隻 21日ラウンド (火/水、ウィークリー)	SANUKI	1,157	17,182	大井 O6/7
			SOGA	1,157	17,224	
			SUMIRE	1,177	17,732	
OOCL	東京/横浜/名古屋/神戸/大阪/高雄/香港/シンガポール/蛇口/香港/東京	3隻 21日ラウンド (水、ウィークリー)	OOCL BUSAN	4,578	50,567	青海 A3
			OOCL CHARLESTON	4,578	50,518	
			OOCL ZHOUSHAN	4,583	52,214	
OOCL [インターエイシアライン] 商船三井	大阪/神戸/東京/横浜/香港/レムチャパン/蛇口/香港/廈門/大阪	3隻 21日ラウンド (木/金、 ウィークリー)	MAIN TRADER	2,702	38,061	青海 A3
			OLYMPIA	2,702	38,013	
			RACHA BHUM	2,732	38,968	
OOCL [MCC Transport]	大阪/東京/名古屋/四日市/神戸/基隆/香港/蛇口/シンガポール/ジャカルタ/シンガポール/蛇口/香港/大阪	4隻 28日ラウンド (月/火、 ウィークリー)	OOCL DALIAN	4,578	50,554	青海公共
			OOCL AUSTRALIA	4,583	52,217	
			OOCL GUANGZHOU	4,526	50,486	
			OOCL SAVANNAH	4,578	50,490	
Sinotrans Yang Ming	上海/東京/横浜/上海/寧波/香港/蛇口/南マニラ/北マニラ/香港/上海	3隻 21日ラウンド (水、ウィークリー)	AKARI	1,005	17,785	品川公共
			SINOTRANS HONG KONG	1,049	12,829	
			ISARA BHUM	1,102	12,475	
SITC	ハイフォン/蛇口/廈門/上海/東京/横浜/清水/釜山/上海/廈門/香港/ハイフォン	3隻 21日ラウンド (火/水、ウィークリー)	MARCLIFF	1,049	12,779	大井 O1/2
			SITC MOJI	1,042	12,738	
			SITC OSAKA	1,103	11,913	
SITC [KL]	ハイフォン/蛇口/廈門/東京/横浜/川崎/四日市/上海/寧波/香港/蛇口/ハイフォン	3隻 21日ラウンド (木、ウィークリー)	SITC TOKYO	847	12,694	大井 O1/2
			SITC KOBE	831	12,645	
			SITC DALIAN	1,042	12,699	

出典:「東京港ハンドブック2014」より抜粋(平成25年7月1日時点)

表Ⅱ- 1-21 (3) 外貿コンテナ定期航路 (アジア航路) の概要

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
SITC [Ningbo Ocean Sinotrans]	レムチャパン/カトライ/寧波/上海/ 名古屋/東京/横浜/上海/寧波/厦門/ カトライ/バンコク/レムチャパン	4 隻 28 日ラウンド (土、ウィーク リー)	ARABIAN EXPRESS	1,295	18,576	青海 A3
			CAPE FAWLEY	1,440	20,358	
			KUO HUNG	1,295	18,585	大井 O1/2
			CAPE FERRO	1,221	16,439	
T.S.Lines	東京/横浜/名古屋/四日市/大阪/基隆/ 台中/高雄/香港/蛇口/香港/東京	2 隻 14 日ラウンド (月/火、ウィークリー)	SARA	1,043	12,814	大井 O6/7
			ASIATIC WAVE	1,147	12,560	
T.S.Lines	東京/横浜/名古屋/大阪/神戸/基隆/ 台中/高雄/香港/蛇口/東京	2 隻 14 日ラウンド (水/木、ウィークリー)	HALCYON	1,102	12,480	青海公共
			LANTAU BRIDE	1,049	12,821	
T.S.Lines [Cheng Lie]	大阪/神戸/名古屋/横浜/東京/基隆/ 台中/高雄/香港/蛇口/レムチャパン/ バンコク/レムチャパン/香港/蛇口/ 香港/大阪	4 隻 28 日ラウンド (土、日、 ウィークリー)	AS SAVONIA	1,679	21,614	青海公共
			BERMUDIAN EXPRESS	1,679	21,548	
			KYOTO TOWER	1,708	21,975	
			TS JAPAN	1,708	21,916	
T.S.Lines	東京/横浜/名古屋/岡山/釜山/基隆/ 台中/高雄/香港/ハイフォン/防城/ 香港/高雄/台中/基隆/東京	3 隻 21 日ラウンド (火/水、 ウィークリー)	LANTAU BAY	1,049	12,829	青海公共
			STADT LAUENBURG	1,043	12,788	
			LANTAU BEACH	1,049	12,829	
Wan Hai [インターエイシアライン]	東京/横浜/清水/名古屋/四日市/基隆/ 台中/高雄/香港/シンガポール/ ポートケラン/ペナン/パシールクダン/ シンガポール/香港/台北/東京	4 隻 28 日ラウンド (月/火、 ウィークリー)	WAN HAI 305	2,496	30,246	大井 O5
			WAN HAI 312	2,646	33,055	
			WAN HAI 315	2,646	32,937	
			WAN HAI 316	2,646	32,937	
Wan Hai Evergreen [インターエイシアライン]	東京/千葉/横浜/名古屋/四日市/基隆/ 台中/高雄/香港/レムチャパン/ バンコク/レムチャパン/高雄/台中/ 台北/東京	4 隻 28 日ラウンド (水/木、 ウィークリー)	WAN HAI 221	1,368	23,802	大井 O5
			WAN HAI 222	1,368	23,429	
			WAN HAI 223	1,368	23,799	
			WAN HAI 225	1,368	23,792	
Yang Ming [Cheng Lie]	名古屋/東京/千葉/横浜/基隆/高雄/ 香港/南マニラ/北マニラ/高雄/香 港/蛇口/厦門/名古屋	3 隻 21 日ラウンド (木/金、 ウィークリー)	YM IDEALS	1,799	22,027	青海公共
			YM INTELLIGENT	1,799	22,027	
			CAPE NABIL	1,740	23,550	

出典：「東京港ハンドブック2014」より抜粋（平成25年7月1日時点）

6) 中国航路

表Ⅱ- 1-22 (1) 外貿コンテナ定期航路 (中国航路) の概要

●中国航路

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
CCL Goto JJSCO Shanghai Puhai Sinotrans	青島/門司/博多/威海/青島/東京/ 横浜/青島	2 隻 14 日ラウンド (火/水、 ウィークリー)	FRIESEDJUK	887	12,306	青海公共
			DELIA	889	12,253	
CCL Goto Shanghai Puhai Sinotrans	上海/大阪/神戸/泉州/上海/東京/ 横浜/上海	2 隻 14 日ラウンド (火、ウィーク リー)	CCL NINGBO	698	8,157	青海公共
			RBD ESPERANZA	698	8,210	
COSCO [T.S.Lines]	東京/横浜/名古屋/門司/釜山/厦門/ 香港/汕頭/厦門/横浜	2 隻 14 日ラウンド (水/木、ウィークリー)	CAI YUN HE	1,432	23,845	青海 A4
			MI YUN HE	1,432	24,259	
COSCO [Ningbo Ocean Sinotrans SITC]	寧波/東京/横浜/寧波	1 隻 7 日ラウンド (火/水、 ウィークリー)	HU TUO HE	764	12,687	中防内側外貨雑貨
COSCO [Sinotrans]	東京/横浜/連雲港/青島/大阪/神戸/ 連雲港/青島/東京	2 隻 14 日ラウンド (火、ウィークリー)	TAKEKO	564	9,513	中防内側外貨雑貨
			UMEKO	564	9,515	

出典：「東京港ハンドブック2014」より抜粋（平成25年7月1日時点）

表Ⅱ- 1-22 (2) 外貿コンテナ定期航路(中国航路)の概要

運航社 [スベースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
COSCO	上海/東京/横浜/上海	1 隻 7 日ラウンド (月、ウィークリー)	YONG DING HE	764	12,668	中防内側外貿雑貨
COSCO [Sinotrans]	上海/東京/名古屋/上海	1 隻 7 日ラウンド (金、ウィークリー)	COSCO SAKURA	542	9,287	中防内側外貿雑貨
COSCO [HASCO Sinotrans SITC]	上海/東京/横浜/上海	1 隻 7 日ラウンド (金、ウィークリー)	ZI YA HE	764	12,714	中防内側外貿雑貨
CSCL [HASCO T.S.Lines Goto Sinotrans]	寧波/上海/東京/横浜/寧波/上海/ 東京/横浜/名古屋/寧波	3 隻 21 日ラウンド (月、金、ウィークリー)	CSCL YOKOHAMA	908	12,550	青海公共
			CSCL TOKYO	908	12,550	
			CSCL NAGOYA	908	12,562	
Goto [CSCL T.S.Lines Winland]	青島/東京/横浜/青島	1 隻 7 日ラウンド (火/水、ウィークリー)	GLORY OCEAN	1,118	13,702	青海 A3
Goto [CSCL]	大連/大阪/神戸/東京/横浜/名古屋/ 新港/大連	2 隻 14 日ラウンド (金、ウィークリー)	CONTI ESPERANCE	2,758	34,927	青海 A3
			CONTI BRISBANE	2,754	34,894	
HASCO [COSCO Gold Star SITC]	上海/東京/横浜/上海	1 隻 7 日ラウンド (水、ウィークリー)	GLORY FORTUNE	1,098	13,979	青海公共
Ji Zhou	福州/水島/大阪/横浜/東京/名古屋/ 厦門/福州	2 隻 14 日ラウンド (木、ウィークリー)	JI PENG	571	7,835	青海公共
			JIHONG	550	7,485	
JJSCO	上海/東京/横浜/上海	1 隻 7 日ラウンド (月、ウィークリー)	JJ SKY	1,080	13,769	青海公共
JJSCO	上海/東京/横浜/上海	1 隻 7 日ラウンド (木、ウィークリー)	JJ STAR	1,080	13,793	品川公共
Ningbo Ocean [COSCO SITC]	寧波/名古屋/東京/寧波	1 隻 7 日ラウンド (火、ウィークリー)	NEW MINGZHOU	1,100	12,599	大井 01/2
Shanghai Puhai [CCL Goto]	上海/東京/横浜/上海	1 隻 7 日ラウンド (水、ウィークリー)	CONMAR DELTA	735	7,957	青海公共
Sinotrans [CCL Sinokor Winland]	青島/大阪/神戸/青島/東京/横浜/ 青島	2 隻 14 日ラウンド (火、ウィークリー)	REFLECTION	915	11,229	品川公共
			SINOTRANS NAGOYA	915	11,179	
Sinotrans [COSCO Winland]	大連/東京/横浜/名古屋/營口/新港/ 煙台/大連	2 隻 14 日ラウンド (水/木、ウィークリー)	NORTHERN VALENCE	2,742	37,921	大井 05
			CAPE MOLLINI	2,742	37,882	
Sinotrans [SITC Yang Ming Sinokor]	上海/東京/横浜/上海	1 隻 7 日ラウンド (日、ウィークリー)	SINOTRANS XIAMEN	831	12,550	大井 05
Sinotrans	南通/大阪/神戸/名古屋/横浜/東京/ 南京/張家港/南通	2 隻 14 日ラウンド (金、ウィークリー)	YI SHENG	385	6,816	品川公共 大井 05
			TRADE HOPE	385	6,810	
SITC [Qingdao Marine Sinotrans]	青島/東京/川崎/横浜/名古屋/釜山/ 新港/秦皇島/新港/大連/名古屋/ 四日市/東京/横浜/新港/煙台/威海/ 大連/大阪/神戸/東京/横浜/連雲 港/青島	5 隻 35 日ラウンド (水/木、木/金、 火/水、 ウィークリー)	JOSCO VIEW	1,049	12,830	大井 01/2
			SITC SHIMIZU	1,042	11,694	
			JOSCO STAR	1,043	12,820	青海 A3
			SITC YANTAI	1,042	12,692	
			SITC BUSAN	1,040	13,009	

出典：「東京港ハンドブック2014」より抜粋（平成25年7月1日時点）

表Ⅱ- 1-22 (3) 外貿コンテナ定期航路(中国航路)の概要

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
SITC [Qingdao Marine Sinotrans]	上海/*名古屋/東京/川崎/清水/名古屋/神戸/大連/竜口/新港/煙台/東京/横浜/名古屋/上海	3隻 21日ラウンド (木、火、ウィークリー)	SITC NAGOYA	907	12,601	大井 O1/2
			SITC HONGKONG	831	12,621	
			SITC XIAMEN	831	12,628	
SITC [川崎汽船 Sinokor]	青島/東京/横浜/名古屋/大連/新港/煙台/大連/名古屋/四日市/豊橋/東京/横浜/清水/青島	3隻 21日ラウンド (火、月、ウィークリー)	SITC LIANYUNGANG	1,042	12,716	大井 O1/2
			SITC SHENZHEN	1,042	12,692	
			SITC HOCHIMINH	1,042	12,696	
T.S.Lines Goto HASCO	上海/大阪/神戸/上海/東京/横浜/上海	2隻 14日ラウンド (火、ウィークリー)	VEGA TOPAS	834	11,400	青海公共
			CONDOR	887	12,400	
TCLC	太倉/東京/横浜/名古屋/太倉/東京/横浜/名古屋/太倉	3隻 21日ラウンド (月、水、ウィークリー)	TAI CANG HE	357	6,720	青海公共
			OSG ARGOSY	585	8,732	
			GUANG PING	629	7,991	
Winland Shanghai Puhai Sinotrans	大連/威海/門司/博多/威海/大連/名古屋/東京/横浜/大連/威海	2隻 14日ラウンド (水、ウィークリー)	ESM SILVANA	787	12,649	青海 A3、 青海公共
			LILLY	672	8,238	

出典：「東京港ハンドブック2014」より抜粋（平成25年7月1日時点）

7) 韓国航路

表Ⅱ- 1-23 外貿コンテナ定期航路(韓国航路)の概要

●韓国航路

運航社 [スペースチャーター]	寄 港 地	配船数 [配船間隔]	投 入 船			利用ターミナル
			船 名	TEU	DWT	
CK Line Tai Young KMTC PanCon	釜山/清水/東京/横浜/名古屋/*和歌山/釜山/仁川/*木浦/釜山/横浜/東京/千葉/釜山/仁川/釜山	3隻 21日ラウンド (月、金、ウィークリー)	SUZANNE	841	10,747	品川公共
			OSG ADMIRAL	639	9,676	
			HUNZE TRADER	704	8,509	
Dong Young Dongjin Heung-A Nam Sung	釜山/蔚山/横浜/東京/名古屋/和歌山/蔚山/釜山/光陽/仁川/大連/釜山	2隻 14日ラウンド (火、ウィークリー)	PEGASUS PACER	708	9,618	品川公共
			PEGASUS PRIME	708	9,618	
Dongjin DongYoung Heung-A	釜山/東京/横浜/名古屋/釜山	1隻 7日ラウンド (金、ウィークリー)	O.M.AESTATIS	660	8,524	品川公共
Hanjin	東京/横浜/名古屋/釜山/光陽/東京	1隻 7日ラウンド (水、木、ウィークリー)	MEDAEGEAN	980	11,968	青海 A3
Heung-A Dongjin DongYoung	釜山/東京/横浜/名古屋/豊橋/釜山	1隻 7日ラウンド (月、ウィークリー)	DS BLUE WAVE	698	8,166	品川公共
KMTC CK Line PanCon Tai Young	釜山/東京/千葉/横浜/名古屋/蔚山/釜山	1隻 7日ラウンド (火、ウィークリー)	STADT RAVENSBURG	698	8,184	品川公共
Nam Sung Sinokor STX Pan Ocean	釜山/東京/川崎/横浜/名古屋/釜山	1隻 7日ラウンド (金、ウィークリー)	VICTORY STAR	706	9,157	品川公共
PanCon CK Line Heung-A KMTC Nam Sung Tai Young	釜山/清水/東京/豊橋/四日市/名古屋/蔚山/釜山	1隻 7日ラウンド (水、ウィークリー)	PANCON GLORY	1,060	11,898	品川公共
Sinokor Nam Sung STX Pan Ocean	釜山/東京/横浜/名古屋/光陽/釜山	1隻 7日ラウンド (月、ウィークリー)	HAMILTON STRAIT	834	10,974	品川公共
STX Pan Ocean Dongjin Nam Sung Sinokor	青島/光陽/馬山/釜山/横浜/東京/清水/名古屋/四日市/釜山/光陽/連雲港/青島	2隻 14日ラウンド (火、ウィークリー)	STX TOKYO	702	10,299	品川公共
			STX YOKOHAMA	702	10,298	

出典：「東京港ハンドブック2014」より抜粋（平成25年7月1日時点）

(2) 内貿フェリー定期航路

内貿フェリー定期航路の主要寄港地、寄港頻度等の現況は、次のとおりである。

表Ⅱ-1-24 内貿フェリー定期航路の概要

航 路	便 数	所要時間 (下り)	運航社	船 名	総トン数	旅客定員数	輸 送 能 力		船 社 名
							乗用車	トレーラー等	
東京ー徳島ー北九州	週 6 便 (月～土)	34:40	オーシャン トランス(株)	おーしゃんいーす	11,523 [†]	401人	75台	128台	オーシャントランス(株) 東京港事務所 ☎ 3528-1011
				おーしゃんうえす	11,522	401	75	128	
				おーしゃんさうす	11,114	148	71	130	
				おーしゃんのーす	11,114	148	71	130	

出典：「東京港ハンドブック2014」より抜粋（平成25年7月1日時点）

(3) 内貿定期航路

内貿公共 RORO、国際フィーダー等定期航路の主要寄港地、寄港頻度等の現況は、次のとおりである。

表Ⅱ-1-25 内貿定期航路（RORO、フィーダー航路等）の概要

航 路		主な寄港地	航海数	運 航 社	就 航 船			主たる 利用ふ頭				
					船 名	総トン数	種 別					
北海道	苫小牧 釧路	東京／苫小牧／釧路／大阪／高松	週6便	日本通運(株)	ひまわり1	7,323 t	R/C	若洲				
					ひまわり2	7,323						
					ひまわり7	10,497						
	苫小牧	東京／苫小牧	週6便 (月～土)	栗林商船(株) 川崎近海汽船(株) 近海郵船物流(株)	神 王 丸	11,790	RORO	品川				
					王 公 丸	9,925						
					王 郵 丸	9,841						
	苫小牧 釧路	東京／名古屋／大阪／苫小牧／釧路／ 仙台	週6便 (月～土)	栗林商船(株) 川崎近海汽船(株)	神 瑞 丸	13,097			RORO	品川		
					神 明 丸	13,091						
神 泉 丸					13,089							
釧路	東京／船橋／釧路	週1便	栗林商船(株)	神 川 丸	13,018	RORO					品川	
				第一有明丸	3,692							
				新 釧 路 丸	5,310							
日南	東京／油津／細島	週2便	川崎近海汽船(株)	南 王 丸	9,832		RORO	お台場ライナー				
				さんふらわあはかた	10,507							
				さんふらわあとうきょう	10,503							
九州	博多	東京／博多／岩国／宇野／松山	週6便 (月～土)	商船三井フェリー(株) 日本通運(株)	ひまわり5				10,470	RORO		10号地
					ひまわり6				10,471			
					むさし丸	13,927						
	刈田	東京／御前崎／刈田／大分	週2便	商船三井フェリー(株)	クルーズフェリー飛龍21	9,225			RORO		貨客	
たかちほ					3,891							
沖縄	那覇	東京／志布志／名瀬／那覇	週3便	マルエーフェリー(株) 琉球海運(株) 近海郵船物流(株)	わかなつ	10,185	RORO	貨客				
					かりゆし	9,943						
					しゅり	9,813						
	伊豆諸島 小笠原	伊豆七島	東京／大島／利島／新島／式根島／ 神津島	週末多客時 毎日	東海汽船(株)	セブンアイランド(4隻)				280		RORO
かめりあ丸						3,837						
さるびあ丸						4,973						
小笠原		東京／父島	月5便	小笠原海運(株)	おがさわら丸	6,700			RORO	貨客		
	東京／横浜／仙台				—	近海郵船(株)					はるかぜ	
内航フィーダー	東京／横浜／苫小牧／八戸／仙台／ 常陸那珂／鹿島／清水／御前崎／ 名古屋／四日市	—	鈴与海運(株)	清 岳 丸	499	コンテナ	大井／青海					
				清 島 丸	499							
				第一鐵運丸	499							
				駿 河 丸	498							
				太 田 川 丸	499							
				清 浜 丸	499							
				あしや	749							
				まいこ	749							
	東京／川崎／横浜／苫小牧／ 八戸／釜石／仙台／相馬／ 小名浜／清水／御前崎／豊橋／ 名古屋／四日市／大阪／神戸	—	井本商運(株)	ひよどり	749							
				いくた	749							
				ひょうご	749							
				神 若	749							
				つるかぶと	749							
				公 龍 丸	749							
				こうよう	499							
				—	—			—	—	—	—	

出典：「東京港ハンドブック2014」より抜粋（平成25年7月1日時点）

1-2 取扱貨物量の設定

1-2-1 取扱貨物量の設定の方針

(1) 基準年次、及び目標年次

東京港港湾計画 8 次改訂では、基準年次を平成 22 年（2010 年）とし、目標年次を平成 30 年代後半（貨物量推計目標年次：平成 37 年（2025 年））とする。

なお、平成 23 年（2011 年）、平成 24 年（2012 年）実績は、貨物量推計を行う際の参考値とした。

※貨物量推計の基準年次を平成 22 年とする理由

- ・目標貨物量は港湾計画全体の指標となることから、改訂内容の検討にあたっては貨物量推計を一番早期に着手した。
- ・改訂内容の検討については、京浜港の長期ビジョンとなる京浜港の総合的な計画策定後（H23.9）すぐに着手しているため、当時の最新である平成 22 年の統計値を採用した。

※貨物量推計の目標年次を平成 37 年とする理由

- ・目標年次は、通常、10～15 年程度将来の年次である。
- ・港湾計画の改訂作業がとりまとまる年度は平成 26 年度と想定。
- ・したがって、平成 26 年翌年の平成 27 年の 10 年後である平成 37 年を目標年次とした。

表Ⅱ－ 1-26 基準年と目標年

名称	実績値												目標年 (設定値)
										基準年	(参考)	(参考)	
和暦	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H37
西暦	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2025年

(2) 目標年次貨物量の考え方

東京港における、目標年次貨物量は、ベース貨物量と戦略貨物量に分類して推計を行う。

①ベース貨物量推計

ベース貨物推計では、国内最大のコンテナ取扱量を誇るという特徴を活かし、その取り扱い規模及び東京港との相関を踏まえて全国の貨物量と社会経済指標（人口・GDP）との相関に基づくマクロ推計で将来貨物量を算出した。

②戦略貨物量推計

戦略貨物は県別のコンテナ取扱量実績値（H20 全国輸出入コンテナ貨物流動調査）を基に、以下の考え方を基本として算出した。

- ・ 背後圏の拡大によりさらなる集貨が見込める貨物

地方の港湾の拡充整備に伴い、国際コンテナ戦略港湾以外の港湾において取り扱われている貨物について、京浜港で取り扱うことができるよう貨物集貨策の展開、国内輸送網の強化等により、京浜港利用へ誘導する。

- ・ 現在日本発着で釜山港等の海外港湾でトランシップされている貨物

釜山港等海外港湾でトランシップされている国内発着貨物について、京浜港経由で取り扱うことができるよう貨物集貨策の展開、国内輸送網の強化等により、京浜港利用へ誘導する。

- ・ 京浜港で取り込める可能性がある国際トランシップ貨物

東アジアのハブポート化を目指し、中国等アジア諸国発着貨物を京浜港でトランシップするよう獲得していく。

①、②の推計方法から算出した貨物量を合算し、東京港の将来貨物量とした。

(3) 推計に用いる社会・経済フレーム

推計に用いる社会・経済フレームは次のとおり。

表Ⅱ－1-27 推計に用いる社会経済フレーム

項目	推計方法	H22 実績	H37 推計値
国内人口	「日本の将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所推計値（平成 18 年 12 月※））」 の中位推計値を用いて設定。	128,057 (千人)	119,270 (千人)
世界 GDP	「経済財政の中長期試算（2012.1.24）（内閣府）」における <u>慎重シナリオ</u> 推計値（ <u>経済成長率 3.7%</u> ）を用いて世界将来 GDP を設定。	51 (兆ドル)	87 (兆ドル)
国内 GDP	「経済財政の中長期試算（2012.1.24）（内閣府）」における <u>慎重シナリオ</u> 推計値（ <u>経済成長率 1.1%</u> ）を用いて日本将来 GDP を設定。	511,302 (10 億円)	606,588 (10 億円)

※平成 24 年 1 月のデータも公表されているが、平成 22 年を貨物量推計の基準年次としているため、平成 18 年 12 月のデータを採用した。

(4) 貨物量推計全体フロー

目標年次（平成30年代後半）における取扱貨物量は、東京港の取扱貨物量の推移、及び戦略貨物量を基に、以下のフローに従い設定した。

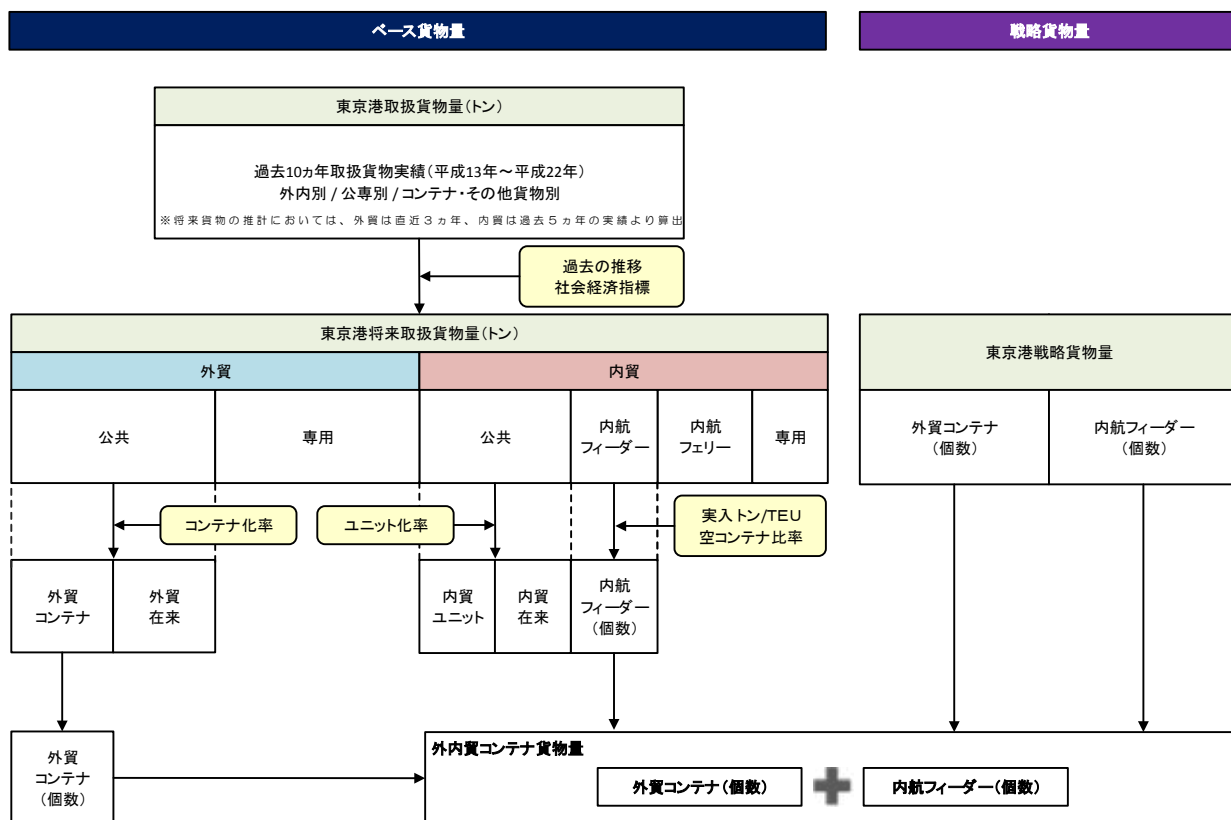


図 II - 1-7 東京港貨物量推計の全体フロー

表Ⅱ－ 1-28 推計結果（まとめ）

実績値																実績値(参考)		推計値	増減量
外内別		種別	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H30代後半	H22～H37			
外貨	コンテナ 計 (千TEU)		34,746 (2,607)	37,111 (2,784)	40,189 (3,075)	42,972 (3,358)	43,281 (3,598)	42,987 (3,696)	43,421 (3,720)	42,782 (3,727)	38,228 (3,399)	42,819 (3,816)	44,695 (4,144)	45,302 (4,235)	66,234 (5,601)	23,415 (1,785)			
		輸出 (千TEU)	13,947 (1,194)	15,188 (1,258)	15,998 (1,384)	17,448 (1,531)	17,607 (1,664)	16,645 (1,716)	16,929 (1,721)	13,148 (1,729)	11,446 (1,560)	12,926 (1,739)	12,504 (1,913)	12,491 (1,948)	21,436 (2,518)	8,510 (780)			
		輸入 (千TEU)	20,799 (1,413)	21,923 (1,526)	24,190 (1,690)	25,524 (1,827)	25,673 (1,934)	26,343 (1,980)	26,492 (2,000)	29,634 (1,998)	26,782 (1,839)	29,893 (2,078)	32,191 (2,231)	32,811 (2,287)	44,799 (3,083)	14,906 (1,005)			
	在来 計		3,282	2,673	3,092	2,869	3,197	2,848	2,680	2,328	2,449	2,316	2,138	2,091	2,513	198			
		輸出	1,097	814	1,194	929	1,110	846	707	531	689	645	450	655	714	69			
	専用 計	輸入	2,185	1,859	1,898	1,940	2,087	2,002	1,974	1,797	1,760	1,671	1,689	1,436	1,799	129			
		輸出	36	26	48	113	32	23	10	9	7	15	8	6	15				
		輸出	10	7	5	5		2				3			3				
		輸入	26	19	43	108	32	21	10	9	7	11	8	6	11				
	内貨	ユニット 計		5,877	6,382	7,697	8,761	9,499	9,420	10,865	9,470	8,880	8,638	9,692	9,865	12,389	3,751		
移出			3,225	3,484	4,285	4,893	5,221	5,328	6,035	5,263	5,018	4,822	5,262	5,509	6,688	1,865			
移入		2,652	2,898	3,412	3,868	4,278	4,093	4,830	4,207	3,862	3,815	4,429	4,356	5,701	1,886				
フィーダー 計			435 (63)	468 (59)	477 (50)	576 (59)	448 (63)	538 (107)	715 (218)	1,187 (262)	983 (259)	1,123 (305)	1,100 (319)	1,168 (342)	3,659 (535)	2,536			
		移出 (千TEU)	246 (36)	254 (37)	212 (28)	259 (32)	231 (27)	244 (53)	302 (157)	496 (182)	377 (192)	513 (245)	483 (254)	593 (284)	1,673 (344)				
移入 (千TEU)		188 (27)	215 (23)	265 (21)	318 (27)	217 (36)	294 (54)	413 (61)	692 (80)	605 (67)	609 (61)	617 (65)	575 (58)	1,986 (192)					
在来 計			7,401	6,912	6,740	6,455	6,701	6,462	6,828	6,387	4,776	5,446	5,759	5,528	6,254	807			
		移出	1,633	2,283	2,203	2,194	2,199	2,174	2,563	2,473	1,587	2,238	2,568	2,575	2,443	205			
移入		5,768	4,629	4,537	4,260	4,503	4,288	4,265	3,914	3,190	3,209	3,191	2,954	3,810	602				
フェリー 計			15,900	15,195	16,066	15,899	15,681	15,699	10,634	7,370	6,231	7,057	9,491	7,779	7,057				
		移出	8,196	8,052	8,451	8,250	8,079	8,068	5,620	3,832	3,191	3,604	4,844	3,941	3,604	3,941			
移入		7,704	7,143	7,615	7,649	7,602	7,632	5,013	3,538	3,040	3,453	4,647	3,838	3,453	3,838				
専用 計		14,358	13,753	14,161	13,770	13,190	12,833	12,475	11,820	10,859	10,099	10,512	11,047	10,125	26				
	移出	714	511	493	477	504	521	413	391	303	254	202	216	254	0				
移入	13,644	13,242	13,667	13,293	12,686	12,312	12,062	11,430	10,557	9,845	10,310	10,832	9,871	26					
合計	外貨 内貨		82,035	82,520	88,469	91,415	92,028	90,811	87,628	81,354	72,413	77,513	83,395	82,786	108,246	30,734			
			38,064	39,810	43,329	45,954	46,509	45,858	46,112	45,119	40,684	45,150	46,841	47,399	68,763	23,613			
			43,971	42,710	45,139	45,461	45,519	44,953	41,517	36,235	31,729	32,363	36,553	35,387	39,484	7,121			

※外内コンテナ貨物量

外内別		種別	実績値										実績値（参考）		推計値	増減量
			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H37	H22～H37
外内コンテナ貨物量	(千TEU)		35,181 (2,670)	37,579 (2,844)	40,665 (3,124)	43,548 (3,417)	43,729 (3,661)	43,525 (3,803)	44,136 (3,939)	43,969 (3,989)	39,211 (3,658)	43,942 (4,122)	45,795 (4,462)	46,470 (4,577)	69,893 (6,137)	25,951 (1,785)
		外貨	34,746 (2,607)	37,111 (2,784)	40,189 (3,075)	42,972 (3,358)	43,281 (3,598)	42,987 (3,696)	43,421 (3,720)	42,782 (3,727)	38,228 (3,399)	42,819 (3,816)	44,695 (4,144)	45,302 (4,235)	66,234 (5,601)	23,415 (1,785)
		内貨	435 (63)	468 (59)	477 (50)	576 (59)	448 (63)	538 (107)	715 (218)	1,187 (262)	983 (259)	1,123 (305)	1,100 (319)	1,168 (342)	3,659 (535)	2,536 (230)
		内貨	435 (63)	468 (59)	477 (50)	576 (59)	448 (63)	538 (107)	715 (218)	1,187 (262)	983 (259)	1,123 (305)	1,100 (319)	1,168 (342)	3,659 (535)	2,536 (230)

外内貨貨物量（単位：千トン）

外内別	種別	基準年	推計値	増減量	
		H22	H30代後半	H22～H37	
外 貿	コンテナ 計	42,819	66,234	23,415	
		輸出	12,926	21,436	8,510
		輸入	29,893	44,799	14,906
	在来 計	2,316	2,513	198	
		輸出	645	714	69
		輸入	1,671	1,799	129
	専用 計	15	15		
		輸出	3	3	
		輸入	11	11	
内 貿	ユニット 計	8,638	12,389	3,751	
		移出	4,822	6,688	1,865
		移入	3,815	5,701	1,886
	フィーダー 計	1,123	3,660	2,537	
		移出	513	1,673	1,160
		移入	609	1,986	1,377
	在来 計	5,446	6,254	807	
		移出	2,238	2,443	205
		移入	3,209	3,810	602
	フェリー 計	7,057	7,057		
		移出	3,604	3,604	
		移入	3,453	3,453	
	専用 計	10,099	10,125	26	
		移出	254	254	0
		移入	9,845	9,871	26
合計		77,513	108,246	30,733	
	外 貿	45,150	68,763	23,614	
	内 貿	32,363	39,484	7,121	

外内コンテナ個数（TEU）（単位：千TEU）

外内別	種別	基準年	推計値	増減量
		H22	H30代後半	H22～H37
外貨	コンテナ 計 （千TEU）	3,817	5,601	1,784
		輸出	2,518	779
		輸入	3,083	1,005
	専用 計	15	15	
内貨	コンテナ 計 （千TEU）	306	536	230
		移出	344	99
		移入	192	131
	専用 計			
合計		4,123	6,137	2,014

（※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある）

1-2-2 外貿貨物取扱量の設定（ベース貨物量）

(1) 外貿公共貨物取扱量の設定

1) 推計方針

目標年次における外貿公共貨物の取扱量の設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ- 1-29 外貿公共貨物取扱量の設定の考え方

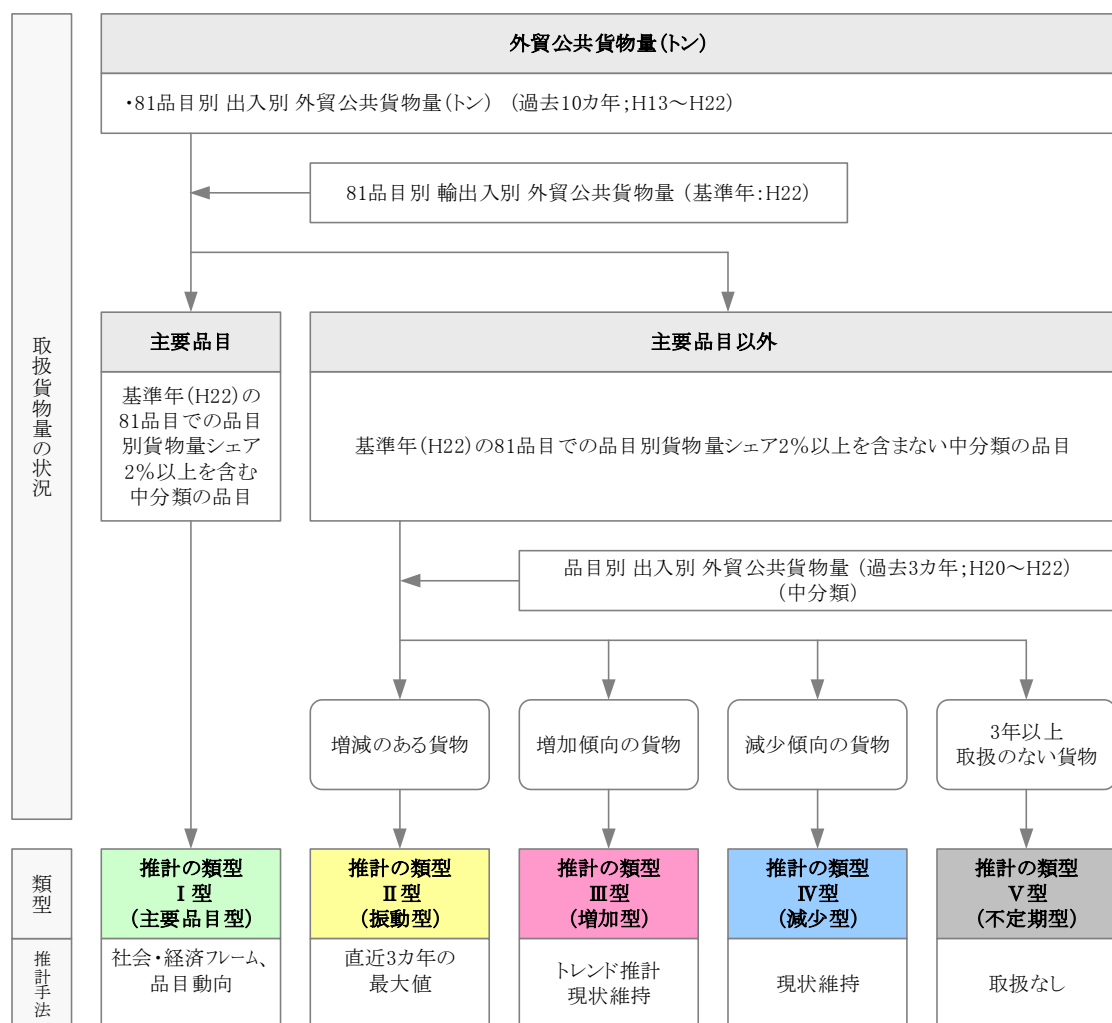
推計の類型	取扱貨物量の状況	推計方法
I 型 (主要品目型) ※ ¹	基準年次（H22）における出入別 81 品目別貨物量が出入別合計の 2%以上の貨物を含む中分類品目（主要品目と設定） ※ ²	- 各品目と社会経済指標との関連性を分析し、相関の高い品目については、社会・経済フレームを活用して推計 ※³ - その他の品目については、 - 増加傾向の品目については、直近 3 カ年トレンド - 直近 3 カ年の取扱量に増減のある品目については直近 3 カ年の最大値 - 取扱量が減少傾向にある品目については、現状維持として推計
II 型 (振動型)	主要品目以外で、過去 3 カ年の取扱量に増減のある貨物	不確定要素が多いため、直近 3 カ年の最大値とする ※⁴
III 型 (増加型)	主要品目以外で、基準年次（H22）の取扱量が、過去の取扱量の推移と比べて増加傾向にある貨物	今回該当なし
IV 型 (減少型)	主要品目以外で、基準年次（H22）の取扱量が、過去の取扱量の推移と比べて減少傾向にある貨物	現状維持とする
V 型 (不定期型)	主要品目以外で、過去 5 カ年のうち、3 年以上取扱がない貨物	取扱なし

※¹ 「主要品目」と設定された中分類品目の貨物は、内訳となる81品目分類で個別に推計して整理する。

※² 主要品目の設定条件は、品目別出入別合計貨物の約8割を占める品目とし、外貿で2%以上の品目とする。

※³ H20以降、税関申告ベースでの統計となったため、H19以前の品目分類と H20以降の品目分類の比較をすることは困難である。外貿では、直近3カ年のデータしか利用できない制約があること及びこの期間にはリーマンショックの影響が含まれることから、II 型（振動型）の品目については、V 字回復の影響を考慮し、将来貨物の推計値を直近3カ年の最大値とした。

※⁴ 輸出貨物については、世界 GDP との相関性が高く、輸入貨物については、国内人口との相関性が高いと考えられる。そのため、輸出については世界 GDP との相関が、輸入については、国内人口との相関が高い場合には、その社会経済指標を用いて推計を行った。



※ I 型の品目動向による推計は、過去の動向を踏まえ、直近3カ年トレンド、直近3カ年の最大値、現状維持のいずれかより設定

図 II - 1-8 外貿公共貨物取扱量の設定の考え方

相関係数及び決定係数の解釈

相関係数の絶対値	→	決定係数の絶対値	解釈
$0.0 \leq R \leq 0.2$	→	$0.0 \leq R^2 \leq 0.04$	ほとんど相関関係がない
$0.2 \leq R \leq 0.4$	→	$0.04 \leq R^2 \leq 0.16$	やや相関関係がある
$0.4 \leq R \leq 0.7$	→	$0.16 \leq R^2 \leq 0.49$	かなり相関関係がある
$0.7 \leq R \leq 1.0$	→	$0.49 \leq R^2 \leq 1.0$	強い相関関係がある

図 II - 1-9 相関係数及び決定係数の解釈

2) 外貿公共貨物取扱量の設定

目標年次における外貿公共貨物の取扱量の設定値と設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ－1-30 外貿公共貨物取扱量の設定 (単位:千トン)

品目	出入	基準年	設定値	推計方法	
		H22	H30代後半	類型	
農水産品	米穀類	輸出	3	IV型	現状維持
		輸入	454	IV型	現状維持
		計	458		
	野菜・果物	輸出	24	IV型	現状維持
		輸入	1,570	I型	現状維持
		計	1,595		
	水産品	輸出	146	IV型	現状維持
		輸入	897	I型	直近3カ年の最大値
		計	1,042		
	その他	輸出	51	II型	直近3カ年の最大値
		輸入	1,178	I型	直近3カ年の最大値等
		計	1,229		
林産品	原木	輸出	2	IV型	現状維持
		輸入	7	IV型	現状維持
		計	8		
	製材	輸出	19	IV型	現状維持
		輸入	794	I型	直近3カ年の最大値
		計	812		
	その他	輸出	0	IV型	現状維持
		輸入	145	II型	直近3カ年の最大値
		計	145		
鉱産品	石炭	輸出	0	IV型	現状維持
		輸入	132	II型	直近3カ年の最大値
		計	132		
	砂利・砂	輸出	2	IV型	現状維持
		輸入	126	II型	直近3カ年の最大値
		計	128		
	原油	輸出		IV型	現状維持
		輸入	3	II型	直近3カ年の最大値
		計	3		
	その他	輸出	8	II型	直近3カ年の最大値
		輸入	211	II型	直近3カ年の最大値
		計	219		
金属機械	鉄鋼	輸出	293	I型	直近3カ年のトレンド
		輸入	189	II型	直近3カ年の最大値
		計	483		
	非鉄金属 金属類	輸出	366	II型	直近3カ年の最大値
		輸入	1,064	I型	消費動向等より推計
		計	1,430		
	輸送機械 (フェリー除)	輸出	1,755	I型	GDP等より推計
		輸入	975	II型	直近3カ年の最大値
		計	2,730		
	その他	輸出	2,680	I型	直近3カ年の最大値等
		輸入	4,687	I型	消費動向等より推計
		計	7,367		
化学工業品	石油類	輸出	24	II型	直近3カ年の最大値
		輸入	23	II型	直近3カ年の最大値
		計	47		
	セメント	輸出	4	II型	直近3カ年の最大値
		輸入	5	II型	直近3カ年の最大値
		計	10		
軽工業品	その他	輸出	2,328	I型	消費動向、GDP等より推計
		輸入	2,974	I型	消費動向等より推計
		計	5,303		
	紙・パルプ	輸出	197	II型	直近3カ年の最大値
		輸入	1,039	I型	直近3カ年の最大値
		計	1,236		
	砂糖	輸出	1	IV型	現状維持
		輸入	41	II型	現状維持
		計	42		
	その他	輸出	345	II型	直近3カ年の最大値
		輸入	3,639	I型	消費動向等より推計
		計	3,983		
雑工業品		輸出	1,227	I型	直近3カ年最大値
		輸入	8,772	I型	消費動向等より推計
		計	9,999		
特殊品	金属くず*	輸出	630	I型	直近3カ年の最大値
		輸入	43	II型	直近3カ年の最大値
		計	673		
	廃棄物(廃土砂)	輸出		V型	取扱なし
		輸入		V型	取扱なし
		計			
	取合せ品	輸出	312	I型	直近3カ年の最大値
		輸入	1,108	I型	直近3カ年の最大値
		計	1,420		
	その他	輸出	3,154	I型	消費動向等より推計
		輸入	1,488	I型	直近3カ年のトレンド等より推計
		計	4,642		
分類不能のもの		輸出			
		輸入			
		計			
合 計		輸出	13,572		
		輸入	31,563		
		計	45,135		

※主要品目以外については過去の品目動向を考慮して推計した。

(2) 外貿公共コンテナ貨物取扱量の設定

1) 推計方針

目標年次における外貿公共コンテナ貨物の取扱量の設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

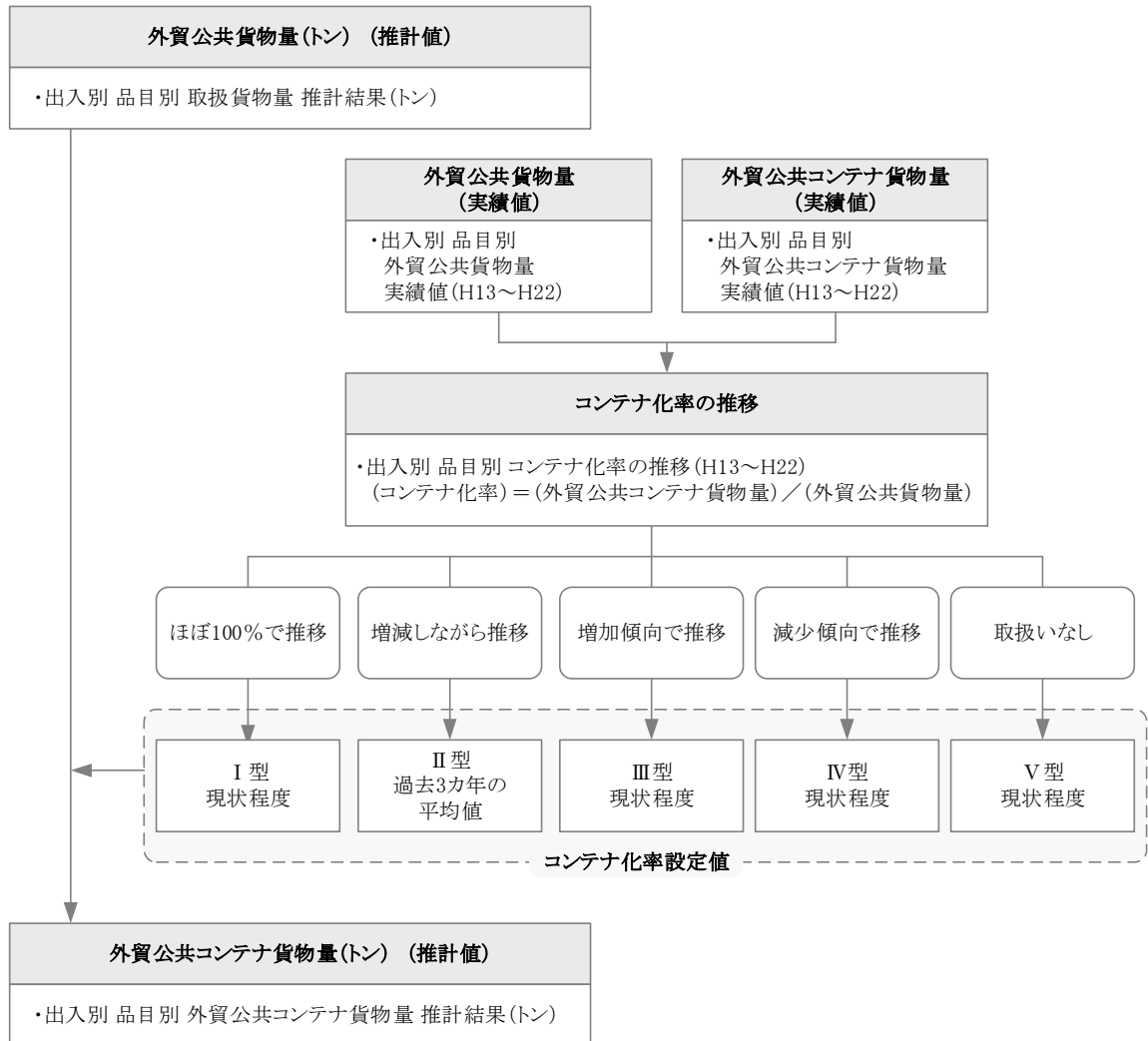


図 II - 1-10 外貿公共コンテナ貨物取扱量の設定の考え方

2) 品目別コンテナ化率の設定

目標年次における外貿公共コンテナ貨物の品目別コンテナ化率の設定値と設定の考え方は、それぞれ次の通りである。

表Ⅱ－1-31 品目別コンテナ化率の設定

(単位:%)								
品目		出入	実績値			推計値	推計方法	
			H20	H21	H22	H30代後半	類型	
農水産品	米穀類	輸出	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		輸入	34.9%	35.7%	33.3%	34.6%	II型	過去3年間の平均
		計	35.2%	35.9%	33.8%	35.1%		
	野菜・果物	輸出	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		輸入	51.6%	48.9%	58.0%	52.8%	II型	過去3年間の平均
		計	52.8%	49.9%	58.6%	53.5%		
	水産品	輸出	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		輸入	98.4%	97.5%	98.3%	98.0%	II型	過去3年間の平均
		計	98.6%	97.9%	98.5%	98.3%		
	その他	輸出	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		輸入	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		計	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%		
林産品	原木	輸出	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		輸入	15.8%	63.1%	100.0%	100.0%	III型	現状維持
		計	17.6%	67.8%	100.0%	100.0%		
	製材	輸出	93.8%	91.3%	68.0%	84.4%	II型	過去3年間の平均
		輸入	71.7%	73.5%	74.9%	74.9%	III型	現状維持
		計	71.9%	73.8%	74.7%	75.1%		
	その他	輸出	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		輸入	100.0%	99.6%	83.4%	94.3%	II型	過去3年間の平均
		計	100.0%	99.6%	83.4%	94.3%		
鉱産品	石炭	輸出	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		輸入	24.6%	27.7%	26.0%	26.1%	II型	過去3年間の平均
		計	24.1%	27.7%	26.0%	26.1%		
	砂利・砂	輸出	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		輸入	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	原油	輸出	100.0%	100.0%			IV型	現状維持
		輸入	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	その他	輸出	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		輸入	82.1%	69.1%	47.9%	66.4%	II型	過去3年間の平均
		計	82.9%	71.0%	49.8%	67.6%		
金属機械工業品	鉄鋼	輸出	95.0%	100.0%	95.8%	97.0%	II型	過去3年間の平均
		輸入	57.9%	55.3%	77.9%	63.7%	II型	過去3年間の平均
		計	75.8%	79.4%	88.8%	89.1%		
	非鉄金属 金属類	輸出	96.0%	88.8%	98.2%	94.3%	II型	過去3年間の平均
		輸入	98.7%	99.5%	99.6%	99.6%	III型	現状維持
		計	98.0%	96.6%	99.3%	98.8%		
	輸送機械 (フェリー除)	輸出	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%	II型	過去3年間の平均
		輸入	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	その他	輸出	99.4%	99.6%	99.6%	99.5%	II型	過去3年間の平均
		輸入	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		計	99.7%	99.9%	99.8%	99.8%		
化学工業品	石油類	輸出	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		輸入	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	セメント	輸出	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		輸入	55.2%	59.8%	57.0%	57.3%	II型	過去3年間の平均
		計	69.2%	79.6%	76.2%	73.1%		
軽工業品	紙・パルプ	輸出	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		輸入	83.9%	87.6%	85.8%	85.8%	II型	過去3年間の平均
		計	87.8%	89.3%	88.1%	88.7%		
	砂糖	輸出	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		輸入	100.0%	90.8%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		計	100.0%	90.9%	100.0%	100.0%		
	その他	輸出	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		輸入	100.0%	99.7%	99.9%	99.9%	I型	現状維持
		計	100.0%	99.7%	99.9%	99.9%		
	雑工業品	輸出	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		輸入	99.9%	99.9%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		計	99.9%	99.9%	100.0%	100.0%		
特殊品	金属くず	輸出	4.8%	5.6%	3.4%	4.6%	II型	過去3年間の平均
		輸入	100.0%	84.8%	97.5%	94.1%	II型	過去3年間の平均
		計	15.8%	9.4%	9.4%	12.4%		
	廃棄物(廃土砂)	輸出					V型	取扱なし
		輸入					V型	取扱なし
		計						
	取合せ品	輸出	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		輸入	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		計	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%		
	その他	輸出	99.8%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		輸入	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	I型	現状維持
		計	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%		
分類不能のもの		輸出						
合計	輸出	96.1%	94.3%	95.2%	96.3%			
	輸入	94.3%	93.8%	94.7%	95.6%			
	計	94.8%	94.0%	94.9%	95.9%			

3) 品目別コンテナ貨物取扱量の設定

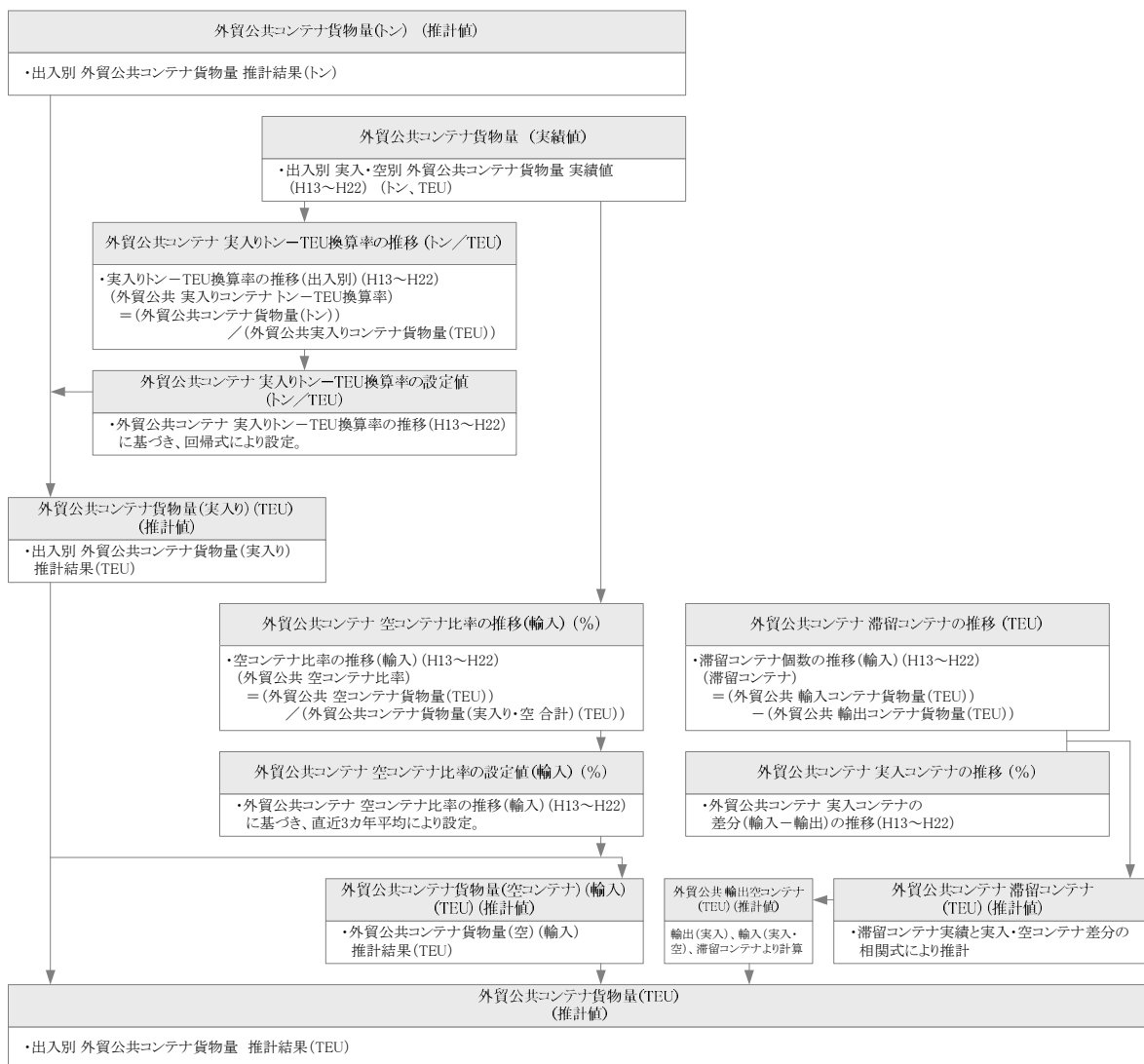
目標年次における外貿公共コンテナ品目別貨物量の設定値と設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ－1-32 品目別コンテナ貨物量の設定

		(単位:千トン)		
品目	出入	実績値	推計値	推計方法
		H22	H30代後半	
農水産品	米穀類	輸出 3	3	外貿公共貨物品目別取扱量の設定値に、品目別コンテナ化率を乗じることにより、コンテナ貨物量を推計。
		輸入 151	157	
		計 155	161	
	野菜・果物	輸出 24	24	
		輸入 910	829	
		計 935	854	
	水産品	輸出 146	146	
		輸入 881	963	
		計 1,027	1,108	
	その他	輸出 51	59	
		輸入 1,178	1,212	
		計 1,229	1,271	
林産品	原木	輸出 2	2	
		輸入 7	7	
		計 8	8	
	製材	輸出 13	16	
		輸入 594	640	
		計 607	656	
	その他	輸出 0	0	
		輸入 121	137	
		計 121	137	
鉱産品	石炭	輸出 0	0	
		輸入 34	35	
		計 34	35	
	砂利・砂	輸出 2	2	
		輸入 126	133	
		計 128	135	
	原油	輸出 8	8	
		輸入 3	3	
		計 3	3	
	その他	輸出 8	8	
		輸入 101	140	
		計 109	148	
金属機械工業品	鉄鋼	輸出 281	738	外貿公共貨物品目別取扱量の設定値に、品目別コンテナ化率を乗じることにより、コンテナ貨物量を推計。
		輸入 147	149	
		計 429	887	
	非鉄金属 金属類	輸出 360	365	
		輸入 1,060	2,044	
		計 1,420	2,409	
	輸送機械 (フェリー除)	輸出 1,754	3,551	
		輸入 975	997	
		計 2,729	4,548	
	その他	輸出 2,669	3,292	
		輸入 4,686	6,472	
		計 7,354	9,764	
化学工業品	石油類	輸出 24	24	
		輸入 23	24	
		計 47	48	
	セメント	輸出 4	5	
		輸入 3	5	
		計 7	10	
軽工業品	紙・パルプ	輸出 2,328	2,522	
		輸入 2,919	4,056	
		計 5,247	6,579	
	砂糖	輸出 197	274	
		輸入 891	891	
		計 1,089	1,165	
	その他	輸出 1	1	
		輸入 41	45	
		計 42	46	
	その他	輸出 345	345	
		輸入 3,636	4,813	
		計 3,981	5,157	
雑工業品		輸出 1,227	1,343	
		輸入 8,767	12,001	
		計 9,994	13,344	
特殊品	金属くず	輸出 21	31	外貿公共貨物品目別取扱量の設定値に、品目別コンテナ化率を乗じることにより、コンテナ貨物量を推計。
		輸入 42	61	
		計 63	93	
	廃棄物(廃土砂)	輸出		
		輸入		
		計		
	取合せ品	輸出 312	698	
		輸入 1,108	1,154	
		計 1,420	1,851	
	その他	輸出 3,154	5,388	
		輸入 1,487	2,392	
		計 4,642	7,780	
分類不能のもの		輸出		
		輸入		
		計		
合計		輸出 12,926	18,837	
		輸入 29,893	39,361	
		計 42,819	58,197	

4) 取扱個数 (TEU) の設定

以下の方法により外貿公共コンテナ取扱個数（TEU）を推計した。



図Ⅱ-1-11 取扱個数（TEU）の推計フロー

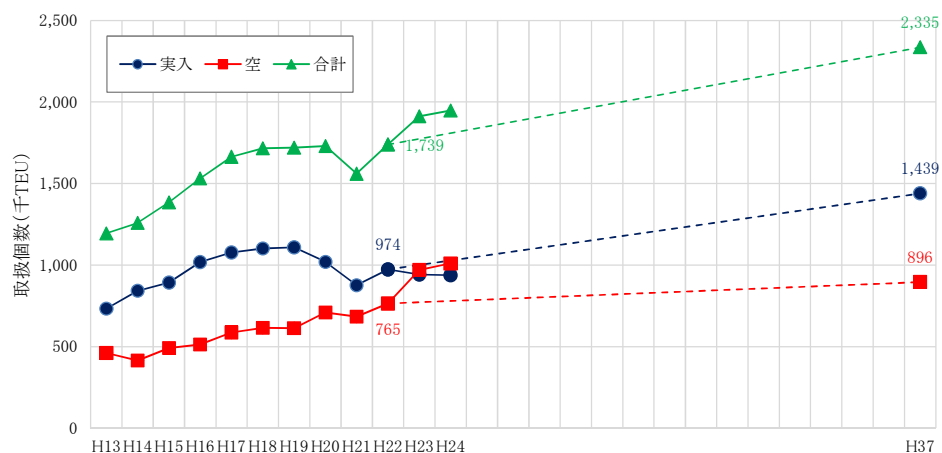
目標年次における外貿公共コンテナ取扱個数等の設定値と設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ－ 1-33 外貿公共コンテナ取扱個数等の推計結果

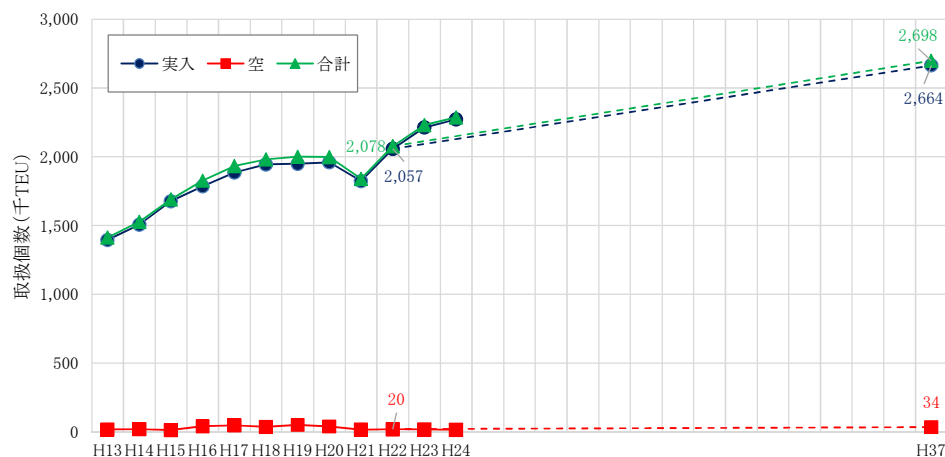
区分	出入	実入・空別	実績値										実績値(参考)		推計値
			H13 2001	H14 2002	H15 2003	H16 2004	H17 2005	H18 2006	H19 2007	H20 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H30代 後半
実入コンテナ トーン・TEU換算率 (トン/TEU)	輸出	実入	19.0	18.0	17.9	17.1	16.4	15.1	15.3	12.9	13.1	13.3	13.3	13.3	13.1
	輸入	実入	14.9	14.5	14.4	14.3	13.6	13.5	13.6	15.1	14.7	14.5	14.5	14.4	14.8
	計	実入	16.3	15.8	15.6	15.3	14.6	14.1	14.2	14.4	14.2	14.1	14.2	14.1	
空コンテナ比率 (%)	輸出	空	38.6%	33.0%	35.5%	33.5%	35.3%	35.8%	35.6%	41.0%	43.9%	44.0%	50.8%	51.9%	38.3%
	輸入	空	1.3%	1.3%	0.8%	2.3%	2.4%	1.8%	2.5%	1.9%	0.9%	1.0%	0.8%	0.6%	1.3%
	計	空	18.3%	15.6%	16.4%	16.5%	17.6%	17.6%	17.8%	20.1%	20.6%	20.6%	23.9%	24.2%	18.5%
コンテナ個数 (千TEU)	輸出	実入	733	843	893	1,019	1,077	1,101	1,108	1,020	876	974	941	938	1,624
		空	461	415	492	513	587	615	612	709	684	765	971	1,010	894
		計	1,194	1,258	1,384	1,531	1,664	1,716	1,721	1,729	1,560	1,739	1,913	1,948	2,518
	輸入	実入	1,395	1,507	1,678	1,785	1,886	1,945	1,949	1,959	1,823	2,057	2,213	2,272	3,049
		空	18	19	13	41	47	35	50	39	16	20	18	15	34
		計	1,413	1,526	1,690	1,827	1,934	1,980	2,000	1,998	1,839	2,078	2,231	2,287	3,083
	計	実入	2,129	2,350	2,570	2,804	2,963	3,046	3,058	2,979	2,699	3,031	3,155	3,210	4,673
		空	478	435	505	554	635	650	663	748	701	785	989	1,025	928
コンテナ貨物量 (千トン)	滞留 コンテナ	個数	219	268	306	295	270	264	279	269	279	339	319	339	363
		シェア	8.4%	9.6%	10.0%	8.8%	7.5%	7.2%	7.5%	7.2%	8.2%	8.9%	7.7%	8.0%	7.2%
	輸出	実入	13,947	15,188	15,998	17,448	17,607	16,645	16,929	13,148	11,446	12,926	12,504	12,491	21,436
	輸入	実入	20,799	21,923	24,190	25,524	25,673	26,343	26,492	29,634	26,782	29,893	32,191	32,811	44,799
		計	34,746	37,111	40,189	42,972	43,281	42,987	43,421	42,782	38,228	42,819	44,695	45,302	66,234

※(滞留コンテナ個数) = (輸入実入) - (輸出実入) + (輸入空コン) - (輸出空コン)

※従来の「滞留コンテナ個数」は、「実入差分(輸入-輸出)」と「滞留コンテナ実績」の相関式により推計



図Ⅱ－ 1-12 外貿コンテナ輸出取扱個数の推移と推計値



図Ⅱ－ 1-13 外貿コンテナ輸入取扱個数の推移と推計値

(3) 外貿公共在来貨物取扱量の設定

目標年次における外貿公共在来貨物取扱量の設定値と設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ－ 1-34 外貿公共在来貨物取扱量の設定

(単位:千トン)

品目	出入	実績値		推計方法
		H22	H30代後半	
農水産品	米穀類 輸出	303	297	外貿公共貨物量推計値から、外貿公共コンテナ貨物量推計値を除いたものを外貿公共在来貨物量推計値とした。
	輸入計	303	297	
	野菜・果物 輸出	660	741	
	輸入計	660	741	
	水産品 輸出	16	19	
	輸入計	16	19	
林産品	その他 輸出			
	輸入計			
	原木 輸出			
	輸入計			
	製材 輸出	6	3	
	輸入計	199	215	
鉱産品	石炭 輸出	98	99	
	輸入計	98	99	
	砂利・砂 輸出			
	輸入計			
	原油 輸出			
	輸入計			
金属機械工業品	その他 輸出	110	71	
	輸入計	110	71	
	鉄鋼 輸出	12	23	
	輸入計	42	85	
	非鉄金属 輸出	7	22	
	金属類 輸入計	4	8	
化学工業品	輸送機械 (フェリー除) 輸出	1	1	
	輸入計	0	0	
	その他 輸出	11	16	
	輸入計	1	2	
	石油類 輸出			
	輸入計			
軽工業品	セメント 輸出	2	4	
	輸入計	2	4	
	紙・パルプ 輸出	147	148	
	輸入計	147	148	
	砂糖 輸出			
	輸入計			
雑工業品	その他 輸出	2	3	
	輸入計	2	3	
	雑工業品 輸出			
	輸入計	4	6	
	金属くず 輸出	608	650	
	輸入計	1	4	
特殊品	廃棄物(廃土砂) 輸出	609	654	
	輸入計			
	取合せ品 輸出	0	0	
	輸入計	0	0	
	その他 輸出	1	1	
	輸入計	1	1	
分類不能のもの				
合計		645	714	
		1,671	1,799	
		2,316	2,513	

(4) 外貿専用貨物取扱量の設定

目標年次における外貿専用貨物取扱量の設定値と設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ－1-35 外貿専用貨物取扱量の設定

(単位:千トン)

品目	出入	実績値	推計値	推計方法
		H22	H30代後半	
農水産品	米穀類	輸出 輸入 計		
	野菜・果物	輸出 輸入 計		
	水産品	輸出 輸入 計		
	その他	輸出 輸入 計		
林産品	原木	輸出 輸入 計		
	製材	輸出 輸入 計		
	その他	輸出 輸入 計		
鉱産品	石炭	輸出 輸入 計		
	砂利・砂	輸出 輸入 計		
	原油	輸出 輸入 計		
	その他	輸出 輸入 計		
金属機械工業品	鉄鋼	輸出 輸入 計	3 10 14	3 10 14
	非鉄金属 金属類	輸出 輸入 計	1 1 1	1 1 1
	輸送機械 (フェリー除)	輸出 輸入 計		
	その他	輸出 輸入 計		
化学工業品	石油類	輸出 輸入 計		
	セメント	輸出 輸入 計		
	その他	輸出 輸入 計		
軽工業品	紙・パルプ	輸出 輸入 計		
	砂糖	輸出 輸入 計		
	その他	輸出 輸入 計		
雑工業品		輸出 輸入 計		
特殊品	金属くず	輸出 輸入 計		
	廃棄物(廃土砂)	輸出 輸入 計		
	取合せ品	輸出 輸入 計		
	その他	輸出 輸入 計		
分類不能のもの		輸出 輸入 計		
合計		輸出 輸入 計	3 11 15	3 11 15

外貿専用貨物量は、近年取扱いが減少しているため、現状程度を見込むこととして推計した。

1-2-3 内貿貨物取扱量の設定（ベース貨物量）

(1) 内貿公共貨物取扱量の設定

1) 推計方針

目標年次における内貿公共貨物の取扱量（国際フィーダー除く）の設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ- 1-36 内貿公共貨物取扱量の設定の考え方

推計の種類	取扱貨物量の状況	推計方法
I 型 (主要品目型)	基準年次（H22）における出入別品目別貨物量が出入別合計の 5% 以上の貨物（主要品目と設定）	- 品目動向を鑑み、以下から選択 - 一時系列回帰 - 過去 10 年最大値 - 現状維持
II 型 (振動型)	主要品目以外で、過去 5 カ年の取扱量に増減のある貨物	過去 5 カ年の平均値を見込む
III 型 (増加型)	主要品目以外で、基準年次（H22）の取扱量が、過去の取扱量の推移と比べて増加傾向にある貨物	- 増加傾向が顕著な品目についてはトレンド推計 - それ以外については、現状維持とする
IV 型 (減少型)	主要品目以外で、基準年次（H22）の取扱量が、過去の取扱量の推移と比べて減少傾向にある貨物	近年の動向を踏まえ、現状維持とする
V 型 (不定期型)	主要品目以外で、過去 5 カ年のうち、3 年以上取扱いがない貨物	取扱いなし

※ 1 内貿貨物の主要品目（27 品目別輸出入別貨物量シェア 5% 以上）については、東京港として今後も維持拡大を図る貨物として、過去の動向を鑑み、少なくとも現状維持は目指すものとした。

※ 2 主要品目の設定条件は、品目別出入別合計貨物の約 8 割を占める品目とし、内貿で 5% 以上の品目とする。

2) 内貿公共貨物取扱量（国際フィーダー除く）の設定

目標年次における内貿公共貨物の取扱量と設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ- 1-37 内貿公共貨物（国際フィーダー除く）の主要品目の設定

品目		出入	実績値	推計値	類型	推計方法
			H22	H30代後半		
農水産品	米穀類	移出	34	34	Ⅳ型	現状維持
		移入	45	45	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	80	79		
	野菜・果物	移出	32	29	Ⅱ型	過去5年間の平均
		移入	45	48	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	77	77		
	水産品	移出	24	12	Ⅱ型	過去5年間の平均
		移入	30	21	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	53	34		
	その他	移出	10	13	Ⅱ型	過去5年間の平均
		移入	17	17	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	28	29		
林産品	原木	移出	0	0	Ⅱ型	過去5年間の平均
		移入	4	3	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	4	3		
	製材	移出	23	21	Ⅱ型	過去5年間の平均
		移入	13	13	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	36	34		
鉱産品	石炭	移出	0	1	Ⅱ型	過去5年間の平均
		移入	1	2	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	1	3		
	砂利・砂	移出	14	26	Ⅱ型	過去5年間の平均
		移入	1,426	2,238	Ⅰ型	過去10年最大値
		計	1,441	2,264		
金属機械工業品	鉄鋼	移出	0	0	Ⅱ型	過去5年間の平均
		移入	0	0	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	0	0		
	原油	移出	45	45	Ⅲ型	現状維持
		移入	63	69	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	108	114		
金属機械工業品	鉄鋼	移出	60	91	Ⅱ型	過去5年間の平均
		移入	274	334	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	334	424		
	非鉄金属 金属類	移出	56	72	Ⅱ型	過去5年間の平均
		移入	79	74	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	135	146		
	輸送機械 (フェリー除く)	移出	1,862	2,564	Ⅰ型	時系列対数回帰
		移入	857	1,336	Ⅰ型	時系列対数回帰
		計	2,719	3,900		
	その他	移出	147	159	Ⅱ型	過去5年間の平均
		移入	71	88	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	219	246		
化学工業品	石油類	移出	39	46	Ⅱ型	過去5年間の平均
		移入	1	1	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	40	48		
	セメント	移出	51	45	Ⅱ型	過去5年間の平均
		移入	601	601	Ⅰ型	現状維持
		計	651	645		
軽工業品	紙・パルプ	移出	159	164	Ⅱ型	過去5年間の平均
		移入	169	205	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	328	369		
	砂糖	移出	180	200	Ⅱ型	過去5年間の平均
		移入	1,789	2,161	Ⅰ型	過去10年最大値
		計	1,969	2,361		
雑工業品	紙・パルプ	移出	12	13	Ⅱ型	過去5年間の平均
		移入	54	54	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	67	67		
	砂糖	移出	511	741	Ⅰ型	時系列対数回帰
		移入	337	350	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	848	1,092		
特殊品	金属くず	移出	196	234	Ⅱ型	過去5年間の平均
		移入	76	138	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	273	372		
	廃棄物(廃土砂)	移出	23	23	Ⅳ型	現状維持
		移入	24	24	Ⅳ型	現状維持
		計	47	47		
	取合せ品	移出	1,698	1,994	Ⅰ型	過去10年最大値
		移入	6	21	Ⅱ型	過去5年間の平均
		計	1,704	2,015		
	その他	移出	1,501	2,081	Ⅰ型	過去10年最大値
		移入	822	1,450	Ⅰ型	過去10年最大値
		計	2,323	3,531		
フェリー	紙・パルプ	移出	367	506	Ⅰ型	過去10年最大値
		移入	212	212	Ⅲ型	現状維持
		計	579	718		
	フェリー	移出	3,604	3,604	別途	現状維持
		移入	3,453	3,453	別途	現状維持
		計	7,057	7,057		
合計	合計	移出	10,665	12,735		
		移入	10,477	12,964		
		計	21,141	25,699		
合計(フェリー除く)	合計(フェリー除く)	移出	7,060	9,131		
		移入	7,024	9,511		
		計	14,084	18,642		

(2) 内貿公共ユニット貨物取扱量の設定

1) 品目別ユニット化率の設定

①推計方針

ユニット化率の設定の考え方は、次のとおりである。

$$(\text{ユニット化率}) = (\text{内貿公共ユニット貨物量}) / (\text{内貿公共貨物量})$$

表Ⅱ－1-38 ユニット化率の設定の考え方

推計の種類	取扱貨物量の状況	推計方法
I 型 (トレンド型)	過去のユニット化率の推移トレンドが高い貨物	時系列回帰
II 型 (振動型)	過去 5 カ年のユニット化率が増減している貨物	過去 5 カ年の平均値
III 型 (増加型)	ユニット化率が増加傾向にあるが、トレンドは低い貨物	現状維持
IV 型 (減少型)	ユニット化率が減少傾向にある貨物	現状維持
V 型 (不定期型)	過去 5 カ年のうち、3 年以上ユニット化されていない貨物	取扱なし

②品目別ユニット化率の設定

目標年次における内貿公共貨物のユニット貨物量の設定値と設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ- 1-39 ユニット化率の設定の考え方

(単位: %)

品目	出入	実績値					推計値	推計方法		
		H18	H19	H20	H21	H22	H30代後半	類型		
農水産品	米穀類	移出	89.7%	99.9%	99.4%	95.8%	94.5%	95.9%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		移入	52.1%	45.6%	44.0%	37.2%	34.5%	34.5%	Ⅳ型	現状維持
		計	72.9%	71.5%	71.5%	71.4%	60.3%	60.9%		
	野菜・果物	移出	53.1%	74.1%	50.1%	62.2%	66.1%	61.1%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		移入	83.1%	88.8%	86.1%	87.9%	87.1%	86.6%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		計	72.9%	83.2%	73.6%	77.5%	78.3%	76.9%		
	水産品	移出	74.3%	99.4%	99.0%	53.7%	71.4%	79.6%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		移入	21.3%	35.8%	18.9%	20.0%	31.4%	25.5%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		計	46.2%	55.9%	32.1%	33.6%	49.1%	45.3%		
	その他	移出	92.8%	95.1%	8.8%	35.4%	31.4%	52.7%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		移入	73.4%	99.8%	99.5%	99.5%	99.8%	99.8%	Ⅲ型	現状維持
		計	77.2%	98.6%	36.5%	74.3%	74.2%	79.5%		
林産品	原木	移出	2.1%		4.0%		100.0%	100.0%	Ⅲ型	現状維持
		移入			0.7%	3.6%	1.1%	1.1%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		計	0.2%		0.5%	3.6%	1.5%	12.3%		
	製材	移出	74.1%	78.7%	25.3%	31.6%	13.2%	13.2%	Ⅳ型	現状維持
		移入	97.1%	99.9%	84.6%	79.3%	70.6%	70.6%	Ⅳ型	現状維持
		計	88.0%	90.4%	45.0%	43.8%	34.1%	35.2%		
	その他	移出	86.6%	77.4%	76.1%	80.1%	89.5%	81.9%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		移入	94.7%	94.9%	88.9%	47.6%	76.0%	80.4%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		計	92.9%	86.4%	80.2%	68.3%	85.6%	81.5%		
	鉱産品	石炭	移出	7.4%	100.0%		1.0%	100.0%	41.7%	Ⅱ型
移入			30.9%	0.2%			8.7%	13.2%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
計			26.2%	0.9%		1.0%	13.6%	8.4%		
砂利・砂		移出	30.4%	21.8%	15.0%	18.2%	45.3%	26.1%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		移入	0.3%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		計	0.6%	0.4%	0.5%	0.4%	0.5%	0.7%		
原油		移出	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	Ⅲ型	現状維持
		移入	100.0%			100.0%	100.0%		Ⅴ型	取扱なし
		計	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%		
その他		移出	89.0%	64.0%	33.4%	100.0%	0.9%	57.5%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
	移入	24.6%	8.1%	6.4%	8.8%	12.3%	12.0%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均	
	計	27.6%	9.3%	6.8%	9.2%	7.6%	7.7%			
金属機械工業品	鉄鋼	移出	40.1%	62.1%	68.3%	66.8%	33.0%	54.1%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		移入	6.8%	12.5%	12.8%	14.9%	7.1%	10.8%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		計	13.8%	26.2%	24.2%	24.5%	11.8%	20.1%		
	非鉄金属 金属類	移出	54.2%	36.9%	34.5%	55.6%	52.9%	46.8%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		移入	32.6%	18.4%	16.7%	17.2%	17.5%	20.5%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		計	45.4%	27.9%	25.8%	33.1%	32.2%	33.4%		
	輸送機械 (フェリー除)	移出	96.4%	95.9%	94.6%	95.9%	97.1%	96.0%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		移入	94.8%	91.9%	88.8%	94.5%	96.7%	93.3%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		計	95.9%	94.5%	92.5%	95.4%	97.0%	95.1%		
	その他	移出	94.5%	95.2%	94.0%	92.4%	90.6%	95.2%	Ⅳ型	現状維持
移入		63.9%	94.7%	87.0%	94.1%	91.9%	94.7%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均	
計		82.1%	95.1%	91.4%	93.0%	91.0%	95.0%			
化学工業品	石油類	移出	66.4%	53.5%	70.8%	45.8%	52.8%	57.9%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		移入	58.9%	23.0%	96.9%	58.0%	37.3%	54.8%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		計	66.2%	51.6%	71.2%	46.0%	52.3%	57.8%		
	セメント	移出	1.6%	4.7%	2.0%	3.0%	2.0%	2.7%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		移入	0.5%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.3%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		計	0.5%	0.4%	0.4%	0.4%	0.3%	0.5%		
	その他	移出	87.8%	90.5%	88.1%	86.9%	88.9%	88.4%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		移入	62.5%	53.1%	44.5%	47.7%	46.1%	62.5%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		計	69.5%	73.0%	66.9%	68.8%	66.9%	74.0%		
	軽工業品	紙・パルプ	移出	90.2%	95.7%	93.5%	94.7%	94.9%	98.7%	Ⅱ型
移入			71.8%	73.7%	74.8%	78.6%	78.3%	88.1%	Ⅰ型	時系列対数回帰
計			73.7%	76.2%	76.5%	80.4%	79.8%	89.0%		
砂糖		移出	100.0%	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	Ⅲ型	現状維持
		移入	99.5%	98.0%	99.4%	100.0%	100.0%	100.0%	Ⅲ型	現状維持
		計	99.6%	98.3%	99.5%	100.0%	100.0%	100.0%		
その他		移出	89.3%	94.3%	92.8%	95.7%	95.3%	95.7%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		移入	63.4%	69.2%	68.5%	68.8%	66.6%	92.0%	Ⅰ型	時系列対数回帰
		計	78.2%	83.9%	83.2%	85.0%	83.9%	94.5%		
雑工業品		移出	77.2%	70.7%	77.7%	78.6%	81.4%	77.1%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
	移入	64.0%	54.2%	52.4%	63.3%	82.7%	63.3%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均	
	計	72.0%	64.6%	67.2%	73.2%	81.8%	71.8%			
特殊品	金属くず	移出	5.8%	5.4%	17.7%	5.6%	5.3%	7.9%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		移入	25.2%	34.8%	41.3%	38.4%	36.0%	35.1%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		計	18.0%	19.6%	35.6%	23.4%	20.9%	21.8%		
	廃棄物(廃土砂)	移出	0.1%	0.0%	0.2%	0.4%	0.2%	0.2%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		移入	5.7%	6.6%	3.8%	0.5%	8.7%	5.1%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
		計	0.1%	0.1%	0.2%	0.4%	0.3%	0.2%		
	取合せ品	移出	91.2%	94.5%	91.6%	92.2%	92.3%	100.0%	Ⅰ型	時系列対数回帰
		移入	96.3%	97.9%	95.8%	95.2%	94.9%	100.0%	Ⅰ型	時系列対数回帰
		計	93.1%	95.9%	93.2%	93.3%	93.3%	100.0%		
	その他	移出	93.2%	96.9%	98.2%	96.2%	95.5%	98.2%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均
移入		76.7%	84.9%	75.1%	78.3%	81.7%	87.5%	Ⅱ型	直近5ヵ年平均	
計		89.1%	93.4%	91.4%	90.4%	90.4%	95.1%			
分類不能のもの		移出								
移入										
計										
合計	移出	32.6%	40.4%	42.3%	47.9%	42.2%	49.5%			
	移入	14.3%	18.2%	17.7%	18.2%	18.2%	24.3%			
	計	21.0%	26.2%	26.1%	28.0%	26.7%	33.5%			

2) 品目別ユニット貨物取扱量の設定

目標年次における内貿公共貨物のユニット貨物量の設定値と設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ－1-40 内貿公共ユニット貨物量の設定

(単位:千トン)

品目	出入	推計値		推計方法
		H22	H30代後半	
農水産品	米穀類	移出	32	33
		移入	16	16
		計	48	48
	野菜・果物	移出	21	18
		移入	39	41
		計	61	59
	水産品	移出	17	10
		移入	9	5
		計	26	15
	その他	移出	3	7
		移入	17	17
		計	20	23
林産品	原木	移出	0	0
		移入	0	0
		計	0	0
	製材	移出	3	3
		移入	9	9
		計	12	12
	その他	移出	14	13
		移入	5	5
計		19	18	
鉱産品	石炭	移出	0	1
		移入	0	0
		計	0	1
	砂利・砂	移出	7	12
		移入	1	4
		計	7	16
	原油	移出	0	0
		移入	0	0
計		0	0	
その他	移出	0	0	
	移入	8	8	
	計	8	9	
金属機械工業品	鉄鋼	移出	20	49
		移入	20	36
		計	39	85
	非鉄金属 金属類	移出	30	34
		移入	14	15
		計	43	49
	輸送機械 (フェリー除)	移出	1,808	2,490
		移入	828	1,292
計		2,636	3,782	
その他	移出	133	151	
	移入	66	83	
	計	199	234	
化学工業品	石油類	移出	20	27
		移入	1	1
		計	21	27
	セメント	移出	1	1
		移入	1	2
		計	2	3
	その他	移出	141	145
		移入	78	128
計		219	273	
軽工業品	紙・パルプ	移出	170	198
		移入	1,400	1,904
		計	1,571	2,101
	砂糖	移出	12	13
		移入	54	54
		計	67	67
	その他	移出	486	709
		移入	224	322
計		711	1,031	
雑工業品	移出	160	191	
	移入	63	114	
	計	223	305	
特殊品	金属くず	移出	1	2
		移入	9	8
		計	10	10
	廃棄物(廃土砂)	移出	4	4
		移入	0	1
		計	5	5
	取合せ品	移出	1,386	2,081
		移入	780	1,450
		計	2,166	3,531
	その他	移出	350	497
		移入	173	185
		計	523	682
分類不能のもの		移出		
		移入		
		計		
合計	移出	4,822	6,688	
	移入	3,815	5,701	
	計	8,638	12,389	

内貿公共貨物品目別取扱量の設定
値に、品目別ユニット化率を乗じること
により、ユニット貨物量を推計した。

内貿公共貨物品目別取扱量の設定値に、品目別ユニット化率を乗じることにより、ユニット貨物量を推計した。

(3) 内貿公共在来貨物取扱量の設定

目標年次における内貿公共在来貨物量の設定値と設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ－1-41 内貿公共在来貨物量の設定

(単位:千トン)

品目	出入	実績値	推計値	推計方法
		H22	H30代後半	
農水産品	米穀類	移出 2	1	内貿公共貨物推計値(国際フィーダー除く)から、内貿公共ユニット貨物、及び内貿フェリー貨物を除いたものを内貿公共在来貨物推計値とした。
		移入 30	30	
		計 32	31	
	野菜・果物	移出 11	11	
		移入 6	6	
		計 17	18	
	水産品	移出 7	3	
		移入 20	16	
		計 27	19	
	その他	移出 7	6	
		移入 0	0	
		計 7	6	
林産品	原木	移出		
		移入 4	3	
		計 4	3	
	製材	移出 20	18	
		移入 4	4	
		計 24	22	
	その他	移出 2	3	
		移入 2	1	
		計 3	4	
鉱産品	石炭	移出		
		移入 1	1	
		計 1	1	
	砂利・砂	移出 8	14	
		移入 1,426	2,234	
		計 1,433	2,248	
	原油	移出		
		移入		
		計		
金属機械工業品	鉄鋼	移出 44	44	
		移入 56	61	
		計 100	105	
	非鉄金属 金属類	移出 40	42	
		移入 255	298	
		計 295	339	
	輸送機械 (フェリー除)	移出 26	38	
		移入 65	59	
		計 92	97	
	その他	移出 54	74	
		移入 29	45	
		計 82	119	
化学工業品	石油類	移出 18	19	
		移入 1	1	
		計 19	20	
	セメント	移出 50	44	
		移入 600	599	
		計 649	643	
	その他	移出 18	19	
		移入 91	77	
		計 109	96	
軽工業品	紙・パルプ	移出 9	3	
		移入 389	257	
		計 398	260	
	砂糖	移出		
		移入		
		計		
	その他	移出 24	32	
		移入 113	28	
		計 137	60	
雑工業品		移出 36	44	
		移入 13	24	
		計 50	67	
特殊品	金属くず	移出 22	21	
		移入 15	16	
		計 37	37	
	廃棄物(廃土砂)	移出 1,694	1,990	
		移入 5	20	
		計 1,699	2,010	
	取合せ品	移出 115		
		移入 42		
		計 157		
	その他	移出 17	9	
		移入 39	27	
		計 56	36	
分類不能のもの		移出		
		移入		
フェリー		移出		
		移入		
合計		移出 2,238	2,443	
		移入 3,209	3,810	
		計 5,446	6,254	

(4) 内貿フェリー貨物取扱量の設定

目標年次における内貿フェリー貨物量は、現在東京港に就航しているフェリー一航路（1航路）が維持されるものとする。

表Ⅱ－1-42 内貿フェリー貨物量の設定

出入	実績値												推計値	推計方法 類型
	H13 2001	H14 2002	H15 2003	H16 2004	H17 2005	H18 2006	H19 2007	H20 2008	H21 2009	基準年 H22 2010	(参考) H23 2011	(参考) H24 2012	目標年 H37 2025	
移出	8,196	8,052	8,451	8,250	8,079	8,068	5,620	3,832	3,191	3,604	4,844	3,941	3,604	現状維持
移入	7,704	7,143	7,615	7,649	7,602	7,632	5,013	3,538	3,040	3,453	4,647	3,838	3,453	現状維持
計	15,900	15,195	16,066	15,899	15,681	15,699	10,634	7,370	6,231	7,057	9,491	7,779	7,057	

(5) 国際フィーダー貨物取扱量の設定

目標年次における国際フィーダー貨物量の設定値と設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ- 1-43 国際フィーダー貨物量の設定

		推計値		推計方法
品目		H22	H30代後半	
農水産品	米穀類	移出 移入 計	2 0 2	2 0 2
		移出 移入 計	10 3 14	10 3 14
		移出 移入 計	5 8 13	5 8 13
	野菜・果物	移出 移入 計	31 0 31	31 0 31
		移出 移入 計	31 0 31	31 0 31
		移出 移入 計	31 0 31	31 0 31
	水産品	移出 移入 計	31 0 31	31 0 31
		移出 移入 計	31 0 31	31 0 31
		移出 移入 計	31 0 31	31 0 31
	その他	移出 移入 計	31 0 31	31 0 31
林産品	原木	移出 移入 計	11 1 11	11 1 11
		移出 移入 計	11 1 11	11 1 11
		移出 移入 計	11 1 11	11 1 11
	製材	移出 移入 計	0 0 0	0 0 0
		移出 移入 計	0 0 0	0 0 0
		移出 移入 計	0 0 0	0 0 0
	その他	移出 移入 計	0 0 0	0 0 0
		移出 移入 計	0 0 0	0 0 0
		移出 移入 計	0 0 0	0 0 0
	その他	移出 移入 計	0 0 0	0 0 0
鉱産品	石炭	移出 移入 計	0 0 0	0 0 0
		移出 移入 計	0 0 0	0 0 0
		移出 移入 計	0 0 0	0 0 0
	砂利・砂	移出 移入 計	0 0 0	0 0 0
		移出 移入 計	0 0 0	0 0 0
		移出 移入 計	0 0 0	0 0 0
	原油	移出 移入 計	9 0 9	9 0 9
		移出 移入 計	9 0 9	9 0 9
		移出 移入 計	9 0 9	9 0 9
	その他	移出 移入 計	9 0 9	9 0 9
金属機械工業品	鉄鋼	移出 移入 計	0 1 1	0 1 1
		移出 移入 計	1 1 2	1 1 2
		移出 移入 計	1 1 2	1 1 2
	非鉄金属 金属類	移出 移入 計	6 1 7	6 1 7
		移出 移入 計	6 1 7	6 1 7
		移出 移入 計	6 1 7	6 1 7
	輸送機械 (フェリー除)	移出 移入 計	46 52 98	46 52 98
		移出 移入 計	46 52 98	46 52 98
		移出 移入 計	46 52 98	46 52 98
	その他	移出 移入 計	8 9 17	8 9 17
化学工業品	石油類	移出 移入 計	0 0 0	0 0 0
		移出 移入 計	0 0 0	0 0 0
		移出 移入 計	0 0 0	0 0 0
	セメント	移出 移入 計	18 30 48	18 30 48
		移出 移入 計	18 30 48	18 30 48
		移出 移入 計	18 30 48	18 30 48
	紙・パルプ	移出 移入 計	12 1 13	12 1 13
		移出 移入 計	12 1 13	12 1 13
		移出 移入 計	12 1 13	12 1 13
	砂糖	移出 移入 計	0 17 17	0 17 17
軽工業品	砂糖	移出 移入 計	17 17 34	17 17 34
		移出 移入 計	17 17 34	17 17 34
		移出 移入 計	17 17 34	17 17 34
	その他	移出 移入 計	37 26 63	37 26 63
		移出 移入 計	37 26 63	37 26 63
		移出 移入 計	37 26 63	37 26 63
	雑工業品	移出 移入 計	52 107 159	52 107 159
		移出 移入 計	52 107 159	52 107 159
		移出 移入 計	52 107 159	52 107 159
	その他	移出 移入 計	52 107 159	52 107 159
特殊品	金属くず	移出 移入 計	1 1 2	1 1 2
		移出 移入 計	1 1 2	1 1 2
		移出 移入 計	1 1 2	1 1 2
	廃棄物(廃土砂)	移出 移入 計	269 358 627	269 358 627
		移出 移入 計	269 358 627	269 358 627
		移出 移入 計	269 358 627	269 358 627
	取合せ品	移出 移入 計	35 2 37	35 2 37
		移出 移入 計	35 2 37	35 2 37
		移出 移入 計	35 2 37	35 2 37
	その他	移出 移入 計	35 2 37	35 2 37
分類不能のもの	フェリー	移出 移入 計	513 609 1,123	513 609 1,123
		移出 移入 計	513 609 1,123	513 609 1,123
		移出 移入 計	513 609 1,123	513 609 1,123
	合計	移出 移入 計	513 609 1,123	513 609 1,123
		移出 移入 計	513 609 1,123	513 609 1,123
		移出 移入 計	513 609 1,123	513 609 1,123
	合計	移出 移入 計	513 609 1,123	513 609 1,123
		移出 移入 計	513 609 1,123	513 609 1,123
		移出 移入 計	513 609 1,123	513 609 1,123
	合計	移出 移入 計	513 609 1,123	513 609 1,123

国際フィーダー貨物は、大井コンテナふ頭、青海コンテナふ頭、品川コンテナふ頭で取り扱われている内貨貨物とし、過去の動向を踏まえ推計した。

1) 取扱個数（TEU）の設定

目標年次における国際フィーダー取扱個数等の設定値と設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ- 1-44 国際フィーダー取扱個数等の推計結果

内航フィーダー貨物		実績値												基準年 (参考) (参考)			推計値	推計方法
														目標年				
		H13 2001	H14 2002	H15 2003	H16 2004	H17 2005	H18 2006	H19 2007	H20 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013				
種別																		
移出 (千TEU)	実入	23	17	12	15	19	26	33	38	36	44	43	55	44	1TEU当りトン数より			
	空	13	20	17	17	9	28	124	144	157	201	211	229	201	空コンテナ比率より			
	合計	36	37	28	32	27	53	157	182	192	245	254	284	245				
移入 (千TEU)	実入	19	19	20	24	22	36	45	78	65	58	61	57	58	1TEU当りトン数より			
	空	8	4	1	3	14	18	16	2	2	3	4	1	3	空コンテナ比率より			
	合計	27	23	21	27	36	54	61	80	67	61	65	58	61				
合計 (千TEU)	実入	42	36	32	39	41	61	79	116	101	102	104	112	102				
	空	21	23	18	20	23	46	140	146	158	204	215	230	204				
	合計	63	59	50	59	63	107	218	262	259	305	319	342	305				
空コンテナ比率	移出	37%	53%	59%	53%	31%	52%	79%	79%	81%	82%	83%	81%	82%	H22実績			
	移入	30%	17%	5%	10%	39%	34%	26%	3%	3%	4%	6%	2%	4%	H22実績			
	合計	34%	39%	36%	33%	36%	43%	64%	56%	61%	67%	67%	67%					
1TEU当りトン数(実入)	移出	10.72	14.66	18.12	17.00	12.30	9.49	9.02	13.01	10.59	11.72	11.28	10.82	11.72	H22実績			
	移入	10.07	11.48	13.11	13.28	9.95	8.26	9.13	8.90	9.29	10.50	10.14	10.11	10.50	H22実績			
	合計	10.43	13.00	14.94	14.73	11.04	8.78	9.08	10.25	9.75	11.03	10.61	10.46					

(6) 内貿専用貨物取扱量の設定

目標年次における内貿専用貨物量の設定値と設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ－1-45 内貿専用貨物量の設定

品目		出入	実績値 H22	推計値 H30代後半	推計方法
農水産品	米穀類	移出 移入 計			内貿専用貨物量は、平成13年以降一貫して減少傾向にあり、品目別にも殆どの品目が減少傾向となっていることから、現状程度を見込むこととして推計した。
	野菜・果物	移出 移入 計		18 18	
	水産品	移出 移入 計		8 8	
	その他	移出 移入 計			
林産品	原木	移出 移入 計			
	製材	移出 移入 計			
	その他	移出 移入 計			
鉱産品	石炭	移出 移入 計			
	砂利・砂	移出 移入 計	45 3,151 3,196	45 3,151 3,196	
	原油	移出 移入 計	435 435	435 435	
	その他	移出 移入 計			
金属機械工業品	鉄鋼	移出 移入 計	8 838 846	8 838 846	
	非鉄金属 金属類	移出 移入 計			
	輸送機械 (フェリー除)	移出 移入 計			
	その他	移出 移入 計	0 0		
化学工業品	石油類	移出 移入 計	123 3,701 3,824	123 3,701 3,824	
	セメント	移出 移入 計	1,702 1,702	1,702 1,702	
	その他	移出 移入 計			
軽工業品	紙・パルプ	移出 移入 計			
	砂糖	移出 移入 計			
	その他	移出 移入 計	71 71	71 71	
雑工業品	移出 移入 計				
特殊品	金属くず	移出 移入 計	0 0	0 0	
	廃棄物(廃土砂)	移出 移入 計			
	取合せ品	移出 移入 計	1 1	1 1	
	その他	移出 移入 計	6 17 24	6 17 24	
分類不能のもの	移出 移入 計				
フェリー	移出 移入 計				
合計	移出 移入 計	254 9,845 10,099	254 9,871 10,125		

内貿専用貨物量は、平成13年以降一貫して減少傾向にあり、品目別にみても殆どの品目が減少傾向となっていることから、現状程度を見込むこととして推計した。

1-2-4 航路別外貿コンテナ取扱個数（TEU）の設定

(1) 航路別外貿コンテナ取扱個数（TEU）の設定

目標年次における航路別外貿コンテナ取扱個数の設定値と設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

航路別貨物量の算出においては、基準年以降の平成 23 年、平成 24 年のデータを活用する。

表Ⅱ－1-46 航路別外貿コンテナ取扱個数（TEU）の設定

(千TEU)

航路名	実入・空別	実績値 H22	推計値 H30代後半	推計方法
01 世界一周	実入 空 計			取扱なし 取扱なし
02 北米西岸(メキシコ含む)	実入 空 計	453 117 570	643 154 799	H23・H24航路比率の平均値 H23・H24航路比率の平均値
03 北米東岸(カリビア海含む)	実入 空 計	123 41 163	202 55 259	H23・H24航路比率の平均値 H23・H24航路比率の平均値
04 北欧・地中海	実入 空 計	359 74 433	420 71 484	H23・H24航路比率の平均値 H23・H24航路比率の平均値
05 南米西岸	実入 空 計	13 2 15	28 6 35	H23・H24航路比率の平均値 H23・H24航路比率の平均値
06 南米東岸	実入 空 計			取扱なし 取扱なし
07 南米東岸(南ア)	実入 空 計			取扱なし 取扱なし
08 アフリカ	実入 空 計			取扱なし 取扱なし
09 オセアニア	実入 空 計	21 7 27	23 12 37	H23・H24航路比率の平均値 H23・H24航路比率の平均値
10 印パ・ペルシア・ベンガル	実入 空 計	23 1 24	36 2 36	H23・H24航路比率の平均値 H23・H24航路比率の平均値
11 東南アジア	実入 空 計	1,024 131 1,156	1,698 197 1,838	H23・H24航路比率の平均値 H23・H24航路比率の平均値
12 台湾	実入 空 計	20 3 23		取扱なし 取扱なし
13 韓国	実入 空 計	135 54 189	194 68 269	H23・H24航路比率の平均値 H23・H24航路比率の平均値
14 中国(ホンコン含む)	実入 空 計	862 354 1,216	1,323 469 1,844	H23・H24航路比率の平均値 H23・H24航路比率の平均値
15 ナホトカ	実入 空 計			取扱なし 取扱なし
16 不定期航路	実入 空 計	0 0 0	0 0 0	H23・H24航路比率の平均値 H23・H24航路比率の平均値
00 合計	実入 空 計	3,031 785 3,816	4,568 1,033 5,601	

2. 入港最大標準船型

2-1 入港最大標準船型

東京港における最大の水深・延長を有する施設の水深・延長に対応する標準的な船舶のトン数を入港最大標準船型として設定する。

当港の最大の水深・延長 を有する施設	水深	延長	利用船舶 の種類	対応する標準的 な船舶のトン数
外貿コンテナバース (大井ふ頭・青海ふ頭・ 中央防波堤外側・ 新海面)	15～16.5m	400m	コンテナ船	150,000DWT

2-2 船舶の利用状況

船舶の種類別、トン階級別の過去10年間の利用状況は次のとおりである。

表Ⅱ-2-1 外航船舶の利用状況

外内別	種別	トン階級	実績値										実績値(参考)	
			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
外航船	合計	5～99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100～499	1	7	3	1	4	2	4	12	10	3	4	4
		500～999	63	54	38	34	41	21	13	6	9	4	3	5
		1,000～2,999	404	438	569	502	530	517	517	477	387	458	369	423
		3,000～5,999	1,041	820	929	894	833	600	445	402	383	280	149	176
		6,000～9,999	1,020	1,198	1,540	1,892	2,392	2,566	2,458	2,188	2,275	2,472	2,640	2,595
		10,000～19,999	1,259	1,310	1,453	1,414	1,340	1,348	1,361	1,282	1,133	1,142	1,264	931
		20,000～29,999	241	219	186	156	138	131	168	199	344	516	513	551
		30,000～39,999	237	183	191	228	273	236	250	236	159	158	178	270
		40,000～49,999	631	498	426	451	321	230	190	290	401	189	161	195
		50,000～59,999	334	378	519	484	608	561	467	354	378	450	465	429
		60,000～69,999	297	367	310	179	202	279	332	359	149	135	155	153
		70,000～79,999	-	-	-	133	145	217	255	266	288	230	152	116
		80,000～89,999	-	-	-	-	-	-	-	-	9	5	-	19
		90,000～99,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80	89	82
		100,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	15	7
		合計	5,528	5,472	6,164	6,368	6,827	6,708	6,460	6,071	5,925	6,128	6,157	5,956
外航	うちコンテナ船	5～99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100～499	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
		500～999	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
		1,000～2,999	59	62	63	40	28	35	30	64	18	1	-	-
		3,000～5,999	608	372	484	538	537	402	286	296	272	200	106	135
		6,000～9,999	900	1,084	1,455	1,742	2,157	2,307	2,226	1,978	2,036	2,219	2,395	2,384
		10,000～19,999	1,094	1,151	1,320	1,294	1,219	1,235	1,252	1,176	1,046	1,075	1,192	892
		20,000～29,999	159	146	134	111	103	94	143	176	331	498	485	527
		30,000～39,999	218	171	180	218	266	226	241	231	153	152	159	261
		40,000～49,999	630	498	410	424	302	221	187	283	392	183	155	188
		50,000～59,999	333	377	518	484	608	560	466	353	372	450	465	428
		60,000～69,999	297	364	307	177	202	279	330	357	147	132	153	153
		70,000～79,999	-	-	-	133	145	217	255	266	288	230	152	116
		80,000～89,999	-	-	-	-	-	-	-	-	9	5	-	19
		90,000～99,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80	89	82
		100,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	15	7
		小計	4,298	4,225	4,871	5,161	5,569	5,576	5,417	5,180	5,064	5,231	5,366	5,194
	うち客船	5～99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100～499	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		500～999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1,000～2,999	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		3,000～5,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		6,000～9,999	-	2	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-
		10,000～19,999	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		20,000～29,999	19	13	4	7	2	4	3	3	1	1	-	4
		30,000～39,999	-	-	1	3	-	-	-	-	-	1	-	1
		40,000～49,999	-	-	-	3	1	1	-	-	3	-	-	-
		50,000～59,999	-	-	-	-	-	1	1	1	5	-	-	-
		60,000～69,999	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		70,000～79,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		80,000～89,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		90,000～99,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		小計	21	17	7	14	3	7	5	4	10	2	-	5
	その他貨物船等	5～99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100～499	1	7	3	1	3	2	4	12	10	3	4	2
		500～999	63	54	38	34	40	21	12	6	9	4	3	5
		1,000～2,999	345	376	506	461	502	482	487	413	369	457	369	423
		3,000～5,999	433	448	445	356	296	198	159	106	111	80	43	41
		6,000～9,999	120	112	84	150	235	258	231	210	239	253	245	211
		10,000～19,999	163	158	132	120	121	113	109	106	87	67	72	39
		20,000～29,999	63	60	48	38	33	33	22	20	12	17	28	20
		30,000～39,999	19	12	10	7	7	10	9	5	6	5	19	8
		40,000～49,999	1	-	16	24	18	8	3	7	6	6	6	7
		50,000～59,999	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1
		60,000～69,999	-	2	3	2	-	-	2	2	1	3	2	-
		小計	1,209	1,230	1,286	1,193	1,255	1,125	1,038	887	851	895	791	757

※コンテナ船：フルコンテナ船、セミコンテナ船の合計

※その他貨物船等：コンテナ船、客船を除く船舶の合計

表Ⅱ－2-2 内航船舶の利用状況

外内別	種別	トン階級	実績値										実績値(参考)	
			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
内航船	合計	5～99	3,581	3,384	3,054	2,369	1,847	1,627	1,668	1,765	1,524	1,128	890	753
		100～499	17,146	17,906	18,199	15,940	16,906	16,345	16,005	15,394	14,354	12,328	12,086	11,539
		500～999	1,591	1,613	1,600	1,597	1,667	1,827	1,952	2,054	1,794	2,309	2,363	2,435
		1,000～2,999	1,090	1,032	801	643	617	905	1,172	1,253	1,085	1,222	1,316	1,388
		3,000～5,999	2,225	1,873	1,741	1,842	1,799	1,748	1,644	1,344	1,278	1,206	1,299	1,479
		6,000～9,999	1,132	1,050	1,058	1,035	1,051	1,000	1,069	1,168	990	866	865	893
		10,000～19,999	995	1,083	1,231	1,452	1,450	1,472	1,327	1,185	1,154	1,204	1,369	1,278
		20,000～29,999	80	64	61	22	15	18	23	10	14	19	13	20
		30,000～39,999	-	-	3	3	1	1	-	-	-	1	-	-
		40,000～49,999	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
		50,000～59,999	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	2
		60,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		合計	27,840	28,005	27,748	24,904	25,353	24,945	24,862	24,173	22,193	20,283	20,201	19,787
内航	うちフィーダー	5～99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100～499	352	339	308	292	458	511	548	690	598	622	606	709
		500～999	47	53	110	155	142	377	418	470	417	391	347	441
		1,000～2,999	76	41	18	-	1	-	-	-	-	-	-	-
		3,000～5,999	252	218	211	77	78	76	71	1	-	-	4	1
		6,000～9,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		10,000～19,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		20,000～29,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		30,000～39,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		40,000～49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		50,000～59,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		60,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		小計	727	651	647	524	679	964	1,037	1,161	1,015	1,013	957	1,151
	うちユニット船	5～99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100～499	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-
		500～999	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
		1,000～2,999	370	372	233	116	99	118	118	132	187	109	46	34
		3,000～5,999	334	346	277	419	358	440	364	202	203	203	194	182
		6,000～9,999	774	886	907	818	824	774	847	937	797	636	638	661
		10,000～19,999	247	348	487	742	745	763	793	789	787	811	915	890
		20,000～29,999	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		30,000～39,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		40,000～49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		50,000～59,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		60,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		小計	1,725	1,953	1,904	2,095	2,026	2,100	2,122	2,060	1,975	1,759	1,794	1,767
	うち客船	5～99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100～499	395	1,845	2,041	-	1,045	1,049	1,016	1,325	1,600	1,479	1,510	1,578
		500～999	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
		1,000～2,999	36	32	35	36	36	36	36	36	36	36	36	36
		3,000～5,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		6,000～9,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		10,000～19,999	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
		20,000～29,999	80	64	61	21	15	18	22	10	13	19	13	20
		30,000～39,999	-	-	3	2	1	-	-	-	-	1	-	-
		40,000～49,999	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
		50,000～59,999	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	2
		60,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		小計	511	1,945	2,140	60	1,101	1,105	1,076	1,371	1,649	1,535	1,559	1,636
	うち内航フェリー	5～99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100～499	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		500～999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1,000～2,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		3,000～5,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		6,000～9,999	129	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		10,000～19,999	637	631	639	641	635	638	458	331	306	333	400	334
		20,000～29,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		30,000～39,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		40,000～49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		50,000～59,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		60,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		小計	766	631	639	641	635	638	458	331	306	333	400	334
	その他貨物船等	5～99	3,581	3,384	3,054	2,369	1,847	1,627	1,668	1,765	1,524	1,128	890	753
		100～499	16,399	15,722	15,850	15,648	15,403	14,781	14,441	13,379	12,156	10,227	9,969	9,252
		500～999	1,544	1,557	1,490	1,442	1,523	1,449	1,534	1,584	1,377	1,918	2,016	1,994
		1,000～2,999	608	587	515	491	481	751	1,018	1,085	862	1,077	1,234	1,318
		3,000～5,999	1,639	1,309	1,253	1,346	1,363	1,232	1,209	1,141	1,075	1,003	1,101	1,296
		6,000～9,999	229	164	151	217	227	226	222	231	193	230	227	232
		10,000～19,999	111	102	105	69	68	71	76	65	61	60	54	54
		20,000～29,999	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
		30,000～39,999	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
		40,000～49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		50,000～59,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		60,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		小計	24,111	22,825	22,418	21,584	20,912	20,138	20,169	19,250	17,248	15,643	15,491	14,899

※フィーダー船：フルコンテナ船、セミコンテナ船の合計

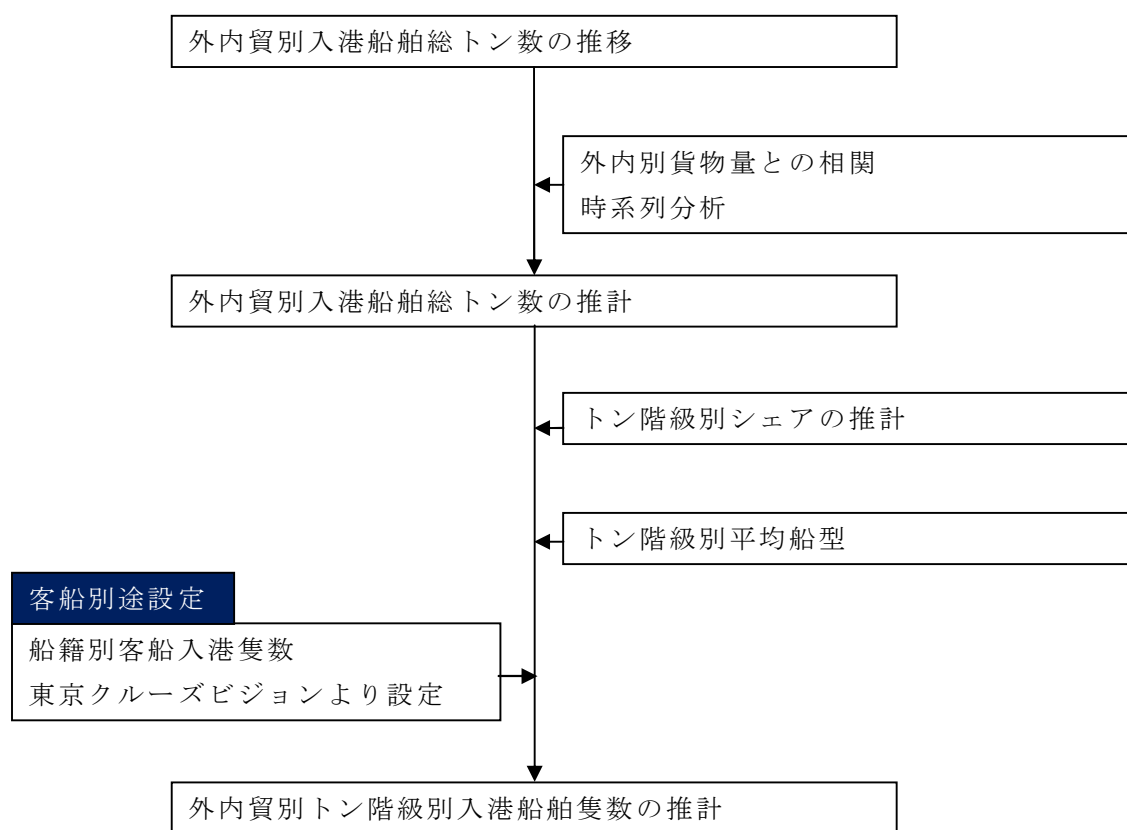
※ユニット船：RORO 船、自動車運搬船、自動車専用船の合計

※その他貨物船等：フィーダー船、ユニット船、フェリー、客船を除く船舶の合計

2-3 入港船舶隻数の推計

(1) 入港船舶隻数の推計方針

次のフローに従い、入港船舶隻数を設定する。



図Ⅱ-2-1 入港船舶隻数の設定フロー

(2) 入港船舶隻数の設定

入港船舶隻数の設定は、以下のとおりである。

表Ⅱ- 2-3 外航船舶の入港船舶隻数の設定

外内別	種別	トン階級	実績値										実績値(参考)			推計値
			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H37	
外航船	合計	5～99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100～499	1	7	3	1	4	2	4	12	10	3	4	4	4	3
		500～999	63	54	38	34	41	21	13	6	9	4	3	5	4	4
		1,000～2,999	404	438	569	502	530	517	517	477	387	458	369	423	458	458
		3,000～5,999	1,041	820	929	894	833	600	445	402	383	280	149	176	280	280
		6,000～9,999	1,020	1,198	1,540	1,892	2,392	2,566	2,458	2,188	2,275	2,472	2,640	2,595	4,018	4,018
		10,000～19,999	1,259	1,310	1,453	1,414	1,340	1,348	1,361	1,282	1,133	1,142	1,264	931	1,094	1,094
		20,000～29,999	241	219	186	156	138	131	168	199	344	516	513	551	768	768
		30,000～39,999	237	183	191	228	273	236	250	236	159	158	178	270	160	160
		40,000～49,999	631	498	426	451	321	230	190	290	401	189	161	195	189	189
		50,000～59,999	334	378	519	484	608	561	467	354	378	450	465	429	469	469
		60,000～69,999	297	367	310	179	202	279	332	359	149	135	155	153	218	218
		70,000～79,999	-	-	-	133	145	217	255	266	288	230	152	116	332	332
		80,000～89,999	-	-	-	-	-	-	-	-	9	5	-	19	7	7
		90,000～99,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80	89	82	115	115
		100,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	15	7	93	93
		合計	5,528	5,472	6,164	6,368	6,827	6,708	6,460	6,071	5,925	6,128	6,157	5,956	8,208	8,208
外航	うちコンテナ船	5～99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100～499	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-
		500～999	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
		1,000～2,999	59	62	63	40	28	35	30	64	18	1	-	-	-	1
		3,000～5,999	608	372	484	538	537	402	286	296	272	200	106	135	200	200
		6,000～9,999	900	1,084	1,455	1,742	2,157	2,307	2,226	1,978	2,036	2,219	2,395	2,384	3,765	3,765
		10,000～19,999	1,094	1,151	1,320	1,294	1,219	1,235	1,252	1,176	1,046	1,075	1,192	892	1,027	1,027
		20,000～29,999	159	146	134	111	103	94	143	176	331	498	485	527	728	728
		30,000～39,999	218	171	180	218	266	226	241	231	153	152	159	261	135	135
		40,000～49,999	630	498	410	424	302	221	187	283	392	183	155	188	183	183
		50,000～59,999	333	377	518	484	608	560	466	353	372	450	465	428	469	469
		60,000～69,999	297	364	307	177	202	279	330	357	147	132	153	153	190	190
		70,000～79,999	-	-	-	133	145	217	255	266	288	230	152	116	332	332
		80,000～89,999	-	-	-	-	-	-	-	-	9	5	-	19	7	7
		90,000～99,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80	89	82	115	115
		100,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	15	7	19	19
		小計	4,298	4,225	4,871	5,161	5,569	5,576	5,417	5,180	5,064	5,231	5,366	5,194	7,171	7,171
	うち客船	5～99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100～499	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		500～999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1,000～2,999	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		3,000～5,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		6,000～9,999	-	2	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
		10,000～19,999	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		20,000～29,999	19	13	4	7	2	4	3	3	1	1	-	4	23	23
		30,000～39,999	-	-	1	3	-	-	-	-	-	1	-	1	20	20
		40,000～49,999	-	-	-	3	1	1	-	-	3	-	-	-	-	-
		50,000～59,999	-	-	-	-	-	1	1	1	5	-	-	-	-	-
		60,000～69,999	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	25	25
		70,000～79,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		80,000～89,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		90,000～99,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74
		小計	21	17	7	14	3	7	5	4	10	2	-	5	142	142
	その他貨物船等	5～99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
		100～499	1	7	3	1	3	2	4	12	10	3	4	2	3	3
		500～999	63	54	38	34	40	21	12	6	9	4	3	5	4	4
		1,000～2,999	345	376	506	461	502	482	487	413	369	457	369	423	457	457
		3,000～5,999	433	448	445	356	296	198	159	106	111	80	43	41	80	80
		6,000～9,999	120	112	84	150	235	258	231	210	239	253	245	211	253	253
		10,000～19,999	163	158	132	120	121	113	109	106	87	67	72	39	67	67
		20,000～29,999	63	60	48	38	33	33	22	20	12	17	28	20	17	17
		30,000～39,999	19	12	10	7	7	10	9	5	6	5	19	8	5	5
		40,000～49,999	1	-	16	24	18	8	3	7	6	6	6	7	6	6
		50,000～59,999	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	0	0
		60,000～69,999	-	2	3	2	-	-	2	2	1	3	2	-	3	3
		小計	1,209	1,230	1,286	1,193	1,255	1,125	1,038	887	851	895	791	757	895	895

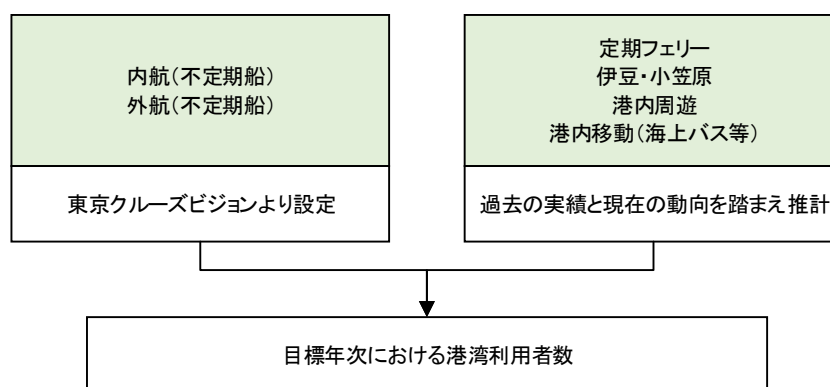
表Ⅱ－2-4 内航船舶の入港船舶隻数の設定

外内別	種別	トン階級	実績値										実績値(参考)			(隻)
			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H37	推計値
内航船	合計	5～99	3,581	3,384	3,054	2,369	1,847	1,627	1,668	1,765	1,524	1,128	890	753	1,128	
		100～499	17,146	17,906	18,199	15,940	16,906	16,345	16,005	15,394	14,354	12,328	12,086	11,539	14,607	
		500～999	1,591	1,613	1,600	1,597	1,667	1,827	1,952	2,054	1,794	2,309	2,363	2,435	4,671	
		1,000～2,999	1,090	1,032	801	643	617	905	1,172	1,253	1,085	1,222	1,316	1,388	1,217	
		3,000～5,999	2,225	1,873	1,741	1,842	1,799	1,748	1,644	1,344	1,278	1,206	1,299	1,479	1,264	
		6,000～9,999	1,132	1,050	1,058	1,035	1,051	1,000	1,069	1,168	990	866	865	893	1,047	
		10,000～19,999	995	1,083	1,231	1,452	1,450	1,472	1,327	1,185	1,154	1,204	1,369	1,278	1,435	
		20,000～29,999	80	64	61	22	15	18	23	10	14	19	13	20	56	
		30,000～39,999	-	-	3	3	1	1	-	-	-	1	-	-	-	
		40,000～49,999	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
		50,000～59,999	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	2	15	
		60,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		合計	27,840	28,005	27,748	24,904	25,353	24,945	24,862	24,173	22,193	20,283	20,201	19,787	25,440	
内航	うちフィーダー	5～99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100～499	352	339	308	292	458	511	548	690	598	622	606	709	4,380	
		500～999	47	53	110	155	142	377	418	470	417	391	347	441	2,753	
		1,000～2,999	76	41	18	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
		3,000～5,999	252	218	211	77	78	76	71	1	-	-	4	1	-	
		6,000～9,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		10,000～19,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		20,000～29,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		30,000～39,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		40,000～49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		50,000～59,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		60,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		小計	727	651	647	524	679	964	1,037	1,161	1,015	1,013	957	1,151	7,133	
	うちユニット船	5～99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100～499	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-
		500～999	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		1,000～2,999	370	372	233	116	99	118	118	132	187	109	46	34	140	
		3,000～5,999	334	346	277	419	358	440	364	202	203	203	194	182	261	
		6,000～9,999	774	886	907	818	824	774	847	937	797	636	638	661	817	
		10,000～19,999	247	348	487	742	745	763	793	789	787	811	915	890	1,042	
		20,000～29,999	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
		30,000～39,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		40,000～49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		50,000～59,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		60,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		小計	1,725	1,953	1,904	2,095	2,026	2,100	2,122	2,060	1,975	1,759	1,794	1,767	2,260	
	うち客船	5～99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100～499	395	1,845	2,041	-	1,045	1,049	1,016	1,325	1,600	1,479	1,510	1,578	-	
		500～999	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
		1,000～2,999	36	32	35	36	36	36	36	36	36	36	36	36	-	
		3,000～5,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		6,000～9,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		10,000～19,999	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
		20,000～29,999	80	64	61	21	15	18	22	10	13	19	13	20	56	
		30,000～39,999	-	-	3	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	
		40,000～49,999	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
		50,000～59,999	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	2	15	
		60,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		小計	511	1,945	2,140	60	1,101	1,105	1,076	1,371	1,649	1,535	1,559	1,636	71	
	うち内航フェリー	5～99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100～499	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		500～999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1,000～2,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		3,000～5,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		6,000～9,999	129	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		10,000～19,999	637	631	639	641	635	638	458	331	306	333	400	334	333	
		20,000～29,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		30,000～39,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		40,000～49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		50,000～59,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		60,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		小計	766	631	639	641	635	638	458	331	306	333	400	334	333	
	その他貨物船等	5～99	3,581	3,384	3,054	2,369	1,847	1,627	1,668	1,765	1,524	1,128	890	753	1,128	
		100～499	16,399	15,722	15,850	15,648	15,403	14,781	14,441	13,379	12,156	10,227	9,969	9,252	10,227	
		500～999	1,544	1,557	1,490	1,442	1,523	1,449	1,534	1,584	1,377	1,918	2,016	1,994	1,918	
		1,000～2,999	608	587	515	491	481	751	1,018	1,085	862	1,077	1,234	1,318	1,077	
		3,000～5,999	1,639	1,309	1,253	1,346	1,363	1,232	1,209	1,141	1,075	1,003	1,101	1,296	1,003	
		6,000～9,999	229	164	151	217	227	226	222	231	193	230	227	232	230	
		10,000～19,999	111	102	105	69	68	71	76	65	61	60	54	54	60	
		20,000～29,999	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
		30,000～39,999	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
		40,000～49,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		50,000～59,999	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		60,000～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		小計	24,111	22,825	22,418	21,584	20,912	20,138	20,169	19,250	17,248	15,643	15,491	14,899	15,643	

3. 港湾利用者数

3-1 港湾利用者数の設定の方針

次のフローに従い、港湾利用者数を設定する。



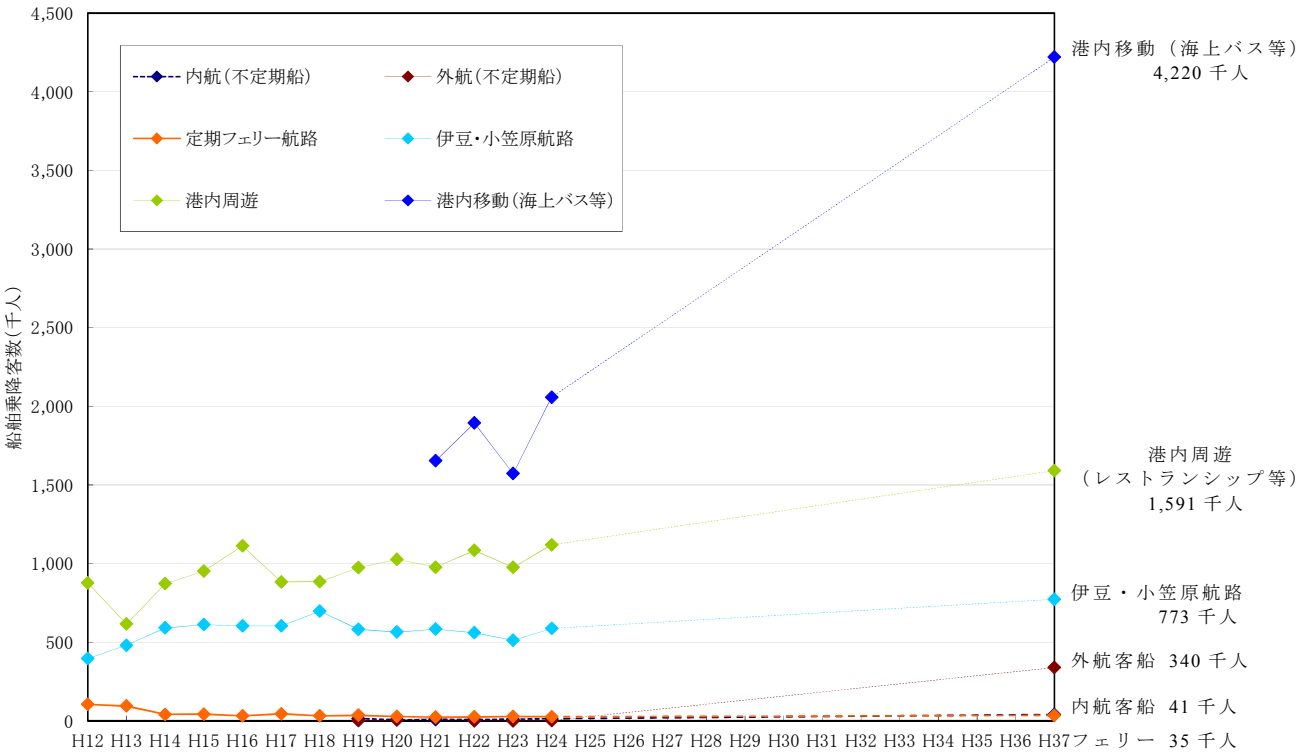
図Ⅱ- 3-1 港湾利用者数の設定フロー

3-2 港湾利用者数の設定

港湾利用者数の推計方法及び推計結果は、以下のとおりである。

表Ⅱ-3-1 港湾利用者数の推計方法

種類	種類	(単位:千人)																	推計方法	回帰式等	
		2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2025	＜参考＞ 7次推計	a:係数	b:定数項			
		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H37						
船舶乗降客数	内航(不定期船)								15	7	8	8	11	13	41	120	東京クルーズビジョンによる				
	外航(不定期船)								3	6	18	1	1	2	340	40	東京クルーズビジョンによる				
	定期フェリー航路	106	95	42	43	32	45	32	36	28	24	26	29	26	35	30	北海道航路抜港後のH20-H24の平均値にフェリー大型化(新造船)効果1.33倍(旅客定員の増分)を見込む	—	—		
	伊豆・小笠原航路	396	481	591	612	604	604	698	582	565	584	560	512	589	773	720	世界遺産登録前後のH22-H24の増分を年換算(29÷2=14.5(千人増/年))し、H37までの13年分を乗じて加算 ※増分の設定に当たっては震災翌年のH23を除く	14,164	248,789		
	港内周遊	877	617	873	952	1,113	884	885	974	1,027	978	1,084	976	1,120	1,591	1,020	H17-H24 時系列回帰 ※震災翌年のH23を除いた回帰式を採用 ※平成17年に瀬河ルネサンスが廃止され、瀬河を観光資源として活用する取り組みが開始されたことから、推計に用いるデータはH17以降のもの	35,436	279,387		
	港内移動(海上バス等)										1,655	1,894	1,572	2,058	4,220	4,870	H21-H24 時系列回帰 ※震災翌年のH23を除いた回帰式を採用 ※統計上、有効データとして活用できるものが、H21以降であったため、H21以降のデータを整理し、推計を実施	127,008	967,500		
合計	合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,267	3,574	3,102	3,809	7,000	6,800					



図Ⅱ-3-2 港湾利用者数の推計結果

Ⅲ 港湾施設の規模及び配置に関する資料

目 次

III 港湾施設の規模及び配置	III-1
1. 公共埠頭計画	III-1
1-1 公共埠頭計画	III-1
1-2 外内貿コンテナ埠頭計画	III-15
1-3 内貿ユニットロード埠頭計画	III-34
1-4 外貿埠頭計画	III-37
1-5 内貿埠頭計画	III-41
2. 旅客船埠頭計画	III-44
2-1 旅客船埠頭の現況	III-44
2-2 旅客船埠頭計画の必要性	III-45
2-3 旅客船埠頭の規模及び配置	III-46
3. 旅客船埠頭（小型栈橋）計画	III-48
3-1 旅客船埠頭（小型栈橋）の現況	III-48
3-2 旅客船埠頭（小型栈橋等）計画の必要性	III-50
3-3 旅客船埠頭（小型栈橋等）の規模及び配置	III-51
4. 木材取扱施設計画	III-52
4-1 木材取扱施設の現況	III-52
4-2 木材取扱施設計画の必要性	III-52
4-3 木材取扱施設の規模及び配置	III-52
5. 専用埠頭計画	III-55
5-1 専用埠頭の現況	III-55
5-2 専用埠頭計画の必要性	III-56
5-3 専用埠頭の規模及び配置	III-56
6. 水域施設計画	III-58
6-1 航路計画	III-58
6-2 泊地計画	III-60
6-3 南部地区及び東部地区における水域施設計画の考え方（参考）	III-63
6-4 操船例図	III-64

7. 外郭施設計画	III-79
7-1 防波堤計画	III-79
8. 小型船だまり計画	III-85
8-1 小型船だまりの現況	III-85
8-2 小型船だまり計画の必要性	III-86
8-3 今回計画する小型船だまりの規模及び配置	III-86
8-4 静穏度検討	III-89
9. 臨港交通施設計画	III-93
9-1 主要な臨港道路の現況	III-93
9-2 臨港道路計画の必要性	III-93
9-3 交通対策	III-93
10. マリーナ計画	III-95
10-1 マリーナの現況	III-95
10-2 マリーナ計画	III-97

III 港湾施設の規模及び配置

1. 公共埠頭計画

1-1 公共埠頭計画

1-1-1 公共埠頭の現況

(1) 公共埠頭の利用状況

公共埠頭の主要取扱貨物等の利用状況は、次のとおりである。

表Ⅲ- 1-1 (1) 公共埠頭の利用状況

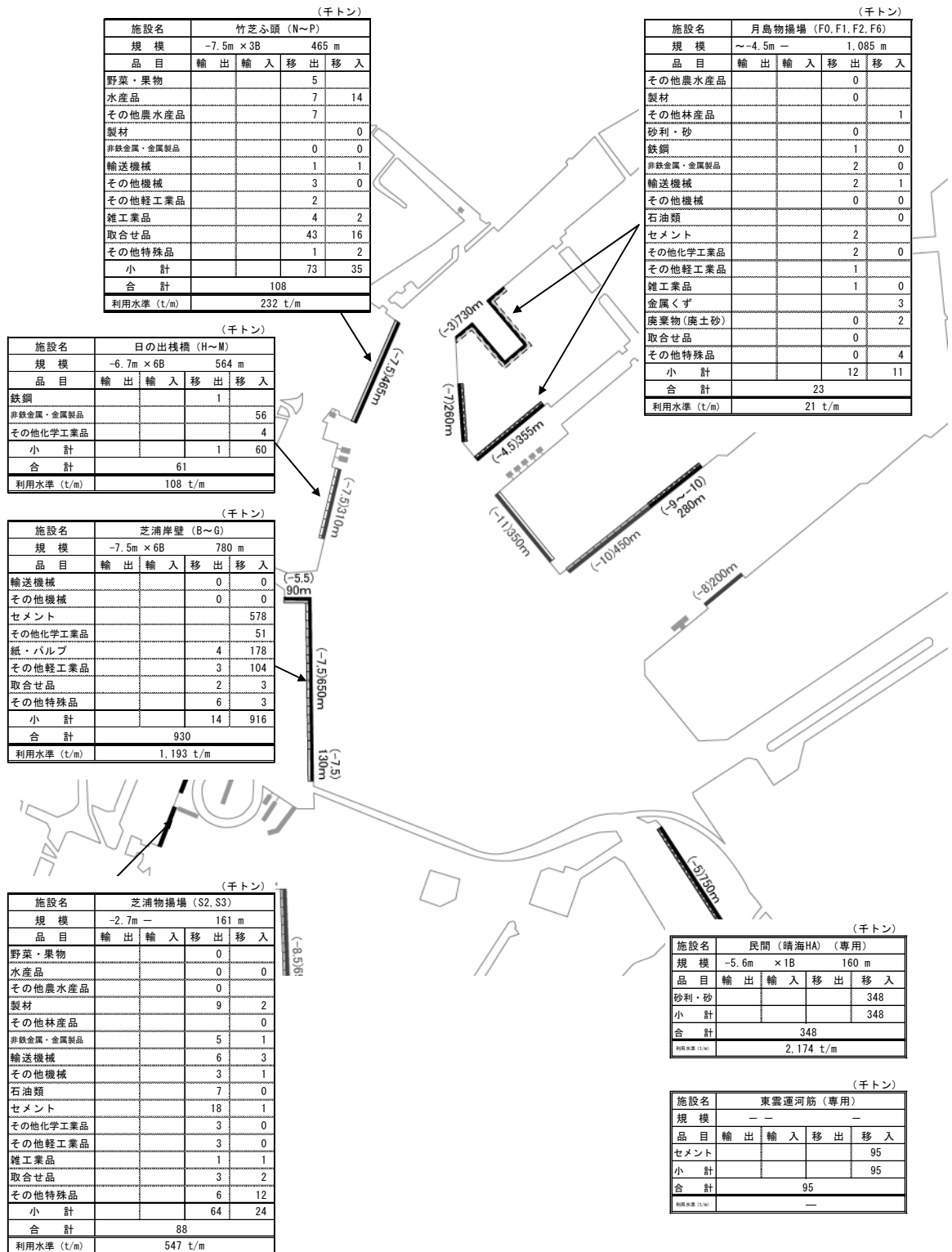
地区名		施設諸元 (平成 22 年)	主要取扱貨物等 (平成 22 年実績)	定期航路
内港 地区	芝浦 ふ頭	-7.5m×780m(6B) -5.5m×90m(1B) -2.7m×161m(2B)	セメント 596 千トン 紙・パルプ 181 千トン その他 240 千トン 合計 1,018 千トン	
	日の出 ふ頭	-6.7m×564m(6B)	非鉄金属 56 千トン 化学薬品 4 千トン 鉄鋼 0.7 千トン 合計 61 千トン	
	竹芝 ふ頭	-7.5m×465m(3B)	取合せ品 59 千トン 水産品 21 千トン その他 28 千トン 合計 108 千トン	内貿定期航路 伊豆七島航路 7 便/週 小笠原航路 5 便/月
	※品川 ふ頭	-10m×555m(3B) -10m×190m(1B) -10m×380m(2B) -8m×476m(3B)	取合せ品 1,247 千トン 完成自動車 1,152 千トン 紙・パルプ 943 千トン その他 3,564 千トン 合計 6,906 千トン	外貿コンテナ定期航路 アジア航路 1 便/週 中国航路 4 便/週 韓国航路 10 便/週 内貿定期航路 (RO/RO) 苫小牧航路 13.5 便/週
	晴海 ふ頭	-9 m×90m(1B) -10m×190m(1B) -10m×450m(2B)	取扱貨物量なし	
	朝潮・ 月島 ふ頭	-3～-4.5m×1,085m -7m×260m(2B)	再利用資材 2.6 千トン 金属製品 2.6 千トン 金属くず 2.5 千トン その他 15 千トン 合計 22 千トン	
	豊洲 ふ頭	-4m×283m (H23 年 7 月利用中止)	取扱貨物量なし	

資料：東京港ハンドブック2011より作成

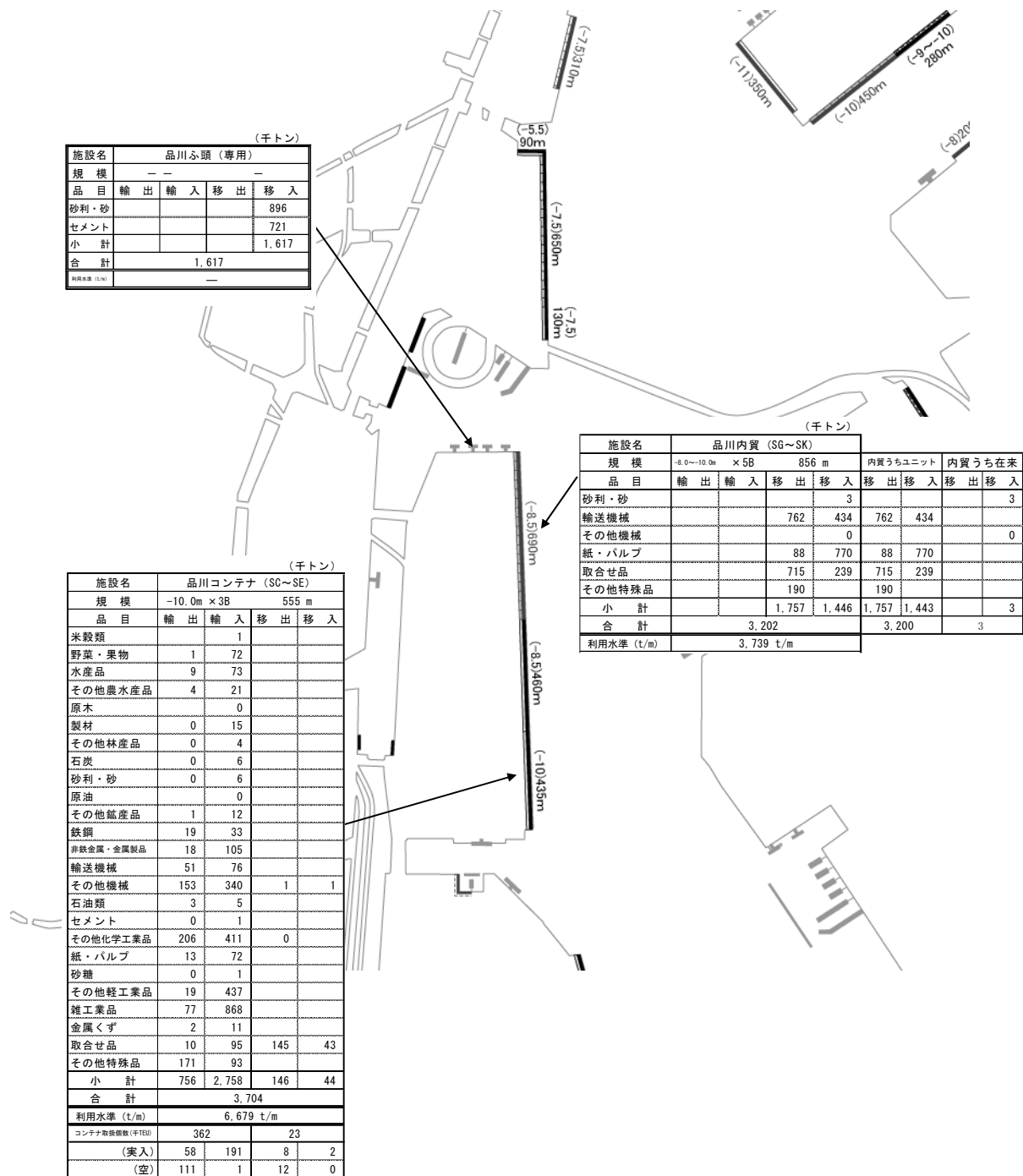
表Ⅲ- 1-1 (2) 公共埠頭の利用状況

地区名		施設諸元 (平成 22 年)	主要取扱貨物等 (平成 22 年実績)	定期航路
南部地区	大井 ふ頭 その 1	-15m×2,354m(7B) -12m×450m(2B) -12m×225m(1B) -11m×380m(2B)	その他化学工業品 2,302 千トン 産業機械 2,191 千トン 電気機械 1,903 千トン その他 19,112 千トン 合計 25,508 千トン	外貿コンテナ定期航路 北米航路 8 便/週 欧州航路 2 便/週 ニュージーランド航路 1 便/週 南米西岸高炉 1 便/週 アジア航路 17 便/週 中国航路 10 便/週 内貿コンテナ定期航路 仙台航路 仙台・清水航路
	大井 ふ頭 その 2	-5m×280m(4B) -7.5m×130m(1B)	廃棄物 1,372 千トン 砂利・砂 1,103 千トン その他 38 千トン 合計 2,513 千トン	
中部地区	13 号地 (青海 ふ頭)	-13m×520m(2B) -15m×350m(1B) -15m×700m(2B)	再利用資材 1,625 千トン 衣服、見廻品、履物 1,458 千トン 電気機械 1,323 千トン その他 9,147 千トン 合計 13,332 千トン	外貿コンテナ定期航路 北米航路 3 便/週 欧州航路 1 便/週 ニュージーランド航路 1 便/週 アジア航路 14 便/週 中国航路 15 便/週 韓国航路 1 便/週 内貿コンテナ定期航路 仙台航路 仙台・清水航路
	13 号地 (お台場 ライナー)	-10m×1800m(9B)	金属くず 593 千トン 鋼材 48 千トン 製材 46 千トン その他 105 千トン 合計 792 千トン	
	10 号地	-7.5m×1,500m(11B) -5m×920m(13B)	完成自動車 1,331 千トン 取合せ品 1,179 千トン 紙・パルプ 813 千トン その他 1,794 千トン 合計 5,117 千トン	釧路港路 1 便/週 日南港路 2 便/週 博多港路 6 便/週 那覇航路 6 便/週
東部地区	辰巳 ふ頭	-5m×1,040m(13B)	鋼材 116 千トン セメント 30 千トン 金属くず 30 千トン その他 178 千トン 合計 355 千トン	
	※15 号地 (若洲)	-11m×190m(1B) -12m×720m(3B)	製材 151 千トン 輸送用容器 128 千トン 紙・パルプ 115 千トン その他 654 千トン 合計 1048 千トン	内貿定期航路 苫小牧航路 5 便/週 (コンテナ・R/C)
中央 防波堤 地区	中央 防波堤 内側	-12m×240m(1B)	非金属鉱物 165 千トン 石炭 99 千トン その他 111 千トン 合計 375 千トン	

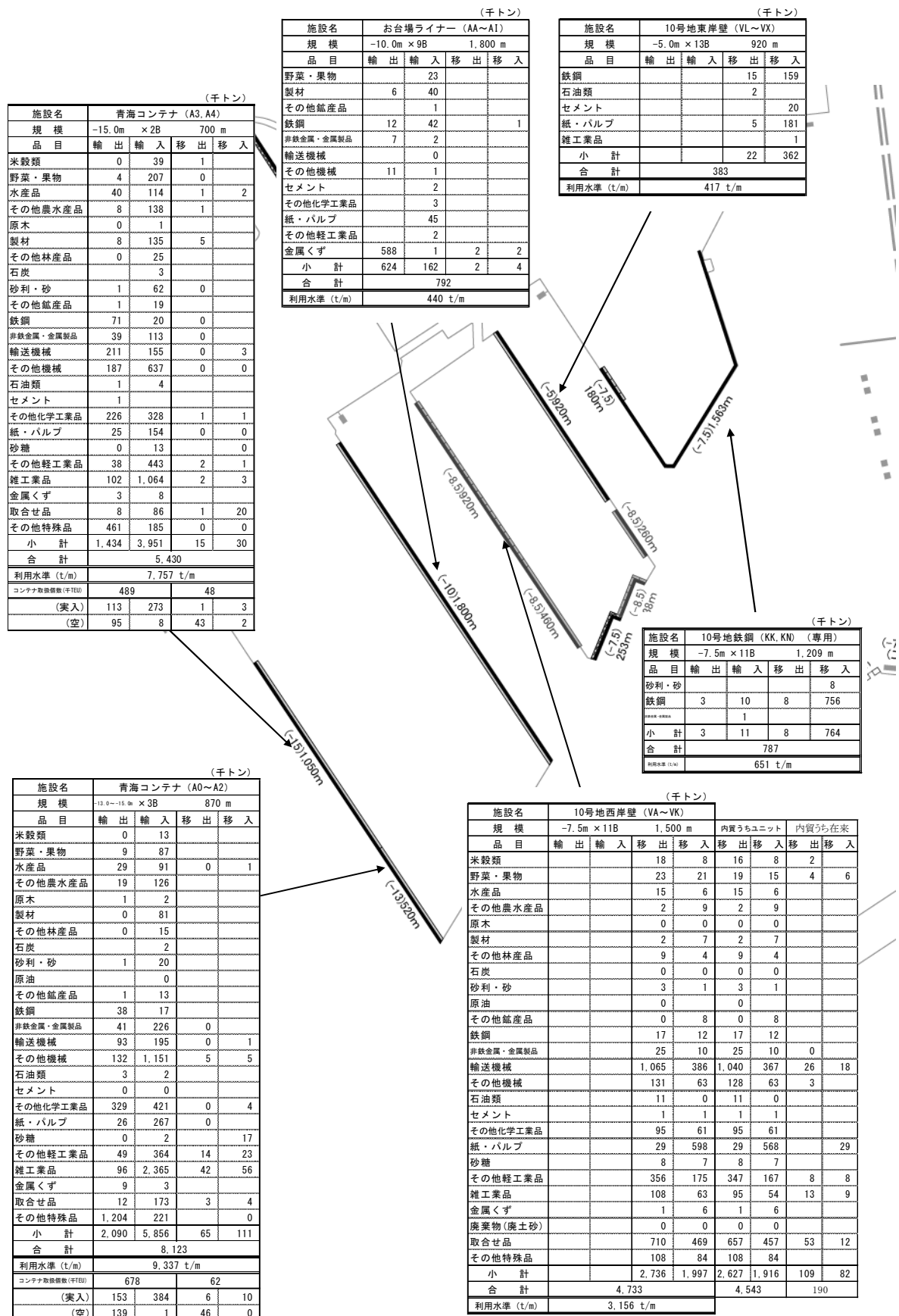
資料：東京港ハンドブック 2011 より作成

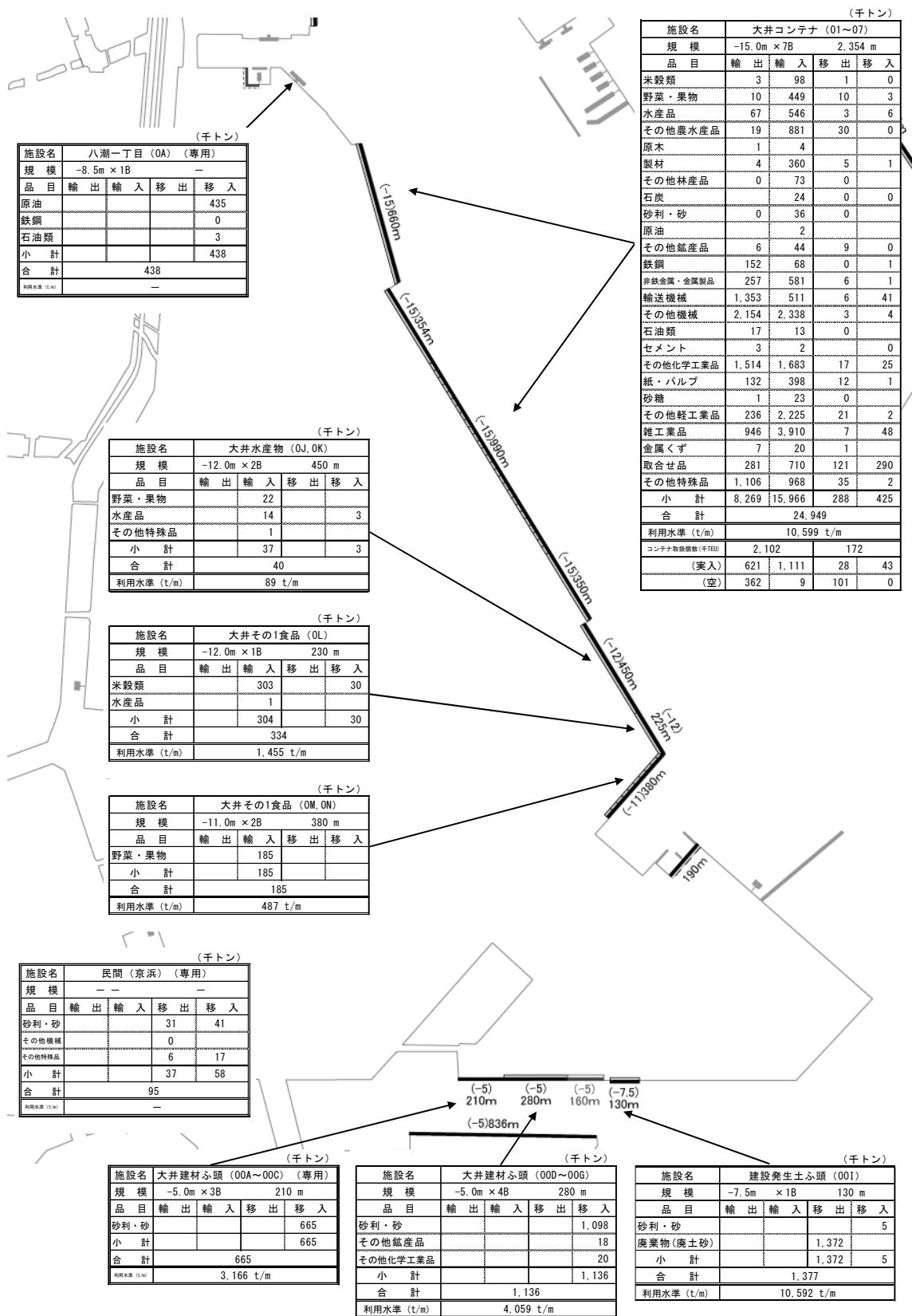


図Ⅲ- 1-1 公共埠頭取扱状況図(内港地区(1):品川ふ頭除く)(平成 22 年)



図Ⅲ-1-2 公共埠頭取扱状況図(内港地区(2):品川ふ頭)(平成22年)





図Ⅲ-1-4 公共埠頭取扱状況図(南部地区)(平成22年)



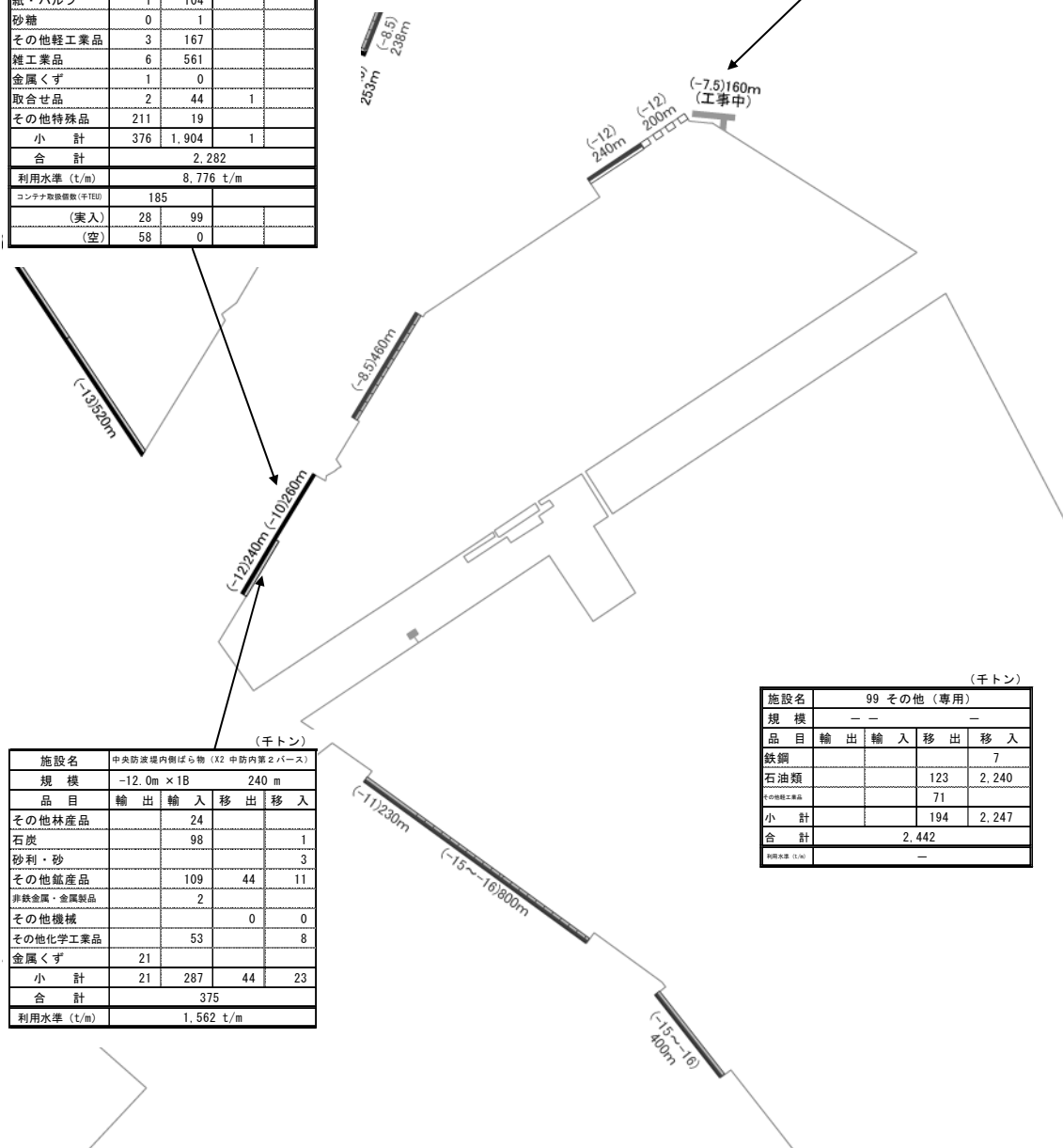
図Ⅲ- 1-5 公共埠頭取扱状況図(東部地区)(平成 22 年)

(千トン)

施設名	中防内側外資雑貨ふ頭 (X3) (専用)			
規 模	-10.0m × 18 260 m			
品 目	輸 出	輸 入	移 出	移 入
野菜・果物	0	525		
水産品	1	58		
その他農水産品	0	12		
原木		1		
製材		14		
その他林産品		4		
石炭		1		
砂利・砂		2		
その他鉱産品		12		
鉄鋼	2	9		
非鉄金属・金属製品	5	36		
輸送機械	46	39		
その他機械	42	220		
石油類	0	0		
その他化学工業品	55	76		
紙・パルプ	1	104		
砂糖	0	1		
その他軽工業品	3	167		
雑工業品	6	561		
金属くず	1	0		
取合せ品	2	44	1	
その他特殊品	211	19		
小 計	376	1,904	1	
合 計	2,282			
利用水準 (t/m)	8,776 t/m			
コンテナ取扱量(千TEU)	185			
(実入)	28	99		
(空)	58	0		

(千トン)

施設名	建設発生土ふ頭 (X8)			
規 模	-7.5m × 18 130 m			
品 目	輸 出	輸 入	移 出	移 入
廃棄物(廃土砂)			282	
小 計			282	
合 計	282			
利用水準 (t/m)	2,166 t/m			



(千トン)

施設名	中央防波堤内側ばら物 (X2 中防内第2バース)			
規 模	-12.0m × 18 240 m			
品 目	輸 出	輸 入	移 出	移 入
その他林産品		24		
石炭		98		1
砂利・砂				3
その他鉱産品		109	44	11
非鉄金属・金属製品		2		
その他機械			0	0
その他化学工業品		53		8
金属くず	21			
小 計	21	287	44	23
合 計	375			
利用水準 (t/m)	1,562 t/m			

(千トン)

施設名	99 その他 (専用)			
規 模	— — —			
品 目	輸 出	輸 入	移 出	移 入
鉄鋼				7
石油類			123	2,240
その他軽工業品			71	
小 計			194	2,247
合 計	2,442			
利用水準 (t/m)	—			

図Ⅲ- 1-6 公共埠頭取扱状況図(中央防波堤地区)(平成 22 年)

(2) 水深別公共埠頭の現況

水深別の公共埠頭の現況はそれぞれ次のとおりである。

表Ⅲ- 1-2 水深別の公共埠頭の現況（平成 25 年）

水深	既設		工事中	
	ハース数	延長	ハース数	延長
15m～	10	3,404	1	400
13m～	2	520		
12m～	7	1,640		
11m～	3	570	1	230
10m～	13	2,655		
7.5m～	23	3,053	6	1,420
5m～	37	2,800		
5m 未満				
合計	95	14,642	8	2,050

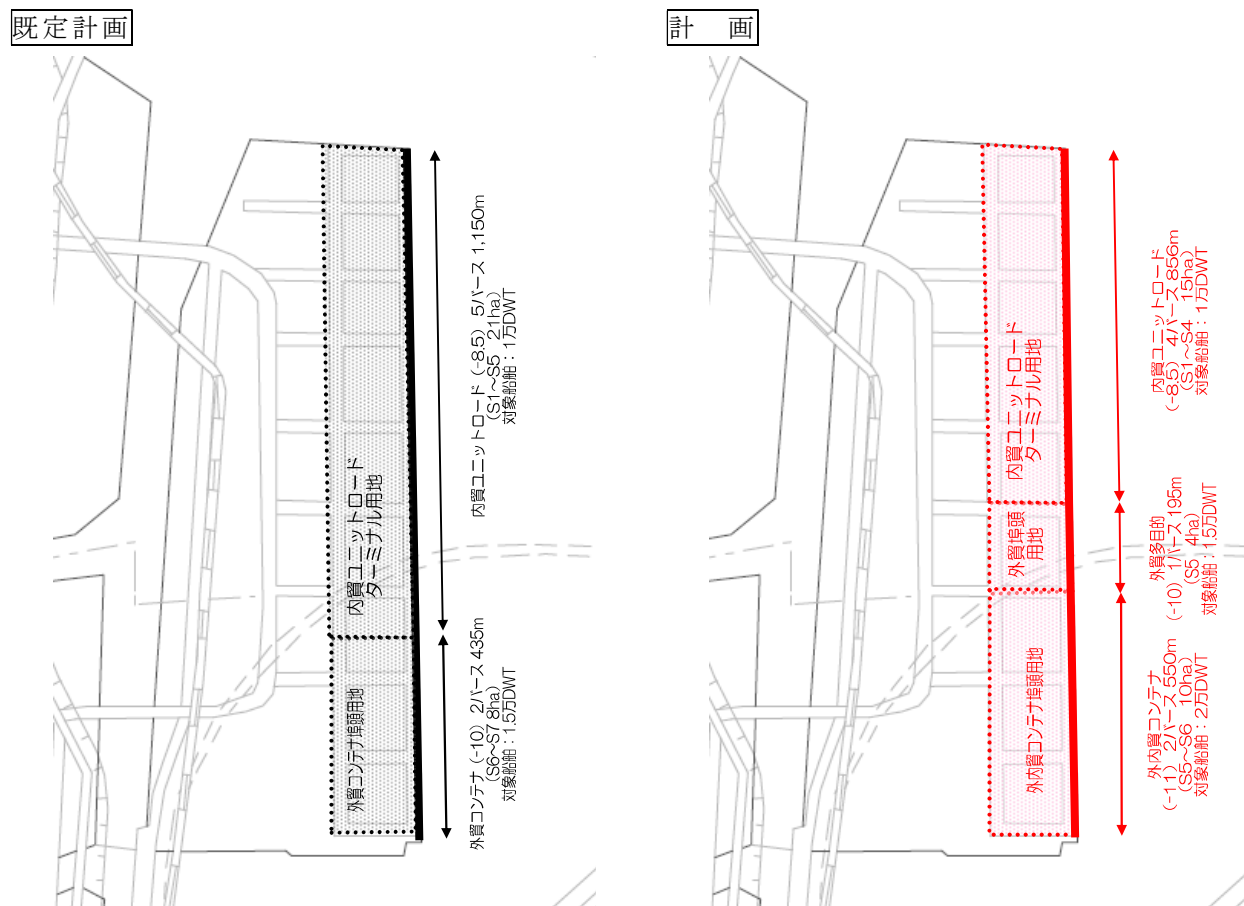
1-1-2 公共埠頭計画の必要性

＜東京港の状況・施設計画（改訂）の視点＞

- ① 施設能力を超える貨物への対応（外部不経済の解消）
- ② 船舶大型化への対応
- ③ 施設老朽化への対応
- ④ 利用低下施設、水域等の利活用
- ⑤ 埠頭用地、港湾関連用地の確保

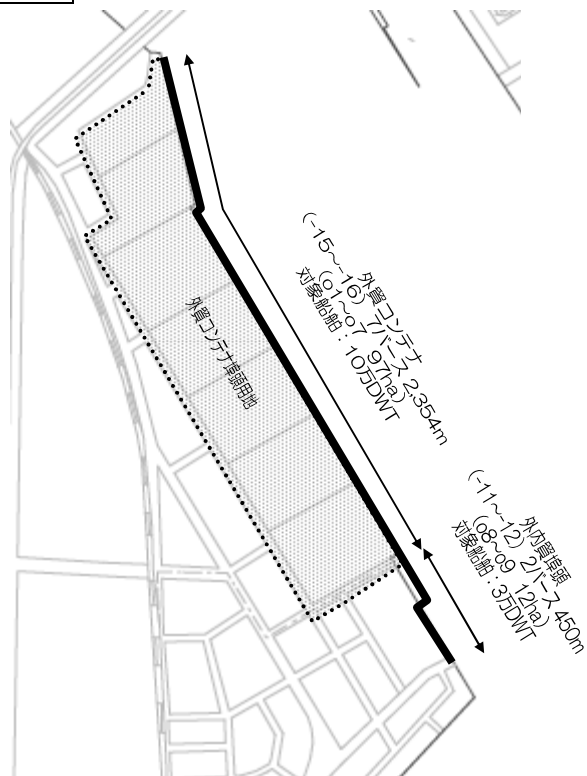
1-1-3 今回計画する公共埠頭の規模及び配置

今回計画する公共埠頭の規模及び配置は、次のとおりである。

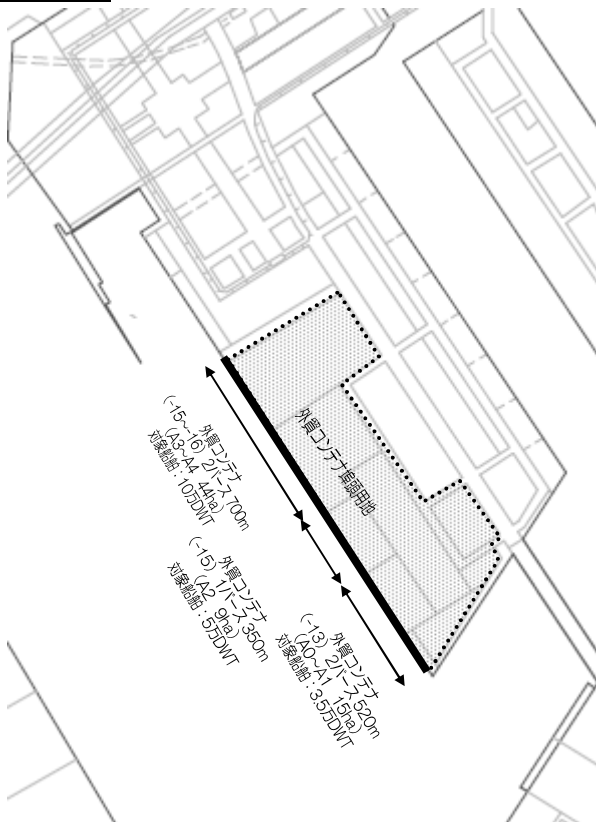


図Ⅲ- 1-7 品川ふ頭新旧対照図

既定計画



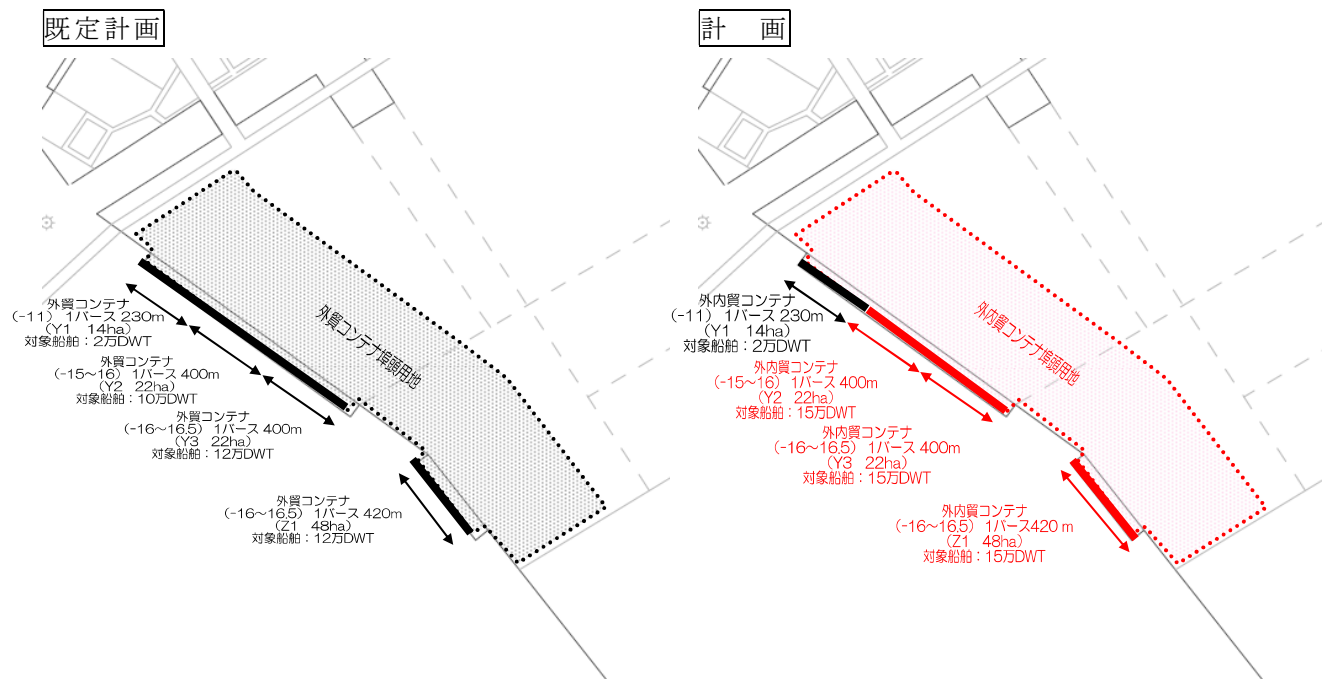
既定計画



計画

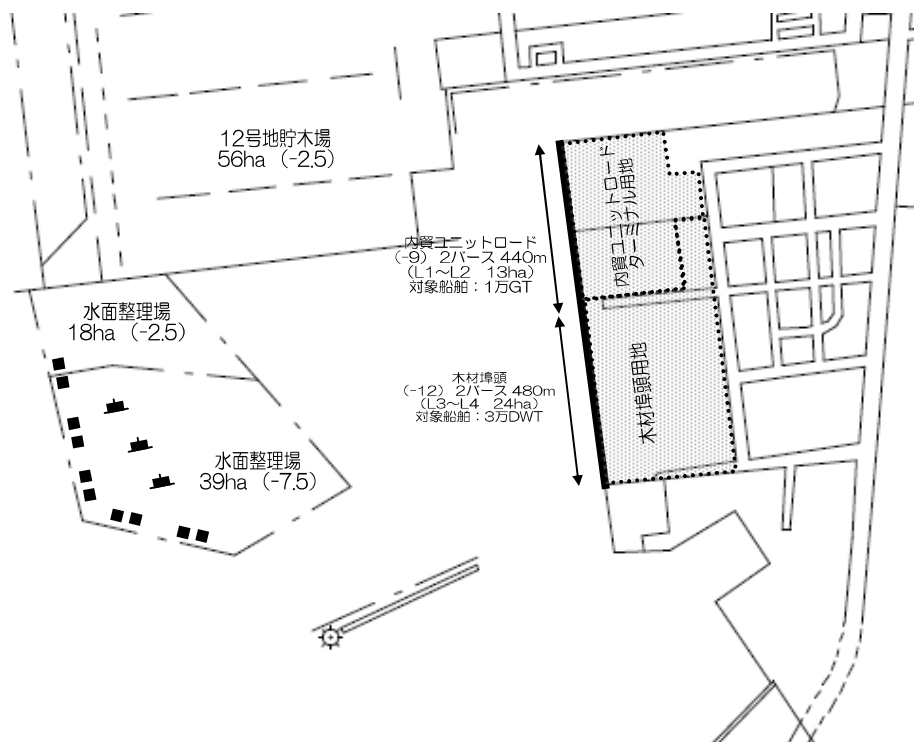


図Ⅲ- 1-9 青海ふ頭新旧対照図

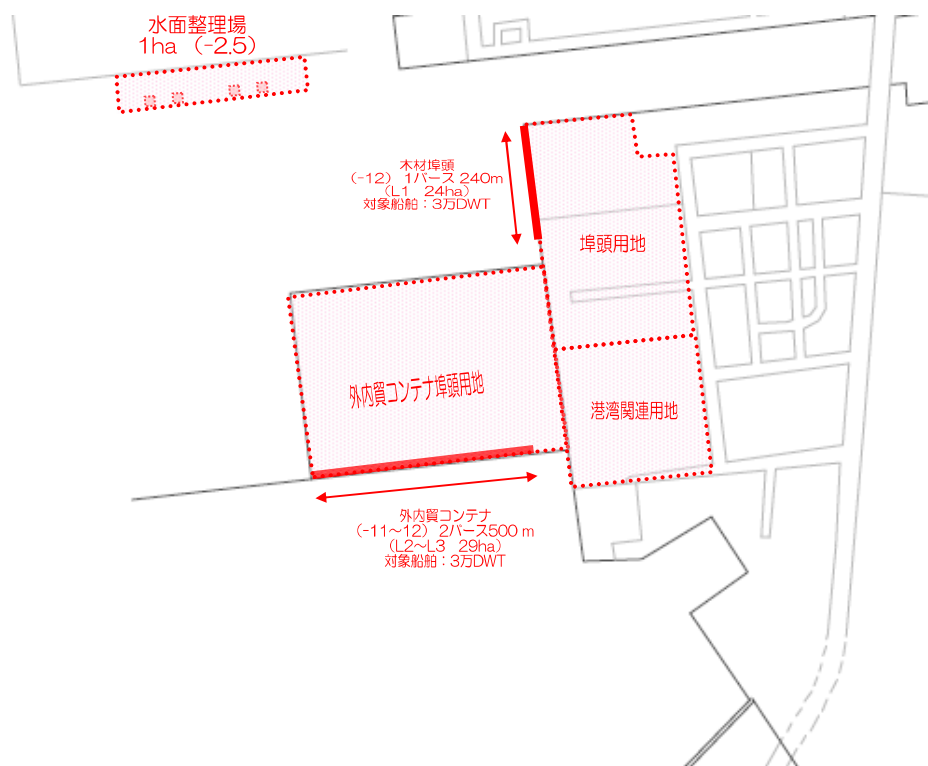


図Ⅲ- 1-10 中央防波堤外側ふ頭新旧対照図

既定計画



計画



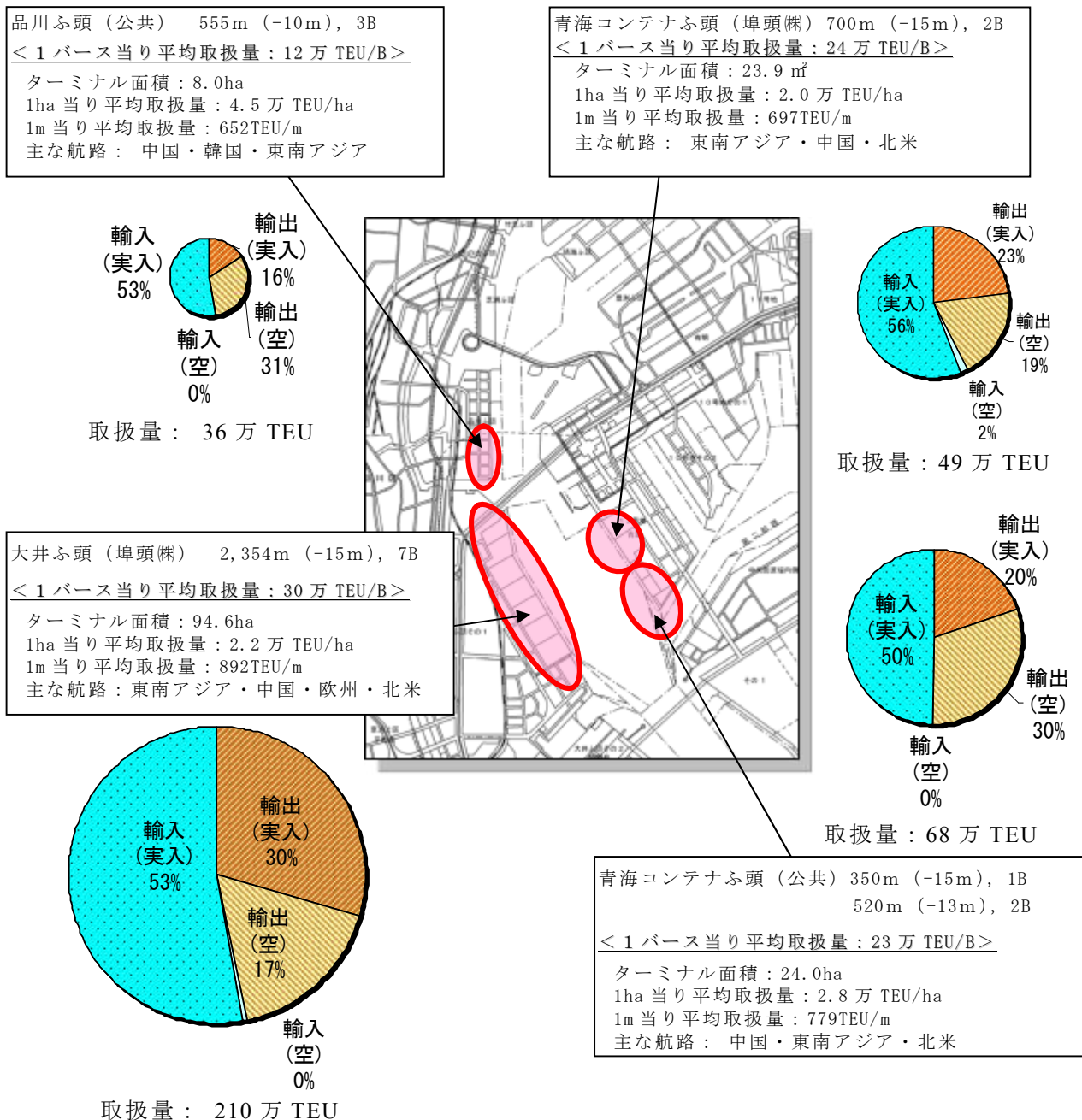
図Ⅲ- 1-11 15号地ふ頭新旧対照図

1-2 外内貿コンテナ埠頭計画

1-2-1 外内貿コンテナ埠頭の現況

(1) 外内貿コンテナ埠頭の利用状況

外内貿コンテナ埠頭の取扱貨物等の利用状況は、次のとおりである。



※7次改訂計画（H17.12）では、品川コンテナふ頭は延長435m、水深10mの規模縮小を計画していた。しかし、現状では今後増大が予想されるアジア貨物対応の外貿ふ頭（延長555m、3バース）として、供用しているため、現状の利用状況を整理した。

図Ⅲ-1-12 外内貿コンテナ埠頭別取扱状況（平成22年）

(2) 水深別外内貿コンテナ埠頭延長の現況

水深別の外内貿コンテナ埠頭延長の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ- 1-3 水深別外内貿コンテナ埠頭延長の現況（平成 25 年）

水深	既設		工事中	
	バース数	延長	バース数	延長
15m～	10	3,404	1	400
13m～	2	520		
12m～				
11m～			1	230
10m～	3	555		
7.5m～				
5m～				
5m 未満				
合計	15	4,479	2	630

1-2-2 外内貿コンテナ埠頭計画の必要性

< 課題 >

① コンテナターミナル施設能力を超える貨物の集中

- ・コンテナ貨物搬出入のピーク時（季節、曜日、時間帯等）には、一部ターミナル周辺で交通混雑が発生。周辺地域の社会生活環境の悪化や交通安全性の低下など、外部不経済を招いている。
- ・現在、車両待機場やバン・シャーシプール等の整備、ゲートオープン時間の柔軟化などに取り組んでいるが、将来を見通した抜本的な対策が求められている。
- ・特に、今後は、欧米との基幹航路の維持拡大はもとより、輸出入の太宗を占めるアジア地域との航路の拡充を図る必要があるため、既存埠頭の機能強化と新規埠頭の整備による対応が必要。

② コンテナ船の大型化

- ・欧米航路（基幹航路）では10万 DWT 級超のコンテナ船が標準化しつつあり、それ以上の大型船の配船（15万 DWT 級）も予定されている。また、アジア航路においても船舶の大型化が進展している。
- ・船社（アライアンス）による大型船等の配船計画は、需要動向に応じた素早い対応を図るため、港湾施設への対応が必要となる場合などは、船社ニーズに対応困難な場合がある。
- ・一方で、大型船は必ずしも満載喫水で入出港している状況ではないため、柔軟な対応ができる施設計画（整備）やその運用が求められている。

2014 年 2 月 24 日

東京都港湾局長
多羅尾 光睦 殿

株式会社商船三井
定航部長 日野岳 稔



バースにおける泊地及び岸壁の機能向上に関するお願い

背景 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は弊社業務について御理解及び御協力いただき深謝申し上げます。

さて、今後拡大が見込まれる輸送需要に対応すると共に、コスト競争力の強化を図るため、ここ数年船体の大型化の流れが加速しており、現在中国－欧州航路に就航している 14,000TEU 超級の船舶(船長:約 370m、幅:約 50m、載貨重量:約 15 万トン)が、近い将来、東京港に寄港している航路にも投入される可能性があります。

就きましては、かかる大型船寄港に対応すべく、バースにおける泊地及び岸壁の機能向上をお願い申し上げます。

敬具

図 III- 1-13 大型船対応の要望書

< 対応 >

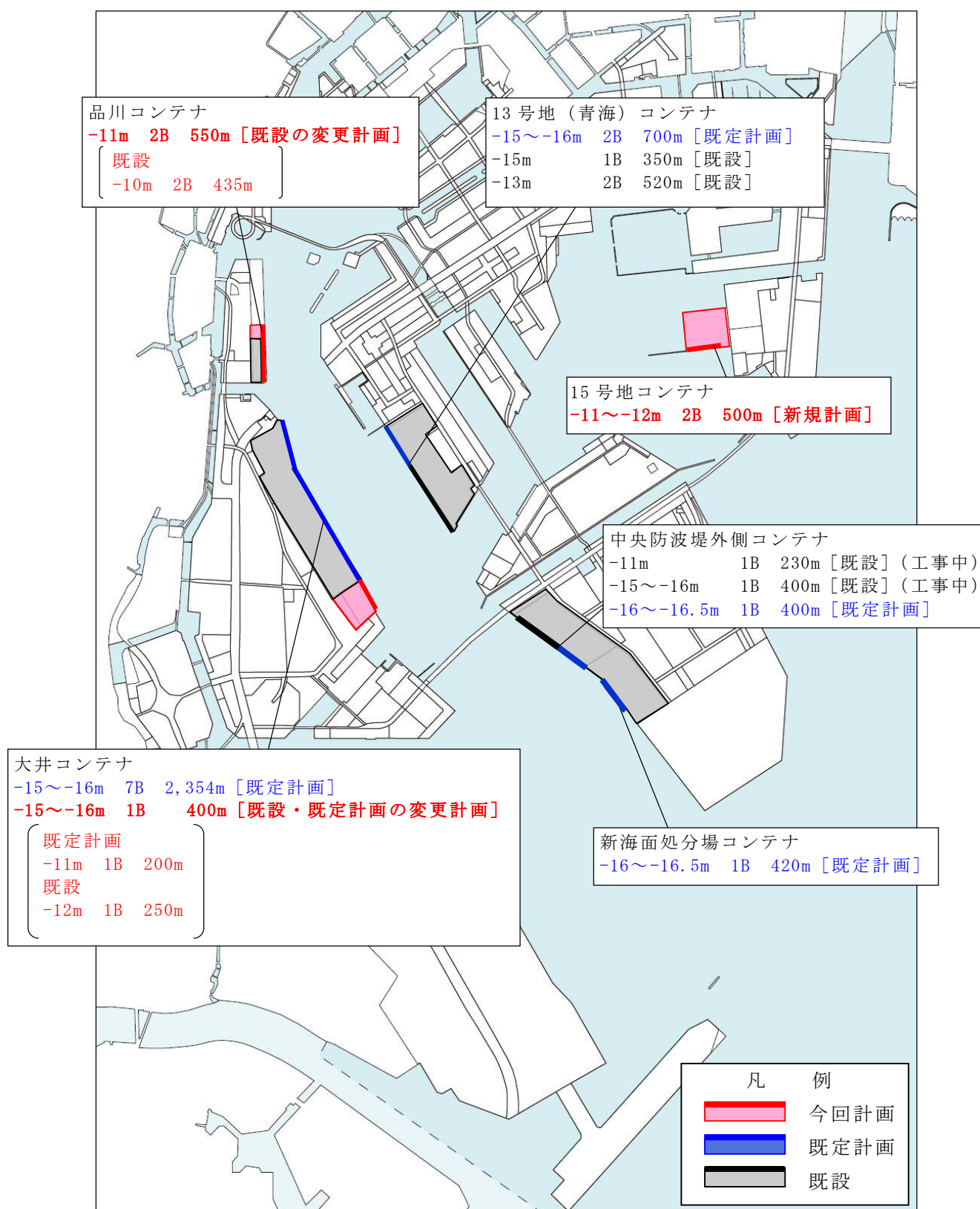
- ① コンテナ貨物量に対応した適切な施設取扱量(能力)及び施設配置とするため、既定計画の施設整備を早期に行い、それを種地として既存埠頭の再編・高度化を図る。また、さらに増大が予想されるコンテナ貨物に対応するため、新規埠頭を計画する(※15号地コンテナふ頭:詳細については後述する)。
- ② 船社ニーズに柔軟かつ速やかに対応可能となるよう、東京港の特徴である連続直線バースを活かした施設配置とし、欧米の基幹航路及びアジア航路に対応した施設を計画する。
- ③ あわせて、不足する埠頭用地や港湾関連用地などを確保しロジスティクス機能の強化を図るとともに、交通ネットワークの確保を図り、総合的な物流の効率化を進める。

1-2-3 外内貿コンテナ埠頭の規模及び配置

外内貿コンテナ埠頭の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ- 1-4 外内貿コンテナ埠頭計画

地区名	埠頭名	種別	今回計画				既定計画			
			水深 (m)	バース数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)	水深 (m)	バース数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)
内港地区	品川	既設の変更計画	11	2	550	20,000	10	2	435	15,000
南部地区	大井	既定計画 ※対象船舶を大型化	15～16	7	2,354	150,000	15～16	7	2,354	100,000
		既設・既定計画の変更計画	15～16	1	400	150,000	-	-	-	-
中部地区	青海	既定計画 ※対象船舶を大型化	15～16	2	700	150,000	15～16	2	700	100,000
		既設 ※対象船舶を大型化	15	1	350	100,000	15	1	350	50,000
		既設	13	2	520	40,000	13	2	520	40,000
東部地区	15号地	新規計画	11～12	2	500	30,000	-	-	-	-
中央防波堤地区	中央防波堤外側	既設(工事中)	11	1	230	20,000	11	1	230	20,000
		既設(工事中) ※対象船舶を大型化	15～16	1	400	150,000	15～16	1	400	100,000
		既定計画 ※対象船舶を大型化	16～16.5	1	400	150,000	16～16.5	1	400	120,000
	新海面処分場	既定計画 ※対象船舶を大型化	16～16.5	1	420	150,000	16～16.5	1	420	120,000



図Ⅲ- 1-14 外内貿コンテナ埠頭計画

< 施設配置・計画の考え方 >

●品川コンテナふ頭

品川コンテナふ頭は、都心部に最も近いコンテナ埠頭として、主に中国・韓国等のアジア航路の船舶に利用され活況を呈している。そのため、今後、増大が予想されるアジア貨物対応の埠頭として、現況の外貿埠頭（延長：コンテナ 555m＋雑貨 190m＝745m）を改修しながら、引き続き、同規模で供用していく。

① 埠頭機能の強化

- ・耐震化対策（幹線貨物）を行うとともに、船舶の大型化対策として増深（水深 10m→11m）を図る。
- ・なお、船舶の大型化に伴う船舶の航行に関する安全性の検証は船舶航行安全対策検討委員会で行い、安全性を確認している。

② 外貿雑貨埠頭（延長：190m、水深 10m）の活用

- ・隣接する外貿雑貨埠頭（延長：190m、水深 10m）は、老朽化対策及びコンテナ埠頭の整備時の代替バースとするため、コンテナクレーンを配置して、連続直線バースとなるよう対応する。
- ・なお、本埠頭は「外貿多目的埠頭」とし、コンテナ船以外の多様なアジア航路の船舶（例：在来船や RORO 船等）にも対応可能なようにしていく。

※ 7 次改訂計画（H17.12）では、品川コンテナふ頭は延長 435m、水深 10m の規模縮小を計画していた。しかし、現状では今後増大が予想されるアジア貨物対応の外貿ふ頭（延長 555m、3 バース）として、供用していた。

●大井コンテナふ頭

① 対象船舶の大型化（10 万 DWT ⇒ 15 万 DWT）

欧米航路（基幹航路）では 10 万 DWT 級超のコンテナ船が標準化しつつあり、今後さらに大型化は進展する方向にある。船社（アライアンス）の大型船等の配船計画は、需要動向に応じた素早い対応を図るため、港の受入体制（ハード施設や航行安全対策等など）が不十分になり船社ニーズに対応困難な場合がある。また一方で、大型船は必ずしも、満載喫水で入出港している状況ではないため、柔軟な対応が可能となるような施設やその運用を計画していく。

- ・ 今後の船舶大型船化への対応及び利用船社からの要望を踏まえ、15 万 DWT 級（L=約 370m、幅=約 50m、喫水=約 15.5m）の大型船が利用可能となるように計画する。
- ・ 大井ふ頭、青海ふ頭間の航路泊地は操船水域が輻輳すること、品川ふ頭など港奥に向かう船舶の航行水域であることから、水域（面積）や岸壁等の性能（本体構造、係船柱、防舷材等）を確認するとともに、従来行われている水域利用調整等の必要な措置を講じる。
- ・ 岸壁水深等は、既定計画において臨海トンネル（海底トンネル）への影響を考慮し、16m に設定しているため、利用船舶は喫水の 10 % の余裕水深（UKC）を確保するなど、喫水調整することを前提とする。
- ・ 15 万 DWT 級船舶の対象範囲は、大型船と大型船の間にフィーダー船やバージ船に係船可能にするなど、柔軟かつ効果的な対応が可能となるよう、水深 16m 級の大型船バース全てを対象とし、連続直線バースの特徴を最大限に活用する。（大井コンテナ：O1～O7 及び O8、青海コンテナ：A3・A4、中防外：Y2・Y3、新海面：Z1）
- ・ 15 万 DWT 級船舶の長さ（L368m）と 1 バース当たりの延長（約 350m）との差異対応は、既に大井、青海ふ頭ではバース延長を超える船舶の係留調整が行われていることから、このような利用者の取り組みを活用していく。
- ・ なお、船舶の大型化に伴う船舶の航行に関する安全性の検証は船舶航行安全対策検討委員会で行い、安全性を確認している。

② 大井水産物ふ頭（現況 L450m、水深 12m）の利用転換

船舶の係船利用が低迷している大井水産物ふ頭（現況 L450m、水深 12m）の利用転換を図り、大井コンテナふ頭の連続直線バースに組み入れられるよう基幹航路に対応可能なコンテナ埠頭（延長 400m、水深 15～16m、対象船舶 15 万 DWT）として計画する。

- ・水産物埠頭背後の水産冷蔵上屋や冷蔵倉庫等の移転調整等が進展し、全面的に移転する方針となったことから、コンテナ埠頭（延長 400m、水深 15～16m、対象船舶 15 万 DWT）として計画する。（喫水調整あり、バースの係留調整あり）
- ・当該埠頭の位置は、羽田空港 C 滑走路の延長線上にあり、従来より上空制限によりコンテナクレーン等の高さ制限がある場所である。上空制限はバース最南端で約 AP+59m と概ね中防外コンテナふ頭（Y2、Y3：約 AP+56m）と同等のため、シャトルブーム式のクレーンを予定する。

●青海コンテナふ頭 A3～4（対象船舶の大型化，10 万 DWT→15 万 DWT）

大井コンテナふ頭と同じ理由により省略する。

なお、船舶の大型化に伴う船舶の航行に関する安全性の検証は船舶航行安全対策検討委員会で行い、安全性を確認している。

●青海コンテナふ頭 A2（対象船舶の大型化，5 万 DWT→10 万 DWT）

青海コンテナ（A2、水深 15m、5 万 DWT）は、公共コンテナふ頭の唯一の大型船バースであることから、今後の船舶大型化への対応として、10 万 DWT 級の対象船舶を設定する。（喫水調整あり）

なお、船舶の大型化に伴う船舶の航行に関する安全性の検証は船舶航行安全対策検討委員会で行い、安全性を確認している。

●中防外・新海面コンテナふ頭（対象船舶の大型化、連続直線バース化）

船舶の大型化に対応し、かつ、係船利用に関し柔軟かつ効果的な対応が可能となるよう、水深 16m 級の大型船バース全てを対象船舶 15 万 DWT とする。

① 対象船舶の大型化（10 万 DWT、12 万 DWT ⇒ 15 万 DWT）

- ・中防外コンテナ（Y2、Y3）及び新海面コンテナ（Z1）の対象船舶 15 万 DWT に設定する。（喫水調整あり）

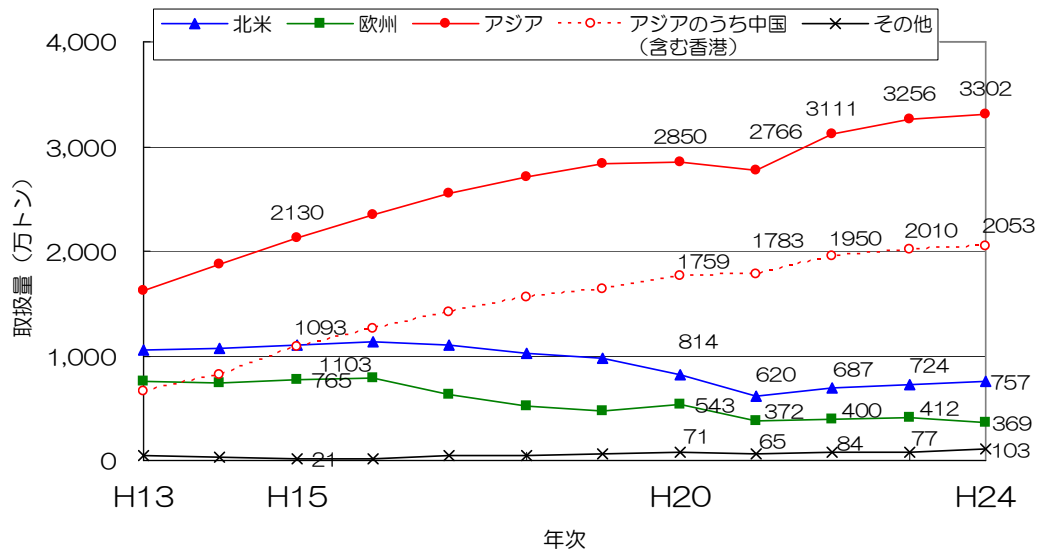
② 連続直線バース化

- ・新海面コンテナふ頭は、廃棄物処分場（G ブロック）の跡地利用のため埋立地の形状から屈曲部があり、また、前面水域が船舶の操船水域であることから、水際部の延長は約 980m もあるものの設定している岸壁延長は 420m（既定計画 Z1）となっており、奥行き約 500m、埠頭用地約 450ha を有する高規格コンテナ埠頭の性能が十分に活かされていない状況にある。
- ・中防外・新海面コンテナふ頭は、将来の東京港コンテナを担っていく最新鋭・最先端の埠頭であることから、連続バースとして設定し外内貿コンテナ埠頭としての能力を最大限に引き出すことが必要である。
- ・そのため、当該埠頭の課題である大型船係留時における前面水域（航路泊地＝操船水域）の確保とそれに伴う航行安全対策の検討を行い、連続直線バースと操船水域の運用が可能となるよう、利用者等の理解と協力のもと、大井コンテナふ頭を事例に水域の利用調整や入出港の運用基準等を策定していく。

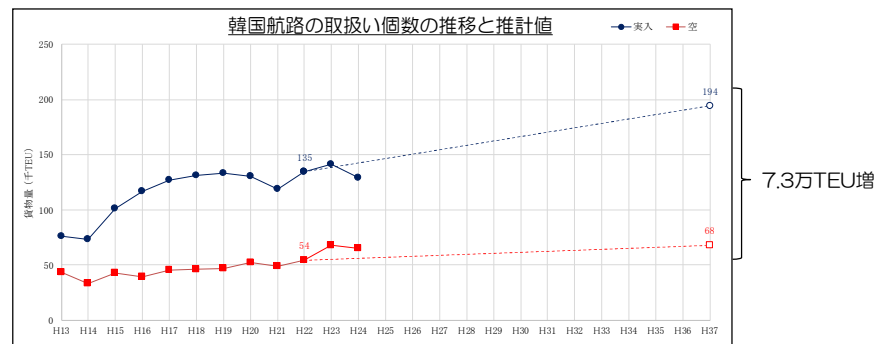
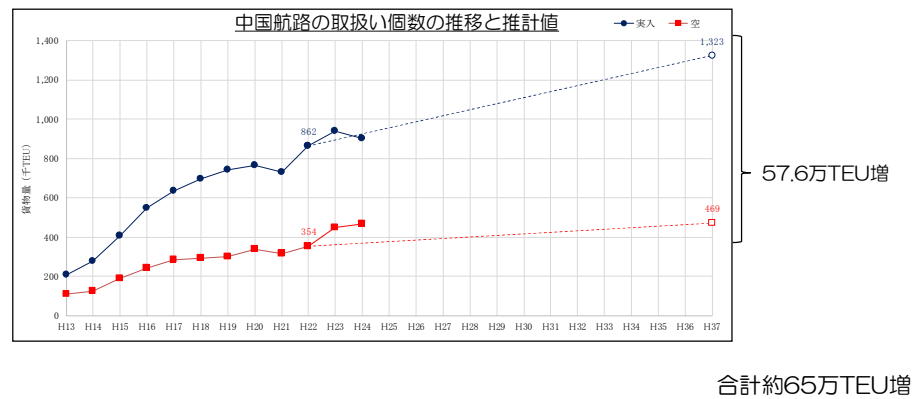
●15号地コンテナふ頭（新規：埋立28.8ha，岸壁長500m，水深11～12m）

① 近海航路コンテナ貨物の現状と課題

- ・ 東京港の外貿貨物量は、地域別にみると、中国をはじめとするアジア貨物が堅調に増大している。特に、中国等の近海航路のコンテナ貨物量は平成30年代後半までに、約65万TEU増大すると推計される。



図Ⅲ- 1-15 航路別コンテナ取扱量の推移



図Ⅲ- 1-16 中国航路、韓国航路のコンテナ取扱個数の推移と推計値

- ・ 現在、近海航路貨物を取扱う埠頭は主に、青海コンテナふ頭（公共）（A0～A2）、品川コンテナふ頭（S5～S7）である。また、船型は2万DWT以下のコンテナ船が中心となっている。

表Ⅲ- 1-5 中国航路運航社、船舶等一覧（平成25年）

運航社	船名	TEU	DWT	利用ターミナル
OCL	FRIESEDJUK	887	12,306	青海公共
	DELIA	889	12,253	
OCL	OCL NINGBO	698	8,157	青海公共
	RBD ESPERANZA	698	8,210	
COSCO T.S.Lines	CAI YUN HE	1,432	23,845	青海 A4
	MI YUN HE	1,432	24,259	
COSCO	HU TUO HE	764	12,687	中防内側外貨雑貨
COSCO	TAKEKO	564	9,513	中防内側外貨雑貨
	UMEKO	564	9,515	
COSCO	YONG DING HE	764	12,668	中防内側外貨雑貨
COSCO	COSCO SAKURA	542	9,287	中防内側外貨雑貨
COSCO	ZI YA HE	764	12,714	中防内側外貨雑貨
CSCL	CSCL YOKOHAMA	908	12,550	青海公共
	CSCL TOKYO	908	12,550	
	CSCL NAGOYA	908	12,562	
Goto	GLARY OCEAN	1,118	13,702	青海A3
Goto	CONTI ESPERANCE	2,758	34,927	青海 A3
	CONTI BRISBANE	2,758	34,894	
HASCO	GLORY FORTUNE	1,098	13,979	青海公共
JI ZHOU	JI PENG	571	7,835	青海公共
	JIHONG	550	7,485	
JUSCO	JJ SKY	1,080	13,769	青海公共
JUSCO	JJ STAR	1,080	13,793	品川公共
Ningbo Ocean	NEW MINGZHOU	1,100	12,599	大井 o5/6
Shanghai Puhai	CONMAR DELTA	735	7,957	青海公共
Sinotrans	REFLECTION	915	11,229	品川公共
	SINOTRANS NAGOYA	915	11,179	
Sinotrans	NORTHERN VALENCE	2,742	37,921	大井 o5
	CAPE MOLLINI	2,742	37,882	
Sinotrans	SINOTRANS XIAMEN	831	12,550	大井 o5
Sinotrans	YI SHENG	385	6,816	品川公共 大井 o5
	TRADE HOPE	385	6,810	
SITC	JOSCO VIEW	1,049	12,830	大井 o1/2
	SITC SHIMIZU	1,042	11,694	
	JOSCO STAR	1,043	12,820	青海A3
	SITC YANTAI	1,042	12,692	
	SITC BUSAN	1,040	13,009	
SITC	SITC NAGOYA	907	12,601	大井 o1/2
	SITC HONGKONG	831	12,621	
	SITC XIAMEN	831	12,628	
SITC	SITC LIANYUNGANG	1,042	12,716	大井 o1/2
	SITC SHENZHEN	1,042	12,692	
	SITC HOCHIMINH	1,042	12,696	
T.Lines	VEGA TOPAS	834	11,400	青海公共
	CONDOR	887	12,400	
TCLC	TAI CANG HE	357	6,720	青海公共
	OSG ARGOSY	585	8,732	
	GUANG PING	629	7,991	
Winland	ESM SILVANA	787	12,649	青海A3
	LILLY	672	8,238	青海公共

表Ⅲ- 1-6 韓国航路運航社、船舶等一覧（平成25年）

運航社	船名	TEU	DWT	利用ターミナル
CK Line Tai Young	SUZANNE	841	10,747	品川公共
	OSG ADMIRAL	639	9,676	
	HUNZE TRADER	704	8,509	
Dong Young	PEGASUS PACER	708	9,618	品川公共
	PEGASUS PRIME	708	9,618	
Dongjin	O.MAESTRIS	660	8,524	品川公共
Hanjin	MEDAEGEAN	980	11,968	青海A3
Heung-A	DS BLUE WAVE	698	8,166	品川公共
KMTC	STADT RAVENSBURG	698	8,184	品川公共
Nam Sung	VICTORY STAR	706	9,157	品川公共
PanCon	PANCON GLORY	1,060	11,898	品川公共
Sinokor	HAMILTON STRAIT	834	10,974	品川公共
STX Pan Ocean	STX TOKYO	702	10,299	品川公共
	STX YOKOHAMA	702	10,298	

- これらのふ頭では、施設能力を大幅に超えるコンテナ貨物を取扱っているのが現状であり、首都圏の旺盛な消費需要を満たすために、施設能力のさらなる拡充が必要である。

表Ⅲ-1-7 近海航路対応埠頭のコンテナ取扱実績及び施設能力一覧

地区名	施設名	水深 (m) 8次改訂	延長 (m) 8次改訂	平成24年実績 (万TEU)	施設能力 (万TEU) ※国総研モデルによる算定
品川	(S5)	-10	195	43	21
	S6	-11	550		
	S7				
青海	A0	-13	260	80	34
	A1		260		
	A2	-15	350		

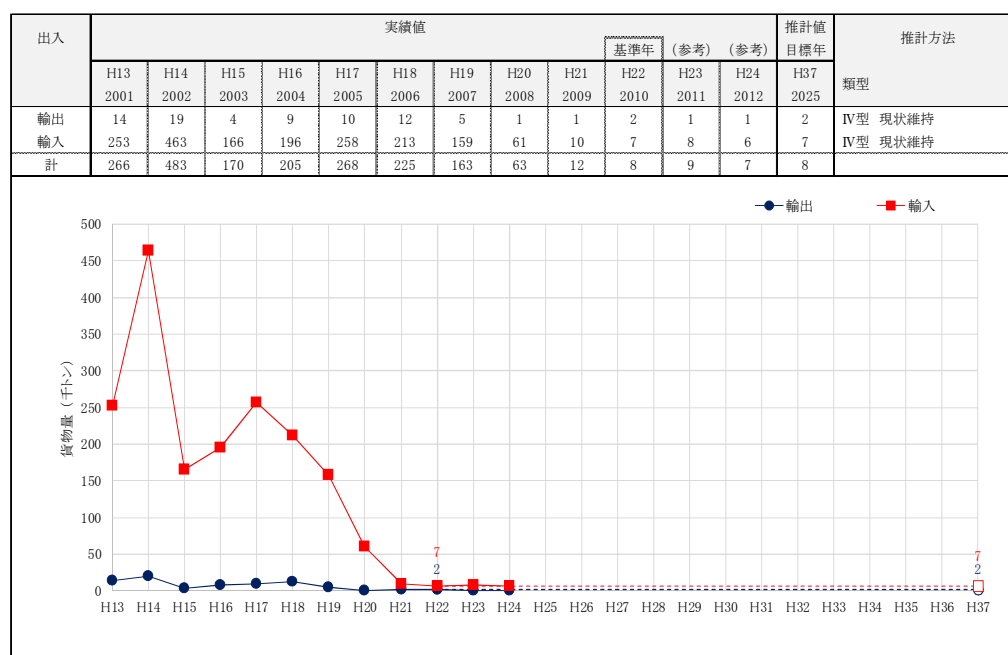
② 課題への対応方針

- 今後増大する見込みである中国等の近海航路コンテナ貨物に対応するため、新規コンテナ埠頭を整備する。
- 新規埠頭は、これまで埠頭背後地の不足等で苦勞してきた経験を踏まえ、十分な敷地面積を確保し、かつ、将来発展性のあるものとする。そのため、新規埋立による埠頭を整備を計画する。
- 東京港の水域は狭隘化してきていることから、整備にあたっては、利用が低下している施設や水域等の利活用を念頭に行う。

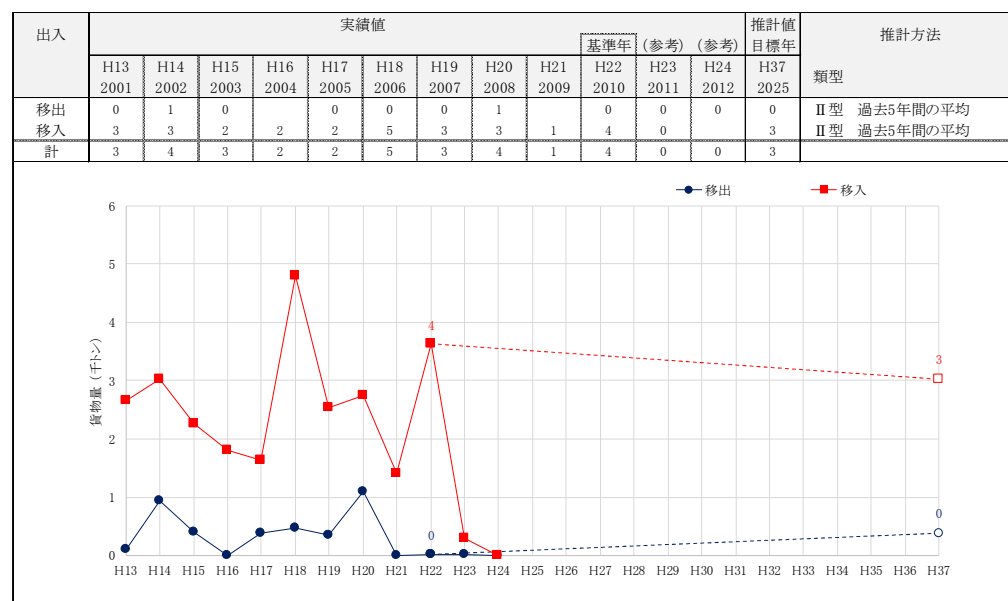
③ 新規埠頭計画

③-1 位置選定

- ・ 東京港においては、貨物需要の変化から東部地区の水面整理場や、15号地木材ふ頭（3B）等の木材関連施設の利用低下が著しく、また、同地区が広大な水域を有していることなどから、この地区の利活用が課題となっていた。
- ・ 計画調査検討委員会での検討や利用者等との調整を踏まえ、東部地区の水面整理場や木材埠頭等の利用転換は可能と判断し、15号地前面の水域を埋立て、新規コンテナ埠頭の整備を計画することにした。



図Ⅲ- 1-17 原木取扱量の推移（外貿）



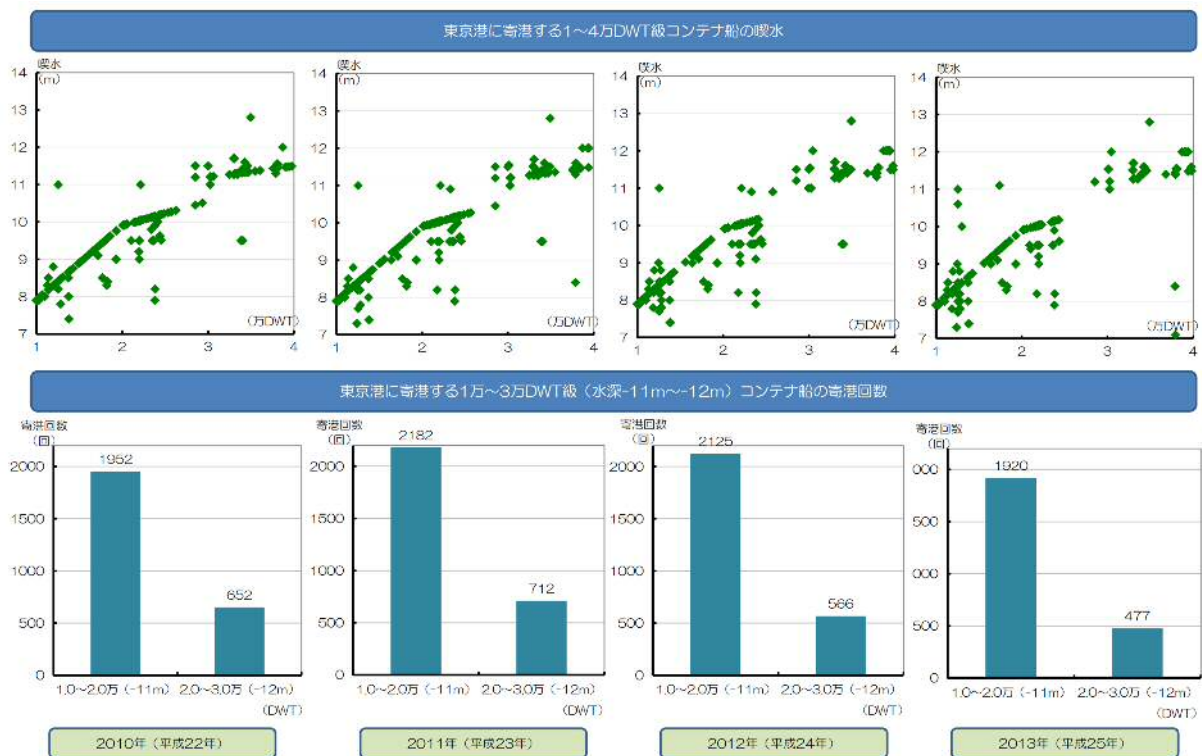
図Ⅲ- 1-18 原木取扱量の推移（内貿）

③-2 施設計画

○対象船舶、必要水深等

対象船舶 : 3万 DWT
 必要水深 : -11~-12m
 バース長 : 250m (1バース当り)

- ・ 中国等の近海航路のコンテナ船を対象とし、現状から2万 DWT 以下のコンテナ船が中心となる（必要水深：-11m（技術上の基準より））。
- ・ ただし、コンテナ船は近年大型化の傾向にあり、近海航路についても、将来の船舶大型化が予想されることから、対象船舶は3万 DWT、必要水深は-11~-12m と幅を持たせて設定し、状況の変化に即応できる柔軟性をもたせた。
- ・ バース長は「港湾の施設の技術上の基準・同解説」（平成19年）p.944より1バース当り250mと設定した。



図Ⅲ- 1-19 1万～3万 DWT 級コンテナ船東京港への寄港回数実績及びその喫水

○施設能力、埋立規模等

取扱貨物量	：	40 万 TEU
施設能力	：	50 万 TEU
奥 行	：	480m
延 長	：	600m (250m×2 バース+車両待機場 100m)

- ・ 近海航路の増加分 65 万 TEU のうち、今後供用する中防外側コンテナふ頭 (Y1) で 25 万 TEU をうけもつため、残り 40 万 TEU を取扱貨物量として設定した。
- ・ 一方で、S5～S7 等は目標年次において、施設能力以上の取扱貨物量を設定する (例えば S5～S7 の場合、目標年次における取扱貨物量 25 万 TEU に対し、施設能力は 21 万 TEU) ことから、15 号地コンテナ埠頭の施設能力は余裕をもたせ 50 万 TEU と設定した。
- ・ 青海公共ふ頭 (A0～A2) では、年間約 80 万 TEU (H24 実績外内貿コンテナ) のコンテナを取扱っている。3B で 80 万 TEU を取扱っていることから、1B 当りの取扱い量を 26 万 TEU と想定した。
- ・ 青海公共ふ頭と同レベルの利用状況を想定すると、15 号地コンテナふ頭で 50 万 TEU の施設能力をもたせるためには、2 バース必要となる。
(50 万 TEU÷26 万 TEU/B=1.92≒2B) よって岸壁延長は 250m×2 バース=500m となる。
また、青海ふ頭において、近海航路である中国航路をメインとしている青海 0・1 バースのバースウィンドウを確認すると、2 バース同時係留していることがわかる。
その事からも、2 バース必要であると考えられる。(Ⅲ-32、33 参考資料参照)
- ・ 施設能力 50 万 TEU、岸壁延長 500m として、国総研モデルを用いてコンテナターミナルエリア幅を計算した結果、
 - エプロンエリア幅 : 約 50m
 - マーシャリングエリア幅 : 約 340m
 - バックヤードエリア幅 : 約 90mとなった。したがって埋立の奥行は 480m と設定した。
- ・ また、渋滞対策として、青海公共ふ頭の車両待機場を参考に、車両待機場スペースを 100m 確保する。よって埋立の延長は 500+100=600m と設定した。

○埋立位置、施設配置等

- ・ 埋立の位置は、将来の発展性があるよう、廃止する木材埠頭（2B、460m）の前面とし、南北を 480m、東西を 600m とし、面積約 28ha のコンテナ埠頭計画とした。
- ・ 15 号地の埋立及びコンテナ埠頭の整備に伴い、木材埠頭は 1B(L=240m)に縮小し、現在の内貿埠頭の位置に移転する。
- ・ 以上の設定を踏まえ、15 号地コンテナふ頭計画図及び施設配置図を作成した。



図Ⅲ- 1-20 15 号地コンテナふ頭計画図

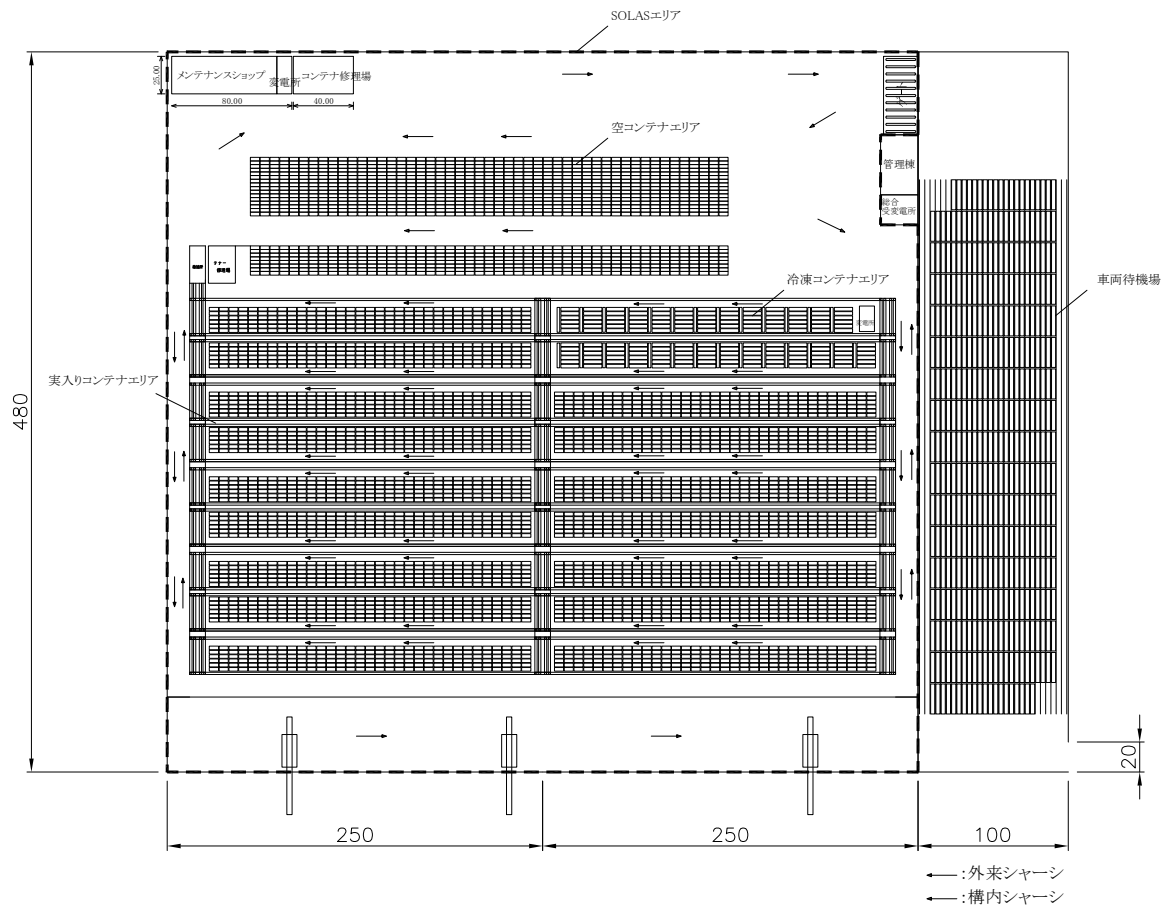
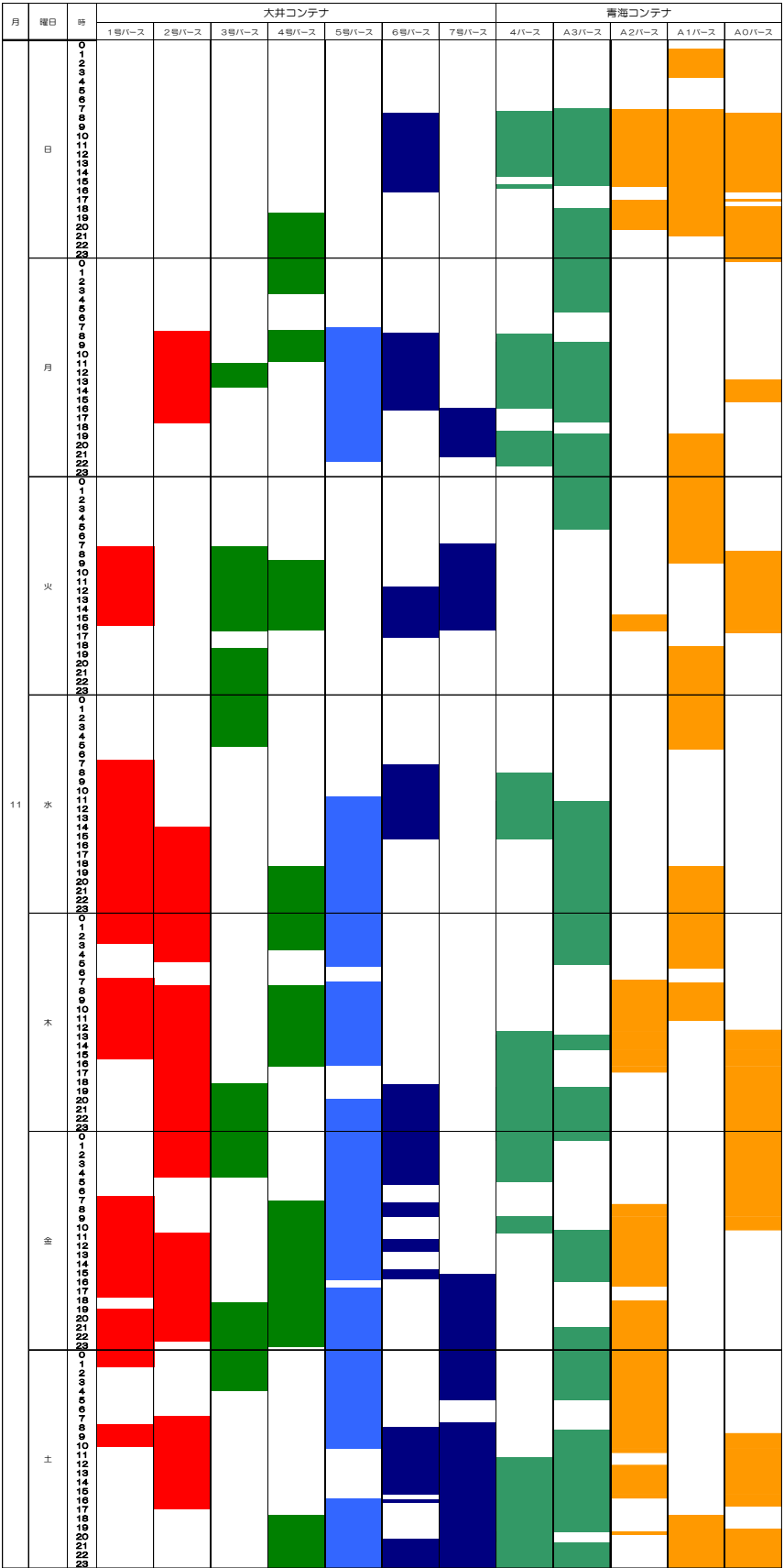


図 III- 1-21 15 号地コンテナふ頭施設配置図

④ 船舶航行安全

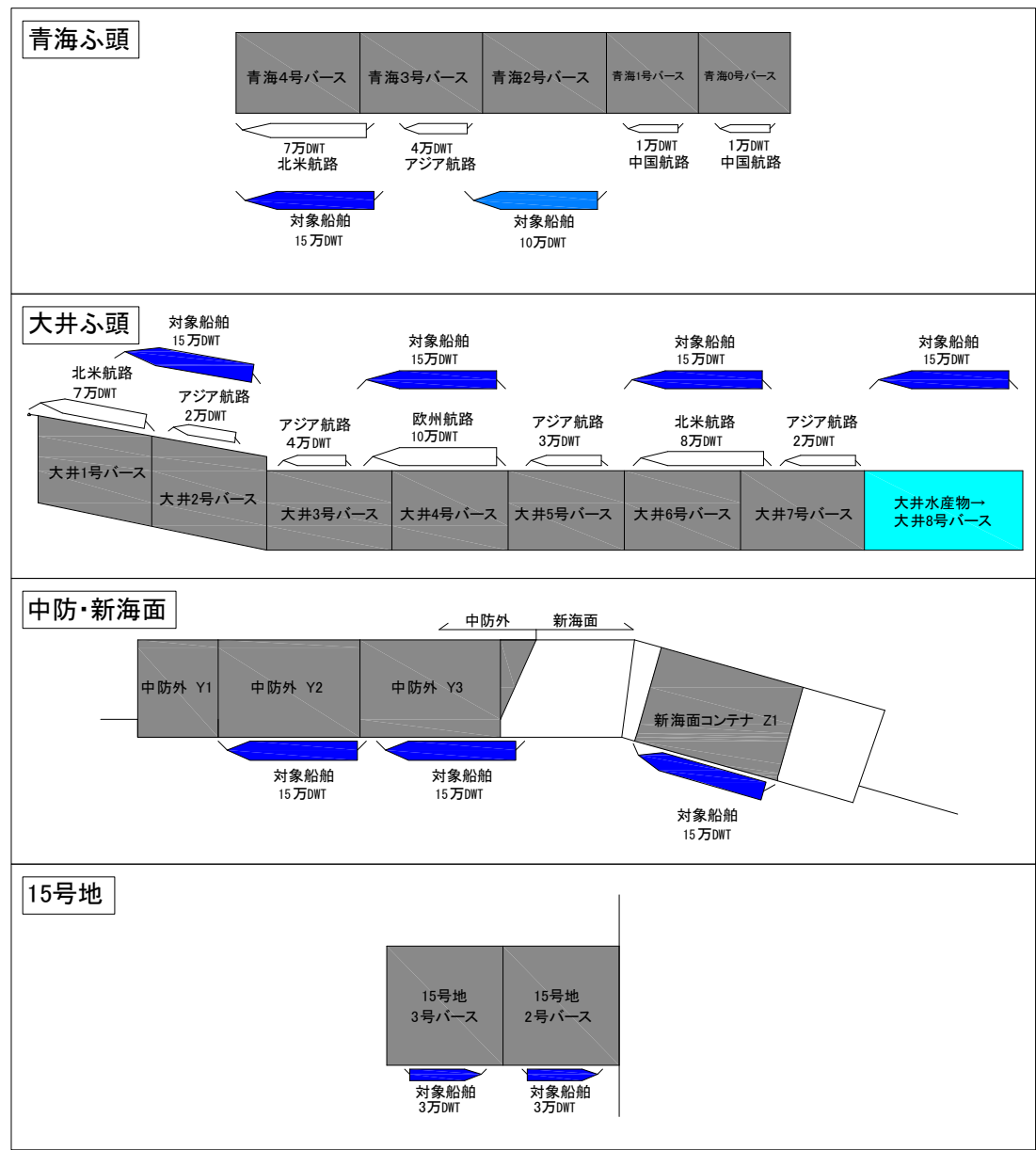
- ・ 船舶の大型化に伴う船舶の航行に関する安全性の検証は船舶航行安全対策検討委員会で行い、安全性を確認している。
- ・ さらに、L2 パースの回頭水域について、保安部及び委員長に問題がないことを再確認した。

(参考) コンテナ埠頭のバースウインドウ



図Ⅲ- 1-22 コンテナ埠頭のバースウインドウ

(参考) コンテナ埠頭の配船例



図Ⅲ- 1-23 コンテナ埠頭の配船例

1-3 内貿ユニットロード埠頭計画

1-3-1 内貿ユニットロード埠頭計画の必要性

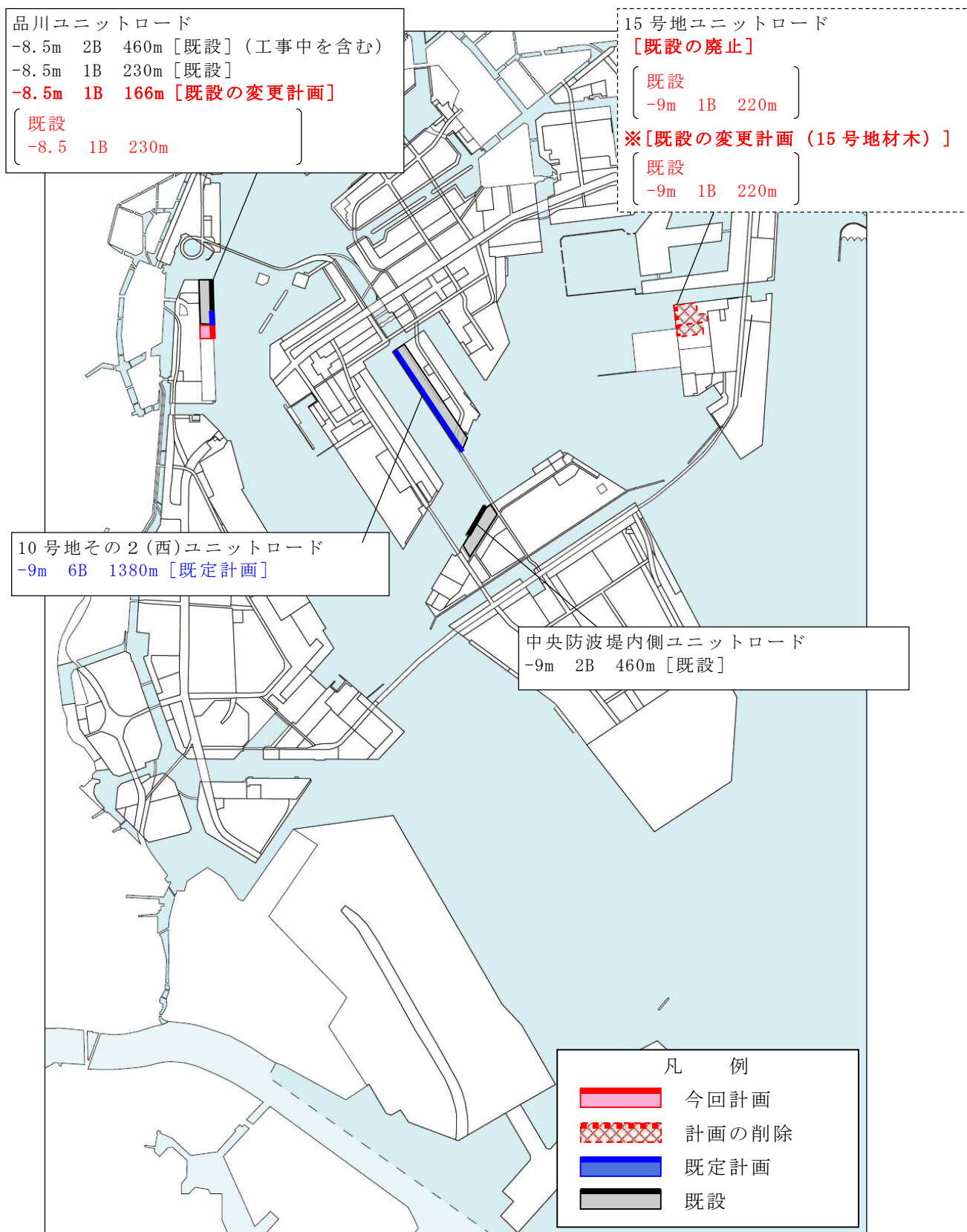
- ・ 現行計画内貿ユニット将来貨物量（平成 20 年代後半）：15,650 千トン
- ・ 新規計画内貿ユニット将来貨物量（平成 30 年代後半）：12,389 千トン
と推計したため、ユニットロード埠頭の規模を縮小する。

1-3-2 内貿ユニットロード埠頭の規模及び配置

内貿ユニットロード埠頭の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ- 1-8 内貿ユニットロード埠頭計画

地区名	埠頭名	種別	今回計画				既定計画			
			水深 (m)	バース 数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)	水深 (m)	バース 数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)
内港 地区	品川	既設(工事中を含む)	8.5	2	460	10,000	8.5	2	460	10,000
		既定計画	8.5	1	230	10,000	8.5	1	230	10,000
		既設の 変更計画	8.5	1	166	10,000	8.5	1	230	10,000
		既設の 変更計画	-	-	-	-	8.5	1	230	10,000
中部 地区	10 号地 その 2 (西)	既定計画	9	6	1,380	12,000(GT)	9	6	1,380	12,000(GT)
東部 地区	15 号地	既設の 変更計画	-	-	-	-	9	1	220	10,000(GT)
		既設の 廃止	-	-	-	-	9	1	220	10,000(GT)
中央 防波堤 地区	中央 防波堤 内側	既設	9	2	460	12,000(GT)	9	2	460	12,000(GT)



図Ⅲ- 1-24 内貿ユニットロード埠頭計画

<施設配置・計画の考え方>

●品川ユニットロードふ頭（延長 1,150m ⇒ 延長 856m）

品川コンテナふ頭計画（外貿多目的含む）の変更、及び、内貿ユニット貨物の推計を近年の動向を踏まえ見直したことに伴い、RORO 船用のふ頭（S4）の規模を縮小する。

[参考]内貿ユニット貨物の将来貨物量

7 次改訂一部変更 → H20 年代後半：貨物量 15,651 千トン

8 次改訂 → H30 年代後半：貨物量 12,389 千トン

●15 号地ユニットロードふ頭

（既設：-9m, 2B, 440m ⇒ 1B：既設の廃止、1B：既設の変更計画）

東部地区の木材関連施設の再編計画に伴い、15 号地 RORO ふ頭計画を削除する。なお、既設 RORO 船ふ頭の利用者は、中防内側 RORO ふ頭の新規供用に合わせ、移転する予定である。

1-4 外貨埠頭計画

1-4-1 外貨埠頭計画の必要性

外貨コンテナ船、外貨ＲＯＲＯ船等、多目的な利用に対応する多目的埠頭を計画する。

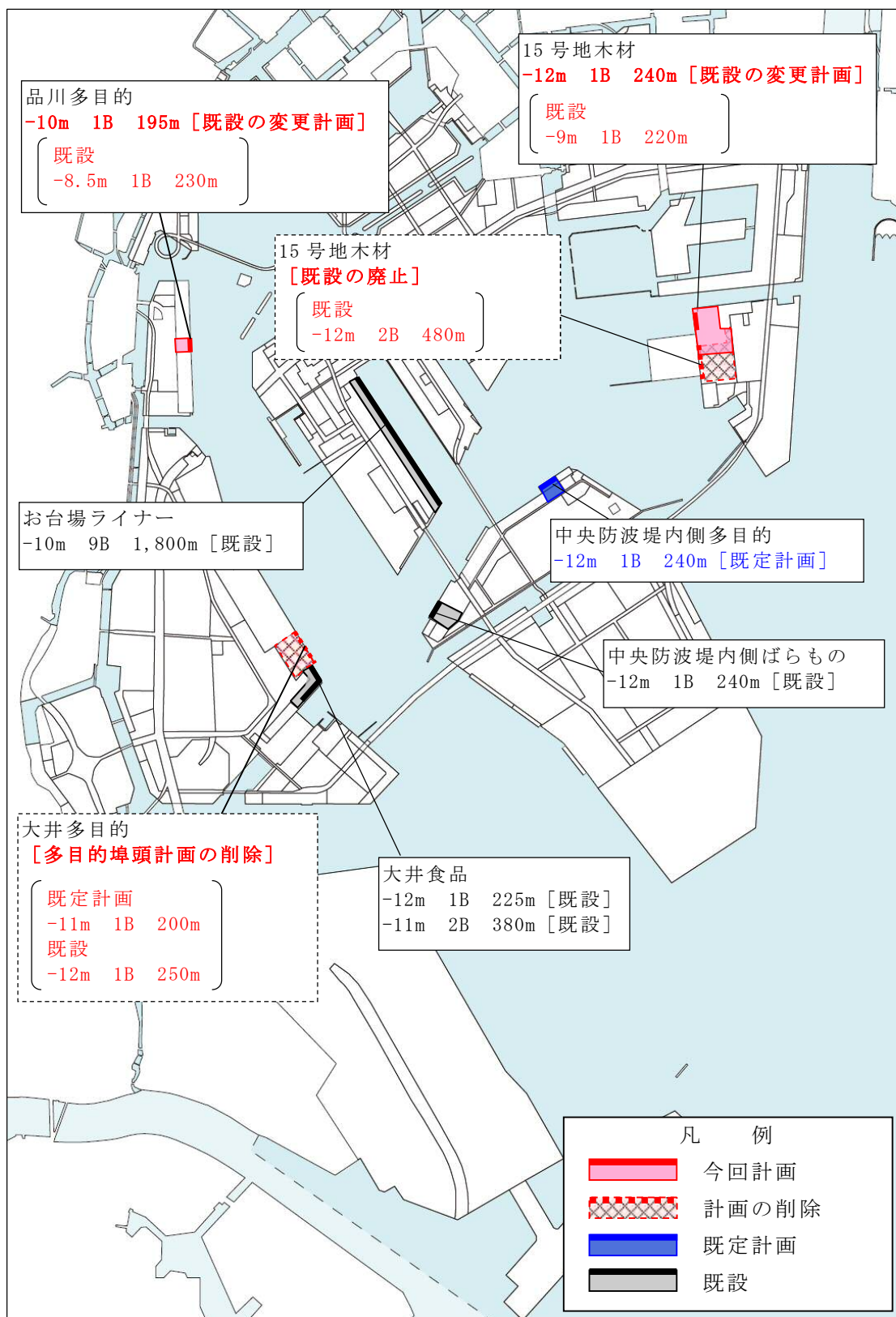
また、原木、製材等の木材関連貨物の取扱いが減少しているため、木材ふ頭の規模を縮小する。

1-4-2 外貿埠頭の規模及び配置

外貿埠頭の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ- 1-9 外貿埠頭計画

地区名	埠頭名	種別	今回計画				既定計画			
			水深 (m)	バース 数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)	水深 (m)	バース 数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)
内港 地区	品川 多目的	既設の 変更 計画	10	1	195	15,000	-	-	-	-
南部 地区	大井 多目的	既定計 画の変 更計画	-	-	-	-	11	1	200	30,000
		既設の 変更 計画	-	-	-	-	12	1	250	30,000
	大井 食品	既設	12	1	225	30,000	12	1	225	30,000
		既設	11	2	380	15,000	11	2	380	15,000
中部 地区	お台場 ライナー	既設	10	9	1,800	15,000	10	9	1,800	15,000
東部 地区	15号地 木材	既設の 廃止・ 既設の 変更計 画	12	1	240	30,000	12	2	480	30,000
中央 防波堤 地区	中央 防波堤 内側 多目的	既定 計画	12	1	240	30,000	12	1	240	30,000
	中央 防波堤 内側 ばらもの	既設	12	1	240	30,000	12	1	240	30,000



図Ⅲ- 1-25 外貿埠頭計画

<施設配置・計画の考え方>

●品川多目的ふ頭 (-10m, 1B, 195m)

コンテナ船以外の多様なアジア航路の船舶（例：在来船や RORO 船等）にも対応可能なようにしていく。

対象船舶はアジア航路と主流となっている 1.5 万 DWT の RORO 船とし、水深 10m の埠頭とする。さらに、隣接するコンテナ埠頭との連続直線バースとする。

●15 号地木材ふ頭 (2B ⇒ 1B)

原木、製材等の木材関連貨物の取扱いが減少しているため、15 号地木材ふ頭の規模を縮小し、位置を変更する。

なお、対象船舶等は既定計画どおりとする。

●大井多目的ふ頭（計画削除）

増大する外内貿コンテナ貨物に対応するため、多目的埠頭ではなく、外内貿コンテナふ頭へと計画変更する。

1-5 内貿埠頭計画

1-5-1 内貿埠頭計画の必要性

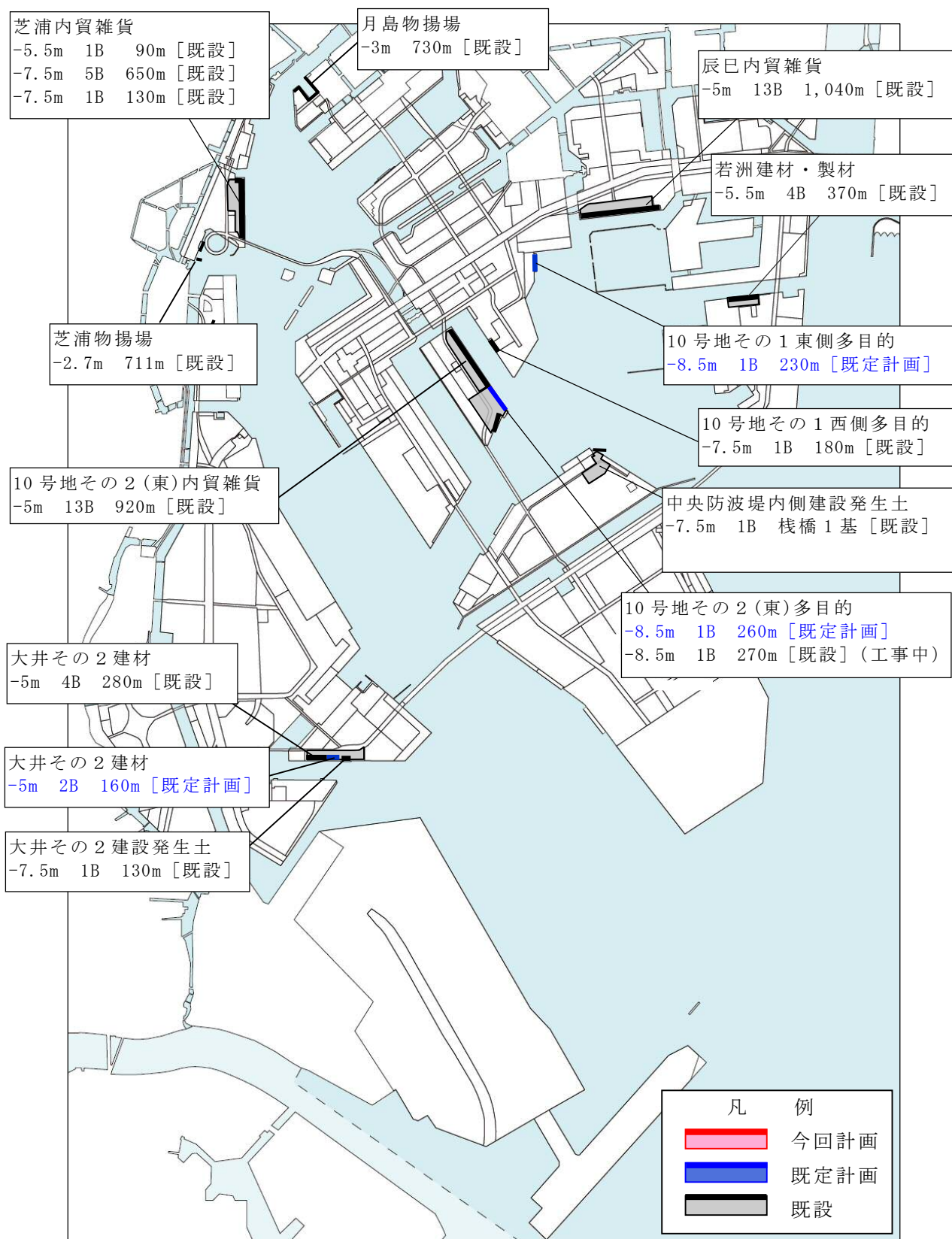
施設規模は既定計画どおりであるが、離島航路の貨客船大型化（小笠原航路：10,600GT、船長 150m、喫水 5.8m）にともない、小笠原航路の船舶の荷役も行っている芝浦ふ頭（J3～J4）の対象船舶を変更する。

1-5-2 内貿埠頭の規模及び配置

内貿埠頭計画の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ- 1-10 内貿埠頭計画

地区名	埠頭名	種別	水深 (m)	バース数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)
内港 地区	芝浦内貿雑貨	既設	5.5	1	90	2,000
		既設 ※対象船舶 を大型化	7.5	2	260	10,600(GT)
		既設	7.5	4	520	5,000
	芝浦物揚場	既設	2.7	1	711	-
	月島物揚場	既設	3	1	730	-
南部 地区	大井その2 建材	既設	5	4	280	1,000
		既定計画	5	2	160	1,000
	大井その2 建設発生土	既設	7.5	1	130	5,000
中部 地区	10号地その1 東側多目的	既定計画	8.5	1	230	14,500(GT)
	10号地その1 西側多目的	既設	7.5	1	180	5,000(GT)
	10号地その2 (東) 内貿雑貨	既設	5	13	920	1,000
	10号地その2 (東) 多目的	既定 計画	8.5	1	260	23,000(GT)
		既設 (工事中)	8.5	1	270	16,000(GT)
東部 地区	辰巳内貿雑貨	既設	5	13	1,040	1,000
	若洲建材・製材	既設	5.5	4	370	2,000
中央 防波堤 地区	中央防波堤内側 建設発生土	既設	7.5	1	160	5,000



図Ⅲ- 1-26 内貿埠頭計画

2. 旅客船埠頭計画

2-1 旅客船埠頭の現況

旅客船埠頭の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ- 2-1 旅客船埠頭の現況

地区名	埠頭名	水深 (m)	バース数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)
内港 地区	日の出 貨客船	6.7	6	564	3,000
	晴海 客船	10	2	456	20,000(GT)

- ・ なお、レインボーブリッジの桁下高さの制約により通航できない大型船（ボイジャー・オブ・ザ・シーズ、14万 GT 級）は、大井水産物ふ頭を暫定利用している（平成25年実績、平成26年予定）。

表Ⅲ- 2-2 大型旅客船の暫定利用岸壁の現況

地区名	埠頭名	水深 (m)	バース数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)
南部 地区	大井 水産物	12	2	450	30,000

2-2 旅客船埠頭計画の必要性

●新客船埠頭

大型クルーズ客船の需要動向を踏まえ、引き続き旅客船埠頭の拡張の検討が必要であることが想定されるため、中部地区・旅客船埠頭の拡張計画を将来構想とする。

- ・晴海旅客船ふ頭は、オリンピック選手村の整備に伴い、跡地利用として宅地化（マンション等による住宅地）される予定である。
- ・埠頭直背後の宅地化により、荷役埠頭（旅客船含む）としての供用は困難と考えられることから、将来は旅客船ふ頭を廃止し、物資供給岸壁等の不荷役埠頭（官庁船バース等）として活用することを想定する。
- ・大型クルーズ客船等への対応は、需要動向を見ながら、中部地区の旅客船埠頭において岸壁を拡張するなどして対応していく。
- ・なお、晴海旅客船ふ頭の廃止等については、地元と十分に協議調整しながら検討対応していく。
- ・また、中部地区・旅客船ふ頭の拡張計画については、平成 25 年 11 月「軽易な変更」における船舶航行安全対策検討において安全対策等の検討確認を行っている。

●竹芝貨客船ふ頭

離島航路の貨客船大型化（小笠原航路：10,600GT、船長 150m、喫水 5.8m）にともない、対象船舶を変更する。

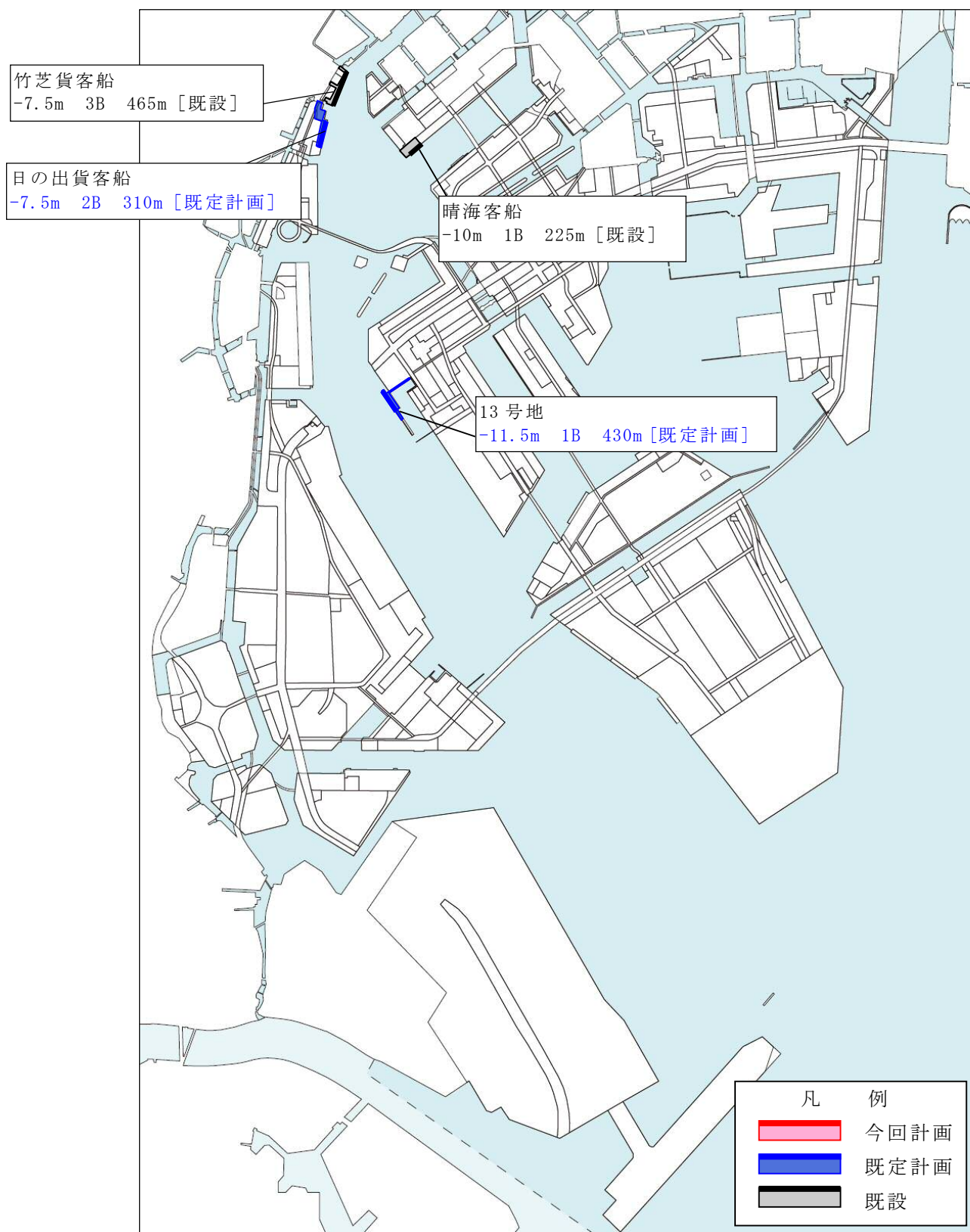
- ・竹芝ふ頭は、伊豆七島航路や高速船、レストランシップ等の利用船舶が多く、また、天候不良等による欠航や早着・遅延等により、他船との輻輳があることから、埠頭全体を最大船対応とする。

2-3 旅客船埠頭の規模及び配置

旅客船埠頭の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ－2-3 旅客船埠頭計画

地区名	埠頭名	種別	水深 (m)	バ ー ス 数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)
内港 地区	竹芝貨客船	既設 ※対象船舶 を大型化	7.5	3	465	10,600(GT)
	日の出貨客船	既定計画	7.5	2	310	5,000
	晴海客船	既設	10	1	225	20,000(GT)
中部 地区	新客船	既定計画	11.5	1	430	230,000(GT)



図Ⅲ- 2-1 旅客船埠頭計画

3. 旅客船埠頭（小型栈橋）計画

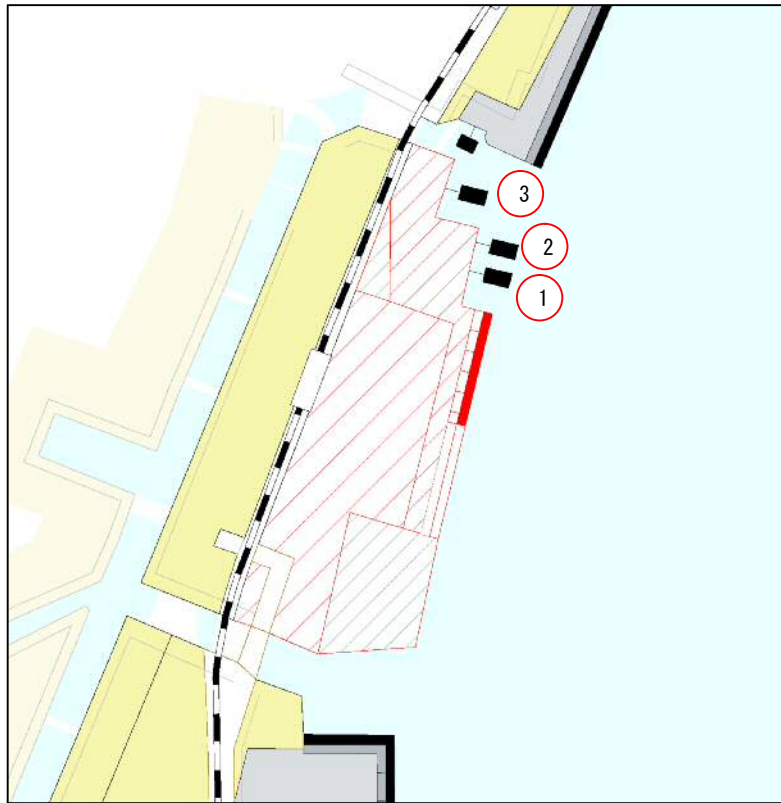
3-1 旅客船埠頭（小型栈橋）の現況

旅客船埠頭（小型栈橋）の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ- 3-1 旅客船埠頭（小型栈橋）の現況

地区名		水深 (m)	基数 (基)	対象船舶	航路の種類
内港 地区	竹芝ふ頭	3.0	1	小型船	海上バス等
	日の出ふ頭	4.0	3		
	浜離宮	3.0	1		
南部 地区	大井ふ頭その 1（北） （大井埠頭中央海浜公園）	3.0	1		
	勝島 （しながわ水族館）	3.0	1		
中部 地区	13 号地 （船の科学館）	4.0	1		
	10 号地その 1 （東京ビッグサイト）	4.0	1		
	お台場 （お台場海浜公園）	3.0	1		
	青海 （パレットタウン）	3.0	1		
東部 地区	15 号地（北） （若洲）	3.0	1		
葛西沖 地区	葛西沖 （葛西臨海公園）	3.0	1		

注）晴海にも暫定施設の小型栈橋があり、海上バスに利用されている。



図Ⅲ- 3-1 日の出ふ頭小型栈橋の配置図

表Ⅲ- 3-2 日の出ふ頭小型栈橋の用途

番号	用途	備考
①	水上バス	5 次改訂
②	水上バス	5 次改訂
③	水上タクシー	※昭和 49 年に設置

※ ③栈橋は昭和 49 年 3 月に設置されたものであるが、新たな海上交通（水上タクシー）の基地として、本改訂で既設として位置づける

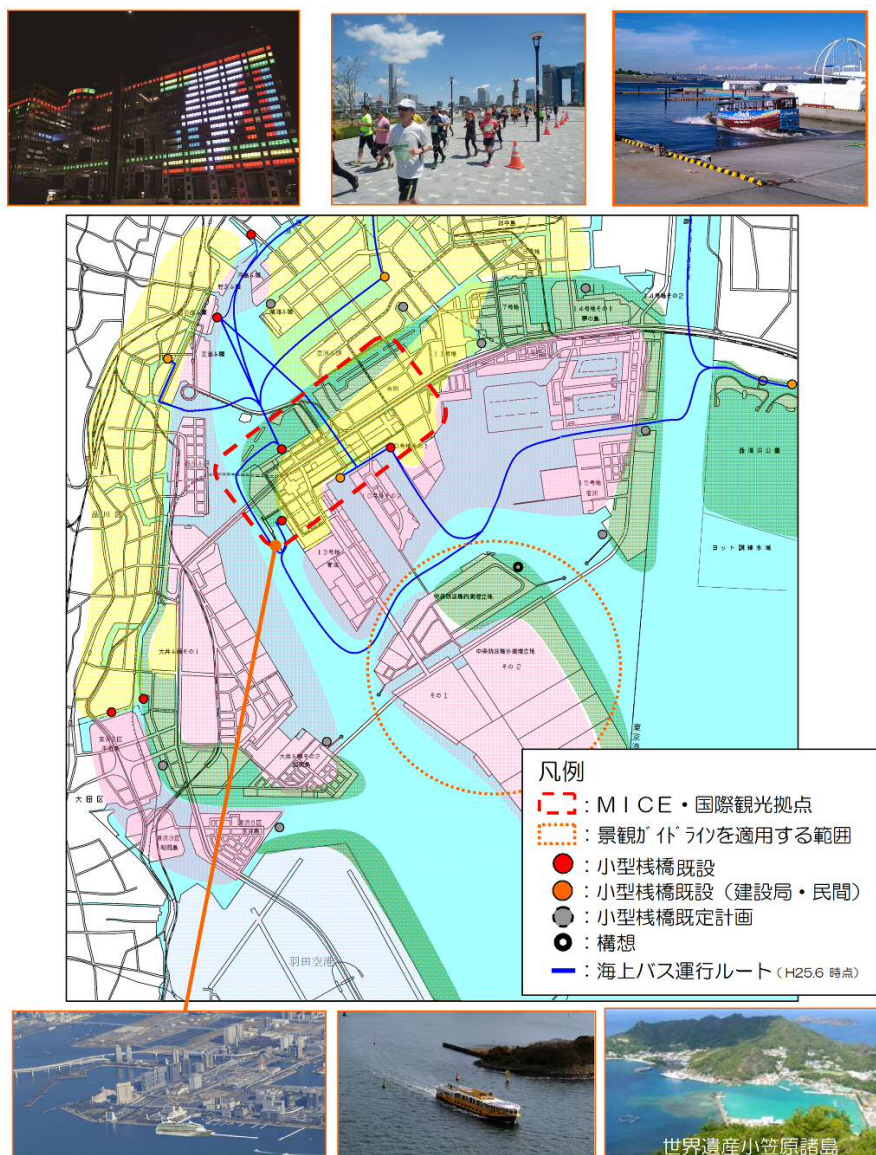
3-2 旅客船埠頭（小型栈橋等）計画の必要性

多くの人々が水とのふれあいの場に快適にアクセスできるよう、船揚場を計画する。

なお、今回計画では、新たな旅客船埠頭（小型栈橋）計画は無い。

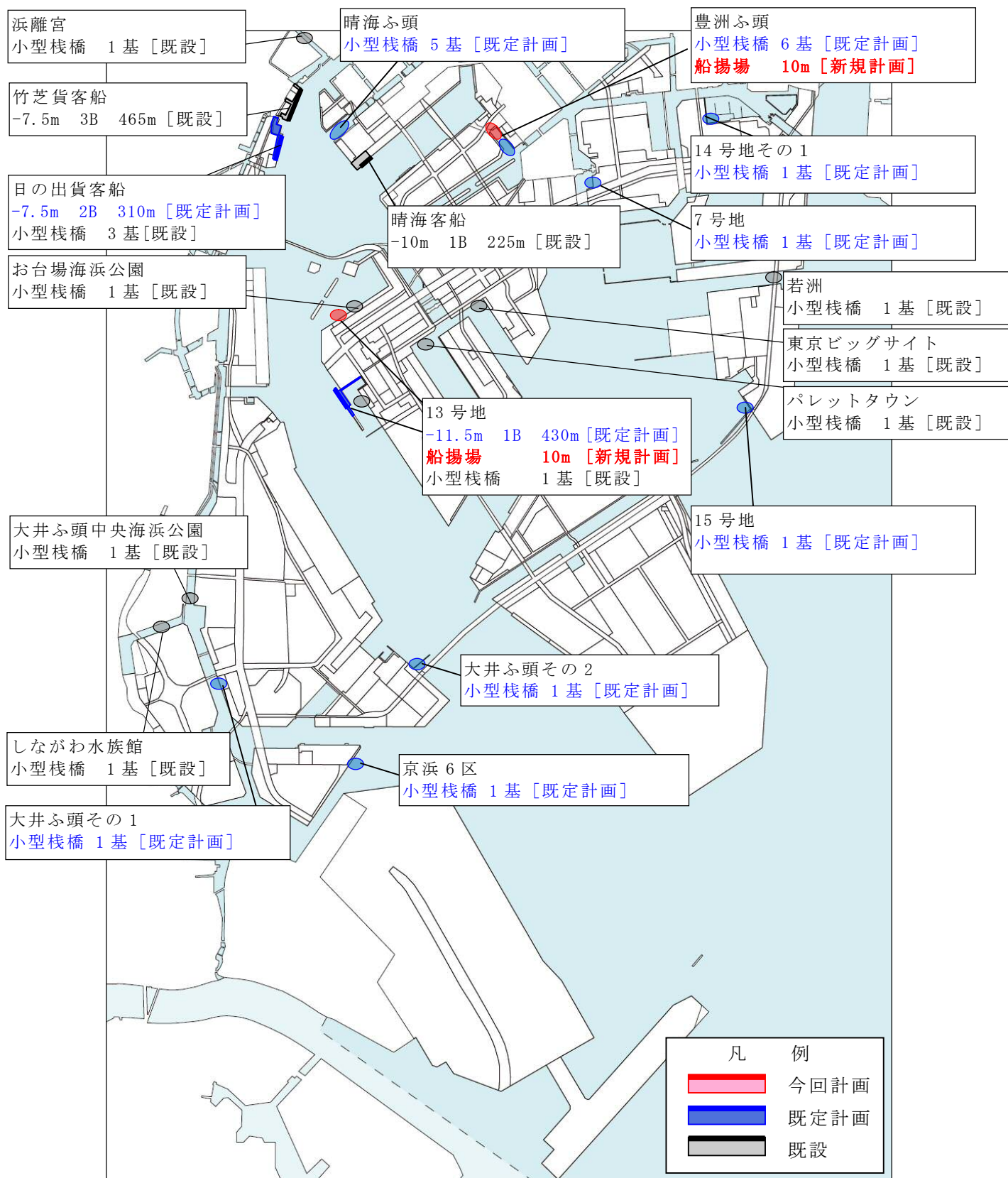
海上交通ネットワークの拡充

- ・ 東京オリンピック・パラリンピック期間中の観客輸送等に活用できる、さらには大会後も、観光と日常の足の両面から東京の魅力を高める、海上交通ネットワークの形成を目指して検討を行う。
- ・ ネットワークの整備に当たっては、民間活力を取り込み、定期航路を主体としつつ、不定期航路等の利用も含めて検討を進め舟運を活性化していく。
- ・ 都が保有する公共栈橋の開放についても検討を行い、海上交通ネットワークの充実に取り組む。



図Ⅲ- 3-2 海上交通ネットワークの拡充

3-3 旅客船埠頭（小型栈橋等）の規模及び配置



図Ⅲ- 3-3 旅客船埠頭（小型栈橋等）計画

4. 木材取扱施設計画

4-1 木材取扱施設の現況

木材取扱施設の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ- 4-1 水面貯木場（平成 24 年）

地区名	施設名	面積（ha）
東部地区	12 号地貯木場	56.1
	14 号地貯木場	25.7
合計		81.8

表Ⅲ- 4-2 12 号地貯木場係留施設等（平成 24 年）

施設名	水深（m）	規模
木材投下泊地 （水面整理場）	7.5	38.5 ha
	2.5	56.1 ha
係留浮標	7.5	2 バース 3 基
ドルフィン	10	5 バース

4-2 木材取扱施設計画の必要性

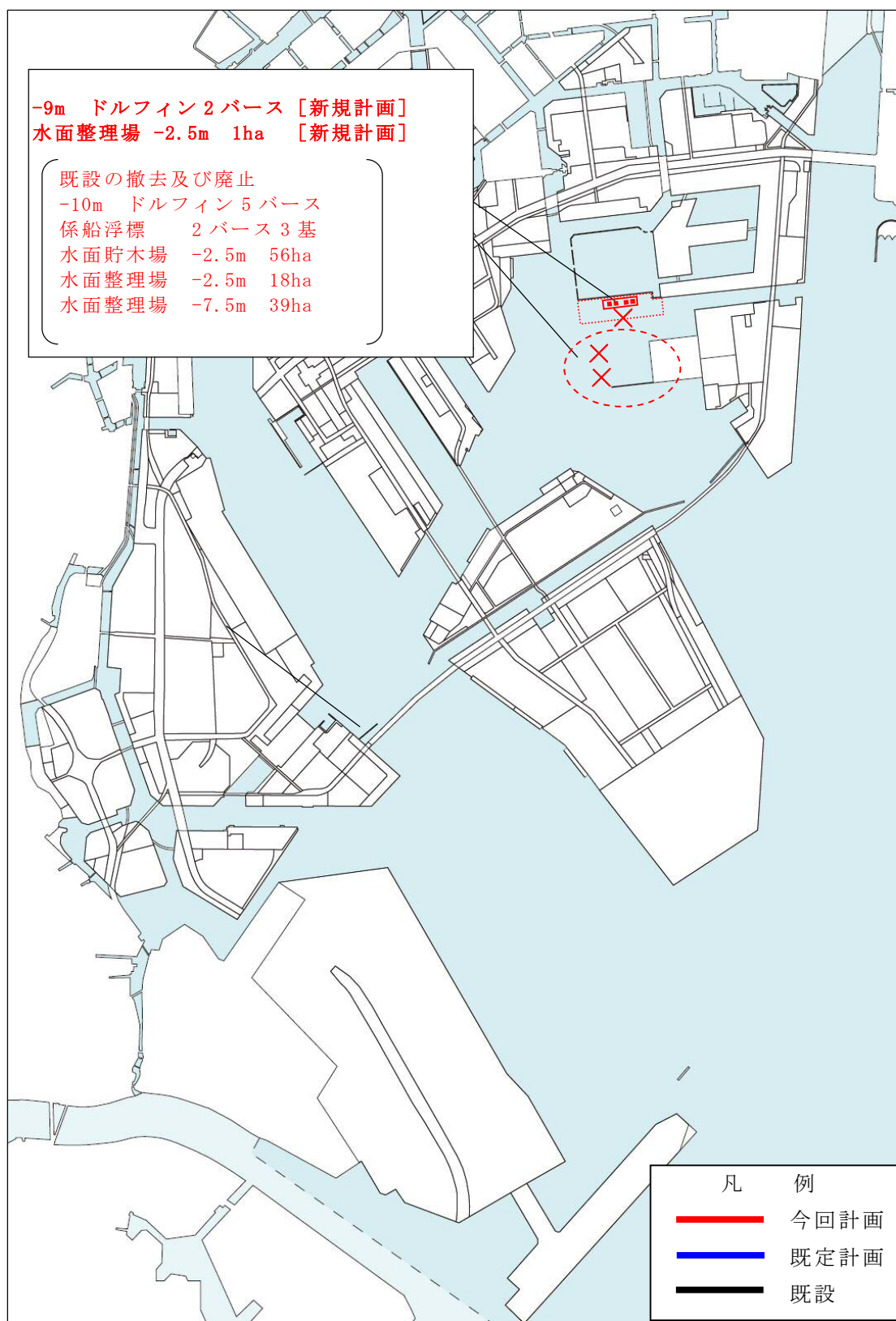
原木輸入量が減少し、水面貯木場や係留施設（ドルフィン）の利用が低下したため、木材取扱施設を縮小し、新規ふ頭（埋立含む）を計画する。

4-3 木材取扱施設の規模及び配置

- ・東京港には、木材取扱事業者が存在し小規模であるが利用している。また、係留施設（ドルフィン）については、運河部の工事等に利用する土砂等の運搬船の積み替えに利用されていることなどから、同規模の係留施設（水深 9 m、ドルフィン・2 バース）と水面整理場 1 ha を再配置する。
- ・また、新規ふ頭（埋立含む）の計画に伴い、既設の 12 号地水面整理場防波堤（L430m）を撤去し、港内・係留施設周辺の静穏度を確保するため、新規ふ頭（埋立含む）の西側に新規防波堤（L500m）を計画する。
- ・さらに、既設 12 号地貯木場（56.1ha）については、木材取扱施設（ドルフィン・2 バース）の移設先とするため廃止する。なお、既設 14 号地貯木場（25.7ha）を利用するため、支障はない。

表Ⅲ－ 4-3 12号地貯木場 係留施設等計画

施設名	新規計画		既設	
	水深 (m)	規模	水深 (m)	規模
木材投下泊地 (水面整理場)	-	-	7.5	39ha
	2.5	1 ha	2.5	18 ha
水面貯木場	-	-	2.5	56ha
ドルフィン	9	2 バース	10	5 バース
係船浮標	-	-	7.5	3 基



図Ⅲ- 4-1 木材取扱施設計画位置図

5. 専用埠頭計画

5-1 専用埠頭の現況

専用埠頭の取扱貨物等の利用状況は、次のとおりである。

表Ⅲ- 5-1 専用埠頭の現況（平成 22 年）

地区	施設名	水深(m)	バース数	延長(m)	対象船型 (DWT)	主要取扱貨物	企業名
内港 地区	晴海ふ頭(民間)	10	2	—	20,000GT	砂利・砂	東洋埠頭(株) 鈴江コーポレーション (株)
	品川（セメント）	4.5 ～8.0	4	—	699～ 8,400	砂利・砂、 セメント	アサノコンクリート(株) 住友大阪セメント(株) 宇部三菱セメント(株)
	品川（電力）	7.5	1	—	—	—	東京電力品川火力発電所
中部 地区	10号地（民間）	7.5	11	1,563	1,500～ 5,000	—	住金物流(株) 新日本製鉄(株) JFE物流(株)
	台場(官庁船)	6	2	200	460～ 2,950	—	海上保安庁
	13号地(官庁船)	7	2	—	1,500～ 5,000	—	水産庁 航海訓練所
南部 地区	大井その1（電力）	8.5	1	—	2,926	原油、鋼材、 石油類	東電大井火力発電所
	大井その2（建材）	5	3	210	1,000	砂利・砂、 石灰石	関東宇部コンクリート工業(株) 鍋木生コンクリート・豊田商店
	京浜（民間）	5	—	836	—	砂利・砂、産 業機械、再利 用資材	東京23区清掃一部事務 組合 (株)土岐
東部 地区	砂町（民間）	～4.0	12	—	450～900	砂利・砂、 石灰石、鋼材	昭石化工(株) 吉田建材(株) 他 日本産業(株) 上陽レミコン(株)
	11号地（セメント）	8	1	—	7,000	セメント	太平洋セメント(株)
	15号地（民間） （建材）	5	2	140	1,000	砂利・砂、金 属くず、再利 用資材	吉田建材 他
	15号地（民間） （セメント、危険物）	4 ～12.0	5	670	500～ 30,000	セメント、 石油類	太平洋セメント(株) 出光興産(株) (株)朝田商会
	15号地（民間） （特殊品）	4.5	2	160	1,000	—	有明興業(株)

5-2 専用埠頭計画の必要性

引き続き、事業者の需要に対応するため、既定計画のとおりとする。

5-3 専用埠頭の規模及び配置

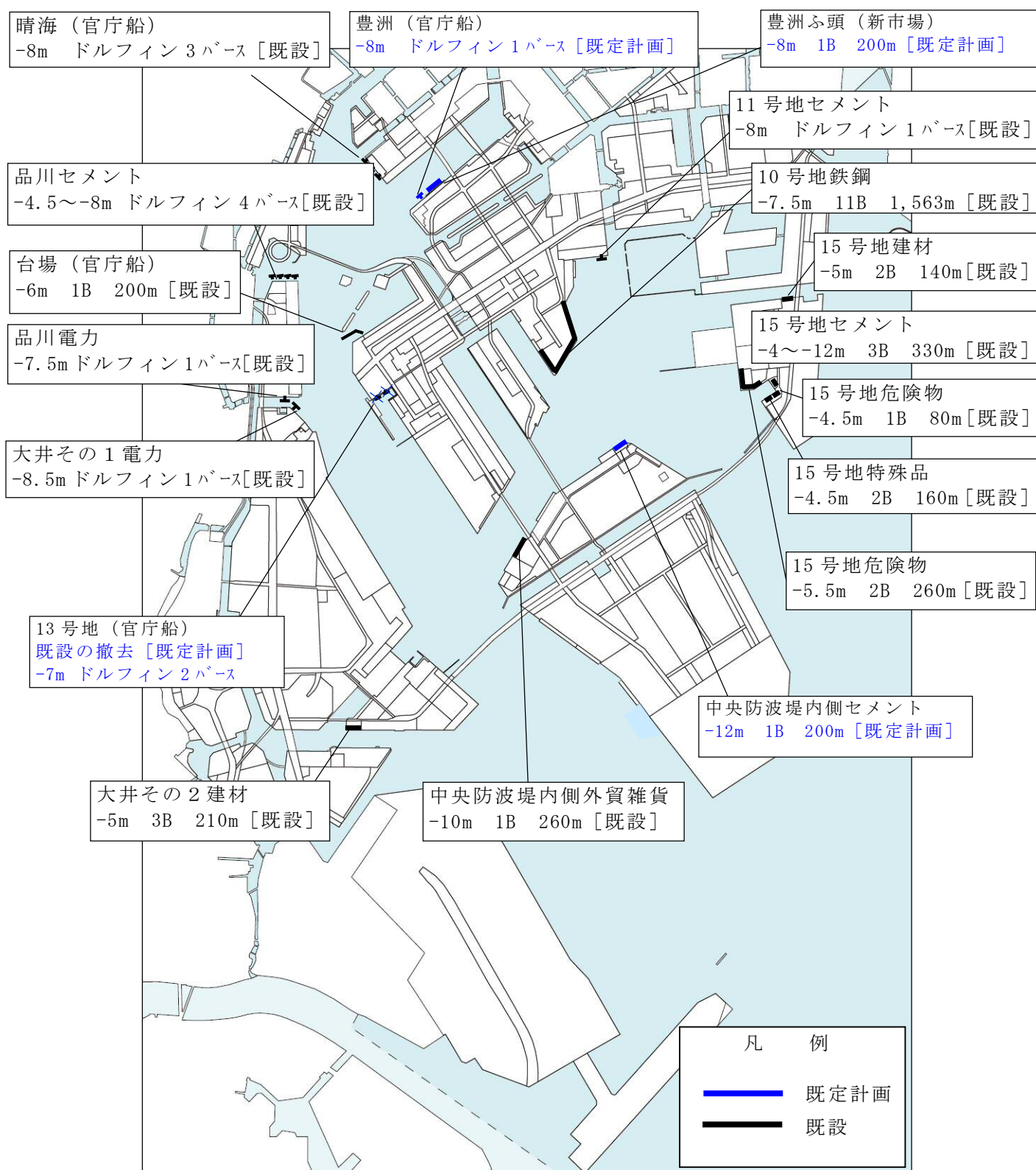
専用埠頭の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ- 5-2 専用埠頭計画

地区名	埠頭名	水深 (m)	バース数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)	規模及び 配置の考え方
内港 地区	豊洲(官庁船)	8	1	—	3,000	既定計画
	豊洲新市場	8	1	200	6,000	既定計画
中央防 波堤地 区	中央防波堤 内側セメント	12	1	200	30,000	既定計画

表Ⅲ- 5-3 専用埠頭計画（今回削除する既設）

地区名	埠頭名	水深 (m)	バース数	延長 (m)	対象船舶 (DWT)	規模及び 配置の考え方
中部 地区	13号地 (官庁船)	7	2	—	1,500～ 5,000	既設の撤去



図Ⅲ-5-1 専用埠頭計画

6. 水域施設計画

6-1 航路計画

6-1-1 主な航路の現況

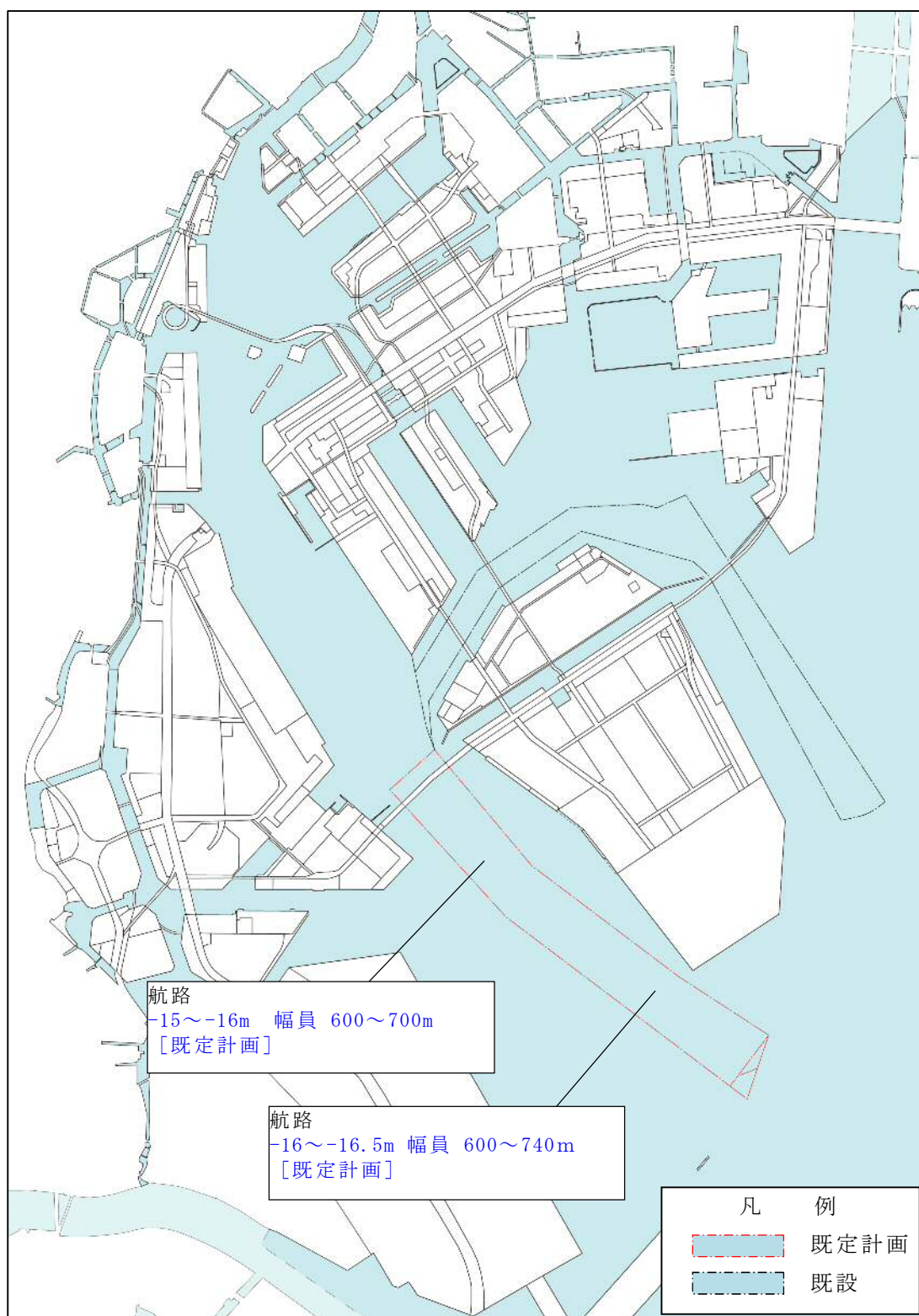
主な航路の現況は以下のとおりである。

表Ⅲ- 6-1 主な航路の現況

航路名	水深(m)	航路幅(m)	状況
第一航路	15～16	600～700	既定計画
	16～16.5	600～740	
第二航路	12	300	既設
第三航路	12	300～550	既設

6-1-2 航路計画

今回計画では、新たな航路計画は無い。



図Ⅲ- 6-1 航路計画

6-2 泊地計画

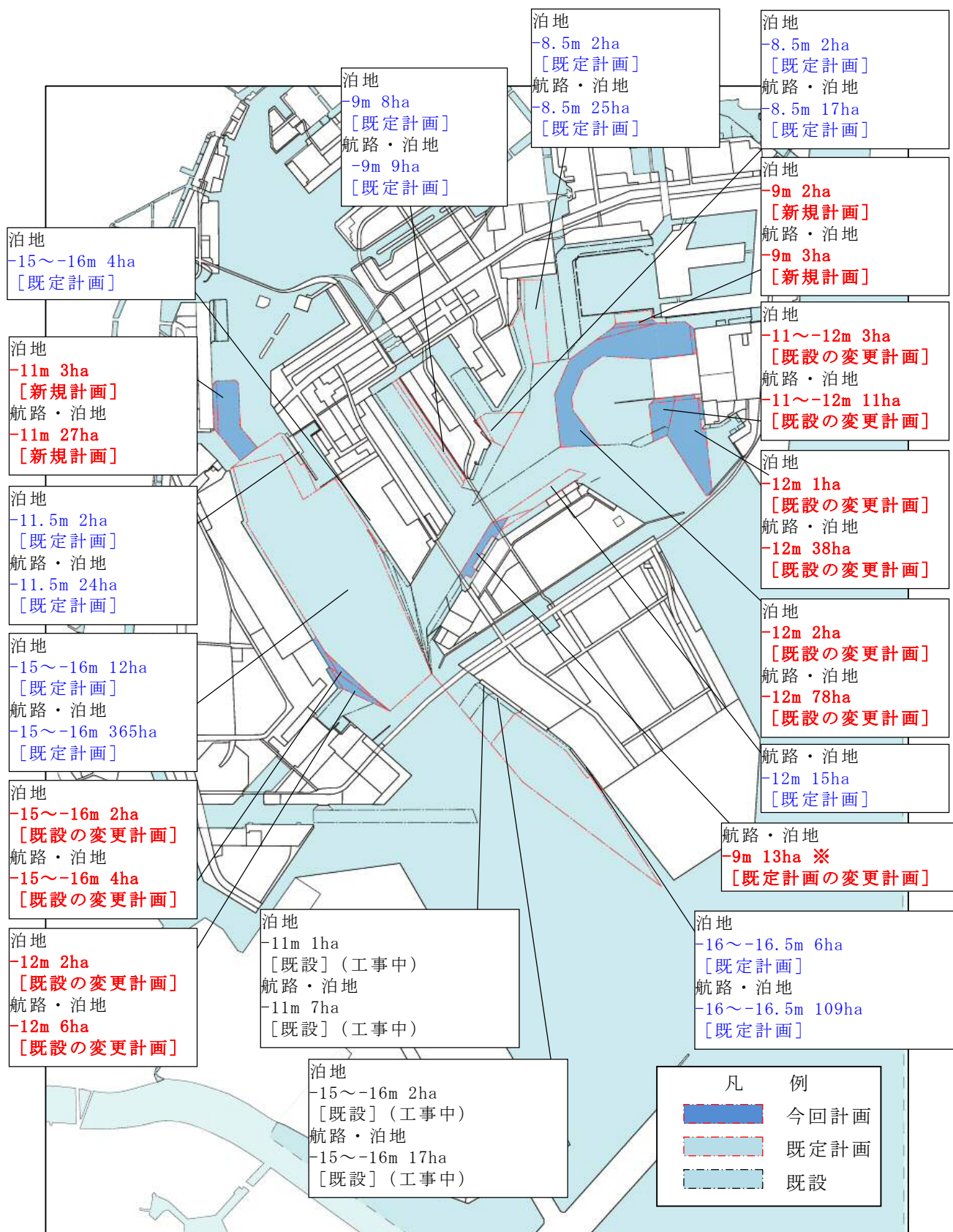
泊地及び航路・泊地計画は、次に示すとおりである。

表Ⅲ- 6-2 泊地計画

地区名	埠頭名	種別	今回計画			既定計画		
			対象船型 (DWT)	水深 (m)	面積 (ha)	対象船型 (DWT)	水深 (m)	面積 (ha)
内港地区	品川コンテナ	新規計画	20,000	11	3.0	15,000	—	—
南部地区	大井コンテナ	既定計画	150,000	15~16	12.1	100,000	15~16	12.1
		既設の変更計画	150,000	15~16	2.3	—	—	—
	大井水産物	既設の変更計画	30,000	12	1.5	—	—	—
中部地区	青海コンテナ	既定計画	150,000	15~16	3.6	100,000	15~16	3.6
	10号地その1	既定計画	—	—	—	23,000 (GT)	8.5	1.9
	10号地その2(東) 多目的	既定計画	—	—	—	23,000 (GT)	8.5	1.6
	10号地その2(西) ユニットロード	既定計画	—	—	—	12,000 (GT)	9	7.6
	新客船	既定計画	—	—	—	230,000 (GT)	11.5	2.3
東部地区	15号地木材	既設の変更計画	30,000	12	1.7	—	—	—
	15号地コンテナ	既設の変更計画	30,000	11~12	2.7	—	—	—
	15号地(民間)	既設の変更計画	30,000	12	1.2	—	—	—
	12号地貯木場	新規計画	10,000	9	1.8	—	—	—
中央 防波堤地区	中央防波堤外側 コンテナ	既設 (工事中)	—	—	—	20,000	11	1.2
	中央防波堤外側 コンテナ	既設 (工事中)	150,000	15~16	2.0	100,000	15~16	2.0
	中央防波堤外側・新 海面処分場 コンテナ	既定計画	150,000	16~16.5	5.7	120,000	16~16.5	5.7

表Ⅲ－6-3 航路・泊地計画

地区名	対象施設名	種別	今回計画			既定計画		
			対象船型 (DWT)	水深 (m)	面積 (ha)	対象船型 (DWT)	水深 (m)	面積 (ha)
内港地区	品川コンテナ	新規計画	20,000	11	27.0	15,000	—	—
南部地区	大井コンテナ	既設の変更計画	150,000	15~16	4.1	—	—	—
	大井水産物	既設の変更計画	30,000	12	6.0	—	—	—
南部地区 中部地区	大井コンテナ 青海コンテナ	既定計画	150,000	15~16	365.3	100,000	15~16	365.3
中部地区	10号地その1	既定計画	—	—	—	23,000 (GT)	8.5	24.6
	10号地その2(東) 多目的	既定計画	—	—	—	23,000 (GT)	8.5	16.6
	10号地その2(西) ユニットロード	既定計画	—	—	—	12,000 (GT)	9	9.2
	新客船	既定計画	—	—	—	230,000 (GT)	11.5	24.0
東部地区	15号地木材	既設の変更計画	30,000	12	78.0	—	—	—
	15号地コンテナ	既設の変更計画	30,000	11~12	11.1	—	—	—
	15号地(民間)	既設の変更計画	30,000	12	37.9	—	—	—
	12号地貯木場	新規計画	10,000	9	2.6	—	—	—
中央 防波堤地区	中央防波堤内側 ユニットロード	既定計画の 変更計画	12,000 (GT)	9	13.0	12,000 (GT)	9	13.7
	中央防波堤内側 多目的	既定計画	30,000	12	14.7	15,000	12	14.7
	中央防波堤外側 コンテナ	既設 (工事中)	—	—	—	20,000	11	7.0
	中央防波堤外側 コンテナ	既設 (工事中)	150,000	15~16	16.6	100,000	15~16	16.6
	中央防波堤外側・新 海面処分場 コンテナ	既定計画	150,000	16~16.5	109.3	120,000	16~16.5	109.3



※計画範囲の変更（施設整備済）

図Ⅲ- 6-2 泊地及び航路・泊地計画

6-3 南部地区及び東部地区における水域施設計画の考え方（参考）

本改訂での、南部地区（O8 前面）と東部地区（15 号地前面）における、水域施設計画（泊地、航路・泊地）の変更では、既設の泊地・航路泊地と重なり合う箇所があるため、以下の考えに基づき、計画書の記載方法を整理している。

- ① 泊地、航路・泊地の新規計画及び変更計画を行う際、既設の泊地、航路・泊地と重なり合う場合は、「既設の変更計画」として計画書に記載する。
(泊地、航路・泊地における面積の増減と考える)
- ② 既設の施設として、変更を行う箇所に該当する、変更前の泊地、航路・泊地の全面積を記載する。
- ③ 変更後、今後利用しない水域面積については計画書に記載しない。
(廃止として記載しない)

南部地区（o8 前面）



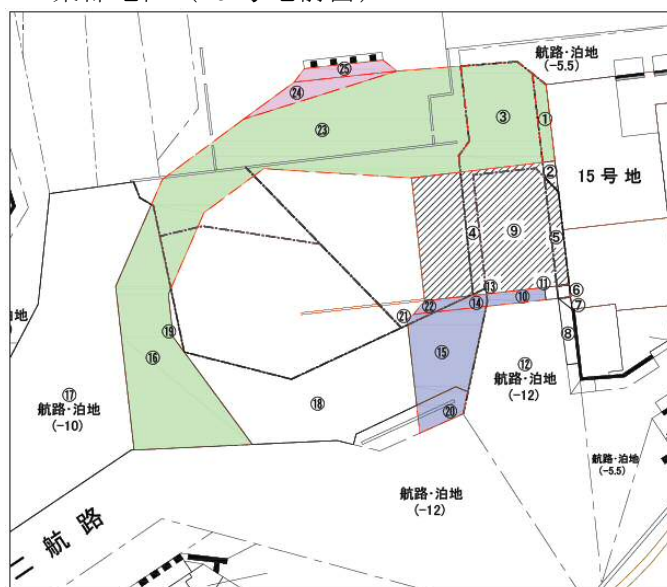
O8前面泊地・航路泊地整理

番号	既設			変更後		
	用途	水深 (-m)	面積 (ha)	用途	水深 (-m)	面積 (ha)
①	泊地	11	1.0	泊地	15~16	1.0
②				-	-	0.7
③	泊地	12	2.5	泊地	15~16	0.3
④				泊地	12	1.5
⑤				泊地	15~16	1.0
⑥	航路・泊地	12	11.1	航路・泊地	15~16	4.1
⑦				航路・泊地	12	6.0

記載方法

泊地			航路・泊地
水深15~16m	2.3ha	①+③+⑤	水深15~16m 4.1ha ⑥
水深12m	1.5ha	④	水深12m 6.0ha ⑦

東部地区（15 号地前面）



O15号地前面泊地・航路泊地整理

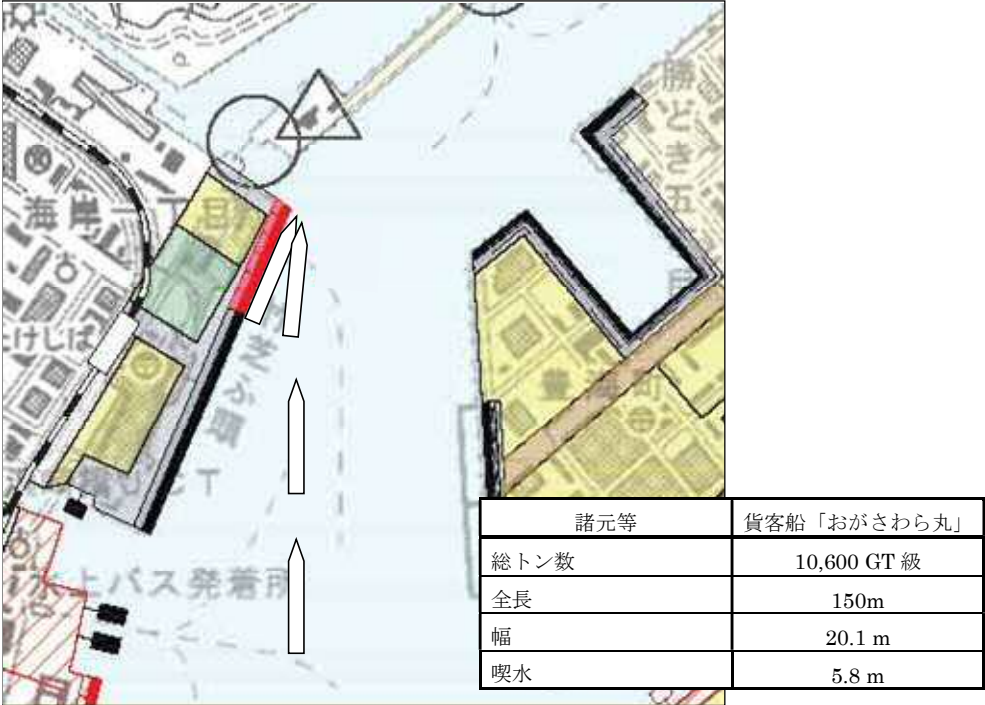
番号	既設			変更後		
	用途	水深 (-m)	面積 (ha)	用途	水深 (-m)	面積 (ha)
①	泊地	9	2.1	泊地	12	1.7
②				-	-	0.4
③	航路・泊地	9	15.4	航路・泊地	12	12.3
④				-	-	3.1
⑤				-	-	2.1
⑥	泊地	12	3.7	-	-	0.3
⑦				-	-	0.1
⑧				泊地	12	1.2
⑨				-	-	13.7
⑩	航路・泊地	12	53.2	泊地	11~12	1.3
⑪				-	-	0.3
⑫				航路・泊地	12	37.9
⑬				-	-	0.1
⑭				泊地	11~12	0.7
⑮	航路・泊地	10	130.4	航路・泊地	11~12	8.7
⑯				航路・泊地	12	23.6
⑰				-	-	72.2
⑱				-	-	24.6
⑲				-	-	0.5
⑳	防波堤	-	-	航路・泊地	11~12	2.2
㉑	ケーソンヤード	-	-	航路・泊地	11~12	0.2
㉒				泊地	11~12	0.7
㉓	水面整理場・貯木場	-	-	航路・泊地	12	42.1
㉔				航路・泊地	9	2.6
㉕	貯木場	-	-	泊地	9	1.8

記載方法

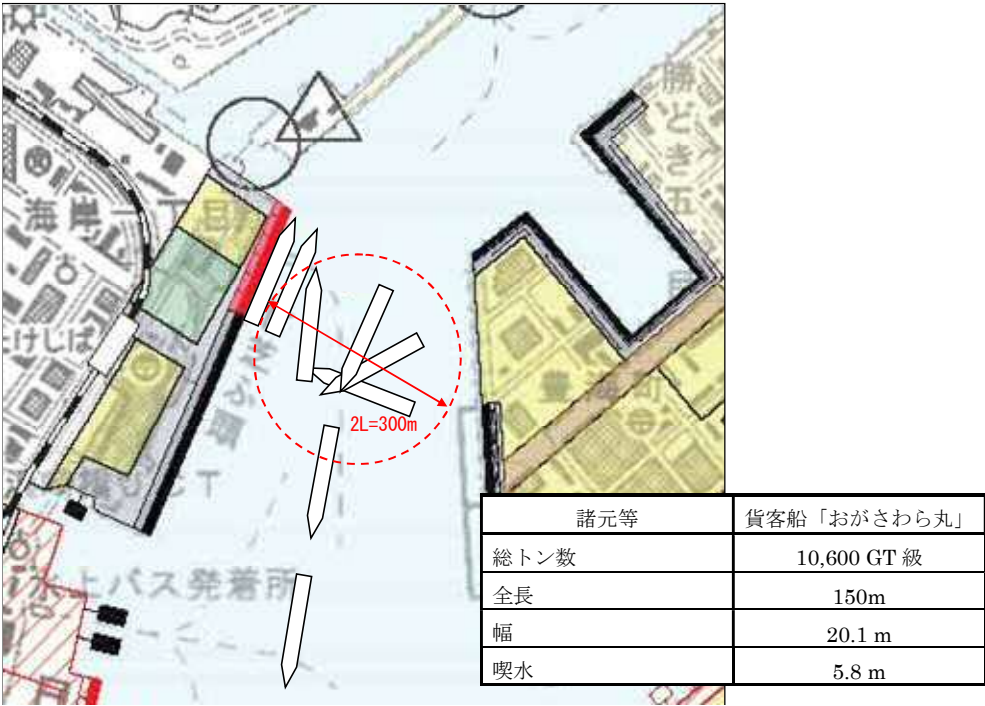
泊地			航路・泊地
水深12m	1.7ha	①	水深12m 78ha ③+⑬+⑳
水深12m	1.2ha	⑧	水深12m 37.9ha ⑫
水深11~12m	2.7ha	⑩+⑭+㉒	水深11~12m 11.1ha ⑮+㉑+㉔
水深9m	1.8ha	㉕	水深9m 2.6ha ㉔

6-4 操船例図

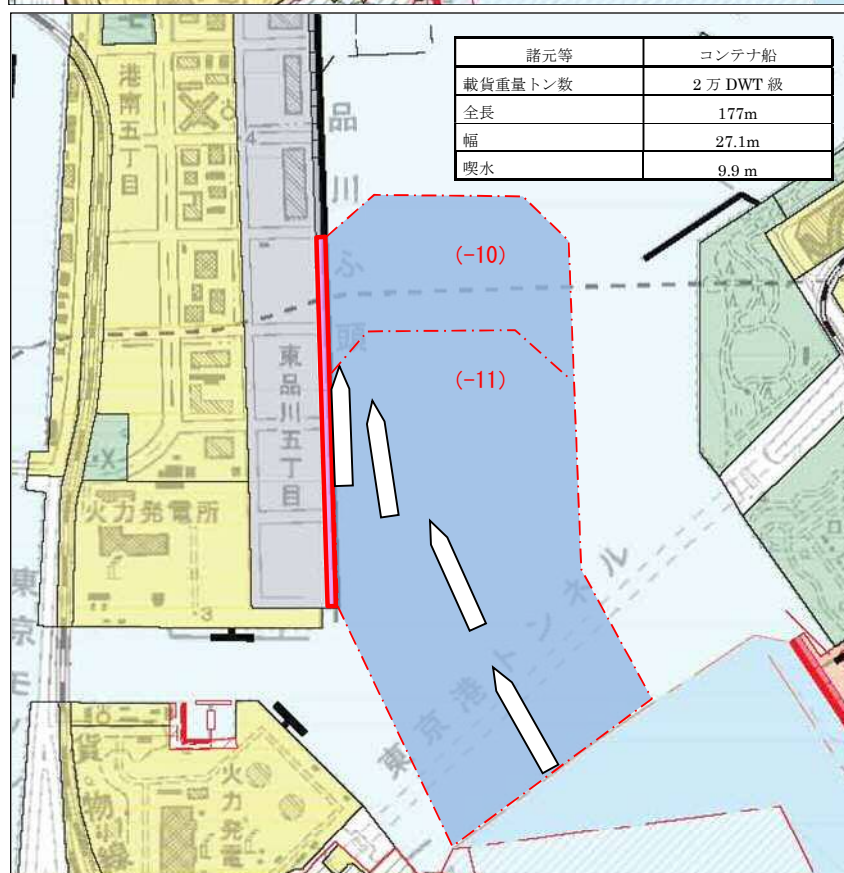
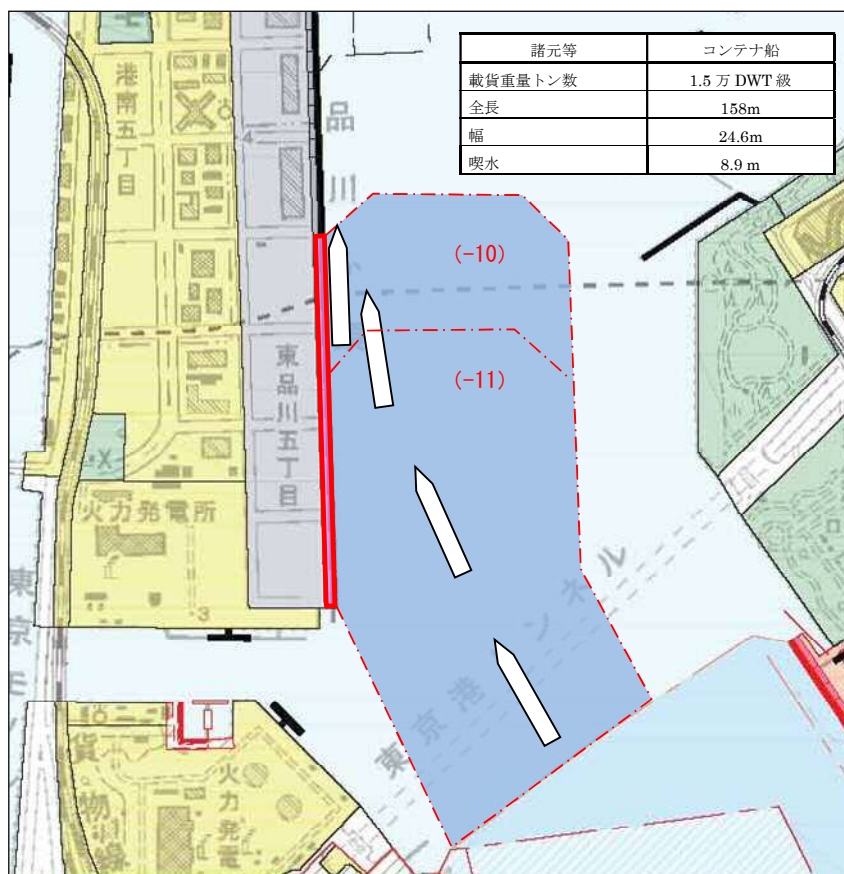
対象船舶の大型化及び新規に計画する泊地に係る操船例図は、それぞれ以下のとおりである。



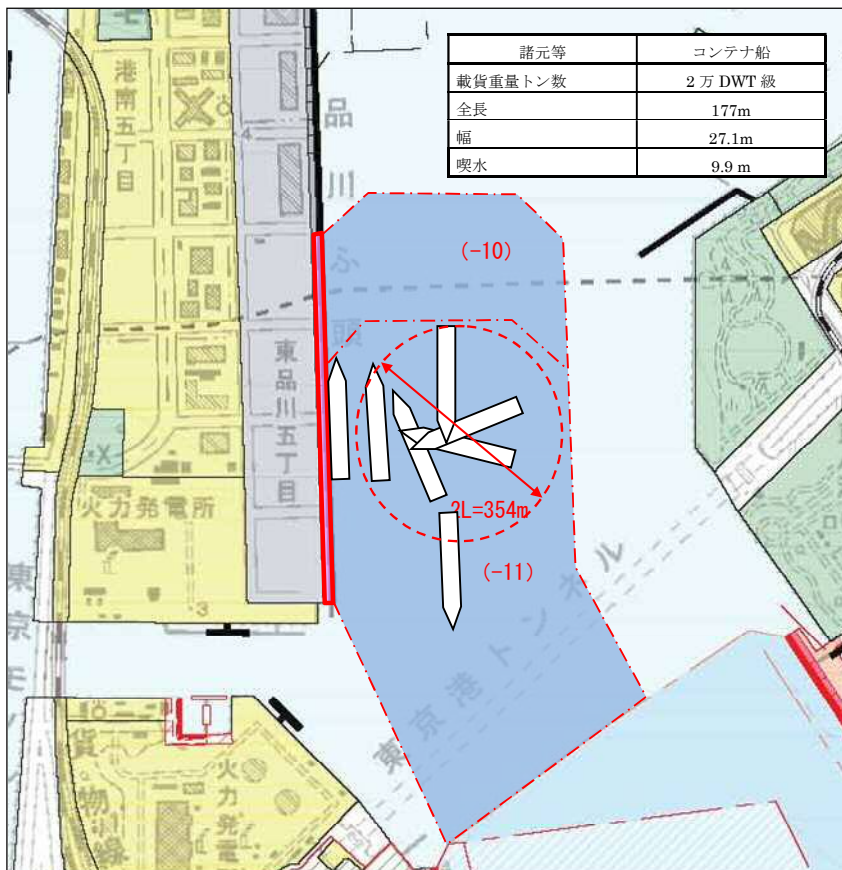
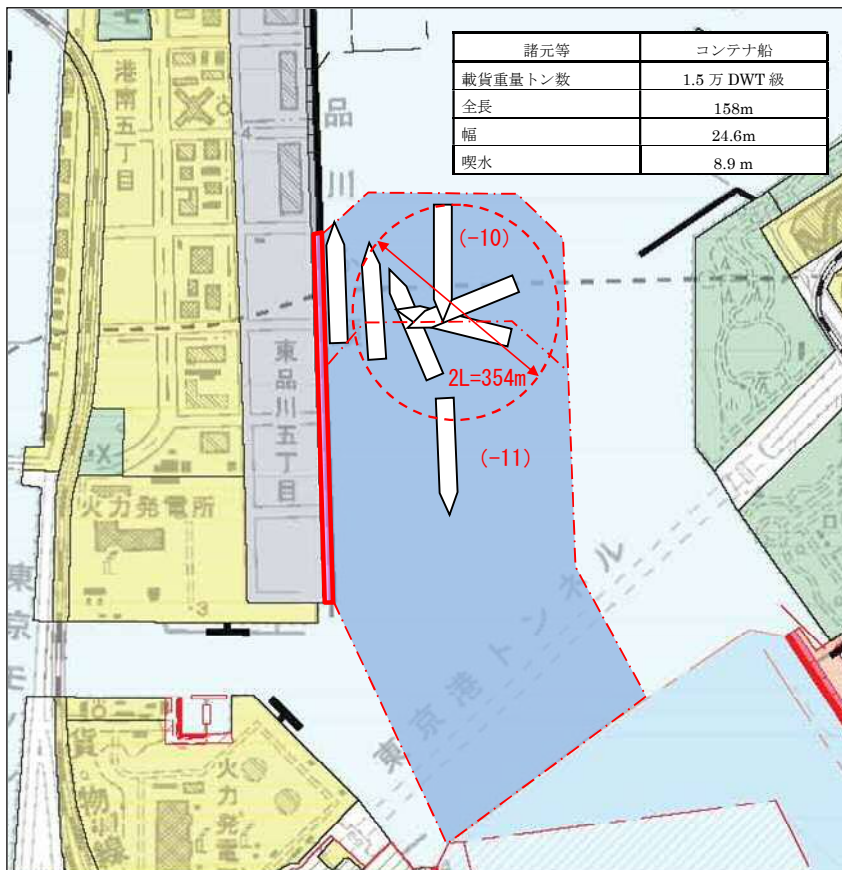
図Ⅲ- 6-3 竹芝ふ頭前面の回頭水域・操船例図（入港時）



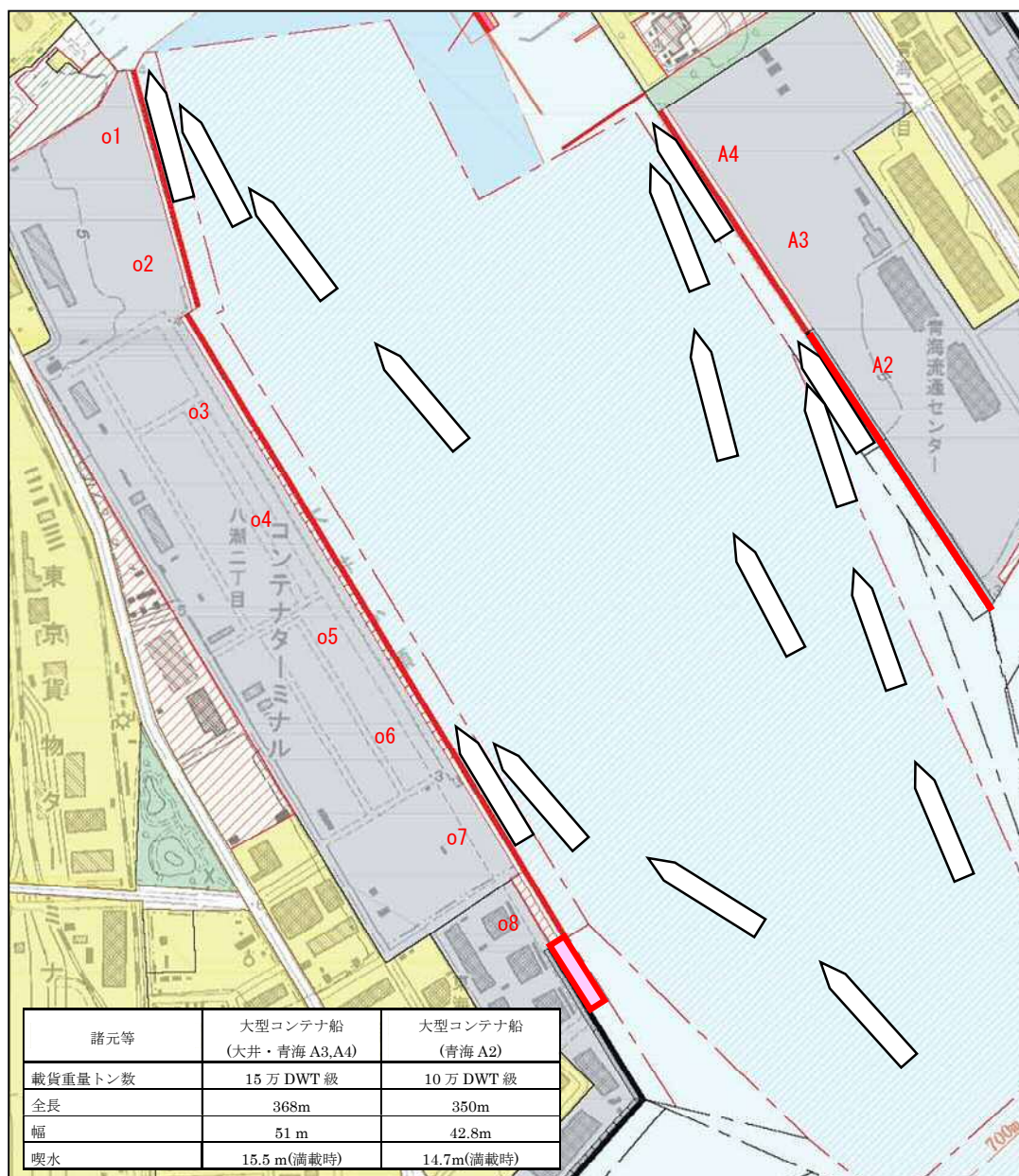
図Ⅲ- 6-4 竹芝ふ頭前面の回頭水域・操船例図（出港時）



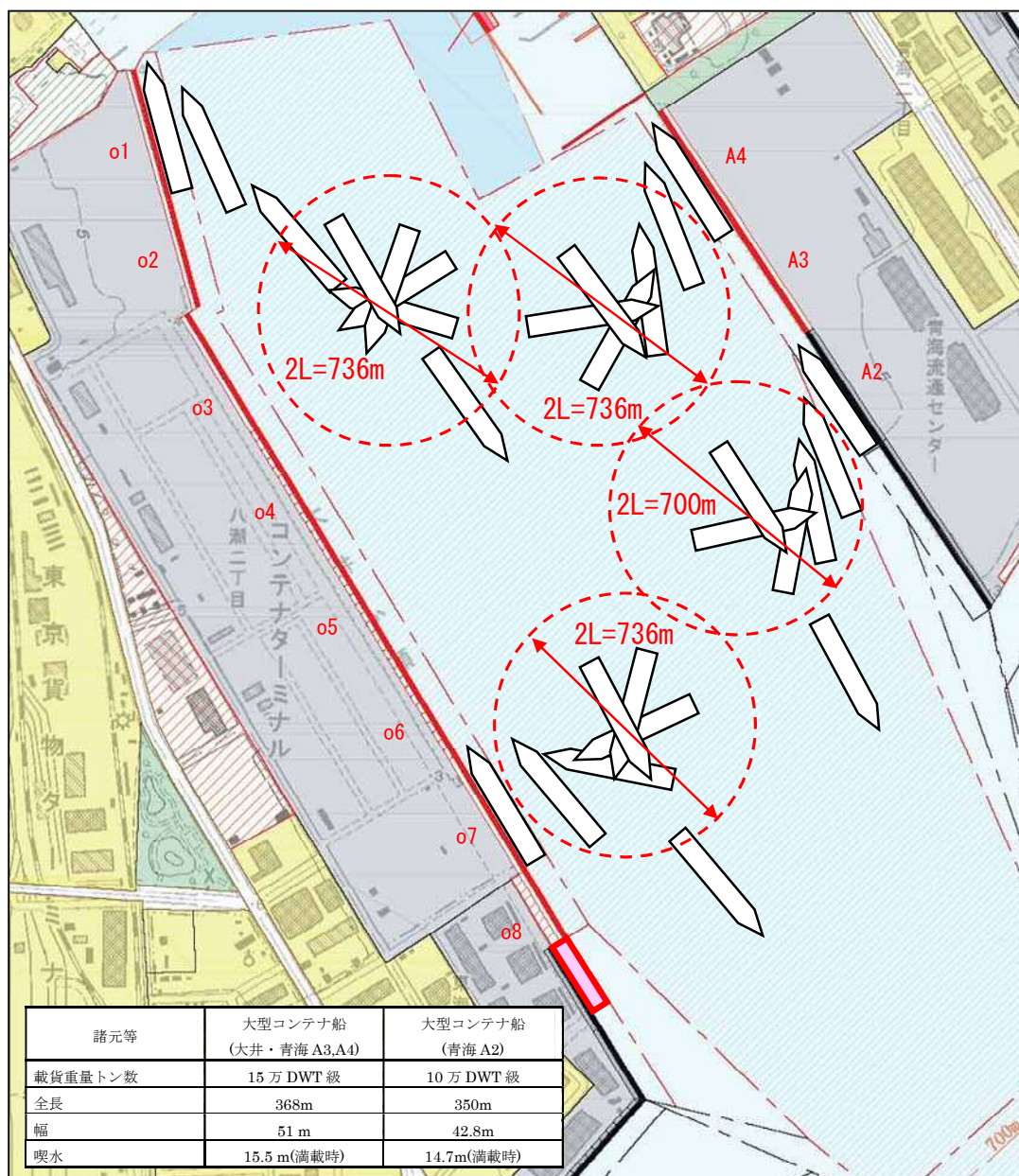
図Ⅲ - 6-5 品川ふ頭前面の回頭水域・操船例図（入港時）



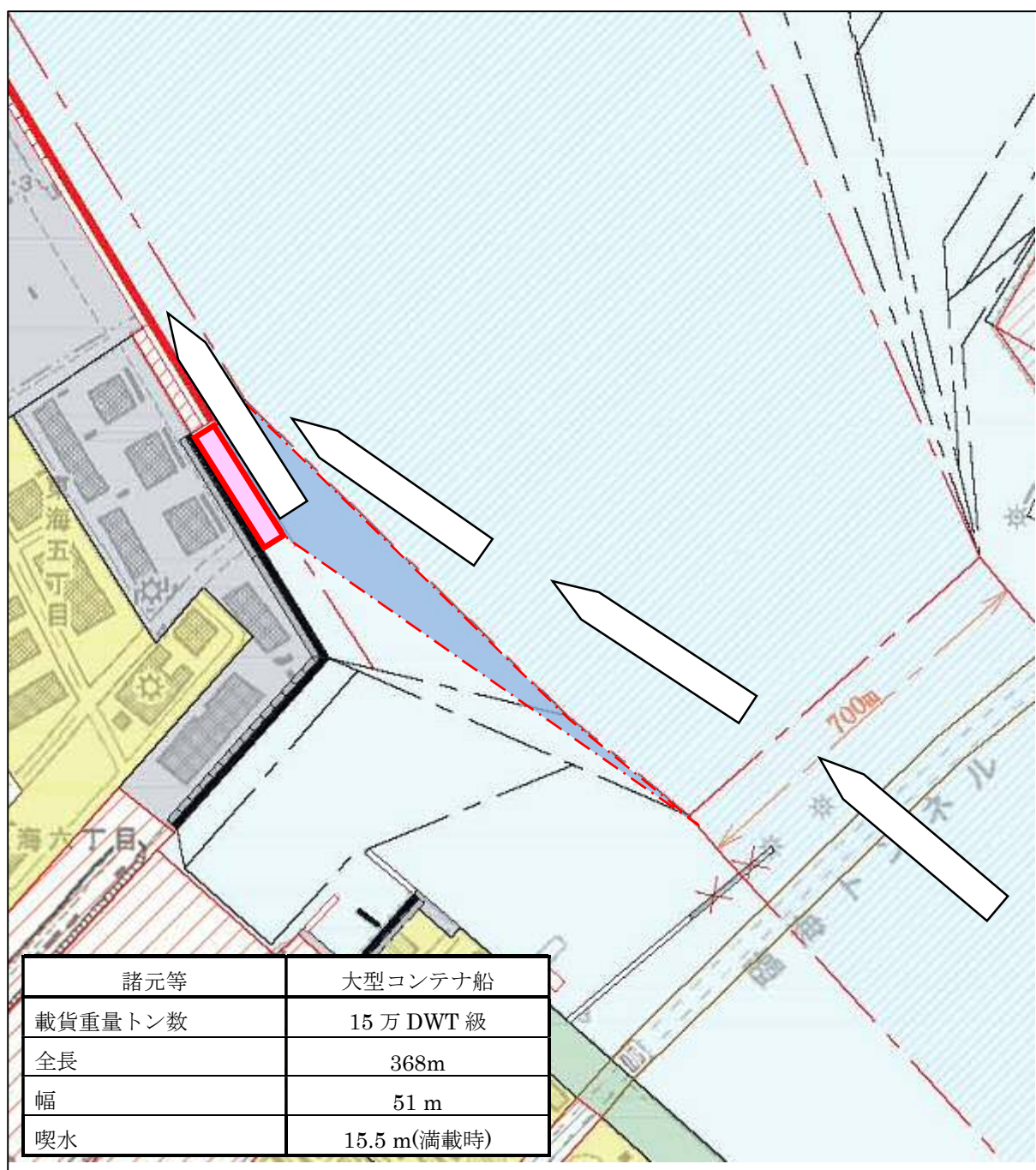
図Ⅲ- 6-6 品川ふ頭前面の回頭水域・操船例図（出港時）



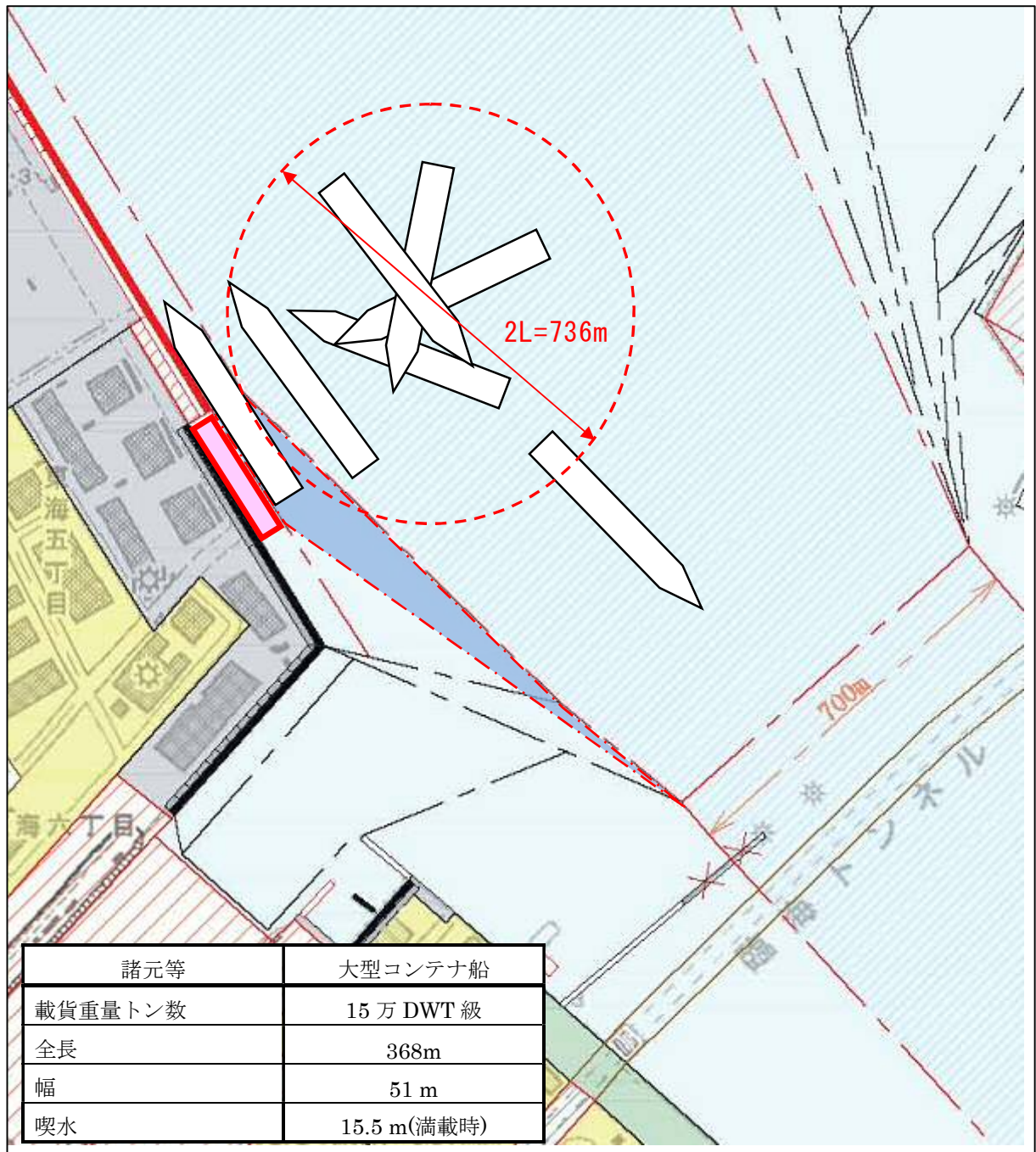
図Ⅲ- 6-7 大井・青海コンテナふ頭前面の回頭水域・操船例図（入港時）



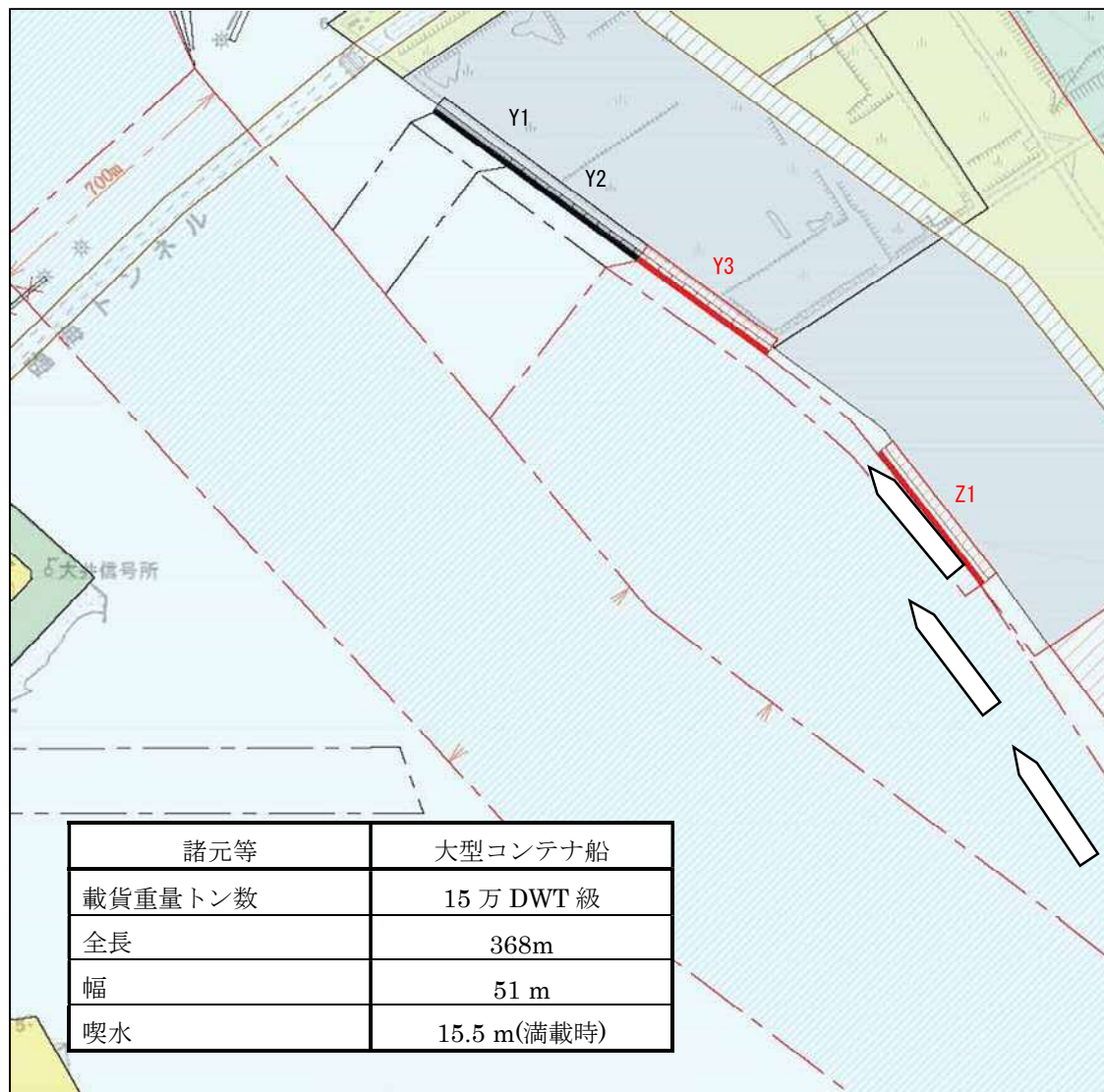
図Ⅲ- 6-8 大井・青海コンテナふ頭前面の回頭水域・操船例図（出港時）



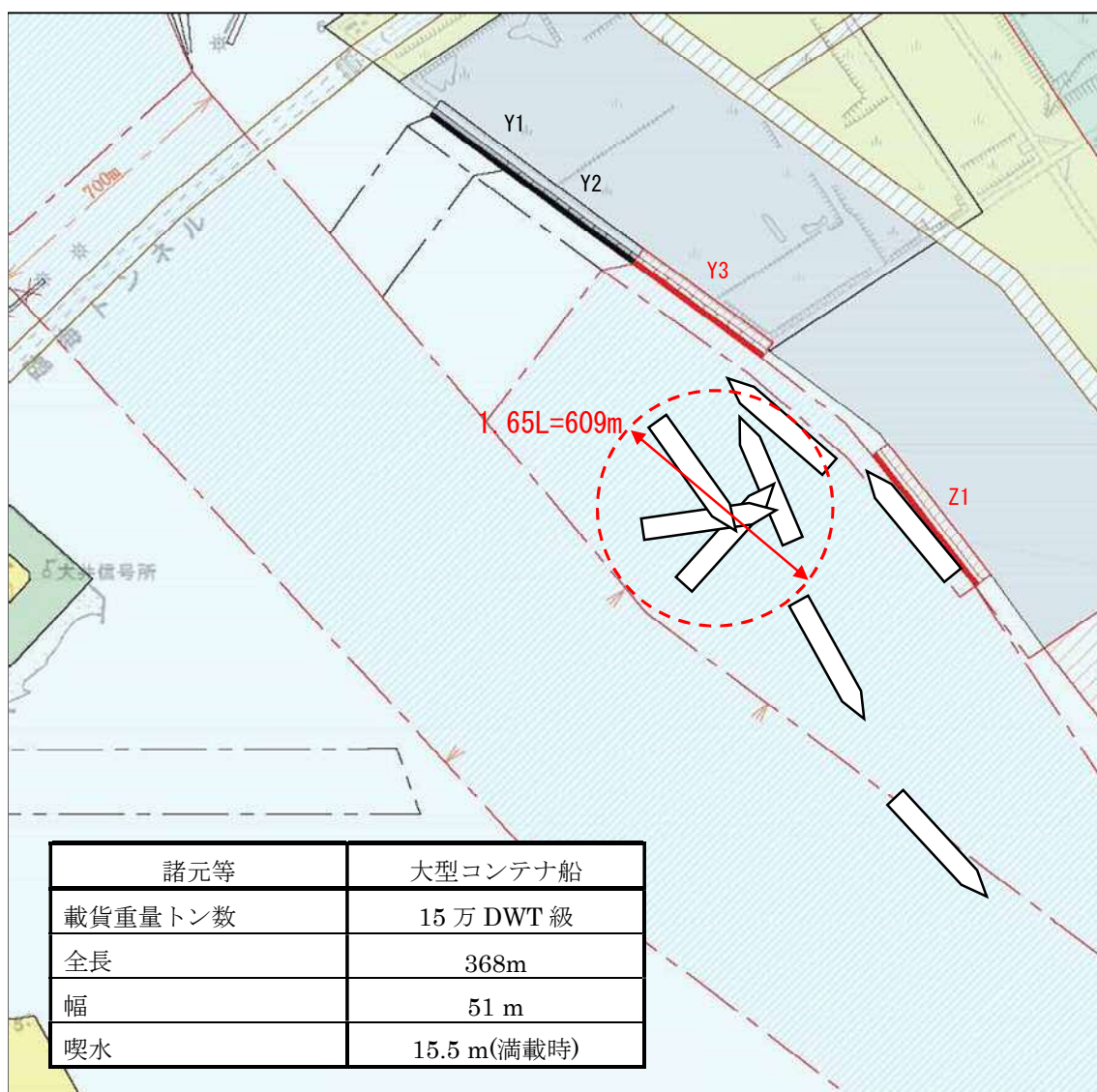
図Ⅲ- 6-9 大井水産物ふ頭前面の回頭水域・操船例図（入港時）



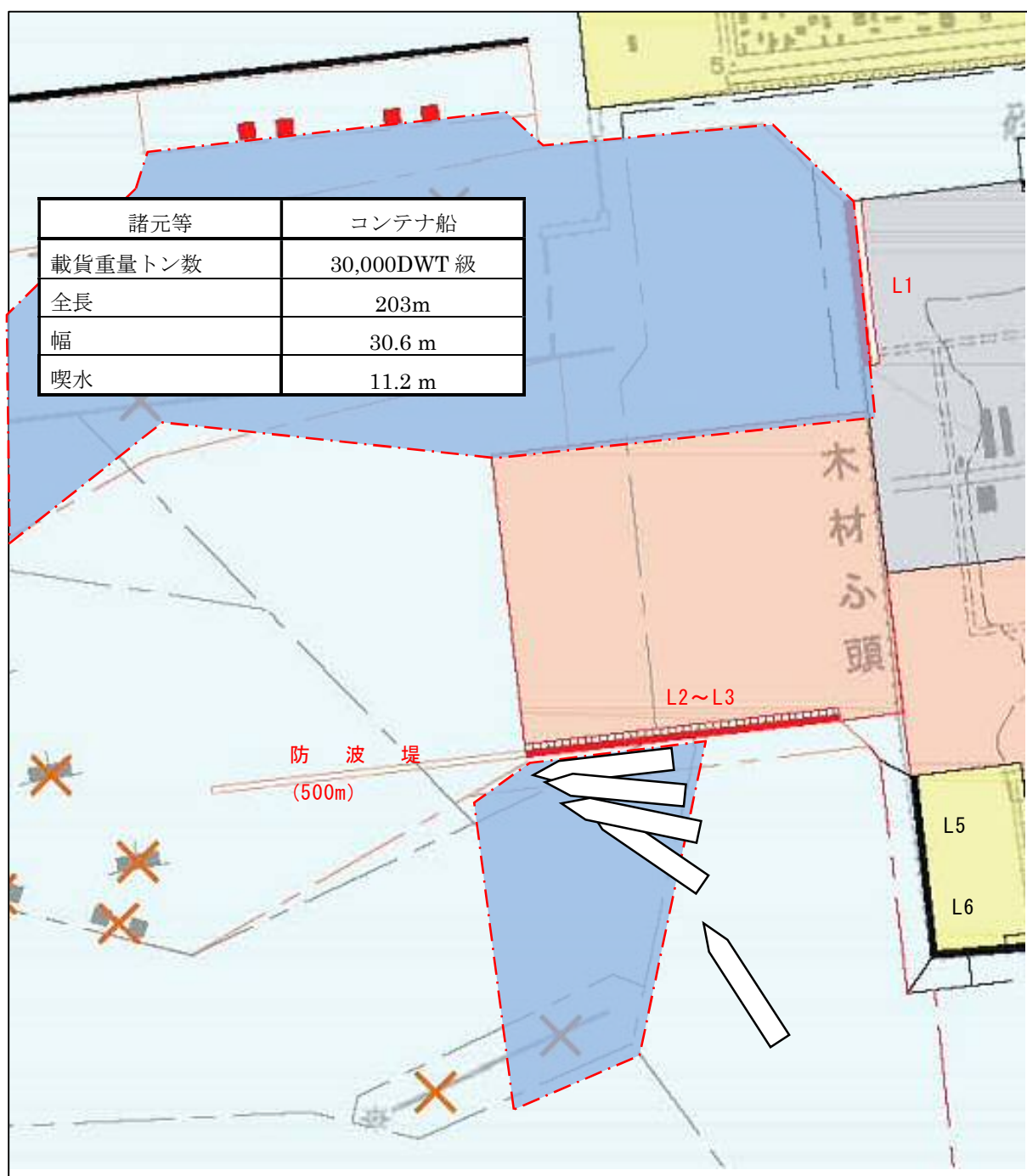
図Ⅲ- 6-10 大井水産物ふ頭前面の回頭水域・操船例図（出港時）



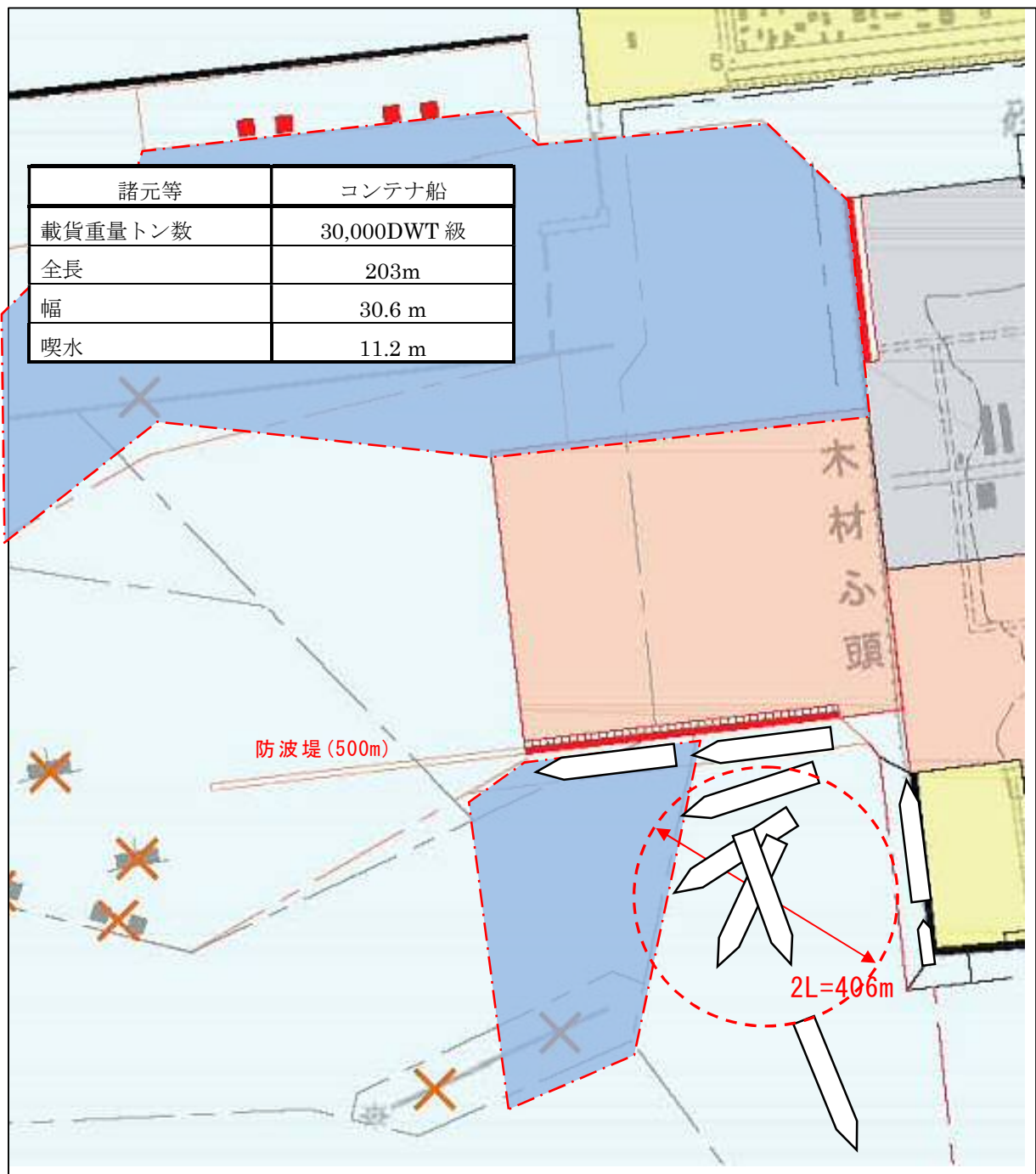
図Ⅲ- 6-11 中防外・新海面コンテナふ頭前面の回頭水域・操船例図（入港時）



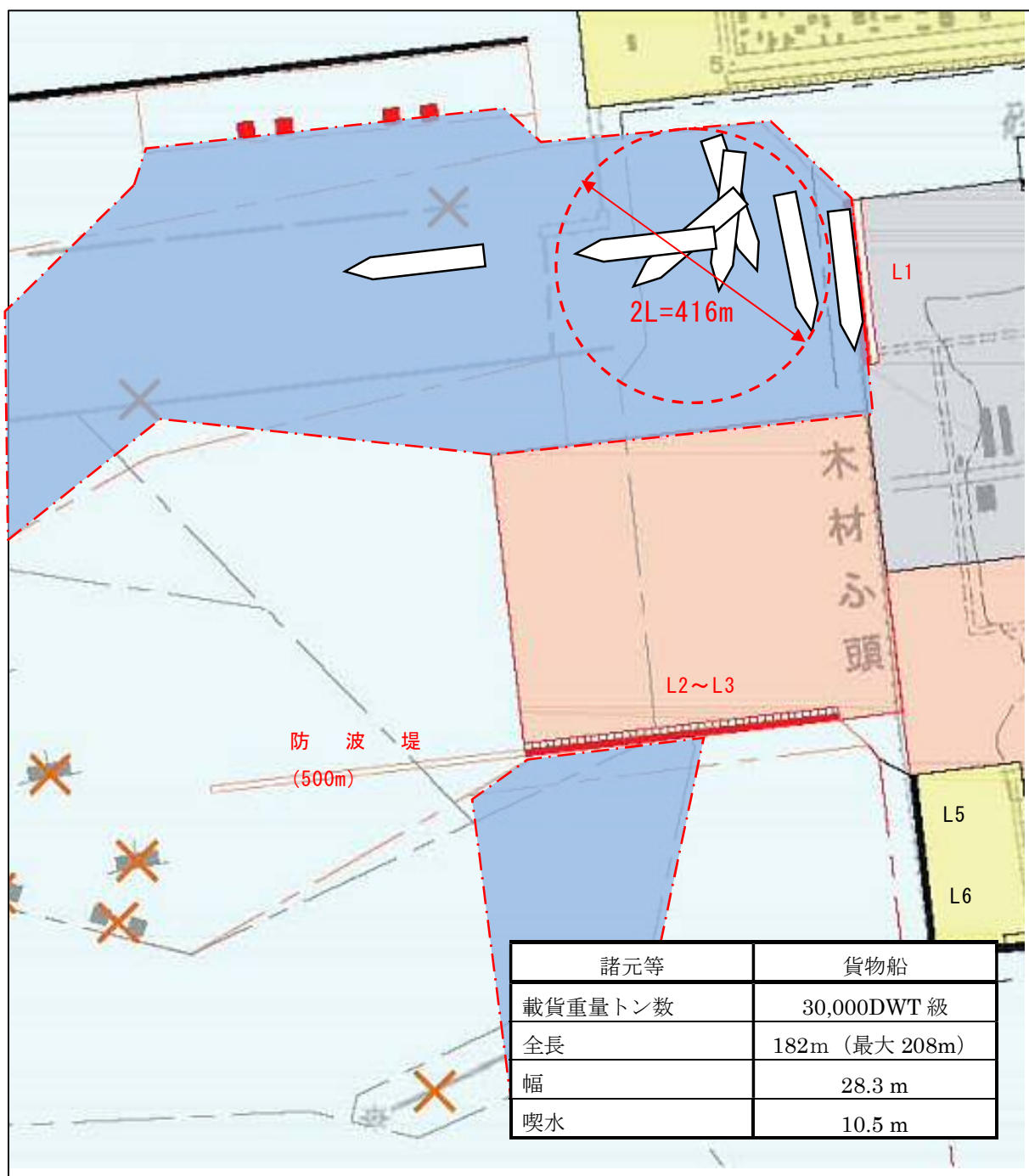
図Ⅲ- 6-12 中防外・新海面コンテナふ頭前面の回頭水域・操船例図（出港時）



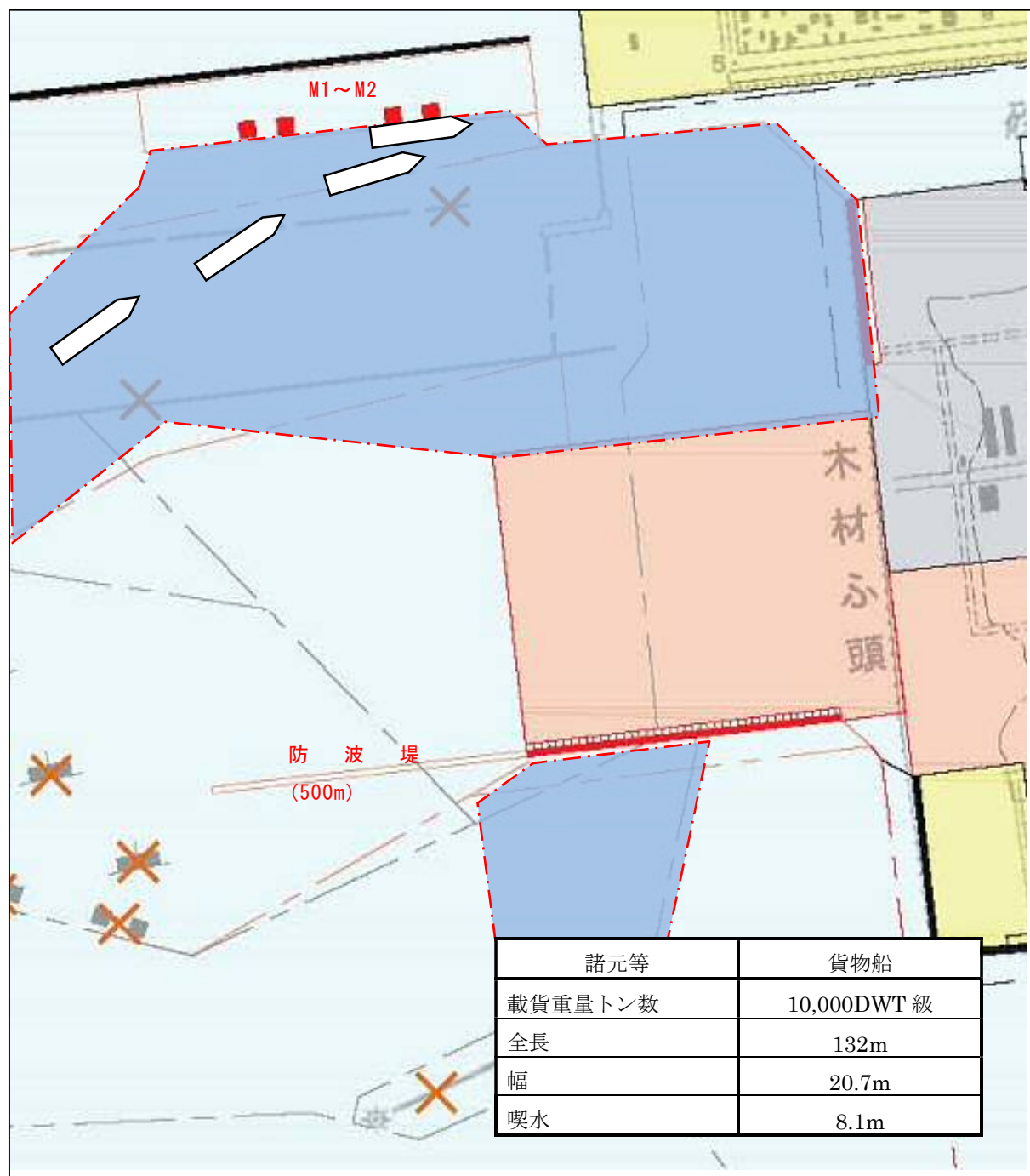
図Ⅲ- 6-13 15号地（新規）ふ頭前面の回頭水域・操船例図（入港時）



図Ⅲ- 6-14 15号地（新規）ふ頭前面の回頭水域・操船例図（出港時）



図Ⅲ- 6-16 15号地木材ふ頭前面の回頭水域・操船例図（出港時）



図Ⅲ- 6-17 ドルフィン・木材投下泊地前面の回頭水域・操船例図（入港時）

7. 外郭施設計画

7-1 防波堤計画

7-1-1 主要な防波堤の現況

(1) 主要な防波堤の現況

- ・ 主要な防波堤の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ- 7-1 主要な防波堤の現況

名 称	延長(m)
防波堤	5,024
中央防波堤	3,690
東防波堤	620
西防波堤	284
12号地水面整理場防波堤	430

7-1-2 防波堤計画の必要性

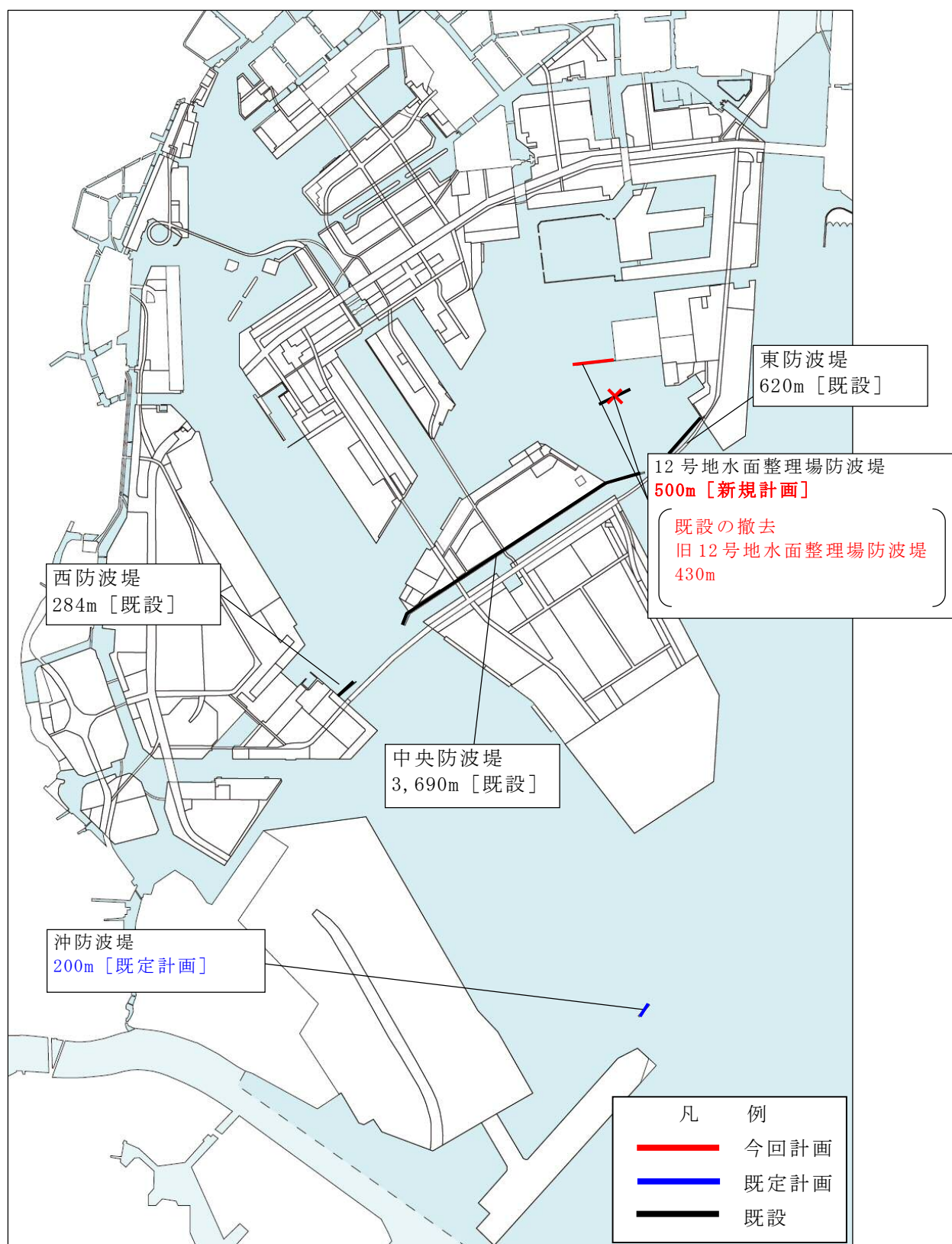
15号地、12号地水面整理場再編にともない防波堤の配置計画を見直す必要がある。

7-1-3 新規に計画する防波堤の規模及び配置

新規に計画する防波堤の規模及び配置の考え方は、次のとおりである。

表Ⅲ- 7-2 新規に計画する防波堤の規模

施設名	計画種類	延長	防波堤の規模及び配置の考え方
12号地 水面整理 場防波堤	既設の撤去	0m	埠頭用地確保のため、12号地水面整理場防波堤を廃止する(撤去延長430m)。
防波堤	既定計画の見直し	500m	15号地、12号地水面整理場再編にともない、港内静穏度を確保できる位置に配置する。



図Ⅲ- 7-1 防波堤計画

7-1-4 静穏度の検討

(1) 静穏度の目標

- ・ 通常時の静穏度の目標は、次に示すとおりである。
- ・ なお、異常時は港外避泊及び作業中止で対応するため、岸壁及びドルフィンの異常時には考慮しない。

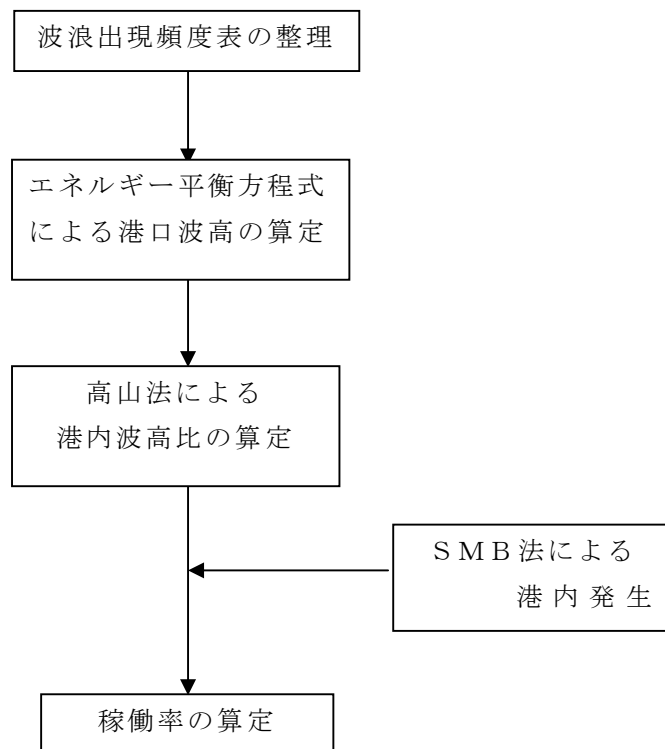
表Ⅲ- 7-3 静穏度の目標値

通常時	
荷役限界波高	0.3m以下（小型船だまり）
	0.5m以下（その他埠頭）
稼働率	通年：97.5%以上

注）荷役限界波高は「港湾の施設の技術上の基準・同解説、平成 19 年、(社)日本港湾協会」

1) 通常時の検討

- ・ 通常時の稼働率算定方法を以下に示す。

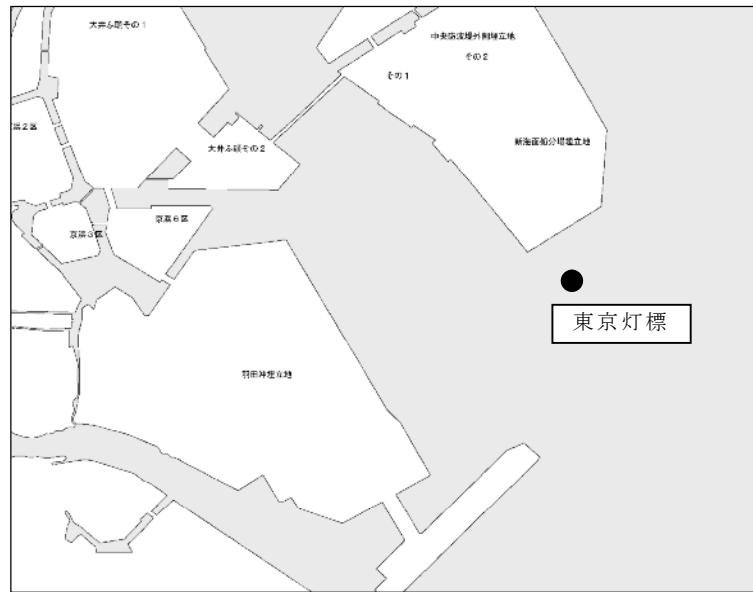


図Ⅲ- 7-2 稼働率算定フロー

(2) 波浪条件

1) 通常時波浪

- ・ 通常時の検討には、東京灯標で観測された波浪出現頻度表を使用する。
- ・ また、静穏度の検討にあたっては、東京灯標で観測された風速を用いて港内発生波を算出し、稼働率を算定する。



図Ⅲ- 7-3 東京灯標位置図

表Ⅲ- 7-4 波向別波高出現頻度表

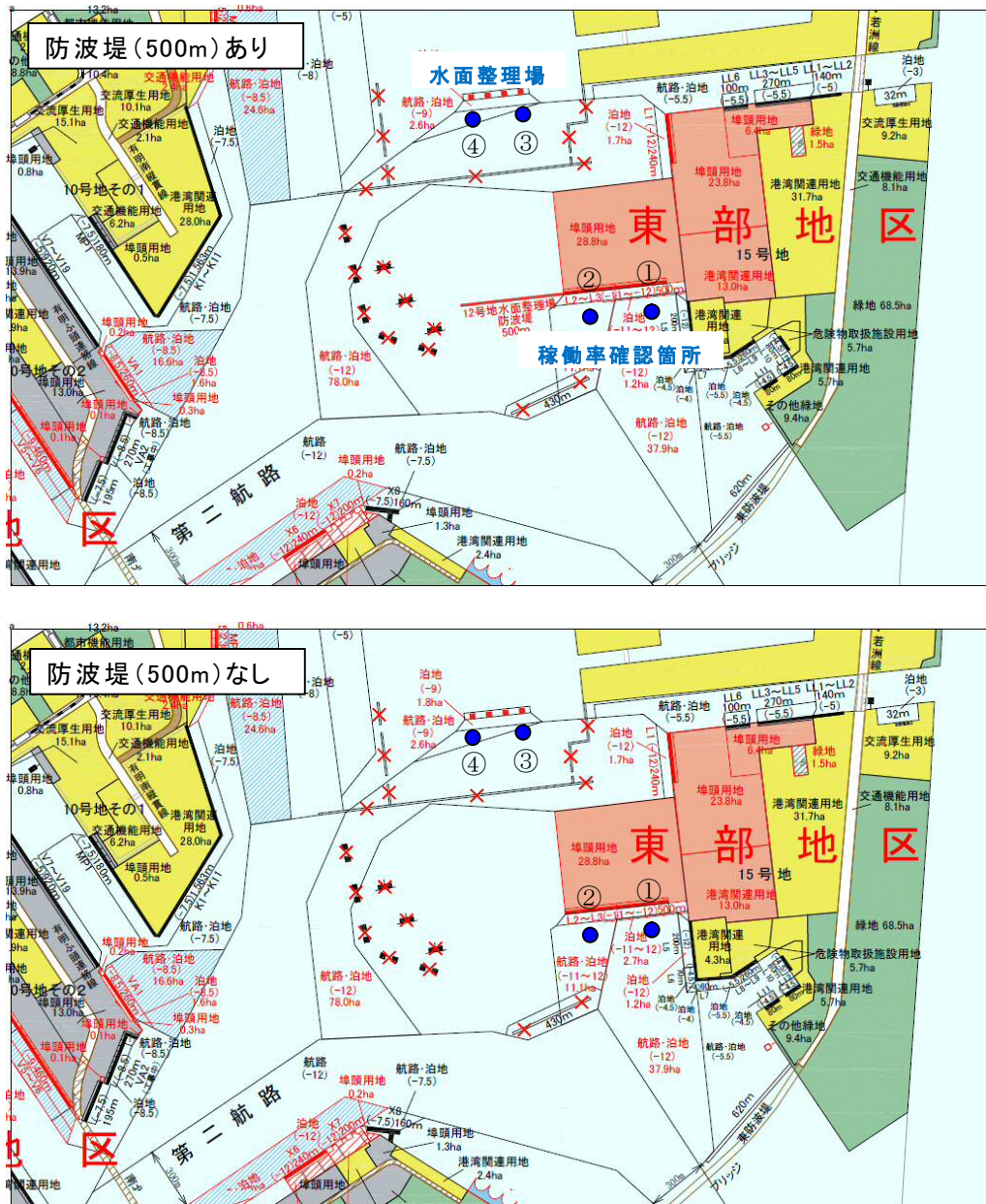
<< h-a >>	2000年10月1日～2010年9月30日																
	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	total
波向なし																	78148
0.00～0.20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.21～0.40	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
0.41～0.60	78	134	398	501	266	273	529	1592	395	35	18	18	24	30	28	54	4373
0.61～0.80	31	57	248	302	87	59	262	1598	474	18	5	5	7	11	12	23	3199
0.81～1.00	5	9	55	37	8	6	36	546	248	1	1	1	2	5	5	8	973
1.01～1.20	0	1	8	9	1	3	13	162	94	0	0	1	0	0	0	0	292
1.21～1.40	0	0	2	6	0	0	8	64	33	0	0	0	0	0	0	0	113
1.41～1.60	0	0	0	6	1	0	4	40	8	0	0	0	0	0	0	0	59
1.61～1.80	0	0	1	1	0	0	2	16	1	0	0	0	0	0	0	1	22
1.81～2.00	0	0	0	1	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	8
2.01～2.50	0	0	1	1	2	0	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	16
2.51～3.00	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
3.01～3.50	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
3.51～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
total	114	201	713	867	366	341	855	4038	1254	54	24	25	33	46	45	86	87210

表Ⅲ- 7-5 波向別周期出現頻度表

<< t-a >>	2000年10月1日～2010年9月30日																total
	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	
波向なし																	78148
0～1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1.1～2.0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3
2.1～3.0	102	165	479	588	294	231	315	654	170	34	14	18	29	37	36	69	3235
3.1～4.0	12	36	231	270	67	107	507	2986	905	19	10	6	4	9	8	16	5193
4.1～5.0	0	0	2	7	4	3	33	371	177	1	0	0	0	0	0	1	599
5.1～6.0	0	0	1	2	0	0	0	26	2	0	0	0	0	0	0	0	31
6.1～7.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7.1～8.0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8.1～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
total	114	201	713	867	366	341	855	4038	1254	54	24	25	33	46	45	86	87210

(3) 稼働率の算定

- ・ 荷役稼働率の算定位置は、以下のとおりである。次ページに算定結果一覧を示す。



図Ⅲ- 7-4 稼働率算定地点

15号地ふ頭、500m防波堤あり

		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	合計	稼働率	限界波高
201	①	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.01%	0.00%	0.01%	0.06%	0.18%	0.04%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.30%	99.70%	0.5
202	②	0.00%	0.00%	0.01%	0.02%	0.01%	0.01%	0.01%	0.10%	0.21%	0.05%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.42%	99.58%	0.5
203	③	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.01%	0.01%	0.02%	0.40%	1.48%	0.33%	0.02%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	2.30%	97.70%	0.3
204	④	0.00%	0.00%	0.01%	0.04%	0.02%	0.02%	0.04%	0.56%	1.49%	0.28%	0.01%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	2.49%	97.51%	0.3

15号地ふ頭、500m防波堤なし

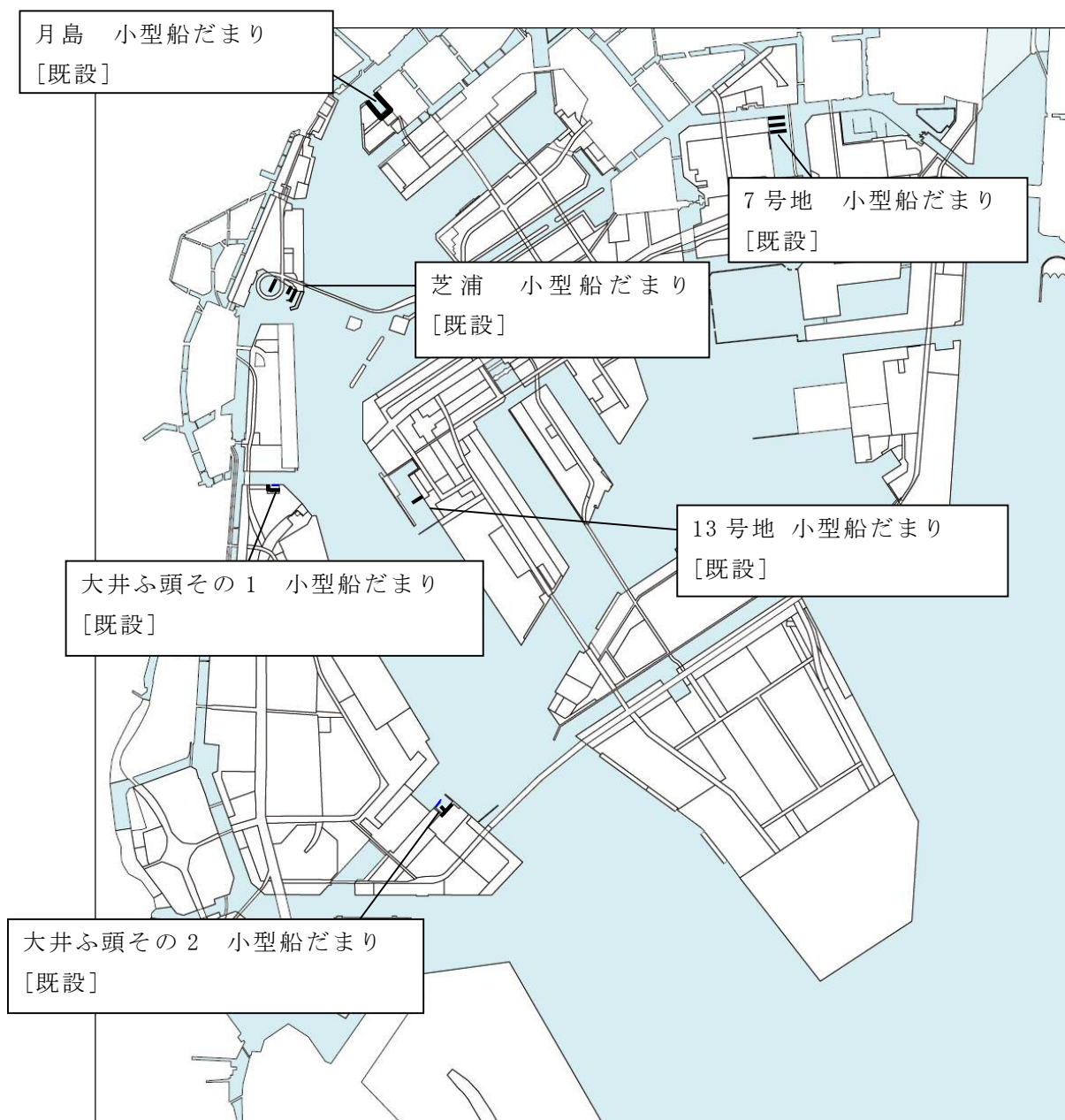
		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	合計	稼働率	限界波高
201	①	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.01%	0.00%	0.00%	0.06%	0.16%	0.03%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.27%	99.73%	0.5
202	②	0.00%	0.00%	0.01%	0.02%	0.01%	0.00%	0.01%	0.09%	0.21%	0.05%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.40%	99.60%	0.5
203	③	0.00%	0.00%	0.01%	0.02%	0.01%	0.01%	0.03%	0.46%	1.62%	0.36%	0.03%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	2.57%	97.43%	0.3
204	④	0.00%	0.04%	0.13%	0.17%	0.06%	0.06%	0.06%	0.96%	1.91%	0.35%	0.02%	0.00%	0.00%	0.01%	0.00%	0.00%	3.78%	96.22%	0.3

表Ⅲ-7-6 稼働率算定結果

8. 小型船だまり計画

8-1 小型船だまりの現況

小型船だまりの現況と位置は、次のとおりである。



図Ⅲ- 8-1 小型船だまりの現況と位置

8-2 小型船だまり計画の必要性

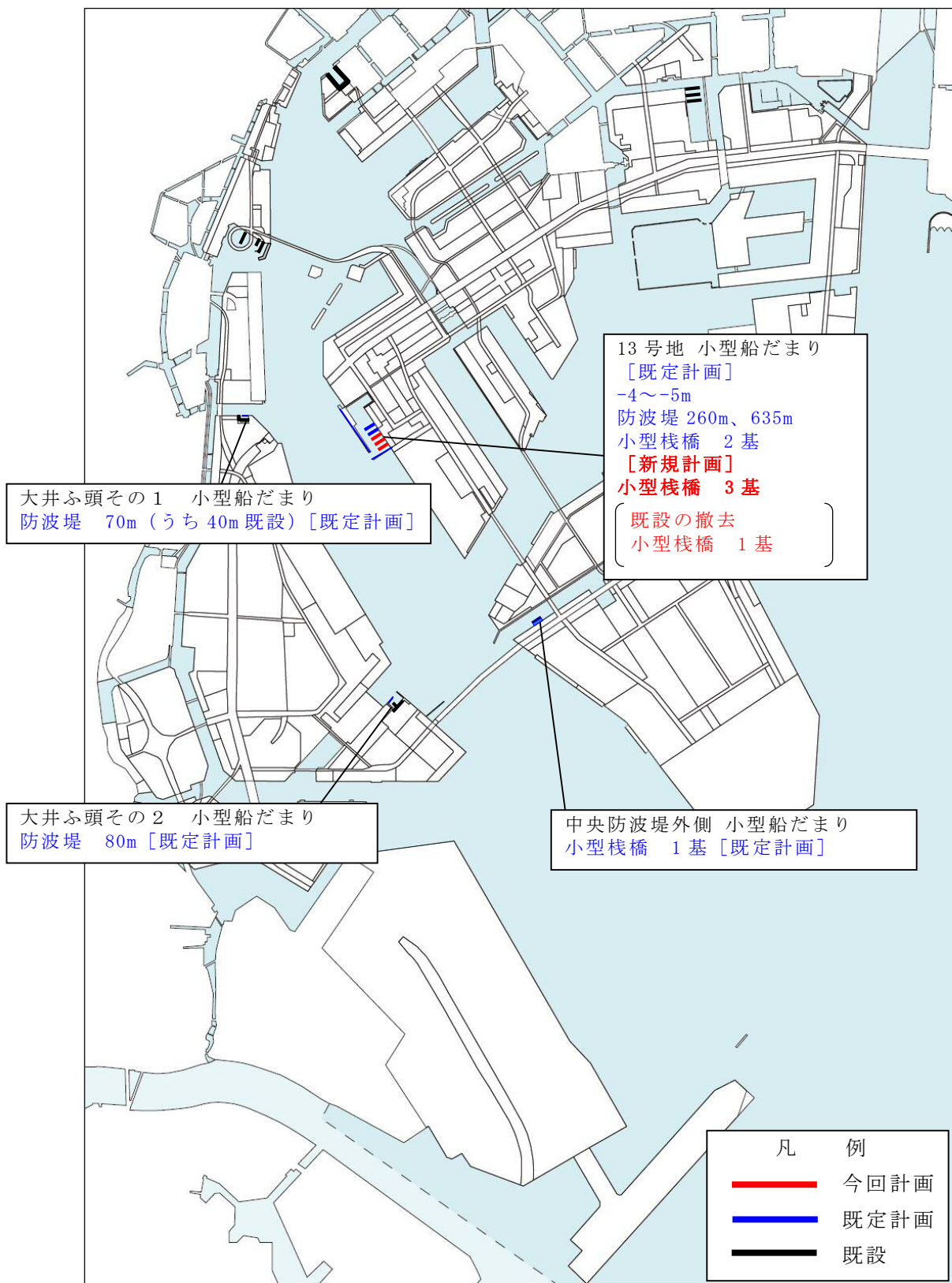
はしけ等の大型化に伴い、小型船だまりを計画する。

8-3 今回計画する小型船だまりの規模及び配置

今回計画する小型船だまりの規模及び配置の考え方は、次のとおりである。

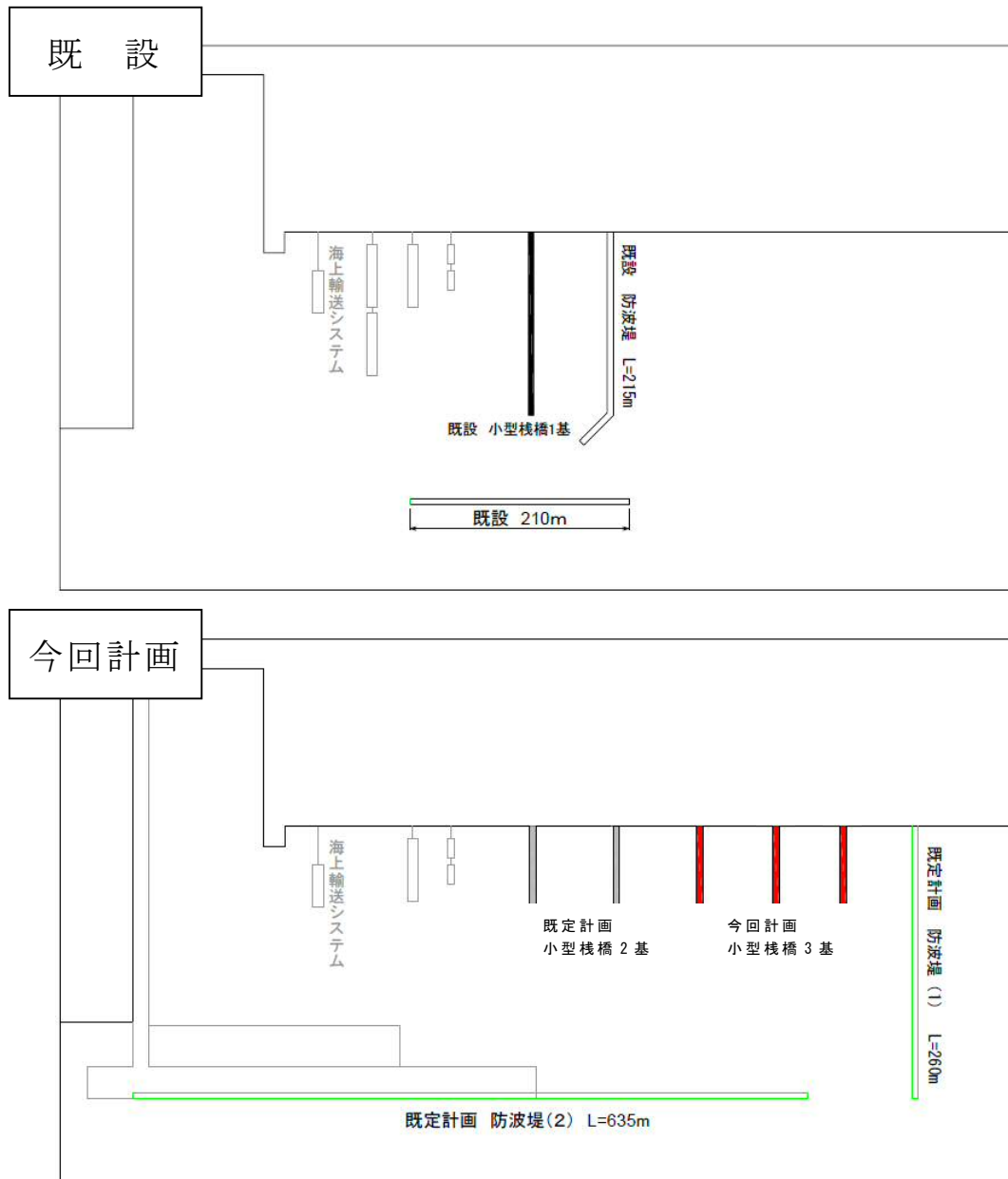
表Ⅲ- 8-1 小型船だまり計画

地区名	施設名	規模	種別
中部地区 (13号地)	小型栈橋	3基	今回計画
	小型船種類	はしけ 14隻	
		官庁船 14隻	
		計 28隻	



図Ⅲ- 8-2 小型船だまり計画

- ・海上保安庁の要請（緊急発進時における迅速な出船が必要）により海上保安庁が使用している既設のポンツーン（縦２列連結）を撤去し、入口側に２基並列に新設する。また、13号地小型船だまりの整備に伴い、はしけが使用しているポンツーンが短くなるため１基新設する。



図Ⅲ- 8-3 小型船だまり利用計画（13号地）

8-4 静穏度検討

8-4-1 静穏度の目標

通常時、異常時の静穏度の目標は、次に示すとおりである。

表Ⅲ- 8-2 静穏度の目標

通常時		異常時	
荷役限界波高	0.3m以下	避泊限界波高	0.5m以下
稼働率	通年：97.5%以上	—	

注) 荷役限界波高は「港湾の施設の技術上の基準・同解説、平成19年、(社)日本港湾協会」

8-4-2 通常時の検討

通常時の波向別波高出現頻度表は以下のとおりである。

表Ⅲ- 8-3 通常時の波向別波高出現頻度表

風向 波高(m)	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	合計 (%)
波向なし																	78,148 90%
0.00～0.20	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0
0.21～0.40	0 0%	0 0%	0 0%	3 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	3
0.41～0.60	78 0%	134 0%	398 0%	501 1%	266 0%	273 0%	529 1%	1,592 2%	395 0%	35 0%	18 0%	18 0%	24 0%	30 0%	28 0%	54 0%	4,373 5%
0.61～0.80	31 0%	57 0%	248 0%	302 0%	87 0%	59 0%	262 0%	1,598 2%	474 1%	18 0%	5 0%	5 0%	7 0%	11 0%	12 0%	23 0%	3,199 4%
0.81～1.00	5 0%	9 0%	55 0%	37 0%	8 0%	6 0%	36 0%	546 1%	248 0%	1 0%	1 0%	1 0%	2 0%	5 0%	5 0%	8 0%	973 1%
1.01～1.20	0 0%	1 0%	8 0%	9 0%	1 0%	3 0%	13 0%	162 0%	94 0%	0 0%	0 0%	1 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	292 0%
1.21～1.40	0 0%	0 0%	2 0%	6 0%	0 0%	0 0%	8 0%	64 0%	33 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	113 0%
1.41～1.60	0 0%	0 0%	0 0%	6 0%	1 0%	0 0%	4 0%	40 0%	8 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	59 0%
1.61～1.80	0 0%	0 0%	1 0%	1 0%	0 0%	0 0%	2 0%	16 0%	1 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 0%	22 0%
1.81～2.00	0 0%	0 0%	0 0%	1 0%	0 0%	0 0%	0 0%	6 0%	1 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	8 0%
2.01～2.50	0 0%	0 0%	1 0%	1 0%	2 0%	0 0%	1 0%	11 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	16 0%
2.51～3.00	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 0%	0 0%	0 0%	2 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	3 0%
3.01～3.50	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 0%
3.51～	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0
合計 (%)	114 0%	201 0%	713 1%	867 1%	366 0%	341 0%	855 1%	4,038 5%	1,254 1%	54 0%	24 0%	25 0%	33 0%	46 0%	45 0%	86 0%	87,211 100%

注) 観測地点：東京港東京灯標 観測期間：2000年10月1日～2010年9月30日 上段は出現回数、下段は出現率(%)を示す。

8-4-3 稼働率の算定

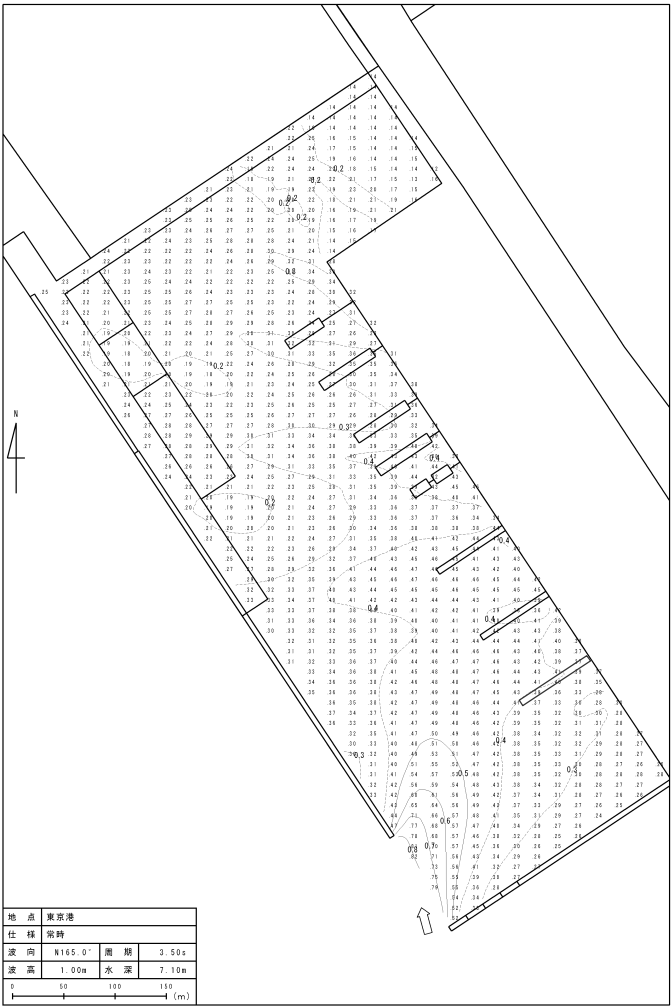
小型船だまりの通常時の静穏度は次のとおりである。

表Ⅲ- 8-4 通常時の稼働率

対象施設	0.3m以上の波高出現率 (%)																	稼働率 (%)
	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	合計	
13号地	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.01%	0.01%	0.09%	0.07%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.20%	99.80%

(1) 通常時の等波高比線図

通常時の等波高比線図は、次のとおりである。



図Ⅲ- 8-4 等波高比線図（通常時：13号地）

(2) 異常時の検討

1) 異常時波浪の設定

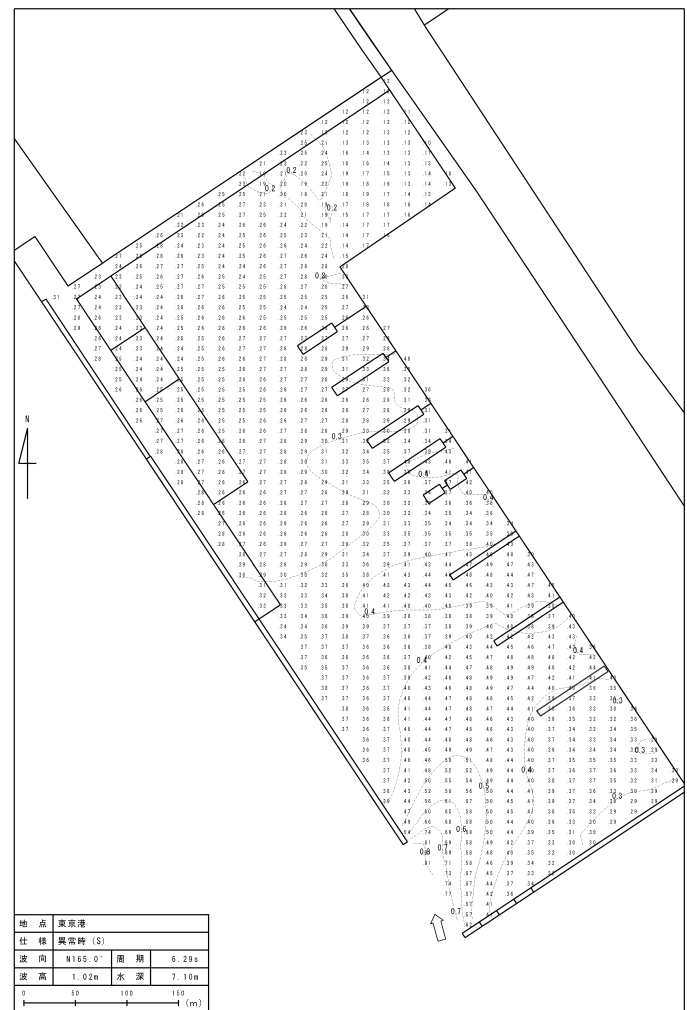
異常時の静穏度の検討は、東京灯標における再現期間 30 年の波のうち、東京港にとって最も危険であり、かつ波高の大きい南象限の波を用い、防波堤等の回折等による減衰の効果を考慮して行った。

表Ⅲ- 8-5 30 年確率波高

波向	波高	周期	風速
S	3.47m	6.29sec	30.9m/sec
SSE	1.94m	5.13sec	23.5m/sec

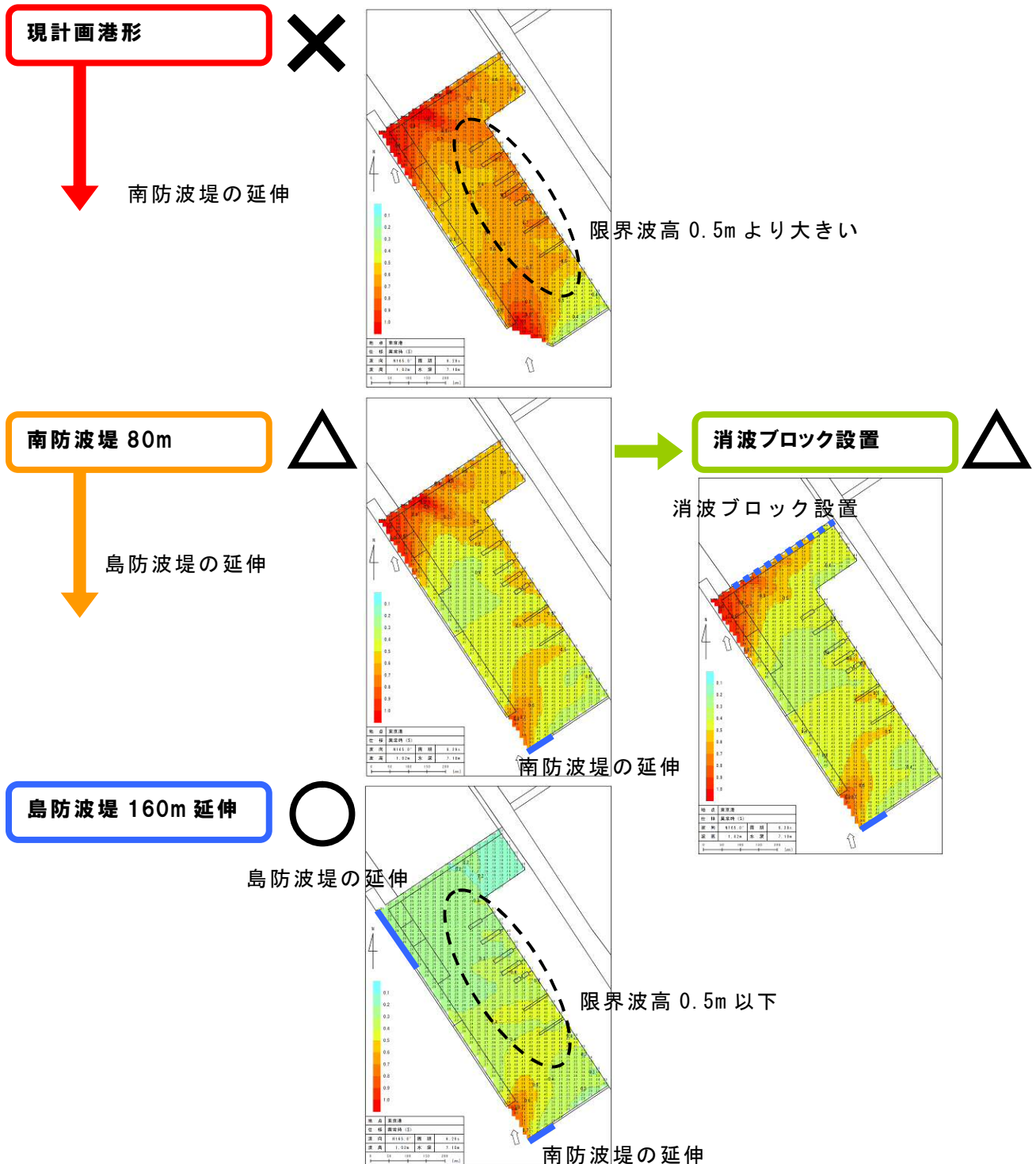
2) 異常時の等波高比線図

異常時の等波高比線図は、次のとおりである。次ページに、以下に示す口徑に至った計算経緯を示す。



図Ⅲ- 8-5 等波高比線図（異常時：13号地）

13号地の静穏度解析を実施した結果、埠頭内の栈橋位置における波高を、限界波高 0.5m 以下とするためには、南側防波堤 80m 延伸、島防波堤 160m 延伸となった。



図Ⅲ- 8-6 計算結果（異常時：13号地）

9. 臨港交通施設計画

9-1 主要な臨港道路の現況

主要な臨港道路の交通量等の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ- 9-1 主要な臨港道路の現況等

図番	施設名	起点	終点	車線数	現況交通量(H24.9月時点)			計画交通量 (百台／日)	規模及び配置 の考え方	備考
					交通量 (百台／日)	大型車 混入率	計測地点			
①	海岸青海線	海岸通り	青海・有明南 連絡線	4	366	31.4	レインボー ブリッジ	209	計画交通量より既定 計画どおりとする。	既設
②	東京港臨海道路 (Ⅰ期区間)	城南島	中防外埋立地	4	462	61.3	臨海トンネル	455		既設
③	東京港臨海道路 (Ⅱ期区間)	中防外埋立地	新木場・若洲線	4	268	54.7	ゲートブリッジ	339		既設
④	新木場・若洲線	国道357号	東京港臨海道路	6	414	49.5	新木場交差点	452		既設
⑤	青海縦貫線	国道357号	中防外埋立地	4～6	271	67.5	第二航路海底 トンネル	219		既設
⑥	大井ふ頭その1線	大井北部陸橋	環状七号線	6～10	186	76.3	大井税関前 交差点	292		既設
⑦	南北線	有明ふ頭連絡線	中防内5号線	4	—	—	—	324		既定計画
⑧	中防外1号線	東京港臨海道路	新海面処分場	6	—	—	—	243		既定計画

9-2 臨港道路計画の必要性

東京港の国際競争力の強化を図っていくため、港湾と背後地を円滑に結ぶ道路網が不可欠である。このため、各埠頭間を連絡する幹線道路や、埠頭と幹線道路を連絡する道路を臨港道路として整備を進め、既定計画に基づく道路ネットワークの充実を図っていく。計画交通量算定の結果、既設及び既定計画における路線数及び車線数の変更の必要が無いため既定計画どおりとする。

9-3 交通対策

将来の東京港周辺部においては、慢性的な交通渋滞は概ね発生しないと考えられる。しかし、一部の交差点においては、ピーク時に交通混雑のおそれがあるため、交通対策を検討する必要がある。

このため、交差点付近の車線構成や信号現示の見直し等の対策を検討・実施するとともに、幹線道路との交差点部の効率化について道路管理者と調整する。また、荷待ちトラックによるコンテナターミナルゲート前の渋滞に対しては早朝ゲートオープンやコンテナ搬出入時間の分散化、違法駐車対策等の取組も推進する。

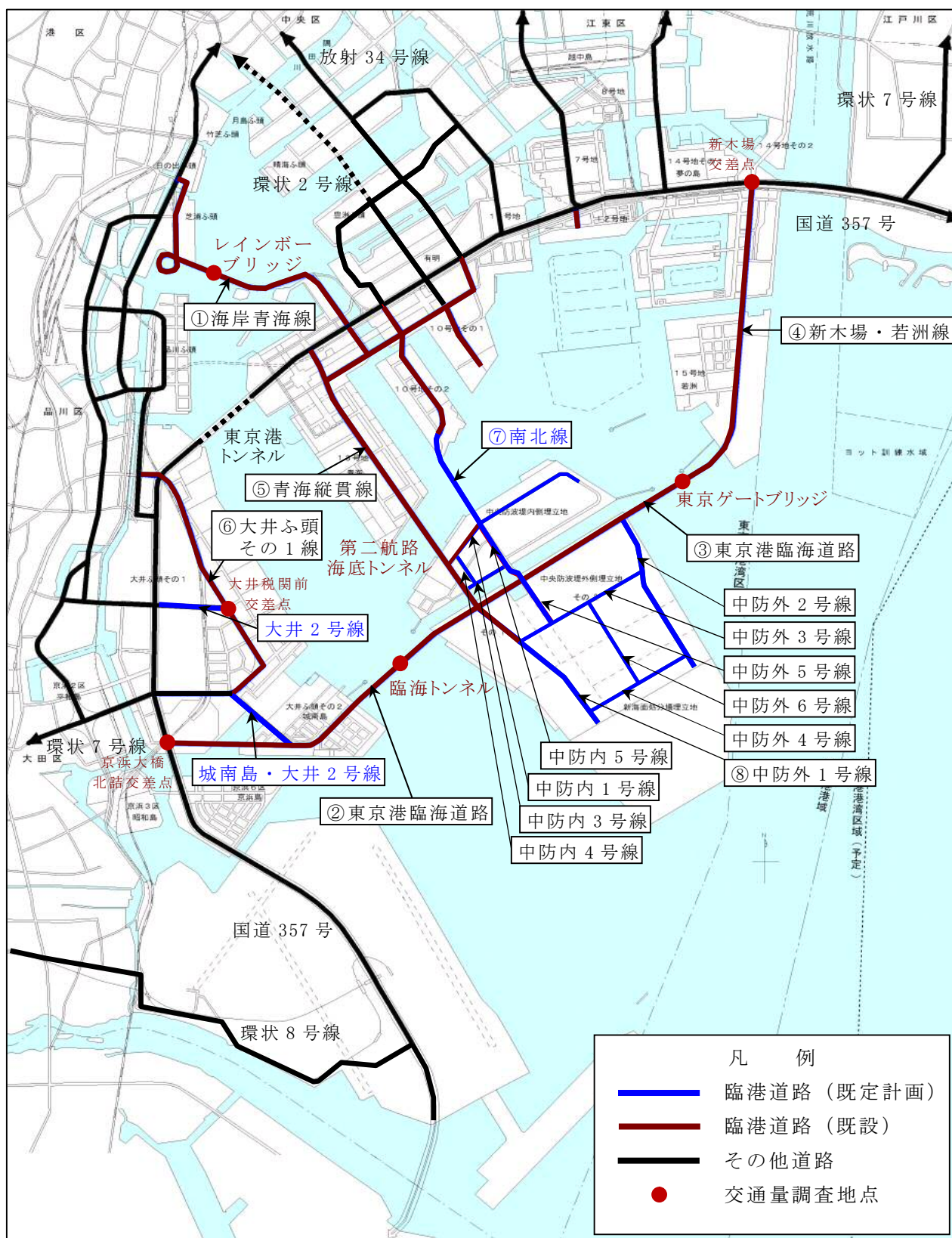


図 III- 9-1 主要な臨港道路の現況図

10. マリーナ計画

10-1 マリーナの現況

10-1-1 係留区画利用状況

(1) 艇長・種類別係留状況

艇長・種類別係留状況は、以下のとおりである。

表Ⅲ- 10-1 艇長・種類別係留状況

艇長 種類	6m以下	6m超え 7m以下	7m超え 8m以下	8m超え 10m以下	10m超え 13m以下	13m超え 15m以下	15m超え 18m以下	18m超え 20m以下	計	割合
ボート	29	45	55	97	101	63	13	7	410	71%
ヨット	11	8	20	84	32	8	1	0	164	29%
計	40	53	75	181	133	71	14	7	574	100%

(2) バース・種類別係留状況

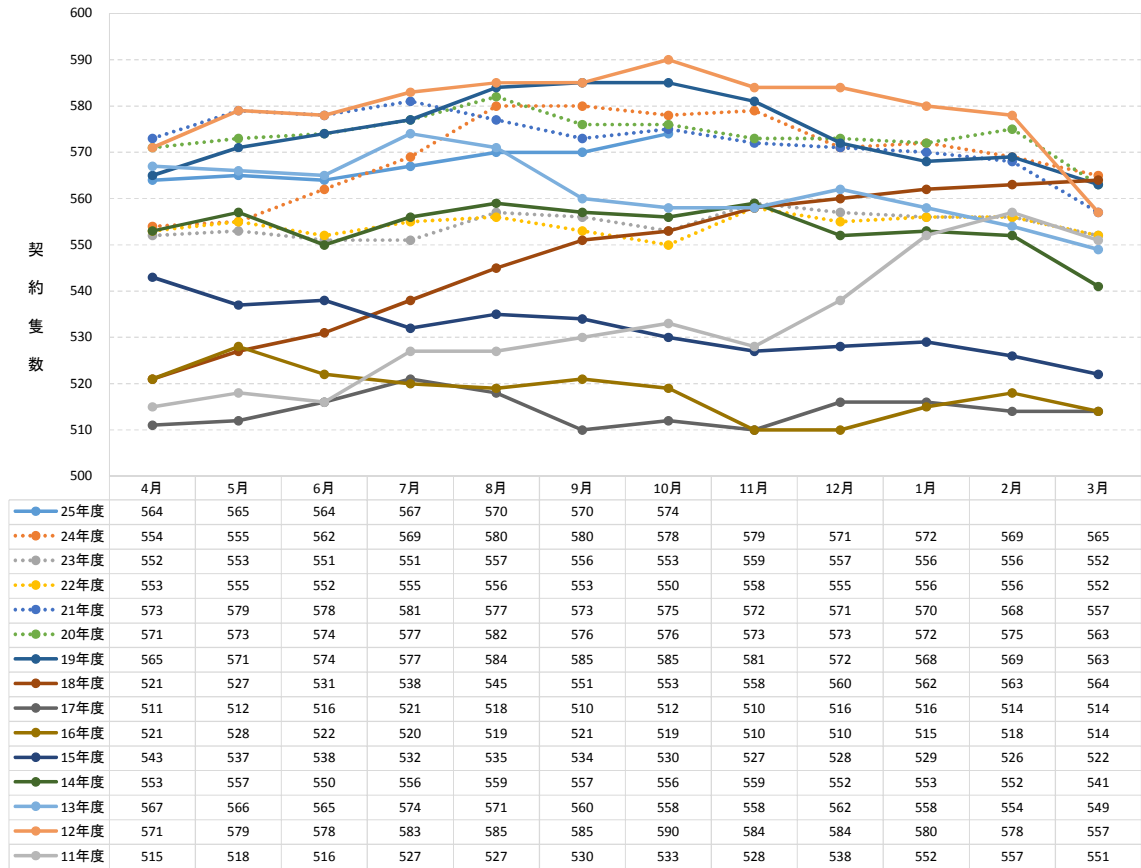
バース・種類別の係留状況は、以下のとおりである。

表Ⅲ- 10-2 バース・種類別の係留状況

艇長	バース	隻数	在隻数	割合 (%)	種別内訳		6m以下		6m超え 7m以下		7m超え 8m以下		8m超え 10m以下		10m超え 13m以下		13m超え 15m以下		15m超え 18m以下		18m超え 20m以下	
					B	Y	B	Y	B	Y	B	Y	B	Y	B	Y	B	Y	B	Y	B	Y
10m 以下	A	18	18	100	16	2	3		5		6		2	2								
	B	32	32	100	30	2	5		5		4		15	2	1							
	C	36	35	97	34	1	3		7		8		15	1	1							
	D	9	9	100	9	0			2		3		4									
	E	20	20	100	8	12	2	2	2		2	2	2	8								
	F	20	20	100	6	14	1	1	1	1	2	3	2	7		2						
	G	20	19	95	0	19		1		3		1		13		1						
	I	28	21	75	20	1	2		3		4		11	1								
	J	28	24	86	15	9			3		3	1	8	8	1							
	K	22	21	95	9	12	4	1	1	1		1	2	9	2							
	L	2	1	50	1	0								1								
	N	24	19	79	13	6		1	2	1	7	1	4	3								
	O	24	21	88	13	8	2		2	1	3	2	6	5								
	R	32	23	72	21	2	1		5				9	2	1							
	S	32	19	59	14	5	2	1	3		3	1	5	3	1							
	T	32	27	84	0	27		4				5		18								
	V	1	0	0	0	0																
	W	32	25	78	20	5	4		3	1	4	3	7	1	2							
	X	1	0	0																		
小 計		413	354	86	229	125	29	11	44	8	54	20	92	83	10	3						
13m 以下	D	7	7	100	7	0							2		5							
	H	24	23	96	20	3								19	3	1						
	L	16	12	75	12	0								10		2						
	M	20	16	80	0	16							1		15							
	P	25	18	72	18	0					1		1		11		5					
	Q	26	24	92	16	8								15	8	1						
	U	25	18	72	18	0							1		12		5					
	V	25	20	80	20	0							1		17	0	2					
小 計		168	138	82	111	27					1		5	1	89	26	16	0				
13～15m	X	12	12	100	12	0									10			2				
	Y	7	7	100	7	0									1		4		2			
	Z	48	47	98	38	9										1	33	8	3		2	
小 計		67	66	99	57	9									1	1	47	8	7		2	
15～18m	Y	4	4	100	4													3		1		
	Z	4	4	100	3	1												3	1			
小 計		8	8	100	7	1												6	1	1		
18～20m	Z	4	4	100	4	0														4	0	
小 計		4	4	100	4	0														4	0	
他					2	2			1						1	2			0		0	
総 計		660	570	86	410	164	29	11	45	8	55	20	97	84	101	32	63	8	13	1	7	0
※B:ボート、Y:ヨットを示す。					574		40		53		75		181		133		71		14		7	

(3) 年度別係留区画利用状況

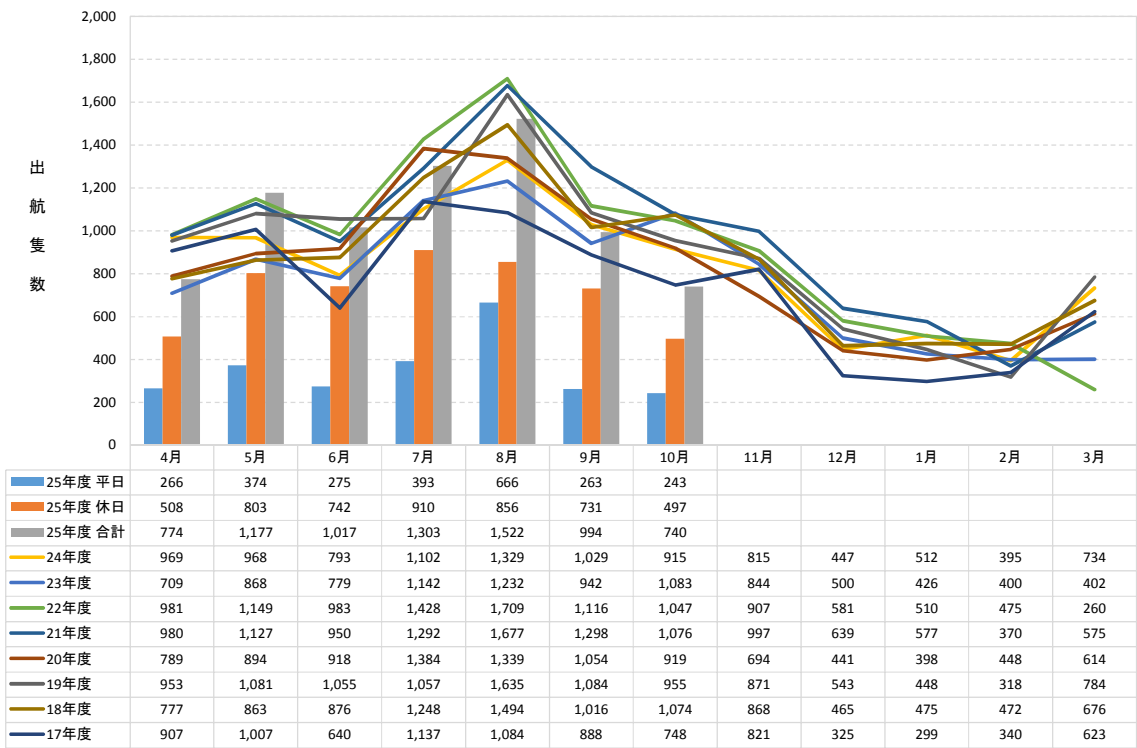
年度別係留区画利用状況は、以下のとおりである。



図Ⅲ- 10-1 年度別係留区画別利用状況

10-1-2 年度別出航状況

年度別出航状況は、以下のとおりである。



図Ⅲ- 10-2 年度別出航状況

10-2 マリーナ計画

マリーナ計画については、利用者からの要請も特段無いため、新規計画は行わないこととする。